

資料 5 - 5

泊発電所 3 号炉 審査資料	
資料番号	SA58-9 r.7.0
提出年月日	令和5年6月14日

泊発電所 3 号炉

設置許可基準規則等への適合状況について
(重大事故等対処設備)
比較表

2.15 計装設備【58条】

令和 5 年 6 月
北海道電力株式会社

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
比較結果等を取りまとめた資料			
1. 先行審査実績を踏まえた泊3号炉まとめ資料の変更状況(2017年3月以降)			
1-1) 設計方針・運用・体制などを変更し、まとめ資料を修正した箇所と理由			
<p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：なし</p> <p>b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：下記1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータを重大事故等対処設備に位置付けた。【比較表 p58-2, 8, 9, 11, 16, 17, 18, 19, 22, 23, 28, 29, 70】 <p>c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの：なし</p> <p>d. 当社が自主的に変更したもの：なし</p>			
1-2) 設計方針・運用・体制を変更するものではないが、まとめ資料の記載の充実を行った箇所と理由			
<p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：下記1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新審査知見の反映の観点から、以下の資料を新規追加した。 補足説明資料 58-12 別紙（別紙5 原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について、別紙6 原子炉圧力容器の水位の推定手段について） <p>b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：下記5件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術的能力 1.15 まとめ資料で 1.11 及び 1.12 のパラメータも抽出対象としたことに伴い、本条文でも使用済燃料ピット関連パラメータを追加した。 【比較表 p58-3, 9, 10, 11, 13, 14, 19, 20, 23, 26, 27, 36, 38, 46, 68, 69, 71】 ・重要監視パラメータと重要代替監視パラメータの計測装置間を電氣的に分離する方法（ヒューズ、アイソレータ等による分離）を追記した。【比較表 p58-9】 ・第 6.4.2 図（交流/直流の単線結線図）を交流及び直流の単線結線図に書き分けた。【比較表 p58-73, 74】 ・第 6.4.4 図（パラメータ記録時に使用する設備の系統概要図）を追加した。【比較表 p58-75】 ・最新審査知見の反映の観点から、以下の資料を新規追加した。 添付資料（2.15 計装設備【58条】）、補足説明資料 58-6（単線結線図）、58-11（パラメータの抽出について）、58-12 別紙（別紙1 格納容器内水位上昇時の計装設備への影響について、別紙2 格納容器内水位の計測設備について、別紙3 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え方について）、58-13（重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ）、58-14（「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」の第 58 条に基づく主要な重大事故等対処設備一覧表） <p>c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの：なし</p> <p>d. 当社が自主的に変更したもの：下記2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来から第 6.4.4 表で重要代替監視パラメータに位置付けていた原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度を本文側にも反映した。 【比較表 p58-10, 16, 23, 32, 33, 43, 71】 ・記録に係る重大事故等対処設備であるデータ収集計算機及びデータ表示端末は、第 61 条及び第 62 条まとめ資料内の表現と整合を図るため、設備名称をデータ伝送設備（発電所内）とした。【比較表 p58-6, 9, 11, 20, 21, 24, 29, 36, 75】 			
1-3) バックフィット関連事項			
なし			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2. まとめ資料との比較結果の概要</p> <p>2-1) 設備、運用又は体制の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備又は運用の主な相違を表1に示す。また、重大事故等対処設備一覧を表3に示す。 <p>2-2) 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載方針の主な相違を表2に示す。 			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
<p>表1：設備又は運用の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）</p>							
No.	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由			
①	(重大事故等対処設備の補助パラメータ) —	重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータは重大事故等対処設備	重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータは重大事故等対処設備	泊では、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータは重大事故等対処設備に位置付けている。(女川実績の反映) (例：比較表 p58-2)			
②	(多重化された計器) 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器	当該パラメータの他チャンネルの計器	当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器	PWR は、原子炉で加熱された1次冷却材を蒸気発生器において2次冷却材と熱交換を行う複数のループで構成しており、一部のパラメータ(※)については当該ループのパラメータを他ループの同様パラメータにより推定が可能である。 (例：比較表 p58-3, 第6.4.4表) ※1次冷却材温度(広域-高温側), 1次冷却材温度(広域-低温側), 1次冷却材圧力(広域), 主蒸気ライン圧力			
③	(可搬型の重大事故等対処設備) ・可搬型計測器 ・可搬型格納容器水素ガス濃度 ・原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力 ・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)	・可搬型計測器	・可搬型計測器 ・可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット ・原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型) ・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) ・可搬型アンユラス水素濃度計測ユニット ・使用済燃料ピット水位(可搬型) ・使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ ・使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置	<ul style="list-style-type: none"> ・女川では、可搬型の重大事故等対処設備は可搬型計測器のみであるが、泊では炉型の相違に伴う設備、対応手段の相違により、可搬型計測器以外にも可搬型の重大事故等対処設備がある。(例：比較表 p58-3) ・泊では、重大事故等時において、海水を通水して原子炉格納容器内の自然対流冷却を行う場合は、原子炉格納容器外の原子炉補機冷却水配管に可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)を取付け、原子炉格納容器内の冷却状況を計測、記録する手段を整備している。(大飯と同様) ・泊では、重大事故等時において、原子炉補機冷却水により原子炉格納容器内の自然対流冷却を行う場合に、原子炉補機冷却系統水の沸騰防止のために窒素ポンベにより加圧することから原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)を設置し監視する手順を整備している。(大飯と同様) ・泊の原子炉格納容器は鋼製であり、重大事故等時のアンユラス内の温度環境が、水素濃度計の使用可能温度範囲を超過することから、水素濃度計をアンユラス外に可搬型で設置し、計測することとしている。大飯の原子炉格納容器はコンクリート製PCCVであり、重大事故等時のアンユラス内の温度環境は鋼製に比べ悪化しにくく、使用可能温度範囲に収まることから、水素濃度計をアンユラス内に常設している。 (伊方と同様) ・泊では、使用済燃料ピット水位(可搬型)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を用いて使用済燃料ピットの水位、放射線量率及び状態を監視する手段を整備しているのに対し、大飯も同様の設備構成であるが、記載方針の相違(相違理由①)により58条では記載していない。 			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由	
表1：設備又は運用の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）							
No.	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由			
④	(記録に係る重大事故等対処設備) ・安全パラメータ表示システム (SPDS) ・SPDS 表示装置	・安全パラメータ表示システム (SPDS) (データ収集装置、SPDS 伝送装置及びSPDS 表示装置)	・データ伝送設備 (発電所内) (データ収集計算機及びデータ表示端末)	女川では、安全パラメータ表示システム (SPDS) のうち、データ収集装置でパラメータの値を収集、SPDS 伝送装置で記録し、SPDS 表示装置により記録したパラメータを確認できる設備構成としている。泊では、データ伝送設備 (発電所内) のうち、データ収集計算機でパラメータの値を収集、記録し、データ表示端末により記録したパラメータを確認できる設備構成としている。大飯と泊の設備構成は同様。 (例：比較表 p58-6)			
⑤	(記録に係る重大事故等対処設備) 可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用)	—	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	泊では、重大事故等時において、海水を通水して原子炉格納容器内の自然対流冷却を行う場合は、原子炉格納容器外の原子炉補機冷却水配管に可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) を取付け、原子炉格納容器内の冷却状況を計測、記録する手段を整備している。(大飯も同様) (例：比較表 p58-6)			
⑥	(重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備の分離) パラメータ相互を分離	パラメータ相互をヒューズにより電氣的に分離	ヒューズ、アイソレータ等により電氣的に分離 (東海第二、島根と同様)	泊は、ヒューズの他にアイソレータ等により電氣的に分離している (東海第二及び島根2号炉と同様)。ここで、等にはアナログ信号入力ユニット、ディストリビュータ、测温抵抗体温度変換器が該当する。(比較表 p58-9)			
⑦	(可搬型計測器の計装ケーブルの接続方法) 具体的な記載なし	ボルト・ネジ接続	プラグ接続	泊では、計測するパラメータの端子台にジャンボポストを設置しており、バナナプラグを差し込むことが可能であるため工具は不要である。(玄海3/4号炉と同様) (比較表 p58-27)			
表2：記載方針の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する）							
No.	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由			
①	(パラメータ抽出の対象) 技術的能力に係る審査基準 1.1~1.10, 1.13, 1.14	技術的能力に係る審査基準 1.1~1.14	技術的能力に係る審査基準 1.1~1.14	泊では、重大事故等時において、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等のために監視が必要なパラメータとして、技術的能力 1.11, 1.12 に係るパラメータも抽出している。(女川実績の反映) (例：比較表 p58-3)			
②	(原子炉格納容器内の水素処理装置を監視するパラメータ) 静的触媒式水素再結合装置温度、原子炉格納容器水素燃焼装置温度を第 2.15-5 表 (重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定) にのみ重要代替パラメータとして記載	静的触媒式水素再結合装置動作監視装置を第 6.4-3 表 (代替パラメータによる主要パラメータの推定) の他、重要代替監視パラメータとして必要な箇所に記載	原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイト温度を第 6.4.4 表 (代替パラメータによる主要パラメータの推定) の他、重要代替監視パラメータとして必要な箇所に記載	泊では、原子炉格納容器内の水素処理装置を監視するパラメータである原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイト温度は重要代替監視パラメータとして、まとめ資料内の必要な箇所に記載している。(女川実績の反映) (例：比較表 p58-16)			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
表3：重大事故等対処設備一覧（1/2）				
設備	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	
重要監視パラメータ/重要代替監視パラメータ	(常設) 1次冷却材高温側温度(広域) 1次冷却材低温側温度(広域) 1次冷却材圧力 加圧器水位 原子炉水位 高圧注入流量 余熱除去流量 恒設代替低圧注水積算流量 格納容器スプレイ積算流量 格納容器内温度 格納容器圧力(広域) AM用格納容器圧力 格納容器再循環サンプ水位(広域) 格納容器再循環サンプ水位(狭域) 原子炉格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位 静的触媒式水素再結合装置温度 原子炉格納容器水素燃焼装置温度 アニュラス水素濃度 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束 蒸気発生器水位(狭域) 蒸気発生器水位(広域) 蒸気発生器補助給水流量 主蒸気圧力 原子炉補機冷却水サージタンク水位 燃料取替用水ピット水位 ほう酸タンク水位 復水ピット水位	(常設) 原子炉圧力容器温度 原子炉圧力 原子炉圧力(SA) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA広帯域) 原子炉水位(SA燃料域) 高圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量(残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量(残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 原子炉格納容器代替スプレイ流量 原子炉格納容器下部注水流量 ドライウエル温度 圧力抑制室内空気温度 サブプレッションプール水温度 原子炉格納容器下部温度 ドライウエル圧力 圧力抑制室圧力 圧力抑制室水位 原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C) 格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W) 格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C) 起動領域モニタ 平均出力領域モニタ フィルタ装置水位(広帯域) フィルタ装置入口圧力(広帯域) フィルタ装置出口圧力(広帯域) フィルタ装置水温度 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置出口水素濃度	(常設) 1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材温度(広域-低温側) 1次冷却材圧力(広域) 加圧器水位 原子炉容器水位 高圧注入流量 低圧注入流量 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用) 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力(AM用) 格納容器再循環サンプ水位(広域) 格納容器再循環サンプ水位(狭域) 格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位 原子炉格納容器内水素処理装置温度 格納容器水素イグナイト温度 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束 蒸気発生器水位(狭域) 蒸気発生器水位(広域) 補助給水流量 主蒸気ライン圧力 原子炉補機冷却水サージタンク水位 燃料取替用水ピット水位 ほう酸タンク水位 補助給水ピット水位 使用済燃料ピット水位(AM用) 使用済燃料ピット温度(AM用) 使用済燃料ピット監視カメラ	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
表3：重大事故等対処設備一覧（2/2）				
	大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	
重要監視パラメータ／重要代替監視パラメータ（続き）	（可搬型） 可搬型格納容器水素ガス濃度 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力 格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA）	（常設） 耐圧強化ベント系放射線モニタ 残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度 原子炉補機冷却水系系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 復水貯蔵タンク水位 高圧代替注水系ポンプ出口圧力 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 代替循環冷却ポンプ出口圧力 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 残留熱除去系ポンプ出口圧力 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 復水移送ポンプ出口圧力 原子炉建屋内水素濃度 静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 格納容器内雰囲気酸素濃度 使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式） 使用済燃料プール水位／温度（ガイドバルブ式） 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量，低線量） 使用済燃料プール監視カメラ	（可搬型） 格納容器内水素濃度 アンニラス水素濃度（可搬型） 原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型） 格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度 使用済燃料ピット水位（可搬型） 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置	
補助パラメータ（重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ）	—	6-2F-1母線電圧 6-2F-2母線電圧 6-2C母線電圧 6-2D母線電圧 6-2H母線電圧 4-2C母線電圧 4-2D母線電圧 125V直流主母線2A電圧 125V直流主母線2B電圧 125V直流主母線2A-1電圧 125V直流主母線2B-1電圧 250V直流主母線電圧 HPCS125V直流主母線電圧 高圧窒素ガス供給系ADS入口圧力 代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力	6-A，B母線電圧 A，B一直流コントロールセンタ母線電圧 A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用） 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用）	
記録装置	安全パラメータ表示システム（SPDS） SPDS表示装置 可搬型温度計測装置	安全パラメータ表示システム（SPDS）	データ伝送設備（発電所内） 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）	
その他	可搬型計測器	可搬型計測器	可搬型計測器	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3／4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.15 計装設備【58条】</p> <p>2.15.1 適合方針</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータにより、検討した炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために必要な原子炉施設の状態を把握するための設備を設置又は保管する。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータは、「表2.15-3 重大事故等における対応手段と整備する手順」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータとする。</p> <p>炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために必要な原子炉施設の状態を把握するためのパラメータは、「表2.15-3 重大事故等における対応手段と整備する手順」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータとする。</p> <p>重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータは、設計基準を超える状態における原子炉施設の状態を把握するための能力（最高計測可能温度等（設計基準最大値等））を明確にする。計測範囲を表2.15-1、2に、設計基準最大値等を表2.15-4に示す。</p>	<p>6.4 計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>6.4.1 概要</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ（炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータ）は、添付書類十の「第5.1-1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された主要パラメータ（重要監視パラメータ及び有効監視パラメータ）とする。</p> <p>当該パラメータを推定するために必要なパラメータは、添付書類十の「第5.1-1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された代替パラメータ（重要代替監視パラメータ及び有効監視パラメータ）とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備（重大事故等対処設備）について、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握するための能力（最高計測可能温度等（設計基準最大値等））を明確にする。計測範囲を第6.4-1表に、設計基準最大値等を第6.4-2表に示す。</p> <p>計装設備（重大事故等対処設備）の系統概要図を第6.4-1図から第6.4-5図に示す。</p>	<p>6.4 計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>6.4.1 概要</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ（炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータ）は、添付書類十の「第5.1.1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された主要パラメータ（重要監視パラメータ及び有効監視パラメータ）とする。</p> <p>当該パラメータを推定するために必要なパラメータは、添付書類十の「第5.1.1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された代替パラメータ（重要代替監視パラメータ及び有効監視パラメータ）とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備（重大事故等対処設備）について、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握するための能力（最高計測可能温度等（設計基準最大値等））を明確にする。計測範囲を第6.4.1表及び第6.4.2表に、設計基準最大値等を第6.4.3表に示す。</p> <p>計装設備（重大事故等対処設備）の系統概要図を第6.4.1図から第6.4.4図に示す。</p>	<p>【大阪】章番号の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 以降、同様の相違は、相違理由の記載を省略する。 <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪ではまとめ資料の表を記載しているが、泊では女川実績を反映し設置許可申請書の添付書類十の表を記載している。 以降、同様の相違は、相違理由の記載を省略する。 <p>【女川】図表番号の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 以降、同様の相違は、相違理由の記載を省略する。 <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】図の構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊と女川で図示する内容は同様であるものの、女川（BWR）は原子炉格納容器周辺の重大事故等対処設備が多いため全体系統概略図と原子炉格納容器周辺のみを示した概略図に分割している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>また、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。なお、補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。重大事故等対処設備の補助パラメータの対象を第6.4-4表に示す。</p>	<p>また、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。なお、補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。重大事故等対処設備の補助パラメータの対象を第6.4.5表に示す。</p>	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大阪】設備の相違（相違理由①）（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉施設の状態の把握能力を超えた場合に原子炉施設の状態を推定する手段を有する設計とする。</p> <p>重要な監視パラメータ又は有効な監視パラメータ（原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量等）の計測が困難となった場合又は計測範囲を超えた場合の推定は、「表 2.15-3 重大事故等における対応手段と整備する手順」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の計器故障時のパラメータ推定又は計器の計測範囲を超えた場合のパラメータの推定の対応手段等により推定ができる設計とする。</p> <p>計器故障時、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器がある場合、他チャンネルの計器による計測を優先し、次に他ループの計器により計測するとともに、重要代替パラメータが複数ある場合は、推定する重要な監視パラメータとの関係性がより直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を踏まえた確からしさを考慮し、優先順位を定める。推定手段及び優先順位を表 2.15-5 に示す。</p> <p>具体的なパラメータは以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型格納容器水素ガス濃度 ・原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力 ・格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA） ・アンユラス水素濃度 <p>（2.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備【53条】） アンユラス水素濃度については、「2.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備【53条】」に記載する。</p>	<p>6.4.2 設計方針 (1) 監視機能喪失時に使用する設備</p> <p>発電用原子炉施設の状態の把握能力を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定する手段を有する設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ又は有効監視パラメータ（原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量等）の計測が困難となった場合又は計測範囲を超えた場合は、添付書類十の「第5.1-1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の計器故障時の代替パラメータによる推定又は計器の計測範囲を超えた場合の代替パラメータによる推定の対応手段等により推定ができる設計とする。</p> <p>計器故障時に、当該パラメータの他チャンネルの計器がある場合、他チャンネルの計器により計測するとともに、重要代替監視パラメータが複数ある場合は、推定する重要監視パラメータとの関係性がより直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を踏まえた計測される値の確からしさを考慮し、優先順位を定める。推定手段及び優先順位を第6.4-3表に示す。</p> <p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】 現場の操作時に監視が必要なパラメータ及び常設の重大事故等対処設備の代替の機能を有するパラメータは、可搬型の重大事故等対処設備により計測できる設計とする。</p>	<p>6.4.2 設計方針 (1) 監視機能喪失時に使用する設備</p> <p>発電用原子炉施設の状態の把握能力を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定する手段を有する設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ又は有効監視パラメータ（原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量等）の計測が困難となった場合又は計測範囲を超えた場合は、添付書類十の「第5.1.1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の計器故障時の代替パラメータによる推定又は計器の計測範囲を超えた場合の代替パラメータによる推定の対応手段等により推定ができる設計とする。</p> <p>計器故障時に、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器がある場合、他チャンネルの計器による計測を優先し、次に他ループの計器により計測するとともに、重要代替監視パラメータが複数ある場合は、推定する重要監視パラメータとの関係性がより直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を踏まえた計測される値の確からしさを考慮し、優先順位を定める。推定手段及び優先順位を第6.4.4表に示す。</p> <p>現場の操作時に監視が必要なパラメータ及び常設の重大事故等対処設備の代替の機能を有するパラメータは、可搬型の重大事故等対処設備により計測できる設計とする。</p> <p>主要な設備は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット ・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型） ・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度） ・可搬型アンユラス水素濃度計測ユニット <p>・使用済燃料ビット水位（可搬型） ・使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備構成の相違（相違理由②）</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・可搬型の重大事故等対処設備について本ページ後段に主要な設備を示すため、可搬型の重大事故等対処設備により計測できる設計とする左記構文を記載している（伊方と同様）。</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・泊は、後段の女川記載表現（6.4.2の(2)以降）の反映により、パラメータそのものではなくパラメータを計測する設備とした。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・大飯はアンユラス水素濃度について53条で整理しているのに対し、泊は計装設備として58条においても基準適合性を整理する（大飯の記載内容が無いことについて伊方と同様）。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号	泊発電所3号炉	相違理由
<p style="text-align: center;">比較のため58-6,7より再掲</p> <p>重大事故等対処設備は非常用母線に接続され、代替電源である空冷式非常用発電装置、蓄電池（安全防護系用）及び電源車から給電可能な設計とする。また、全交流動力電源喪失時においても、空冷式非常用発電装置からの給電までは十分な容量を有した蓄電池（安全防護系用）から給電可能な設計とする。全交流動力電源が喪失した場合において、計測設備へ交流電源を給電するため、空冷式非常用発電装置、燃料油貯蔵タンク、重油タンク及びタンクローリーを使用する。空冷式非常用発電装置は、計測設備へ交流電源を給電できる設計とする。また、常設直流電源系統が喪失した場合においても、直流電源を給電するため、蓄電池（安全防護系用）、電源車及び可搬式整流器を使用する。蓄電池（安全防護系用）又は電源車及び可搬式整流器は、計測設備へ直流電源を給電できる設計とする。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空冷式非常用発電装置（2.14 電源設備【57条】） ・燃料油貯蔵タンク（2.14 電源設備【57条】） ・重油タンク（2.14 電源設備【57条】） ・タンクローリー（2.14 電源設備【57条】） ・蓄電池（安全防護系用）（2.14 電源設備【57条】） ・電源車（2.14 電源設備【57条】） ・可搬式整流器（2.14 電源設備【57条】） <p>空冷式非常用発電装置、燃料油貯蔵タンク、タンクローリー、</p>	<p>(2) 計器電源喪失時に使用する設備</p> <p>非常用交流電源設備又は非常用直流電源設備の喪失等により計器電源が喪失した場合において、計装設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄電池式直流電源設備、常設代替直流電源設備又は可搬型代替直流電源設備を使用する。</p> <p>【伊方3号炉1.14まとめ資料より転載】</p> <p>d. 代替電源（直流）による給電対応手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合において、交流動力電源又は代替電源（交流）による非常用直流母線への給電が復旧する見込みがない場合及び蓄電池（非常用）からの給電ができない場合、代替電源（直流）により非常用直流母線へ給電する手段がある。</p> <p>代替電源（直流）による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池（重大事故等対処用） ・可搬型直流電源装置（75kVA電源車及び可搬型整流器による構成） <p>1.14.2.4 代替電源（直流）による給電手順等</p> <p>(1) 蓄電池（重大事故等対処用）による代替電源（直流）からの給電</p> <p>蓄電池（非常用）は、全交流動力電源喪失時において、事象発生後、2時間以内に中央制御室に隣接する計装盤室において簡易な操作で不要な負荷を切離すことにより8時間、その後、事象発生から8時間以内に不要な負荷を切離し、蓄電池（重大事故等対処用）へ切替えることで24時間にわたって給電を確保する。</p> <p>(2) 可搬型直流電源装置による代替電源（直流）からの給電</p> <p>全交流動力電源喪失時に、蓄電池（重大事故等対処用）からの給電にて母線電圧が低下する前（事象発生後約24時間）に、可搬型直流電源装置による代替電源（直流）からの給電を行う。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設代替交流電源設備（10.2 代替電源設備） ・可搬型代替交流電源設備（10.2 代替電源設備） ・所内常設蓄電池式直流電源設備（10.2 代替電源設備） ・常設代替直流電源設備（10.2 代替電源設備） ・可搬型代替直流電源設備（10.2 代替電源設備） ・代替所内電気設備（10.2 代替電源設備） <p>常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄</p>	<p>(2) 計器電源喪失時に使用する設備</p> <p>非常用交流電源設備又は非常用直流電源設備の喪失等により計器電源が喪失した場合において、計装設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄電池式直流電源設備又は可搬型代替直流電源設備を使用する。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設代替交流電源設備（10.2 代替電源設備） ・可搬型代替交流電源設備（10.2 代替電源設備） ・所内常設蓄電池式直流電源設備（10.2 代替電源設備） ・可搬型代替直流電源設備（10.2 代替電源設備） ・代替所内電気設備（10.2 代替電源設備） <p>常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄</p>	<p>【大阪】 記載方針等の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川では所内常設蓄電池式直流電源設備による給電ができない場合の手段として常設代替直流電源設備による給電を整備しており、これら電源による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能。 ・泊では所内常設蓄電池式直流電源設備（蓄電池（非常用）と後備蓄電池）による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能であり、後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合は、可搬型代替直流電源設備（可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器）による給電により対応する。（伊方と同様）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号	泊発電所3号炉	相違理由
<p>蓄電池（安全防護系用）、電源車及び可搬式整流器については、「2.14 電源設備【57条】」に記載する。</p> <p>全交流動力電源及び常設直流電源系統が喪失した場合においても可搬型格納容器水素ガス濃度は、電源を空冷式非常用発電装置から給電できる設計とする。</p> <p>直流電源が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータを計測する計器については、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、乾電池を電源とした可搬型計測器により計測できる設計とする。計測できるパラメータ最大値等を表2.15-4に示す。</p> <p>可搬型計測器による測定においては、測定対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し測定又は監視できる設計とする。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し測定又は監視できる設計とする。</p>	<p>電式直流電源設備、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備及び代替所内電気設備については、「10.2 代替電源設備」に記載する。</p> <p>また、代替電源設備が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備については、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、乾電池等を電源とした可搬型計測器により計測できる設計とする。</p> <p>なお、可搬型計測器による計測においては、計測対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視するものとする。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視するものとする。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 	<p>電式直流電源設備、可搬型代替直流電源設備及び代替所内電気設備については、「10.2 代替電源設備」に記載する。</p> <p>また、代替電源設備が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備については、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、乾電池を電源とした可搬型計測器により計測できる設計とする。</p> <p>なお、可搬型計測器による計測においては、計測対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視するものとする。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 	<p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の可搬型計測器の電源は、乾電池のほか AC アダプタからも給電が可能であるのに対し、泊は乾電池のみである。万一、乾電池の電源が無くなったとしても、乾電池の予備を配備しており、すぐに交換可能である（大阪と同様）。 <p>【大阪】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、女川実績の反映により、前段（6.4.1 概要）で記載している。 <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、女川実績の反映により、主要な設備として可搬型計測器を記載している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータが計測又は監視及び記録ができる設計とする。</p> <p>重大事故等の対応に必要なパラメータは、原則、電磁的に記録、保存し、電源喪失により保存した記録が失われなるとともに帳票が出力できる設計とする。また、記録は必要な容量を保存できる設計とする。重大事故等の対応に必要な現場のパラメータについても、記録できる設計とする。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全パラメータ表示システム（SPDS） SPDS表示装置 可搬型温度計測装置 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">比較のため58-4,5へ再掲</p> <p>重大事故等対処設備は非常用母線に接続され、代替電源である空冷式非常用発電装置、蓄電池（安全防護系用）及び電源車から給電可能な設計とする。また、全交流動力電源喪失時においても、空冷式非常用発電装置からの給電までは十分な容量を有した蓄電池（安全防護系用）から給電可能な設計とする。全交流動力電源が喪失した場合において、計測設備へ交流電源を給電するため、空冷式非常用発電装置、燃料油貯蔵タンク、重油タンク及びタンクローリーを使用する。空冷式非常用発電装置は、計測設備へ交流電源を給電できる設計とする。また、常設直流電源系統が喪失した場合においても、直流電源を給電するため、蓄電池（安全防護系用）、電源車及び可搬式整流器を使用する。蓄電池（安全防護系用）又は電源車及び可搬式整流器は、計測設備へ直流電源を給電できる設計とする。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空冷式非常用発電装置（2.14 電源設備【57条】） 燃料油貯蔵タンク（2.14 電源設備【57条】） 重油タンク（2.14 電源設備【57条】） タンクローリー（2.14 電源設備【57条】） 蓄電池（安全防護系用）（2.14 電源設備【57条】） 電源車（2.14 電源設備【57条】） 可搬式整流器（2.14 電源設備【57条】） <p>空冷式非常用発電装置、燃料油貯蔵タンク、タンクローリー、蓄電池（安全防護系用）、電源車及び可搬式整流器については、「2.14 電源設備【57条】」に記載する。</p>	<p>(3)パラメータ記録時に使用する設備</p> <p>原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは計測又は監視及び記録ができる設計とする。</p> <p>重大事故等の対応に必要なパラメータは、電磁的に記録、保存し、電源喪失により保存した記録が失われなるとともに、帳票が出力できる設計とする。</p> <p>また、記録は必要な容量を保存できる設計とする。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全パラメータ表示システム（SPDS）（データ収集装置、SPDS伝送装置及びSPDS表示装置） 	<p>(3)パラメータ記録時に使用する設備</p> <p>原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは計測又は監視及び記録ができる設計とする。</p> <p>重大事故等の対応に必要なパラメータは、電磁的に記録、保存し、電源喪失により保存した記録が失われなるとともに、帳票が出力できる設計とする。</p> <p>また、記録は必要な容量を保存できる設計とする。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> データ伝送設備（発電所内）（データ収集計算機及びデータ表示端末） 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度） 	<p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・泊は、女川と同様に現場で読み取った値を紙に記録するもの（可搬型計測器、現場指示計）については、設備ではなく手順（技術的能力1.15）として整理している。一方、大飯は、紙に記録するものを考慮し、「原則」を記載している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【大飯】設備名称の相違 【女川】設備の相違（相違理由④） 【女川】設備の相違（相違理由⑤）</p>

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>全交流動力電源及び常設直流電源系統が喪失した場合においても可搬型格納容器水素ガス濃度は、電源を空冷式非常用発電装置から給電できる設計とする。</p>			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.15.1.1 多様性、位置的分散</p> <p>基本方針については、「1.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等について」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち重要代替パラメータ（当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器を除く。）による推定は、重要な監視パラメータと異なる物理量（水位、注水量等）又は測定原理とすることで、重要な監視パラメータに対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。重要代替パラメータは重要な監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>重要な監視パラメータの計測、重要代替パラメータの他チャンネルの計測及び重要代替パラメータの計測における電源は、設計基準事故対処設備としての電源に対して多様性を持った代替電源（空冷式非常用発電装置、蓄電池（安全防護系用）及び電源車）から給電できる設計とする。電源設備の多様性、位置的分散については、「2.14 電源設備【57条】」にて記載する。</p>	<p>6.4.2.1 多様性、位置的分散</p> <p>基本方針については、「1.1.7.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要代替監視パラメータを計測する設備は、重要監視パラメータを計測する設備と異なる物理量の計測又は測定原理とすることで、重要監視パラメータを計測する設備に対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。</p> <p>重要代替監視パラメータは重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>補助パラメータを計測する設備は、代替する機能を有する設計基準事故対処設備と可能な限り多様性及び独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。なお、補助パラメータを計測する設備のうち、想定される重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する重大事故等対処設備は、「1.1.7 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>重要監視パラメータを計測する設備及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備の電源は、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、非常用交流電源設備に対して多様性を有する常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p> <p>電源設備の多様性、位置的分散については「10.2 代替電源設備」にて記載する。</p>	<p>6.4.2.1 多様性、位置的分散</p> <p>基本方針については、「1.1.10.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要代替監視パラメータを計測する設備は、重要監視パラメータを計測する設備と異なる物理量の計測又は測定原理とすることで、重要監視パラメータを計測する設備に対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。</p> <p>重要代替監視パラメータは重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>補助パラメータを計測する設備は、代替する機能を有する設計基準事故対処設備と可能な限り多様性及び独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。なお、補助パラメータを計測する設備のうち、想定される重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する重大事故等対処設備は、「1.1.10 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>重要監視パラメータを計測する設備及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備の電源は、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、非常用交流電源設備に対して多様性を有する常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p> <p>電源設備の多様性、位置的分散については「10.2 代替電源設備」にて記載する。</p>	<p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由①）（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.15.1.2 悪影響防止</p> <p>基本方針については、「1.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等について」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち、多重性を有するパラメータはチャンネル相互を物理的、電気的に分離し、チャンネル間の独立性を図るとともに、重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータ間においてもパラメータ相互を分離し、パラメータ間の独立性を図ることで、他の設備に悪影響を及ぼさないよう独立した設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）及びSPDS表示装置は、電源操作によって、通常の系統構成から重大事故等対処設備として系統構成をすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度、原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力及び格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA）並びに可搬型計測器は、通常時に接続先の系統と分離された状態であること及び重大事故等時は重大事故等対処設備として系統構成をすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>6.4.2.2 悪影響防止</p> <p>基本方針については、「1.1.7.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち、多重性を有するパラメータの計測装置は、チャンネル相互を物理的、電気的に分離し、チャンネル間の独立を図る設計とする。また、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においてもパラメータ相互をヒューズにより電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>【島根2号炉まとめ資料より転載】</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち、多重性を有するパラメータの計測装置並びに重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においては、パラメータ相互をヒューズ、アイソレータ等により電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）は、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、通常時に接続先の系統と分離された状態であること及び重大事故等時は重大事故等対処設備として系統構成をすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>6.4.2.2 悪影響防止</p> <p>基本方針については、「1.1.10.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち、多重性を有するパラメータの計測装置は、チャンネル相互を物理的、電気的に分離し、チャンネル間の独立を図る設計とする。また、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においてもパラメータ相互をヒューズ、アイソレータ等により電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータの計測装置は、電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>データ伝送設備（発電所内）は、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット、原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）、可搬型アンユラス水素濃度計測ユニット、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）及び可搬型計測器は、通常時に接続先の系統と分離された状態であること及び重大事故等時は重大事故等対処設備として系統構成をすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）（東二及び島根と同様）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由①） 【女川】記載表現の相違 ・上段の記載と合わせた。</p> <p>【大阪】記載表現及び設備名称の相違 【女川】設備構成の相違（相違理由④） 【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（相違理由①） 【大阪】設備名称の相違 【大阪】記載表現の相違 【女川】設備構成の相違（相違理由③）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.15.2 容量等 基本方針については、「1.3.2 容量等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備は、必要な計測範囲を有する計器により計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において原子炉施設の状態を推定できる設計とする。</p>	<p>6.4.2.3 容量等 基本方針については、「1.1.7.2 容量等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、設計基準対象施設の計測機能と兼用しており、設計基準事故時に使用する場合の計測範囲が、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できるため、設計基準対象施設と同仕様の設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力 ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 ・格納容器内雰囲気酸素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（D/W） ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（S/C） ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 ・高圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 ・残留熱除去系ポンプ出口圧力 ・低圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 ・格納容器内雰囲気酸素濃度 ・使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式） <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力（SA） ・原子炉水位（SA広帯域） ・原子炉水位（SA燃料域） ・高圧代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレーライン洗浄流量） ・残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷 	<p>6.4.2.3 容量等 基本方針については、「1.1.10.2 容量等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、設計基準対象施設の計測機能と兼用しており、設計基準事故時に使用する場合の計測範囲が、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できるため、設計基準対象施設と同仕様の設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域－高温側） ・1次冷却材温度（広域－低温側） ・1次冷却材圧力（広域） ・加圧器水位 ・原子炉容器水位 ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・格納容器内温度 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器再循環サンプル水位（広域） ・格納容器再循環サンプル水位（狭域） ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ） ・出力領域中性子束 ・中間領域中性子束 ・中性子源領域中性子束 ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・補助給水ピット水位 ・燃料取替水ピット水位 ・ほう酸タンク水位 <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量 ・B－格納容器スプレー冷却器出口積算流量（AM用） ・格納容器圧力（AM用） ・格納容器水位 ・原子炉下部キャピティ水位 ・原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・格納容器水素イグナイト温度 ・使用済燃料ピット水位（AM用） 	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>却ライン洗浄流量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 ・代替循環冷却ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレイ流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 ・ドライウエル温度 ・圧力抑制室内空気温度 ・サブプレッションプール水温度 ・原子炉格納容器下部温度 ・ドライウエル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・原子炉格納容器下部水位 ・ドライウエル水位 ・格納容器内水素濃度 (D/W) ・格納容器内水素濃度 (S/C) ・フィルタ装置水位 (広帯域) ・フィルタ装置入口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置出口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置水温度 ・フィルタ装置出口放射線モニタ ・フィルタ装置出口水素濃度 ・耐圧強化ベント系放射線モニタ ・復水貯蔵タンク水位 ・高圧代替注水系ポンプ出口圧力 ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 ・代替循環冷却ポンプ出口圧力 ・復水移送ポンプ出口圧力 ・原子炉建屋内水素濃度 ・静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 ・使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ・使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量, 低線量) ・使用済燃料プール監視カメラ <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断ができ、系統の目的に応じて必要となる計測範囲を有する設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)は、想定される重大事故等時に発電所内の通信連絡をする必要のある場所に必要なたデータ量を伝送することができる設計とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料ビット温度 (AM用) ・使用済燃料ビット監視カメラ <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断ができ、系統の目的に応じて必要となる計測範囲を有する設計とする。</p> <p>データ伝送設備(発電所内)は、想定される重大事故等時に発電所内の通信連絡をする必要のある場所に必要なたデータ量を伝送することができる設計とする。</p>	<p>【大飯】設備の相違 (相違理由①)</p> <p>【女川】設備の相違 (相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>可搬型の重大事故等対処設備は、設計基準を超える状態において原子炉施設の状態を推定するための計測範囲及び、十分に余裕のある個数を有する設計とする。</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度は、3号炉及び4号炉それぞれで1個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで1個、機能要求の無い時期に保守点検可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として3号炉及び4号炉それぞれで1個の合計4個を分散して保管する設計とする。</p> <p>可搬型の原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力は、3号炉及び4号炉それぞれで1個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで1個、機能要求の無い時期に保守点検可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として3号炉及び4号炉それぞれで1個の合計4個を分散して保管する設計とする。</p>	<p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型の格納容器水素濃度及びアンユラス水素濃度(AM)の計測装置は、1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個を保管する。</p> <p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型の格納容器水素濃度及びアンユラス水素濃度(AM)の計測装置は、1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個を保管する。</p> <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型の原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の計測装置は、1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個を保管する。</p>	<p>可搬型の重大事故等対処設備は、設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲及び、十分に余裕のある個数を有する設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p> <p>可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)は1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p>	<p>【女川】記載方針の相違(大阪実績の反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。 <p>【大阪】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している(伊方と同様)。 <p>【大阪】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現の反映により「含めて」とした(後段の可搬型計測器の表現引用)。 <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪は複数号炉の審査であるものの、1ユニット当たりの保有数は同じである。 <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪はアンユラス水素濃度について53条で整理しているのに対し、泊は計装設備として58条においても基準適合性を整理する(伊方と同様)。 <p>【伊方】設備名称の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現の反映により「含めて」とした(後段の可搬型計測器の表現引用)。 分散して保管していることを明記した。 <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。 <p>【大阪】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している(伊方と同様)。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大阪3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピット水位は、重大事故等時により変動する可能性のある使用済燃料ピット上部から底部近傍までの範囲にわたり測定できる設計とする。保有数は、3号炉及び4号炉それぞれで1セット2個、保守点検内容は目視点検等であり、保守点検中でも使用可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個（3号及び4号炉共用）の合計5個を保管する設計とする。</p>	<p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>使用済燃料ピット広域水位(AM)の計測装置は、重大事故等時により変動する可能性のある使用済燃料ピット上部から底部近傍までの範囲にわたり測定できる設計とする。保有数は1セット2個に、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計3個とする。</p>	<p>使用済燃料ピット水位(可搬型)は1セット2個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計3個を分散して保管する設計とする。</p>	<p>【大阪】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現の反映により「含めて」とした(後段の可搬型計測器の表現引用)。 <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪は複数号炉の審査であるものの、1ユニット当たりの保有数は同じである
<p>【比較のため大阪3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタは、重大事故等時により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計とし、複数の設置場所での線量率の相関(減衰率)関係の評価及び各設置場所間での関係性を把握し、測定結果の傾向を確認することで、使用済燃料ピット区域の空間線量率を推定できる設計とする。可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタは3号炉及び4号炉それぞれで1セット2個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで1セット2個、保守点検内容は目視点検等であり、保守点検中でも使用可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個（3号及び4号炉共用）の合計5個を保管する設計とする。</p>	<p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピットエリアモニタは、重大事故等時により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計とし、取り付けを想定する複数の場所の線量率と使用済燃料ピット区域の空間線量率の相関(減衰率)をあらかじめ評価しておくことで、使用済燃料ピット区域の空間線量率を推定できる設計とする。可搬式使用済燃料ピットエリアモニタは1セット2個使用する。保有数は1セット2個に、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計3個とする。</p>	<p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p>	<p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 54条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では他の可搬型の計測設備と記載表現を統一するため、「重大事故等時により～設計とする。」は記載していない(54条ではその旨記載)。 <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。 <p>【大阪】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している(伊方と同様)。 <p>【大阪】記載表現の相違(女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現の反映により「含めて」とした(後段の可搬型計測器の表現引用)。 <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪は複数号炉の審査であるものの、1ユニット当たりの保有数は同じである。 <p>【大阪】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 分散して保管していることを明記した。
<p>【比較のため大阪3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタは、重大事故等時により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計とし、複数の設置場所での線量率の相関(減衰率)関係の評価及び各設置場所間での関係性を把握し、測定結果の傾向を確認することで、使用済燃料ピット区域の空間線量率を推定できる設計とする。可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタは3号炉及び4号炉それぞれで1セット2個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで1セット2個、保守点検内容は目視点検等であり、保守点検中でも使用可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個（3号及び4号炉共用）の合計5個を保管する設計とする。</p>	<p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピットエリアモニタは、重大事故等時により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計とし、取り付けを想定する複数の場所の線量率と使用済燃料ピット区域の空間線量率の相関(減衰率)をあらかじめ評価しておくことで、使用済燃料ピット区域の空間線量率を推定できる設計とする。可搬式使用済燃料ピットエリアモニタは1セット2個使用する。保有数は1セット2個に、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計3個とする。</p>	<p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p>	<p>【大阪】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 54条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では他の可搬型の計測設備と記載表現を統一するため、「重大事故等時により～設計とする。」は記載していない(54条ではその旨記載)。 <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、1個で必要な測定範囲を測定できる可搬型エリアモニタを選定しているため、1セットは1個である(大阪はレンジの異なる2個で必要な測定範囲を測定する)。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は、使用済燃料ピット監視カメラの耐環境性向上用の空気を供給し、3号炉及び4号炉それぞれで1セット1個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで1セット1個、保守点検内容は目視点検等であり、保守点検中でも使用可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個（3号及び4号炉共用）の合計3個を保管する設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）計測用として3号炉及び4号</p>	<p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備は、使用済燃料ピット監視カメラの機能維持に必要な容量を有する設計とし、1セット1個使用する。保有数は1セット1個に、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）の計測用として26個（測定時</p>	<p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）の計測用として1セット、38</p>	<p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。 <p>【大飯】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している（伊方と同様）。 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現の反映により「含めて」とした（後段の可搬型計測器の表現引用）。 <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、1個に必要な測定範囲を測定できること、大飯は複数号炉であることから、合計個数が異なる。 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 分散して保管していることを明記した。 <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 54条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では他の可搬型の計測設備と記載表現を統一するため、「使用済燃料ピット監視カメラへ供給し、」は記載していない（54条ではその旨記載）。 <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。 <p>【大飯】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している（伊方と同様）。 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現の反映により「含めて」とした（後段の可搬型計測器の表現引用）。 <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、ツインプラントであるため、台数が異なる。 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 分散して保管していることを明記した。 <p>【大飯】記載方針の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>炉それぞれで40個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで40個、機能要求のない時期に保守点検可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として40個（3号及び4号炉共用）の合計120個を分散して保管する設計とする。</p> <p>また、格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA）計測用として、3号炉及び4号炉それぞれで3個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで3個、機能要求の無い時期に保守点検可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として3号炉及び4号炉それぞれで1個の合計8個を分散して保管する設計とする。</p> <p>詳細仕様については、表2.15-1,2に示す。</p>	<p>の故障を想定した予備1個含む）使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として26個を含めて合計52個を分散して保管する。</p> <p>【女川2号炉58条本文添付資料より転載】</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）の計測用として1セット26個（測定時の故障を想定した予備1個含む）使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として26個を含めて合計52個を分散して保管する設計とする。</p> <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>格納容器再循環ユニット入口温度及び格納容器再循環ユニット出口温度の計測装置である可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口／出口用）は、1セット4個（測定時の故障を想定した1個含む）使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として4個を加えた合計8個を保管する。</p>	<p>個（測定時の故障を想定した予備1個含む）使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として38個を含めて合計76個を分散して保管する。</p> <p>また、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）は、1セット3個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計4個を分散して保管する。</p> <p>設備仕様については、第6.4.1表及び第6.4.2表に示す。</p>	<p>・泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>・他の可搬型の計測設備の記載と整合させた。なお、女川も58条添付資料では「1セット」の記載あり。</p> <p>【大飯】【女川】設備構成の相違</p> <p>・可搬型計測器で計測するパラメータ数の相違により保有数が異なる。</p> <p>【大飯】運用の相違</p> <p>・泊は、女川と同様に保守点検による待機除外を考慮する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違</p> <p>・可搬型計測器で計測するパラメータ数の相違により保有数が異なる。</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <p>・泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】運用の相違</p> <p>・泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している（伊方と同様）。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>・女川の記載表現の反映により「含めて」とした（前段の可搬型計測器の表現引用）。</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <p>・大飯は複数号炉の審査であるものの、1ユニット当たりの保有数は同じである。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.15.3 環境条件等 基本方針については、「1.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータは、重大事故等時の原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度（広域） ・ 1次冷却材低温側温度（広域） ・ 1次冷却材圧力 ・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位 ・ 格納容器内温度 ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域） ・ 原子炉格納容器水位 ・ 原子炉下部キャビティ水位 <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ） ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） <p>なお、出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束については、重大事故等時初期における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータは、重大事故等時における原子炉周辺建屋内の環境条件を考慮した設計とする。インターフェイスシステムLOCA時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量 	<p>6.4.2.4 環境条件等 基本方針については、「1.1.7.3 環境条件等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉格納容器内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉圧力容器温度 ・ ドライウェル温度 ・ 圧力抑制室内空気温度 ・ サプレッションプール水温度 ・ 原子炉格納容器下部温度 ・ 原子炉格納容器下部水位 ・ ドライウェル水位 ・ 格納容器内水素濃度（D/W） ・ 格納容器内水素濃度（S/C） ・ 起動領域モニタ ・ 平均出力領域モニタ <p>なお、起動領域モニタ及び平均出力領域モニタについては、想定される重大事故等時初期における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉建屋原子炉棟内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉圧力 ・ 原子炉圧力（SA） ・ 原子炉水位（広帯域） 	<p>6.4.2.4 環境条件等 基本方針については、「1.1.10.3 環境条件等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉格納容器内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 1次冷却材圧力（広域） ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 ・ 格納容器内温度 ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域） ・ 格納容器水位 ・ 原子炉下部キャビティ水位 ・ 原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・ 格納容器水素イグナイタ温度 ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ） ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） <p>なお、出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束については、想定される重大事故等時初期における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、周辺補機棟内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用） 	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】パラメータ名称の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（相違理由②）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】【女川】建屋名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪の原子炉周辺建屋は、泊の周辺補機棟に相当する。 ・ 女川の原子炉建屋原子炉棟内は、泊の周辺補機棟に相当する。 <p>【大阪】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊の ISLOCA 時に使用する計器は、原子炉補助建屋内に設置しており、後段に記載している。 <p>【大阪】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計器設置箇所の相違による。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量 ・主蒸気圧力 <p style="margin-top: 20px;">常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータは、重大事故等時における原子炉周辺建屋内の環境条件を考慮した設計とする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉水位（燃料域） ・原子炉水位（SA広帯域） ・原子炉水位（SA燃料域） ・高圧代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレーライン洗浄流量） ・残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量） ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレー流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 ・ドライウェル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・格納容器内雰囲気気水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（D/W） ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（S/C） ・フィルタ装置水位（広帯域） ・フィルタ装置出口圧力（広帯域） ・フィルタ装置水温度 ・フィルタ装置出口水素濃度 ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 ・高圧代替注水系ポンプ出口圧力 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 ・高圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 ・残留熱除去系ポンプ出口圧力 ・低圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 ・復水移送ポンプ出口圧力 ・原子炉建屋内水素濃度 ・静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 ・格納容器内雰囲気酸素濃度 ・使用済燃料プール水位/温度（ヒートサーモ式） ・使用済燃料プール水位/温度（ガイドバルブ式） ・使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量，低線量） ・使用済燃料プール監視カメラ ・高圧窒素ガス供給系ADS入口圧力 <p style="margin-top: 20px;">重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉建屋付属棟内に設置し、想定される重大事</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 	<p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>・計器設置箇所の相違による。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量 ・恒設代替低圧注水積算流量 ・格納容器スプレイ積算流量 ・格納容器圧力（広域） ・AM用格納容器圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・ほう酸タンク水位 ・燃料取替用水ピット水位 ・復水ピット水位 	<p>故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 ・代替循環冷却ポンプ出口流量 ・フィルタ装置入口圧力（広帯域） ・フィルタ装置出口放射線モニタ ・耐圧強化ベント系放射線モニタ ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 ・代替循環冷却ポンプ出口圧力 ・代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力 <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、屋外（CST連絡トレンチ/バルブ室）に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、制御建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6-2F-1母線電圧 ・6-2F-2母線電圧 ・6-2C母線電圧 ・6-2D母線電圧 ・6-2H母線電圧 ・4-2C母線電圧 ・4-2D母線電圧 ・125V直流主母線2A電圧 ・125V直流主母線2B電圧 ・125V直流主母線2A-1電圧 ・125V直流主母線2B-1電圧 ・250V直流主母線電圧 ・HPCS125V直流主母線電圧 	<p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉補助建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。インターフェイスシステムLOCA時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉補助建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ほう酸タンク水位 ・6-A, B母線電圧 ・A, B-直流コントロールセンタ母線電圧 ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） 	<p>【大阪】記載箇所の相違 ・計器設置箇所の相違による。</p> <p>【大阪】記載箇所の相違 ・計器設置箇所の相違による。 【大阪】設備の相違（相違理由①）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】 使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット温度（AM用）は、重大事故等時における原子炉周辺建屋内の環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p style="text-align: center;">比較のため58-20へ再掲</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度、原子炉補機冷却水サージタンク、加圧ライン圧力及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（S A）並びに可搬型計測器は、原子炉周辺建屋、制御建屋内に保管及び設置するため、重大事故等時における原子炉周辺建屋及び制御建屋内の環境条件を考慮した設計とする。作業は計測場所でも可能な設計とする。</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】 可搬式使用済燃料ピット水位は、原子炉周辺建屋内に保管及び設置するため、重大事故等時における原子炉周辺建屋内の環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。操作は設置場所でも可能な設計とする。</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】 可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタは、制御建屋内に保管し、屋外に設置するため、重大事故等時における制御建屋内及び屋外の環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。操作は設置場所でも可能な設計とする。</p>	<p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】 使用済燃料ピット水位（AM）及び使用済燃料ピット温度（AM）の計測装置は、燃料取扱棟内に設置し、重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】 可搬型の格納容器水素濃度、アンユラス水素濃度（AM）及び原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の計測装置は、原子炉建屋又は原子炉補助建屋内に保管及び設置し、重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。操作は設置場所（計測場所）でも可能な設計とする。</p>	<p>・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</p> <p>使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット温度（AM用）は、燃料取扱棟内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットは、周辺補機棟内に保管及び設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットの操作は、想定される重大事故等時において、設置場所でも可能な設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）は、周辺補機棟内及び緊急時対策所待機所内に保管し、周辺補機棟内に設置するため、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所でも可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）は、燃料取扱棟内及び周辺補機棟内に保管し、燃料取扱棟内に設置するため、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピット水位（可搬型）の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所でも可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管し、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内又は屋外に設置するため、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの操作は、想定される重大事故等時において、設置場所でも可能な設計とする。</p>	<p>相違理由</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①） 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により、「想定される重大事故等時」を記載した。</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由③） 【大飯】設備名称の相違 【大飯】記載箇所の相違 【大飯】記載方針の相違 ・大飯はアンユラス水素濃度について53条で整理しているのに対し、泊は計装設備として58条においても基準適合性を整理する（伊方と同様）。 【大飯】保管場所の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載とした。 ・操作対象の明確化による。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①） 【女川】設備の相違（相違理由③） 【大飯】設備名称の相違 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】保管場所の相違 【大飯】記載表現の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される～」と記載とした。 ・操作対象の明確化による。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①） 【女川】設備の相違（相違理由③） 【大飯】設備名称の相違 【大飯】保管場所及び設置場所の相違 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載とした。 ・操作対象の明確化による。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【比較のため大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラは、重大事故等時における原子炉周辺建屋内の環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境を考慮して空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は、原子炉周辺建屋内に保管し、屋外に設置するため、重大事故等時における原子炉周辺建屋内及び屋外の環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。操作は設置場所で可能な設計とする。</p> <p>比較のため58-19から再掲</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度、原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）並びに可搬型計測器は、原子炉周辺建屋、制御建屋内に保管及び設置するため、重大事故等時における原子炉周辺建屋及び制御建屋内の環境条件を考慮した設計とする。作業は計測場所で行う設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）及びSPDS表示装置は、重大事故等時における中央制御室、原子炉周辺建屋、緊急時対策所のそれぞれの環境条件を考慮した設計とする。</p>	<p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備は、原子炉補助建屋内に設置し、重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備と使用済燃料ピット監視カメラの接続及び使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備の操作は現場で可能な設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）のうちデータ収集装置は、制御建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。データ収集装置は、想定される重大事故等時に操作を行う必要がない設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）のうちSPDS伝送装置は、緊急時対策建屋緊急時対策所内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。安全パラメータ表示システム（SPDS）のうちSPDS伝送装置は、想定される重大事故等時に操作を行う必要がない設計とする。</p>	<p>使用済燃料ピット監視カメラは、燃料取扱棟内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境を考慮して空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管し、原子炉補助建屋内に設置するため、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置と使用済燃料ピット監視カメラの接続及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で行う設計とする。</p> <p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管し、周辺補機棟内に設置するため、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で行う設計とする。</p> <p>データ伝送設備（発電所内）のうちデータ収集計算機は、原子炉補助建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。データ収集計算機は、想定される重大事故等時に操作を行う必要がない設計とする。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①） 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載とした。</p> <p>【女川】設備の相違 ・女川は、監視カメラと一体の空冷設備であるのに対し、泊は一体ではないことから、空冷装置の保管及び設置場所を記載している。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①） 【大飯】設備名称の相違 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】保管場所及び設置場所の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載した。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・操作対象の明確化による。（伊方と同様）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違 【大飯】設備名称の相違 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】保管場所及び設置場所の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載とした。 ・操作対象の明確化による。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【女川】設備構成の相違（相違理由④） 【女川】設備名称の相違 【大飯】設置場所の相違 【女川】建屋名称の相違</p> <p>【女川】設備構成の相違（相違理由④）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちSPDS表示装置は、緊急時対策建屋緊急時対策所内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちSPDS表示装置の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、制御建屋内及び緊急時対策建屋緊急時対策所内に保管し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。可搬型計測器の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で可能な設計とする。</p>	<p>データ伝送設備(発電所内)のうちデータ表示端末は、緊急時対策所指揮所内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。データ伝送設備(発電所内)のうちデータ表示端末の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。可搬型計測器の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で可能な設計とする。</p>	<p>【女川】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <p>【女川】建屋名称の相違</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>・大飯は、可搬型計測器について、他の可搬型の計測設備と一緒に前段で記載している。</p> <p>【女川】建屋名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>2.15.4 操作性及び試験・検査性について 基本方針については、「1.3.4 操作性及び試験・検査性について」に示す。</p> <p>(1) 操作性の確保</p>	<p>6.4.2.5 操作性の確保 基本方針については、「1.1.7.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設として使用する場合と同じ構成で使用できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力 ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・格納容器内雰囲気水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（D/W） ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（S/C） ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 ・残留熱除去系ポンプ出口圧力 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 ・格納容器内雰囲気酸素濃度 ・使用済燃料プール水位/温度（ガイドバルブ式） ・6-2C母線電圧 ・6-2D母線電圧 ・6-2H母線電圧 ・4-2C母線電圧 ・4-2D母線電圧 ・125V直流主母線2A電圧 ・125V直流主母線2B電圧 ・250V直流主母線電圧 ・HPCS125V直流主母線電圧 ・高圧窒素ガス供給系ADS入口圧力 <p>格納容器内雰囲気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度は、設計基準対象施設として使用する場合と同じ構成で、重大事故等対処設備として使用できる設計とする。格納容器内雰囲気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度を計測するためのサンプリング装置は中央制御室の操作スイッチにより操作が可能な設計とする。</p>	<p>6.4.2.5 操作性の確保 基本方針については、「1.1.10.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設として使用する場合と同じ構成で使用できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域—高温側） ・1次冷却材温度（広域—低温側） ・1次冷却材圧力（広域） ・加圧器水位 ・原子炉容器水位 ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・格納容器内温度 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器再循環サンプル水位（広域） ・格納容器再循環サンプル水位（狭域） ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ） ・出力領域中性子束 ・中間領域中性子束 ・中性子源領域中性子束 ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・燃料取替用水ピット水位 ・ほう酸タンク水位 ・補助給水ピット水位 ・6-A, B母線電圧 ・A, B—直流コントロールセンタ母線電圧 	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p style="text-align: right;">比較のため58-26へ再掲</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力 (SA) ・原子炉水位 (SA広帯域) ・原子炉水位 (SA燃料域) ・高压代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 ・代替循環冷却ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレイ流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 ・ドライウエル温度 ・圧力抑制室内空気温度 ・サプレッションプール水温度 ・原子炉格納容器下部温度 ・ドライウエル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・原子炉格納容器下部水位 ・ドライウエル水位 ・格納容器内水素濃度 (D/W) ・格納容器内水素濃度 (S/C) ・フィルタ装置水位 (広帯域) ・フィルタ装置入口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置出口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置水温度 ・フィルタ装置出口放射線モニタ ・フィルタ装置出口水素濃度 ・耐圧強化ベント系放射線モニタ ・復水貯蔵タンク水位 ・高压代替注水系ポンプ出口圧力 ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 ・代替循環冷却ポンプ出口圧力 ・復水移送ポンプ出口圧力 ・原子炉建屋内水素濃度 ・静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 ・使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ・使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量, 低線量) ・使用済燃料プール監視カメラ 	<p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・格納容器圧力 (AM用) ・格納容器水位 ・原子炉下部キャビティ水位 ・原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・格納容器水素イグナイタ温度 ・使用済燃料ピット水位 (AM用) ・使用済燃料ピット温度 (AM用) ・A-高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) 	<p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>可搬型格納容器水素ガス濃度の計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉52条まとめ資料より転載】</p> <p>格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプは現場の操作スイッチ、可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置は、中央制御室の制御盤での操作が可能な設計とし、可搬型格納容器水素ガス濃度計の指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉52条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度計、格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ及び可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置は、台車により運搬、移動ができる設計とするとともに、設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉52条まとめ資料抜粋より転載】</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度計、格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ、可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置、格納容器水素ガス試料湿分分離器及び格納容器水素ガス試料冷却器を使用した原子炉格納容器内の水素濃度の監視を行う系統</p>	<p>・6-2F-1母線電圧 ・6-2F-2母線電圧 ・125V直流主母線2A-1電圧 ・125V直流主母線2B-1電圧 ・代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力 フィルタ装置出口水素濃度を計測するためのサンプリング装置は、想定される重大事故等時に切り替えることなく使用できる設計とする。フィルタ装置出口水素濃度を計測するためのサンプリング装置は、中央制御室の操作スイッチ及び原子炉建屋付属棟の弁を遠隔で手動操作が可能な設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）は、想定される重大事故等時において、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する設計とする。安全パラメータ表示システム（SPDS）のうちデータ収集装置及びSPDS伝送装置は、常時伝送を行うため、通常操作を必要としない設計とする。安全パラメータ表示システム（SPDS）のうちSPDS表示装置は、付属の操作スイッチにより緊急時対策建屋緊急時対策所内で操作が可能な設計とする。</p> <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>格納容器水素濃度計測装置を使用した原子炉格納容器内の水素濃度の監視を行う系統は、設計基準対象施設と兼用せず重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切替えられる設計とする。</p>	<p>データ伝送設備（発電所内）は、想定される重大事故等時において、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する設計とする。データ伝送設備（発電所内）のうちデータ収集計算機は、常時伝送を行うため、通常操作を必要としない設計とする。データ伝送設備（発電所内）のうちデータ表示端末は、付属の操作スイッチにより緊急時対策所指揮所内で操作が可能な設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットに使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所で確実に接続できる設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、台車により運搬、移動ができる設計とするとともに、設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットを使用した原子炉格納容器内の水素濃度の監視を行う系統は、設計基準対象施設と兼用せず、想定される重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。また、</p>	<p>【女川】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <p>【女川】建屋名称の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違 ・女川の記載表現の反映（後段の可搬型計測器）により、接続箇所として「設置場所で」を記載した。</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・52条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では計装設備のみを記載し、ポンプ等に係る記載はしない。</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・52条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では計装設備のみを記載し、ポンプ等に係る記載はしない。</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違 ・52条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では計装設備のみを</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>は、重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。また、切替えに伴う接続作業は、簡便な接続方法による接続とし、確実に接続できる設計とする。</p>	<p>また、切替えに伴う配管の接続作業は、簡便な接続規格とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p>	<p>切替に伴う配管の接続は、簡便な接続規格による接続とし、確実に接続できる設計とする。</p>	<p>記載し、ポンプ等に係る記載はしない。 【大飯】記載表現の相違 ・伊方の記載表現の反映により「設計基準対象施設と兼用せず」を記載した（伊方と同様）。 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載とした。</p>
<p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型のアンユラス水素濃度(AM)計測装置に使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、現場で確実に接続できる設計とする。</p> <p>アンユラス水素濃度(AM)計測装置の指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。アンユラス水素濃度(AM)計測装置は、台車により運搬、移動ができる設計とするとともに、設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>アンユラス水素濃度(AM)計測装置を使用したアンユラス部の水素濃度の測定を行う系統は、設計基準対象施設と兼用せず重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切替えられる設計とする。</p> <p>また、切替えに伴う配管の接続作業は、簡便な接続規格とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p> <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型の原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p>	<p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型のアンユラス水素濃度(AM)計測装置に使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、現場で確実に接続できる設計とする。</p> <p>アンユラス水素濃度(AM)計測装置の指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。アンユラス水素濃度(AM)計測装置は、台車により運搬、移動ができる設計とするとともに、設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>アンユラス水素濃度(AM)計測装置を使用したアンユラス部の水素濃度の測定を行う系統は、設計基準対象施設と兼用せず重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切替えられる設計とする。</p> <p>また、切替えに伴う配管の接続作業は、簡便な接続規格とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p> <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型の原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の計測装置の接続はねじ込み式とし、接続規格を統一することにより、一般的に使用される工具を用いて現場で確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、弁操作等にて速やかに切替えられる設計とする。</p>	<p>可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットに使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所で確実に接続できる設計とする。</p> <p>可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットの指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットは、台車により運搬、移動ができる設計とするとともに、設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットを使用したアンユラス部の水素濃度の監視を行う系統は、設計基準対象施設と兼用せず、想定される重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。また、切替に伴う配管の接続は、簡便な接続規格による接続とし、確実に接続できる設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)の接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所で確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。</p>	<p>【大飯】設備の相違 ・大飯は常設のアンユラス水素濃度計であることから、接続操作が不要のため記載なし。 【伊方】設備名称の相違 【伊方】記載表現の相違 ・「6.4.2.5 操作性の確保」で示す他設備に係る記載と統一するため「設置場所」とした。 【伊方】設備名称の相違 【伊方】記載表現の相違 ・「6.4.2.5 操作性の確保」で示す他設備に係る記載と統一するため「監視」とした。 ・泊は、大飯の記載表現を反映し、「接続規格を統一することにより」とは記載していない。 【大飯】設備名称の相違 【大飯】記載表現の相違 ・「6.4.2.5 操作性の確保」で示す他設備に係る記載と統一するため「設置場所」とした。 【大飯】記載方針の相違 ・泊は、伊方の記載表現を反映し、原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)の接続について、通常時の系統からの切替に係る設計方針を記載している(伊方と同様)。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>可搬型の格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）の検出器と温度計本体の接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p> <p>【比較のため大阪3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピット水位の吊込装置（フロート、シンカーを含む。）、延長ワイヤ等、可搬式使用済燃料ピット区域周辺エアモニタ及び使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は、人力により運搬、移動ができる設計とする。</p> <p>可搬式使用済燃料ピット水位の吊込装置等の取り付けは、取付金具を用いて確実に取り付けできる設計とする。可搬式使用済燃料ピット水位の水位発信器及び延長ワイヤの接続は、確実に接続ができる設計とする。使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は、現場での操作が可能な設計とする。</p> <p>可搬式使用済燃料ピット区域周辺エアモニタの取付架台への取り付けは、複数の設置場所での線量率の相関（減衰率）関係の評価及び各設置場所間での関係性を把握している場所のうち設置場所としている箇所、取付金具を用いて確実に取り付けできる設計とする。可搬式使用済燃料ピット区域周辺エアモニタのケーブル接続はコネクタ接続とし、規格を統一することにより、ケーブルを確実に接続できる設計とする。</p>	<p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>格納容器再循環ユニット入口温度及び格納容器再循環ユニット出口温度の計測装置である可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口/出口用）は、検出器と温度計本体の接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、現場で確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切替えることなく使用できる設計とし、付属の操作スイッチにより、設置場所での操作が可能な設計とする。</p> <p>【比較のため58-23から再掲】</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。</p> <p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピットエアモニタの取付架台への取り付けは、取付箇所としている複数の場所の線量率と使用済燃料ピット区域の空間線量率の相関（減衰率）をあらかじめ評価しておくことで、その箇所において確実に取り付けできる設計とする。可搬式使用済燃料ピットエアモニタの計装ケーブル及び電源ケーブルの接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。可搬式使用済燃料ピットエアモニタは、付属の操作スイッチにより現場での操作が可能な設計とする。</p>	<p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）の検出器と温度計本体の接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所での操作が可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）、使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）の吊込装置（フロート、シンカーを含む）、ワイヤ等、使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、人力により運搬、移動ができる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）の吊込装置等の取り付けは、取付金具を用いて確実に取り付けできる設計とする。使用済燃料ピット水位（可搬型）の変換器及びワイヤの接続は、確実に接続できる設計とする。使用済燃料ピット水位（可搬型）の計装ケーブル接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、使用済燃料ピット監視カメラに確実に接続できるとともに、設置場所での操作が可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エアモニタは、複数の場所の線量率と使用済燃料ピット区域の空間線量率の相関（減衰率）をあらかじめ評価している場所のうち設置場所としている箇所、車輪止めによる固定等ができる設計とする。使用済燃料ピット可搬型エアモニタのケーブル接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、ケーブルを確実に接続できる設計とする。使用済燃料ピット可搬型エアモニタは、付属の操作スイッチにより設置場所での操作が可能な設計とする。</p>	<p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 「6.4.2.5 操作性の確保」で示す他設備に係る記載と統一するため「設置場所」とした。 <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、伊方の記載表現を反映し、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）の接続について、通常時の系統からの切替に係る設計方針を記載している（伊方と同様）。 <p>【大阪】記載方針の相違（相違理由①）</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料ピット水位（可搬型）には計装ケーブルの接続があること、空冷装置は監視カメラとの接続があることから、接続性について記載した。 <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊の使用済燃料ピット可搬型エアモニタは、タイヤ付きの台車に搭載しているため、大阪の送水車及び大容量ポンプ（放水砲用）と同様に車輪止めにより固定する。等には、運搬台車のタイヤロックが該当する。 <p>【大阪】記載方針等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> どこの線量率の相関を評価するのかわか

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>【大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>送水車及び大容量ポンプ（放水砲用）は、車両として移動可能な設計とするとともに、車輪止めを搭載し設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p>	<p>可搬型計測器は、設計基準対象施設とは兼用しないため、想定される重大事故等時に切り替えることなく使用できる設計とする。可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、ボルト・ネジ接続とし、接続規格を統一することにより、一般的に使用される工具を用いて確実に接続できる設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所で操作が可能な設計とする。</p> <p>【玄海3/4号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型計測器（原子炉压力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）計測用）の計装ケーブルの接続は、プラグ接続とし、現場で確実に接続できる設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所での操作が可能な設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。接続口は、3号炉及び4号炉とも同一規格の接続を行う設計とする。</p> <p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>格納容器水素濃度、アンユラス水素濃度（AM）、原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力、格納容器再循環ユニット入口温度及び格納容器再循環ユニット出口温度の計測装置並びに可搬型計測器は、屋内のアクセスルートを通行して設置場所まで移動できる設計とする。</p> <p>【島根2号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型計測器は、設計基準対象施設とは兼用しないため、想定される重大事故等時に切り替えることなく使用できる設計とする。可搬型計測器は、運転員等が携行して屋内のアクセスルートを通行できる設計とする。</p>	<p>可搬型計測器は、設計基準対象施設とは兼用しないため、想定される重大事故等時に切り替えることなく使用できる設計とする。可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、プラグ接続とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所で操作が可能な設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットは、台車により運搬、移動し、屋内のアクセスルートを通行できる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、人力により運搬、移動し、屋内のアクセスルートを通行できる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、人力により運搬、移動し、屋内及び屋外のアクセスルートを通行できる設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）及び可搬型計測器は、運転員等が携行して屋内のアクセスルートを通行できる設計とする。</p>	<p>り易くなるよう記載した。（伊方と同様）</p> <p>・「6.4.2.5 操作性の確保」で示す他設備の記載と整合を図り、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの現場での操作ついて記載した。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由⑦）（プラグ接続について玄海と同様）</p> <p>【女川】運用の相違</p> <p>・女川の可搬型の重大事故等対応設備である可搬型計測器は、すべて中央制御室で接続することとしており、屋内及び屋外のアクセスルートは不要であるため、女川はアクセスルートに係る記載なし。</p> <p>【伊方】設備名称の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>・女川を除くBWRは、アクセスルートについて記載しており、島根（BWR）の記載表現を反映し運搬方法を記載した（島根と同様）。</p> <p>【伊方】記載方針の相違</p> <p>・伊方は、使用済燃料ピット関連の可搬型設備について、54条にて記載している。</p> <p>【伊方】設備名称の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>・女川を除くBWRは、アクセスルートについて記載しており、島根（BWR）の記載表現を反映し運搬方法を記載した（島根と同様）。等には、災害対策要員が含まれる。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>6.4.3 主要設備及び仕様</p> <p>計装設備（重大事故等対処設備）の主要機器仕様並びに重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを第6.4-1表及び第6.4-2表に、代替パラメータによる主要パラメータの推定を第6.4-3表に示す。また、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータを第6.4-4表に示す。</p>	<p>6.4.3 主要設備及び仕様</p> <p>計装設備（重大事故等対処設備）の主要機器仕様並びに重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを第6.4.1表、第6.4.2表及び第6.4.3表に、代替パラメータによる主要パラメータの推定を第6.4.4表に示す。また、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータを第6.4.5表に示す。</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(2) 試験・検査</p> <p>重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータを計測する計器は、特性の確認が可能なように、模擬入力による校正、標準器による校正又は線源校正ができる設計とする。また、警報動作を有するパラメータについては、特性の確認が可能なように、模擬入力による設定値確認ができる設計とする。</p>	<p>6.4.4 試験検査</p> <p>基本方針については、「1.1.7.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による機能・性能の確認（特性の確認）及び校正が可能な設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）は、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による性能の確認が可能な設計とする。</p>	<p>6.4.4 試験検査</p> <p>基本方針については、「1.1.10.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による機能・性能の確認（特性の確認）及び校正が可能な設計とする。</p> <p>データ伝送設備（発電所内）は、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）及び可搬型計測器は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による性能の確認が可能な設計とする。</p>	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【女川】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、可搬型計測器以外に可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）を使用するため、試験検査について記載。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表 2.15-1 計装設備（常設）の設備仕様</p> <p>(1) 1次冷却材高温側温度（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 4 計 測 範 囲 0～400℃</p> <p>(2) 1次冷却材低温側温度（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 4 計 測 範 囲 0～400℃</p> <p>(3) 1次冷却材圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 0～20.6MPa[gage]</p> <p>(4) 加圧器水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 0～100%</p> <p>(5) 原子炉水位</p>	<p>第6.4-1表 計装設備（重大事故等対処設備）の主要機器仕様</p> <p>(1) 原子炉圧力容器温度 個 数 5 計測範囲 0～500℃</p> <p>(2) 原子炉圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計測範囲 0～10MPa[gage]</p> <p>(3) 原子炉圧力（SA） 個 数 2 計測範囲 0～11MPa[gage]</p> <p>(4) 原子炉水位（広帯域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計測範囲 -3,800mm～1,500mm^{※1}</p> <p>(5) 原子炉水位（燃料域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計測範囲 -3,800mm～1,300mm^{※2}</p> <p>(6) 原子炉水位（SA広帯域） 個 数 1 計測範囲 -3,800mm～1,500mm^{※1}</p> <p>(7) 原子炉水位（SA燃料域） 個 数 1 計測範囲 -3,800mm～1,300mm^{※2}</p> <p>(8) 高圧代替注水系ポンプ出口流量 個 数 1 計測範囲 0～120m³/h</p> <p>(9) 残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイ）</p>	<p>第6.4.1表 計装設備（重大事故等対処設備）（常設）の主要仕様</p> <p>(1) 1次冷却材温度（広域—高温側） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 3 計測範囲 0～400℃</p> <p>(2) 1次冷却材温度（広域—低温側） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 3 計測範囲 0～400℃</p> <p>(3) 1次冷却材圧力（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計測範囲 0～21.0MPa[gage]</p> <p>(4) 加圧器水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計測範囲 0～100%</p> <p>(5) 原子炉容器水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p>	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） 【女川】記載方針の相違 ・常設と可搬型で表を分けていることによる相違。 【大阪】【女川】既許可における記載の相違</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川実績の反映により、第6.4.1表は重大事故等対処設備を記載するとして表タイトルを見直したことによる（以降、同様の相違理由は、相違理由の記載を省略する）。 【大阪】設備構成の相違 ・大阪は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違。 【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大阪】設備構成の相違 ・大阪は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違。 【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】設備の相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし） （伊方と同様）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】設備名称の相違 【大阪】設備の相違 ・泊は設計基準事象対象設備及び重大事故等対処設備で兼用するのに対し、大阪は</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
個数 1 計測範囲 0~100%	ライン洗浄流量) 個数 1 計測範囲 0~220m ³ /h	個数 1 計測範囲 0~100%	重大事故等対処設備のみであるため。
(6) 高圧注入流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個数 2 計測範囲 0~400m ³ /h	(10) 残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量） 個数 1 計測範囲 0~220m ³ /h	(6) 高圧注入流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0~350m ³ /h	【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）
(7) 余熱除去流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個数 2 計測範囲 0~1,300m ³ /h	(11) 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 個数 1 計測範囲 0~100m ³ /h	(7) 低圧注入流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0~1,100m ³ /h	【大阪】設備の相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし） 【伊方と同様】 【大阪】設備名称の相違
(8) 恒設代替低圧注水積算流量 個数 1 計測範囲 0~160m ³ /h（積算：0~10,000m ³ ）	(12) 代替循環冷却ポンプ出口流量 個数 1 計測範囲 0~200m ³ /h	(8) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 個数 1 計測範囲 0~200m ³ /h（積算：0~10,000m ³ ）	【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）
(9) 格納容器スプレイ積算流量 個数 1 計測範囲 0~1,700m ³ /h（積算：0~10,000m ³ ）	(13) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 1 計測範囲 0~150m ³ /h	(9) B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 個数 1 計測範囲 0~1,300m ³ /h（積算：0~10,000m ³ ）	【大阪】設備の相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし） 【伊方と同様】 【大阪】設備名称の相違
(10) 格納容器内温度 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個数 2 計測範囲 0~220℃	(14) 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 1 計測範囲 0~1,500m ³ /h	(10) 格納容器内温度 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0~220℃	【大阪】設備の相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし） 【伊方と同様】 【大阪】設備名称の相違
(11) 格納容器圧力（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個数 2 計測範囲 -50~450kPa[gage]	(15) 残留熱除去系ポンプ出口流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 3 計測範囲 0~1,500m ³ /h	(11) 原子炉格納容器圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0~0.35MPa[gage]	【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）
	(16) 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 1 計測範囲 0~1,500m ³ /h		【大阪】設備の相違
	(17) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 個数 2 計測範囲 0~100m ³ /h		
	(18) 原子炉格納容器下部注水流量		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(12) AM用格納容器圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 1 計 測 範 囲 0～1.5MPa[gage]</p>	<p>個 数 1 計測範囲 0～110m³/h</p> <p>(19) ドライウェル温度 個 数 11 計測範囲 0～300℃</p> <p>(20) 圧力抑制室内空気温度 個 数 4 計測範囲 0～300℃</p> <p>(21) サプレッションプール水温度 個 数 16 計測範囲 0～200℃</p>	<p>(12) 格納容器圧力（AM用）</p> <p>個 数 2 計測範囲 0～1.0MPa[gage]</p>	<p>・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし） (伊方と同様)</p> <p>【大阪】設備名称の相違 【大阪】設備の相違</p> <p>・泊は重大事故等対処設備であるのに対し、大阪は設計基準対象設備及び重大事故等対処設備を兼用するため。</p> <p>【大阪】設備数の相違（高浜3/4と同様） 【大阪】設備の相違</p> <p>・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし） (伊方と同様)</p>
<p>(13) 格納容器再循環サンプ水位（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 0～100%</p>	<p>(22) 原子炉格納容器下部温度 個 数 12 計測範囲 0～700℃</p> <p>(23) ドライウェル圧力 個 数 1 計測範囲 0～1MPa[abs]</p>	<p>(13) 格納容器再循環サンプ水位（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計測範囲 0～100%</p>	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>
<p>(14) 格納容器再循環サンプ水位（狭域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 0～100%</p>	<p>(24) 圧力抑制室圧力 個 数 1 計測範囲 0～1MPa[abs]</p> <p>(25) 圧力抑制室水位 個 数 2 計測範囲 0～5m (O.P. -3900mm～1100mm) *3</p>	<p>(14) 格納容器再循環サンプ水位（狭域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計測範囲 0～100%</p>	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>
<p>(15) 原子炉格納容器水位 個 数 1 計 測 範 囲 ON-OFF</p>	<p>(26) 原子炉格納容器下部水位 個 数 12 計測範囲 0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m (O.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm) *3</p>	<p>(15) 格納容器水位 個 数 1 計測範囲 ON-OFF</p>	<p>【大阪】設備名称の相違</p>
<p>(16) 原子炉下部キャビティ水位 個 数 1 計 測 範 囲 ON-OFF</p>	<p>(27) ドライウェル水位 個 数 6 計測範囲 0.02m, 0.23m, 0.34m (O.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm) *3</p>	<p>(16) 原子炉下部キャビティ水位 個 数 1 計測範囲 ON-OFF</p>	<p>【大阪】記載方針の相違（相違理由②）</p>
	<p>(28) 格納容器内水素濃度（D/W） 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備</p>	<p>(17) 原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備</p> <p>個 数 5 計測範囲 0～800℃</p> <p>(18) 格納容器水素イグナイト温度監視装置 兼用する設備は以下のとおり。</p>	<p>【大阪】記載方針の相違（相違理由②）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(17) 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 兼用する設備は以下のとおり。 ・放射線管理設備</p> <p>・計装設備(重大事故等対処設備) 個 数 2 計 測 範 囲 $10^2 \sim 10^7 \mu\text{Sv/h}$</p> <p>(18) 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 兼用する設備は以下のとおり。 ・放射線管理設備</p> <p>・計装設備(重大事故等対処設備) 個 数 2 計 測 範 囲 $10^3 \sim 10^8 \text{mSv/h}$</p> <p>(19) 出力領域中性子束 兼用する設備は以下のとおり。 ・炉外核計装 ・計装設備(重大事故等対処設備) 個 数 4(上部と下部の中性子束平均) 計 測 範 囲 $0 \sim 120\%$</p> <p>(20) 中間領域中性子束 兼用する設備は以下のとおり。 ・炉外核計装 ・計装設備(重大事故等対処設備) 個 数 2 計 測 範 囲 $10^{-11} \sim 5 \times 10^{-3} \text{A}$</p> <p>(21) 中性子源領域中性子束</p>	<p>個 数 2 計測範囲 $0 \sim 100\text{vol}\%$</p> <p>(29) 格納容器内水素濃度 (S/C) 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 個 数 2 計測範囲 $0 \sim 100\text{vol}\%$</p> <p>(30) 格納容器内雰囲気気水素濃度 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラントプロセス計装 ・水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 個 数 4 計測範囲 $0 \sim 30\text{vol}\% / 0 \sim 100\text{vol}\%$</p> <p>(31) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/W) 第8.1-2表 放射線管理設備(重大事故等時)の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(32) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) 第8.1-2表 放射線管理設備(重大事故等時)の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(33) 起動領域モニタ 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉核計装 個 数 8 計測範囲 $10^{-1} \text{cps} \sim 10^6 \text{cps} (1 \times 10^3 \text{cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1} \sim 1 \times 10^9 \text{cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$ $0 \sim 40\%$又は$0 \sim 125\% (1 \times 10^8 \text{cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1} \sim 2 \times 10^{13} \text{cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$</p> <p>(34) 平均出力領域モニタ 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉核計装 個 数 6^{**} 計測範囲 $0 \sim 125\% (1.2 \times 10^{12} \text{cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1} \sim 2.8 \times 10^{14} \text{cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$</p> <p>(35) フィルタ装置水位(広帯域) 個 数 3 計測範囲 $0 \sim 3,650\text{mm}$</p> <p>(36) フィルタ装置入口圧力(広帯域)</p>	<p>・水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備</p> <p>個 数 13(予備5) 計測範囲 $0 \sim 800^\circ\text{C}$</p> <p>(19) 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 兼用する設備は以下のとおり。 ・放射線管理設備(通常運転時等) ・放射線管理設備(重大事故等時)</p> <p>個 数 2 計測範囲 $10^2 \sim 10^7 \mu\text{Sv/h}$</p> <p>(20) 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 兼用する設備は以下のとおり。 ・放射線管理設備(通常運転時等) ・放射線管理設備(重大事故等時)</p> <p>個 数 2 計測範囲 $10^3 \sim 10^8 \text{mSv/h}$</p> <p>(21) 出力領域中性子束 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉計装</p> <p>個 数 4(上部と下部の中性子束平均) 計測範囲 $0 \sim 120\% (3.3 \times 10^5 \sim 1.2 \times 10^{10} \text{cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$</p> <p>(22) 中間領域中性子束 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉計装</p> <p>個 数 2 計測範囲 $10^{-11} \sim 5 \times 10^{-3} \text{A} (1.3 \times 10^2 \sim 6.6 \times 10^{10} \text{cm}^{-2} \cdot \text{s}^{-1})$</p> <p>(23) 中性子源領域中性子束</p>	<p>【大飯】記載方針の相違 ・泊では、通常運転時と重大事故等時に使用する設備を分けて記載している。 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・泊では、通常運転時と重大事故等時に使用する設備を分けて記載している。 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載表現の相違 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・女川の記載表現を反映し(起動領域モニタ及び平均出力領域モニタの計測範囲)、計測範囲に対応する中性子束レベルを記載した。</p> <p>【大飯】記載表現の相違 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・女川の記載表現を反映し(起動領域モニタ及び平均出力領域モニタの計測範囲)、計測範囲に対応する中性子束レベルを記載した。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・炉外核計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 2 計測範囲 1~10⁶cps</p> <p>(22) 蒸気発生器水位(狭域) 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 8 計測範囲 0~100%</p> <p>(23) 蒸気発生器水位(広域) 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 4 計測範囲 0~100%</p> <p>(24) 蒸気発生器補助給水流量 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 4 計測範囲 0~210m³/h</p> <p>(25) 主蒸気圧力 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 8 計測範囲 0~9.0MPa[gage]</p> <p>(26) 原子炉補機冷却水サージタンク水位</p>	<p>個数 1 計測範囲 -0.1MPa~1MPa[gage]</p> <p>(37) フィルタ装置出口圧力(広帯域) 個数 1 計測範囲 -0.1MPa~1MPa[gage]</p> <p>(38) フィルタ装置水温度 個数 3 計測範囲 0~200℃</p> <p>(39) フィルタ装置出口放射線モニタ 第8.1-2表 放射線管理設備（重大事故等時）の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(40) フィルタ装置出口水素濃度 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 個数 2 計測範囲 0~30vol%/0~100vol%</p> <p>(41) 耐圧強化ベント系放射線モニタ 第8.1-2表 放射線管理設備（重大事故等時）の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(42) 残留熱除去系熱交換器入口温度 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0~300℃</p> <p>(43) 残留熱除去系熱交換器出口温度 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0~300℃</p> <p>(44) 原子炉補機冷却水系系統流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0~4,000m³/h</p> <p>(45) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 兼用する設備は以下のとおり。</p>	<p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉計装 <p>個数 2 計測範囲 1~10⁶cps (10⁻¹~10⁶cm⁻²・s⁻¹)</p> <p>(24) 蒸気発生器水位(狭域) 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 <p>個数 6 計測範囲 0~100%</p> <p>(25) 蒸気発生器水位(広域) 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 <p>個数 3 計測範囲 0~100%</p> <p>(26) 補助給水流量 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 <p>個数 3 計測範囲 0~130m³/h</p> <p>(27) 主蒸気ライン圧力 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 <p>個数 6 計測範囲 0~8.5MPa[gage]</p> <p>(28) 原子炉補機冷却水サージタンク水位</p>	<p>【大阪】記載表現の相違 【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大阪】記載方針の相違 ・女川の記載表現を反映し(起動領域モニタ及び平均出力領域モニタの計測範囲)、計測範囲に対応する中性子束レベルを記載した。</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大阪】設備構成の相違 ・大阪は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大阪】設備構成の相違 ・大阪は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大阪】設備構成の相違 ・大阪は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。(必要な範囲を計測できることに相違なし)</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大阪】設備構成の相違 ・大阪は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。(必要な範囲を計測できることに相違なし) (伊方と同様)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 2 計測範囲 0～100%</p> <p>(27) 燃料取替用水ビット水位 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 2 計測範囲 0～100%</p> <p>(28) ほう酸タンク水位 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 2 計測範囲 0～100%</p> <p>(29) 復水ビット水位 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 2 計測範囲 0～100%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉プラント・プロセス計装 <p>個数 2 計測範囲 0～1,500m³/h</p> <p>(46) 復水貯蔵タンク水位</p> <p>個数 1 計測範囲 0～3,200m³</p> <p>(47) 高圧代替注水系ポンプ出口圧力</p> <p>個数 1 計測範囲 0～15MPa[gage]</p> <p>(48) 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力</p> <p>個数 1 計測範囲 0～2MPa[gage]</p> <p>(49) 代替循環冷却ポンプ出口圧力</p> <p>個数 1 計測範囲 0～4MPa[gage]</p> <p>(50) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉プラント・プロセス計装 <p>個数 1 計測範囲 0～15MPa[gage]</p> <p>(51) 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉プラント・プロセス計装 <p>個数 1 計測範囲 0～12MPa[gage]</p> <p>(52) 残留熱除去系ポンプ出口圧力 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉プラント・プロセス計装 <p>個数 3 計測範囲 0～4MPa[gage]</p> <p>(53) 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉プラント・プロセス計装 <p>個数 1 計測範囲 0～5MPa[gage]</p> <p>(54) 復水移送ポンプ出口圧力</p> <p>個数 1</p>	<p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 <p>個数 2 計測範囲 0～100%</p> <p>(29) 燃料取替用水ビット水位 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 <p>個数 2 計測範囲 0～100%</p> <p>(30) ほう酸タンク水位 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 <p>個数 2 計測範囲 0～100%</p> <p>(31) 補助給水ビット水位 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プロセス計装 <p>個数 2 計測範囲 0～100%</p>	<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(30)安全パラメータ表示システム（SPDS）（3号炉及び4号炉共用） 兼用する設備は以下のとおり。 ・緊急時対策所 ・通信連絡設備</p>	<p>計測範囲 0～1.5MPa [gage]</p> <p>(55) 原子炉建屋内水素濃度 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 個数 7 計測範囲 0～10vol%</p> <p>(56) 静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 個数 8 計測範囲 0～500℃</p> <p>(57) 格納容器内雰囲気酸素濃度 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 ・水素爆発による原子炉格納容器の損傷を防止するための設備 個数 2 計測範囲 0～30vol%</p> <p>(58) 使用済燃料プール水位/温度（ヒートサーモ式） 第4.3-1表 使用済燃料プールの冷却等のための設備の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(59) 使用済燃料プール水位/温度（ガイドパルス式） 第4.3-1表 使用済燃料プールの冷却等のための設備の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(60) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量，低線量） 第8.1-2表 放射線管理設備（重大事故等時）の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(61) 使用済燃料プール監視カメラ 第4.3-1表 使用済燃料プールの冷却等のための設備の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(62) 安全パラメータ表示システム（SPDS） 第10.12-2表 通信連絡を行うために必要な設備（常設）の主要機器仕様に記載する。</p>	<p>(32) 使用済燃料ピット水位（AM用） 第4.2.1表 使用済燃料ピットの冷却等のための設備（常設）の主要仕様に記載する。</p> <p>(33) 使用済燃料ピット温度（AM用） 第4.2.1表 使用済燃料ピットの冷却等のための設備（常設）の主要仕様に記載する。</p> <p>(34) 使用済燃料ピット監視カメラ（使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む。） 第4.2.1表 使用済燃料ピットの冷却等のための設備の主要仕様に記載する。</p> <p>(35) データ伝送設備（発電所内） 第10.12.2表 通信連絡を行うために必要な設備（常設）の主要仕様に記載する。</p>	<p>【大阪】記載方針の相違 ・相違理由①</p> <p>【大阪】記載方針の相違 ・相違理由①</p> <p>【大阪】記載方針の相違 ・相違理由①</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） ・泊は、女川記載表現を反映し、データ伝送設備（発電所内）を構成する個別設備を記載せず、第10.12.2表に記載している。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>・計装設備（重大事故等対処設備） 個 数 一式</p> <p>(31) SPDS表示装置（3号炉及び4号炉共用） 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対策所 ・通信連絡設備 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個 数 一式 			<p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、女川の記載表現を反映し、データ伝送設備（発電所内）を構成する個別設備を記載せず、第10.12.2表に記載している。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>表 2.15-2 計装設備（可搬型）の設備仕様</p> <p>(1) 可搬型格納容器水素ガス濃度 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <table border="1" data-bbox="152 459 465 518"> <tr> <td>個数</td> <td>1（予備1）</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～20vol%</td> </tr> </table> <p>【比較のため大飯3/4号炉53条まとめ資料より転載】</p> <p>(4) アニュラス水素濃度計</p> <table border="1" data-bbox="152 778 465 837"> <tr> <td>個数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～20vol%</td> </tr> </table> <p>(2) 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力</p> <table border="1" data-bbox="152 1040 515 1099"> <tr> <td>個数</td> <td>1（予備1）</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～1.6MPa[gage]</td> </tr> </table> <p>(3) 可搬型温度計測装置</p>	個数	1（予備1）	計測範囲	0～20vol%	個数	2	計測範囲	0～20vol%	個数	1（予備1）	計測範囲	0～1.6MPa[gage]		<p>第6.4.2表 計装設備（重大事故等対処設備）（可搬型）の主要仕様</p> <p>(1) 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備</p> <table border="1" data-bbox="1308 459 1576 518"> <tr> <td>個数</td> <td>1（予備1）</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～20vo1%</td> </tr> </table> <p>(2) 可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備</p> <table border="1" data-bbox="1308 778 1576 837"> <tr> <td>個数</td> <td>1（予備1）</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～20vo1%</td> </tr> </table> <p>(3) 原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）</p> <table border="1" data-bbox="1308 1040 1626 1099"> <tr> <td>個数</td> <td>1（予備1）</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～1.0MPa[gage]</td> </tr> </table> <p>(4) 使用済燃料ピット水位（可搬型） 第4.2.2表 使用済燃料ピットの冷却等のための設備の主要仕様に記載する。</p> <p>(5) 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ 第4.2.2表 使用済燃料ピットの冷却等のための設備の主要仕様に記載する。</p> <p>(6) 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出</p>	個数	1（予備1）	計測範囲	0～20vo1%	個数	1（予備1）	計測範囲	0～20vo1%	個数	1（予備1）	計測範囲	0～1.0MPa[gage]	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） 【女川】記載方針の相違 ・常設と可搬型で表を分けていることによる相違。 【大飯】既設置許可における記載の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・大飯はアニュラス水素濃度について53条で整理しているのに対し、泊は計装設備として58条においても基準適合性を整理する（58条で整理することは伊方と同様であるが、伊方は泊の第6.4.2表に相当する表がない）。</p> <p>【大飯】設備の相違 ・大飯は、アニュラス水素濃度を常設設備で計測しており、個数も異なる。個数の考え方は、1セット1個に故障時及び保守点検による待機除外のバックアップ用として1個を加えた合計2個としており、伊方と同様である。</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】設備仕様の相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし） （伊方と同様）</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・相違理由①</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・相違理由①</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p>
個数	1（予備1）																										
計測範囲	0～20vol%																										
個数	2																										
計測範囲	0～20vol%																										
個数	1（予備1）																										
計測範囲	0～1.6MPa[gage]																										
個数	1（予備1）																										
計測範囲	0～20vo1%																										
個数	1（予備1）																										
計測範囲	0～20vo1%																										
個数	1（予備1）																										
計測範囲	0～1.0MPa[gage]																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>個数 3^{*1} (予備1)</p> <p>計測範囲 0~200℃</p> <p>※1 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA)用</p> <p>(4) 可搬型計測器</p> <p>個数 40 (3号炉及び4号炉共用の予備40)</p> <p>計測範囲 —^{*1}</p> <p>※1 計測範囲については、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表を用いて工学値に換算する。</p>	<p>(63) 可搬型計測器</p> <p>個数 26 (予備26)</p> <p>*1：基準点はドライヤスカート底部付近（原子炉压力容器零レベルより1,313cm上）</p> <p>*2：基準点は有効燃料棒頂部付近（原子炉压力容器零レベルより900cm上）</p> <p>*3：O.P.（女川原子力発電所工事用基準面）=T.P.（東京湾平均海面）-0.74m</p> <p>*4：局部出力領域モニタの検出器は124個であり、平均出力領域モニタの各チャンネルには、A系17個及びB系14個ずつの言号が入力される。</p>	<p>口温度)</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 最終ヒートシンクへ熱を輸送するための設備 原子炉格納容器内の冷却等のための設備 原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備 <p>個数 3 (予備1)</p> <p>計測範囲 0~200℃</p> <p>(7) 可搬型計測器</p> <p>個数 38 (予備38)</p> <p>計測範囲 —^{*1}</p> <p>※1 計測範囲については、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表を用いて工学値に換算する。</p>	<p>【大阪】記載方針の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、設備名称として記載。 <p>【大阪】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 設置許可変更申請ユニット数及び計測対象となる重要監視パラメータ数の相違に伴い保有数が異なる。 <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉				女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
区分	機能喪失の想定	対応手段	対応設備	設備の相違	影響する手順表	手順の分類		
監視機能の喪失	計器の故障	1. 監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	当該インバータの電圧チャンネル又は電圧ループの故障対策	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
			当該インバータの電圧チャンネル又は電圧ループの運用対策	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。			
	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。			
計器の計測範囲を超えた場合	1. 監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	可搬型計測器による計測のための手順	SA非適合1		
		監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	可搬型計測器による計測のための手順	SA非適合1		
計器監視機能の喪失	計器監視機能喪失	1. 監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	空冷式非食用発電機冷却器	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	空冷式非食用発電機冷却器による電源の復旧	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
			燃料油計測タンク冷却器	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	空冷式非食用発電機冷却器による電源の復旧	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
			重油タンク冷却器	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	空冷式非食用発電機冷却器による電源の復旧	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
			タンクローリー冷却器	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	空冷式非食用発電機冷却器による電源の復旧	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
計器監視機能喪失	計器監視機能喪失	1. 監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	可搬型メータ	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	可搬型計測器による計測のための手順	SA非適合1	
			監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	可搬型計測器による計測のための手順	SA非適合1	
			監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	可搬型計測器による計測のための手順	SA非適合1	
			監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	可搬型計測器による計測のための手順	SA非適合1	
計器監視機能喪失	計器監視機能喪失	1. 監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
			監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
			監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
			監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
計器監視機能喪失	計器監視機能喪失	1. 監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
			監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
			監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	
			監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	a	監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。	中心の正しい値を読み取り、かつ異常発生時の異常発生を抑制する。	

【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）
 ・左記の表は、技術的能力まとめ資料と同一の表を SA 設備まとめ資料としても流用していたものであるが、設置許可添付人には記載しない表のため、女川同様削除する。

※1：大飯発電所「重油取扱等対策」による計器監視機能喪失の発生を知らせるアラームに関する措置
 ※2：電圧チャンネル又は電圧ループの計器に付する
 ※3：計器に必要ない設備記載の発生した場合の分類は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて記載する。
 ※4：空冷式非食用発電機冷却器の運用に使用する。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて記載する。
 ※5：監視機能喪失の発生に際しては、監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて記載する。
 ※6：インバータや編組した可搬型メータを使用することにより電源（交流）を供給できるため、代替電源（交流）として非常である。
 ※7：空冷式非食用発電機冷却器の運用に使用する。監視機能喪失の発生を知らせるアラームを発生させる。手順は「1.14 電源の確保に関する手順等」にて記載する。
 ※8：重大事故対策により用いる設備の分類
 a：当該表に適合する重大事故等対策設備 b：当該表に適合する重大事故等対策設備 e：自主的対策として整備する重大事故等対策設備

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

Table 6.4.3: Comparison of important monitoring parameters for Unit 3/4 of Ohi Nuclear Power Plant. Columns include Item, Parameter Name, Design Standard, and Remarks. Rows cover items like emergency power supply, cooling water flow, and steam generator pressure.

(つづき)

Table 6.4.3 (continued): Comparison of important monitoring parameters for Unit 2 of Ohi Nuclear Power Plant. Columns include Item, Parameter Name, Design Standard, and Remarks. Rows cover items like emergency power supply, cooling water flow, and steam generator pressure.

Table 6.4.3: Comparison of important monitoring parameters for Unit 3 of Ohi Nuclear Power Plant. Columns include Item, Parameter Name, Design Standard, and Remarks. Rows cover items like emergency power supply, cooling water flow, and steam generator pressure.

相違理由
【大飯】設備の相違
・パラメータ個々の相違理由は第6.4.1表参照。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-4表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（3/5）

大飯発電所3/4号炉

Table with 7 columns: 分類, 重要な監視パラメータ, 設計基準, 計測範囲, 監視, 設計基準, 監視能力, 可搬型計測器設置

(つづき)

女川原子力発電所2号炉

Table with 7 columns: 分類, 重要な監視パラメータ, 設計基準, 計測範囲, 監視, 設計基準, 監視能力, 可搬型計測器設置

第6.4.3表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（3/6）

泊発電所3号炉

Table with 7 columns: 分類, 重要な監視パラメータ, 設計基準, 計測範囲, 監視, 設計基準, 監視能力, 可搬型計測器設置

相違理由

- 【大飯】設備の相違
・パラメータ個々の相違理由は第6.4.1表参照。
【大飯】記載方針の相違（相違理由②）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-4表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（4/5）

大飯発電所3/4号炉

分類	重要な監視パラメータ 重要代替パラメータ	単位	計測範囲	設計基準	監視能力（計測範囲の考え方）	可観測 計測器 設置
	格納容器圧力 (注1)※1				原子炉格納容器内の圧力を監視するパラメータと同じ	
	蒸気発生器水位 (注1)※2	最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注7)	0～100%	最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注7)	部分降下端から格納器上端まで監視可能。「蒸気発生器水位（広域）」と相まって、重大事故等時における蒸気発生器水位の変動を把握できる。	1
	蒸気発生器水位 (注1)※3	最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注7)	0～100%	部分降下端から格納器上端まで監視可能。重大事故等時における蒸気発生器水位の変動を把握できる。（注7）	部分降下端から格納器上端まで監視可能。重大事故等時における蒸気発生器水位の変動を把握できる。（注7）	4
	蒸気発生器補給水流量※4	最大値：140 m ³ /h	0～210 m ³ /h	最大値：140 m ³ /h	補給給水流量（140m ³ /h）を監視可能。重大事故等時においても監視可能。	4
	主蒸気圧力※5	最大値：7.84 MPa [range]	0～9.0MPa [range]	最大値：7.84 MPa [range]	主蒸気発生器出口圧力（8.12MPa[range]）を監視可能。重大事故等時においても監視可能。	4
	原子炉補給給水サーージタンク水位	0～1.0MPa [range]	0～1.0MPa [range]	0～1.0MPa [range]	原子炉補給給水サーージタンクの水位（0.3MPa[range]）を監視可能。	1
	可観測蒸気発生器出口温度 （注1）入口温度（注1）※6	0～200℃ [range]	0～200℃ [range]	0～200℃ [range]	部分降下端から格納器上端まで監視可能。重大事故等時においても監視可能。 重大事故等時における蒸気発生器出口温度（141℃）を監視可能。 重大事故等時における蒸気発生器出口温度（141℃）を監視可能。	3
	AM用格納容器圧力※7				原子炉格納容器内の圧力を監視するパラメータと同じ	
	格納容器内温度※8				原子炉格納容器内の温度を監視するパラメータと同じ	
	1次冷却材最高温度 (注1)※9				原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ	
	1次冷却材最低温度 (注1)※10				原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ	
	格納器上端温度※11				格納器上端温度を監視するパラメータと同じ	

(つづき)

女川原子力発電所2号炉

分類	重要な監視パラメータ 重要代替パラメータ	単位	計測範囲	設計基準	監視能力（計測範囲の考え方）	可観測 計測器 設置
	格納容器圧力 (注1)※1				原子炉格納容器内の圧力を監視するパラメータと同じ	
	蒸気発生器水位 (注1)※2	最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注7)	0～200% (注8)	最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注7)	蒸気発生器出口圧力（8.12MPa[range]）を監視可能。重大事故等時においても監視可能。 重大事故等時における蒸気発生器出口温度（141℃）を監視可能。 重大事故等時における蒸気発生器出口温度（141℃）を監視可能。	1
	蒸気発生器水位 (注1)※3	最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注7)	0～200% (注8)	最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注7)	蒸気発生器出口圧力（8.12MPa[range]）を監視可能。重大事故等時においても監視可能。 重大事故等時における蒸気発生器出口温度（141℃）を監視可能。 重大事故等時における蒸気発生器出口温度（141℃）を監視可能。	1
	蒸気発生器補給水流量※4	最大値：140 m ³ /h	0～210 m ³ /h	最大値：140 m ³ /h	補給給水流量（140m ³ /h）を監視可能。重大事故等時においても監視可能。	4
	主蒸気圧力※5	最大値：7.84 MPa [range]	0～9.0MPa [range]	最大値：7.84 MPa [range]	主蒸気発生器出口圧力（8.12MPa[range]）を監視可能。重大事故等時においても監視可能。	4
	原子炉補給給水サーージタンク水位	0～1.0MPa [range]	0～1.0MPa [range]	0～1.0MPa [range]	原子炉補給給水サーージタンクの水位（0.3MPa[range]）を監視可能。	1
	可観測蒸気発生器出口温度 （注1）入口温度（注1）※6	0～200℃ [range]	0～200℃ [range]	0～200℃ [range]	部分降下端から格納器上端まで監視可能。重大事故等時においても監視可能。 重大事故等時における蒸気発生器出口温度（141℃）を監視可能。 重大事故等時における蒸気発生器出口温度（141℃）を監視可能。	3
	AM用格納容器圧力※7				原子炉格納容器内の圧力を監視するパラメータと同じ	
	格納容器内温度※8				原子炉格納容器内の温度を監視するパラメータと同じ	
	1次冷却材最高温度 (注1)※9				原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ	
	1次冷却材最低温度 (注1)※10				原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ	
	格納器上端温度※11				格納器上端温度を監視するパラメータと同じ	

第6.4.3表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（4/6）

分類	重要な監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	単位	計測範囲	設計基準	監視能力（計測範囲の考え方）	可観測 計測器 設置
	原子炉格納容器圧力※1				（注1）原子炉格納容器内の圧力を監視するパラメータと同じ。	
	蒸気発生器水位 (注1)※2	最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注7)	0～100%	最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注7)	部分降下端から格納器上端まで監視可能。「蒸気発生器水位（広域）」と相まって、重大事故等時における蒸気発生器水位の変動を把握できる。	3
	蒸気発生器水位 (注1)※3	最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注7)	0～100%	最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注7)	部分降下端から格納器上端まで監視可能。重大事故等時における蒸気発生器水位の変動を把握できる。（注7）	3
	補給給水流量※4	最大値：130 m ³ /h [range]	0～130 m ³ /h [range]	最大値：130 m ³ /h [range]	補給給水流量（130m ³ /h）を監視可能。重大事故等時においても監視可能。	3
	主蒸気ライン圧力※5	最大値：7.8 MPa [range]	0～8.5MPa [range]	最大値：7.8 MPa [range]	主蒸気発生器出口圧力（7.48MPa [range]）を監視可能。重大事故等時においても監視可能。	3
	原子炉補給給水サーージタンク水位	0～1.0MPa [range]	0～1.0MPa [range]	0～1.0MPa [range]	原子炉補給給水サーージタンクの水位（0.28MPa [range]）を監視可能。	1
	原子炉補給給水サーージタンク圧力 (可観測)※2	0～1.0MPa [range]	0～1.0MPa [range]	0～1.0MPa [range]	原子炉補給給水サーージタンクの加圧目標（0.28MPa [range]）を監視可能。	1
	格納容器再循環ユニット 入口温度/出口温度※1	0～200℃ [range]	0～200℃ [range]	0～200℃ [range]	格納容器再循環使用温度（132℃）及び再循環格納器時の格納容器最高温度（141℃）を超えらるる 要を監視可能。	3
	格納容器圧力 (AM用)※2				（注1）原子炉格納容器内の圧力を監視するパラメータと同じ。	
	格納容器内温度※2				（注1）原子炉格納容器内の温度を監視するパラメータと同じ。	
	1次冷却材温度 (広域-高温側)※2				（注1）原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ。	
	1次冷却材温度 (広域-低温側)※2				（注1）原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ。	
	補給給水サーージタンク水位※2				（注1）原子炉補給給水サーージタンクの加圧目標（0.28MPa [range]）を監視可能。	
	1次冷却材圧力 (広域)※2				（注1）原子炉圧力容器内の圧力を監視するパラメータと同じ。	

相違理由

【大飯】設備の相違
 ・パラメータ個々の相違理由は第6.4.1表参照。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-1表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（5/5）

大飯発電所3/4号炉

分類	監視項目	単位	許容範囲	設計基準	相違理由
監視	重要監視パラメータ				監視項目、許容範囲(単位)
	蒸気発生器水位(広域)※1	mm	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	補助給水流量※2	m ³ /h	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	主蒸気圧力※1	MPa	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	1次冷却材温度(広域)※1	℃	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	1次冷却材流量(広域)※2	m ³ /h	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	燃料取扱替用水レベル(広域)※2	m	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	燃料容器貯留槽水位(広域)※2	m	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	出力調整中中性子束※2	10 ⁶ neut/cm ²	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	中間領域中性子束※2	10 ⁶ neut/cm ²	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)

①：重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ。②：重要監視パラメータ。③：重要監視パラメータのうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

女川原子力発電所2号炉

分類	監視項目	単位	許容範囲	設計基準	相違理由
監視	重要監視パラメータ				監視項目、許容範囲(単位)
	蒸気発生器水位(広域)※1	mm	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	補助給水流量※2	m ³ /h	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	主蒸気圧力※1	MPa	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	1次冷却材温度(広域)※1	℃	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	1次冷却材流量(広域)※2	m ³ /h	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	燃料取扱替用水レベル(広域)※2	m	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	燃料容器貯留槽水位(広域)※2	m	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	出力調整中中性子束※2	10 ⁶ neut/cm ²	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	中間領域中性子束※2	10 ⁶ neut/cm ²	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)

(つづき)

①：重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ。②：重要監視パラメータ。③：重要監視パラメータのうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

泊発電所3号炉

分類	監視項目	単位	許容範囲	設計基準	相違理由
監視	重要監視パラメータ				監視項目、許容範囲(単位)
	蒸気発生器水位(広域)※1	mm	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	補助給水流量※2	m ³ /h	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	主蒸気圧力※1	MPa	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	1次冷却材温度(広域)※1	℃	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	1次冷却材流量(広域)※2	m ³ /h	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	燃料取扱替用水レベル(広域)※2	m	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	燃料容器貯留槽水位(広域)※2	m	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	出力調整中中性子束※2	10 ⁶ neut/cm ²	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	中間領域中性子束※2	10 ⁶ neut/cm ²	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)

相違理由

【大飯】設備の相違
 ・パラメータ個々の相違理由は第6.4.1表参照。

第6.4.3表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（5/6）

分類	監視項目	単位	許容範囲	設計基準	相違理由
監視	重要監視パラメータ				監視項目、許容範囲(単位)
	蒸気発生器水位(広域)※1	mm	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	補助給水流量※2	m ³ /h	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	主蒸気圧力※1	MPa	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	1次冷却材温度(広域)※1	℃	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	1次冷却材流量(広域)※2	m ³ /h	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	燃料取扱替用水レベル(広域)※2	m	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	燃料容器貯留槽水位(広域)※2	m	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	出力調整中中性子束※2	10 ⁶ neut/cm ²	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)
	中間領域中性子束※2	10 ⁶ neut/cm ²	0~100%	0~100%	監視項目、許容範囲(単位)

【大飯】設備の相違
 ・パラメータ個々の相違理由は第6.4.1表参照。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

(つづき)

分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	計測範囲	設計基準	個数	計測範囲	設計基準	可搬型 計測器 設置
重要監視 パラメータ	重要監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	2	T.P. 25.24 ~ 32.76m	— (注3)	可搬型 計測器 設置
	重要代替監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	2	T.P. 21.30 ~ 32.76m	— (注3)	
重要監視 パラメータ	重要監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	2	0 ~ 100 °C	— (注3)	可搬型 計測器 設置
	重要代替監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	2	0 ~ 100 °C	— (注3)	
重要監視 パラメータ	重要監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	1	10Sv/h ~ 1,000Sv/h	— (注3)	可搬型 計測器 設置
	重要代替監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	1	10Sv/h ~ 1,000Sv/h	— (注3)	
重要監視 パラメータ	重要監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	1	—	— (注3)	可搬型 計測器 設置
	重要代替監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	1	—	— (注3)	

第6.4.3表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対応設備) (6/6)

分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	計測範囲	設計基準	個数	計測範囲	設計基準	可搬型 計測器 設置
重要監視 パラメータ	重要監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	2	T.P. 25.24 ~ 32.76m	— (注3)	可搬型 計測器 設置
	重要代替監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	2	T.P. 21.30 ~ 32.76m	— (注3)	
重要監視 パラメータ	重要監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	2	0 ~ 100 °C	— (注3)	可搬型 計測器 設置
	重要代替監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	2	0 ~ 100 °C	— (注3)	
重要監視 パラメータ	重要監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	1	10Sv/h ~ 1,000Sv/h	— (注3)	可搬型 計測器 設置
	重要代替監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	1	10Sv/h ~ 1,000Sv/h	— (注3)	
重要監視 パラメータ	重要監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	1	—	— (注3)	可搬型 計測器 設置
	重要代替監視パラメータ	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	中圧蒸気発生機 (1) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (2) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (3) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (4) $10 \sim 170 \text{ MPa}$ (5) $10 \sim 170 \text{ MPa}$	1	—	— (注3)	

※1：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ、※2：重要代替監視パラメータ、※3：上部と下部の中圧蒸気発生機、※4：入口用1期、出口用2期
 (注1) 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの値については、データ伝送設備(発電所内)のうちデータ収集計算機及びデータ表示端末又は可搬型監視計測装置(格納容器再循環ユニット入口
 温度/出口温度)によりデータを伝えるのは短期間であり、かつ出力上昇及び低下時は急峻であるため監視不能となることを監視可能。
 (注2) 計測範囲を一次的に超えるのは、破断時の蒸気発生器においてであり、破断のない通常の蒸気発生器の水位は監視可能。
 (注3) 重大事故時に使用する設備のため、設計基準事故では許容しないことからこの値を下回る。
 (注4) 炉心損傷防止の運用は10mSv/hであり、設計基準事故では炉心損傷しないことからこの値を下回る。
 (注5) 120%定格出力を超えるのは短期間であり、かつ出力上昇及び低下時は急峻であるため監視不能となることを監視可能。
 (注6) 計測範囲を一次的に超えるのは、破断時の蒸気発生器においてであり、破断のない通常の蒸気発生器の水位は監視可能。
 (注7) 計測範囲を一次的に超えるのは、破断時の蒸気発生器においてであり、破断のない通常の蒸気発生器の水位は監視可能。
 (注8) 蒸気発生器水位(広域)下線を一時的に下回る重大事故等時の現象があるが、下回っていることにより蒸気発生器がドライアウト(AWS/h)を超過することによる監視不能。
 (注9) 放射線発生量の1,000mSv/hは、使用済燃料ピット可搬型エアリアモニタ設置箇所における空間線量率の最大値(約1×10⁶μSv/h)を超過することによる監視不能。
 (注10) 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む。

【大飯】記載方針の相違 (相違理由①)
 【大飯】設備の相違
 ・パラメータ個々の相違理由は第6.4.1表参照。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																		
(つづき)																																																																																																					
	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1385 741 1433">分類</th> <th data-bbox="703 1118 741 1385">系統図記号 重要代替監視パラメータ</th> <th data-bbox="703 959 741 1118">個数</th> <th data-bbox="703 783 741 959">計測範囲</th> <th data-bbox="703 501 741 783">設計基準</th> <th data-bbox="703 148 741 501">監視単位 (計測範囲のみを挙)</th> <th data-bbox="703 148 741 148">可搬型 計測設備 設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="741 1385 779 1433">原子炉本体</td> <td data-bbox="741 1118 779 1385">原子炉本体 (圧力)</td> <td data-bbox="741 959 779 1118">1</td> <td data-bbox="741 783 779 959">「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="741 501 779 783">「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="741 148 779 501"></td> <td data-bbox="741 148 779 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="779 1385 817 1433">圧力</td> <td data-bbox="779 1118 817 1385">原子炉本体 (燃料床)</td> <td data-bbox="779 959 817 1118">1</td> <td data-bbox="779 783 817 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="779 501 817 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="779 148 817 501"></td> <td data-bbox="779 148 817 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="817 1385 855 1433">容器</td> <td data-bbox="817 1118 855 1385">原子炉本体 (SA応答域)</td> <td data-bbox="817 959 855 1118">1</td> <td data-bbox="817 783 855 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="817 501 855 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="817 148 855 501"></td> <td data-bbox="817 148 855 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 1385 893 1433">監視</td> <td data-bbox="855 1118 893 1385">原子炉本体 (SA応答域)</td> <td data-bbox="855 959 893 1118">1</td> <td data-bbox="855 783 893 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="855 501 893 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="855 148 893 501"></td> <td data-bbox="855 148 893 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="893 1385 931 1433">設備</td> <td data-bbox="893 1118 931 1385">原子炉圧力</td> <td data-bbox="893 959 931 1118">1</td> <td data-bbox="893 783 931 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="893 501 931 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="893 148 931 501"></td> <td data-bbox="893 148 931 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="931 1385 969 1433">監視</td> <td data-bbox="931 1118 969 1385">原子炉圧力 (SA)</td> <td data-bbox="931 959 969 1118">1</td> <td data-bbox="931 783 969 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="931 501 969 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="931 148 969 501"></td> <td data-bbox="931 148 969 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="969 1385 1008 1433">設備</td> <td data-bbox="969 1118 1008 1385">原子炉圧力 (SA)</td> <td data-bbox="969 959 1008 1118">1</td> <td data-bbox="969 783 1008 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="969 501 1008 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="969 148 1008 501"></td> <td data-bbox="969 148 1008 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 1385 1046 1433">監視</td> <td data-bbox="1008 1118 1046 1385">原子炉圧力 (SA)</td> <td data-bbox="1008 959 1046 1118">1</td> <td data-bbox="1008 783 1046 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1008 501 1046 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1008 148 1046 501"></td> <td data-bbox="1008 148 1046 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1046 1385 1084 1433">設備</td> <td data-bbox="1046 1118 1084 1385">原子炉圧力 (SA)</td> <td data-bbox="1046 959 1084 1118">1</td> <td data-bbox="1046 783 1084 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1046 501 1084 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1046 148 1084 501"></td> <td data-bbox="1046 148 1084 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1084 1385 1122 1433">監視</td> <td data-bbox="1084 1118 1122 1385">原子炉圧力 (SA)</td> <td data-bbox="1084 959 1122 1118">1</td> <td data-bbox="1084 783 1122 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1084 501 1122 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1084 148 1122 501"></td> <td data-bbox="1084 148 1122 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1122 1385 1160 1433">設備</td> <td data-bbox="1122 1118 1160 1385">原子炉圧力 (SA)</td> <td data-bbox="1122 959 1160 1118">1</td> <td data-bbox="1122 783 1160 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1122 501 1160 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1122 148 1160 501"></td> <td data-bbox="1122 148 1160 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1160 1385 1198 1433">監視</td> <td data-bbox="1160 1118 1198 1385">原子炉圧力 (SA)</td> <td data-bbox="1160 959 1198 1118">1</td> <td data-bbox="1160 783 1198 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1160 501 1198 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1160 148 1198 501"></td> <td data-bbox="1160 148 1198 148"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1198 1385 1236 1433">設備</td> <td data-bbox="1198 1118 1236 1385">原子炉圧力 (SA)</td> <td data-bbox="1198 959 1236 1118">1</td> <td data-bbox="1198 783 1236 959">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1198 501 1236 783">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1198 148 1236 501"></td> <td data-bbox="1198 148 1236 148"></td> </tr> </tbody> </table>	分類	系統図記号 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	監視単位 (計測範囲のみを挙)	可搬型 計測設備 設置	原子炉本体	原子炉本体 (圧力)	1	「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。			圧力	原子炉本体 (燃料床)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			容器	原子炉本体 (SA応答域)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			監視	原子炉本体 (SA応答域)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			設備	原子炉圧力	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			監視	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			設備	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			監視	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			設備	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			監視	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			設備	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			監視	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			設備	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。				
分類	系統図記号 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	監視単位 (計測範囲のみを挙)	可搬型 計測設備 設置																																																																																															
原子炉本体	原子炉本体 (圧力)	1	「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
圧力	原子炉本体 (燃料床)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
容器	原子炉本体 (SA応答域)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
監視	原子炉本体 (SA応答域)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
設備	原子炉圧力	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
監視	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
設備	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
監視	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
設備	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
監視	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
設備	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
監視	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	
設備	原子炉圧力 (SA)	1	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。	「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。																																																																																																	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
<p>(つづき)</p> <table border="1"> <tr> <td>機器名</td> <td>機器仕様</td> <td>設計基準</td> <td>設計基準</td> <td>機器仕様</td> <td>機器仕様</td> </tr> <tr> <td>機器名</td> <td>機器仕様</td> <td>設計基準</td> <td>設計基準</td> <td>機器仕様</td> <td>機器仕様</td> </tr> </table>	機器名	機器仕様	設計基準	設計基準	機器仕様	機器仕様	機器名	機器仕様	設計基準	設計基準	機器仕様	機器仕様	<table border="1"> <tr> <td>機器名</td> <td>機器仕様</td> <td>設計基準</td> <td>設計基準</td> <td>機器仕様</td> <td>機器仕様</td> </tr> <tr> <td>機器名</td> <td>機器仕様</td> <td>設計基準</td> <td>設計基準</td> <td>機器仕様</td> <td>機器仕様</td> </tr> </table>	機器名	機器仕様	設計基準	設計基準	機器仕様	機器仕様	機器名	機器仕様	設計基準	設計基準	機器仕様	機器仕様		
機器名	機器仕様	設計基準	設計基準	機器仕様	機器仕様																						
機器名	機器仕様	設計基準	設計基準	機器仕様	機器仕様																						
機器名	機器仕様	設計基準	設計基準	機器仕様	機器仕様																						
機器名	機器仕様	設計基準	設計基準	機器仕様	機器仕様																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定 (1/16)

大飯発電所3/4号炉

分類	重要な監視パラメータ 〔有効公監視パラメータ〕	重要代替パラメータ 〔多様性抑装設備〕	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器内部の温度	①1次冷却材高温側温度(広域) ②1次冷却材低温側温度(広域) ③【炉心出口温度】	①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材高温側温度(広域) ③【炉心出口温度】	・1次冷却材高温側温度(広域)の1グループが故障した場合は、他グループの1次冷却材高温側温度(広域)により推定する。 ・1次冷却材低温側温度(広域)の計測が困難となった場合は、1次冷却材低温側温度(広域)により推定する。また、使用可能であれば炉心出口温度(多様性抑装設備)により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。 ・1次冷却材低温側温度(広域)の1グループが故障した場合は、他グループの1次冷却材低温側温度(広域)により推定する。 ・1次冷却材高温側温度(広域)の計測が困難となった場合は、1次冷却材高温側温度(広域)により推定する。また、使用可能であれば炉心出口温度(多様性抑装設備)により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。
	①1次冷却材低温側温度(広域) ②1次冷却材高温側温度(広域) ③【炉心出口温度】	①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材高温側温度(広域) ③1次冷却材低温側温度(広域)	・炉心出口温度(多様性抑装設備)の1つの検出器が故障した場合は、他検出器の炉心出口温度(多様性抑装設備)により推定する。 ・炉心出口温度(多様性抑装設備)の計測が困難となった場合は、1次冷却材高温側温度(広域)又は1次冷却材低温側温度(広域)により推定する。推定は、炉心出口のより直接的なパラメータである1次冷却材高温側温度(広域)を優先する。

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

第6.4-3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定

女川原子力発電所2号炉

分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^①	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器内部の温度	①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材高温側温度(広域-低温度) ③【炉心出口温度】 ^②	①主要パラメータの他グループ ②原子炉圧力(SA) ③原子炉水位(広域域) ④原子炉水位(燃料棒) ⑤原子炉水位(SA(広域域)) ⑥原子炉水位(S(燃料棒)) ⑦原子炉圧力容器温度	①原子炉圧力容器温度の1つの検出器が故障した場合は、他の検出器により推定する。 ②原子炉圧力容器温度の監視が不可能となった場合は、原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態を推定することによって、原子炉圧力より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の温度を推定する。 ③原子炉水位(広域域)は、原子炉水位が有状態時検出時に到達するまでの経過時間より原子炉圧力容器内の温度を推定する。 ④燃料棒除去系が運転状態であれば、残留熱源が蒸気発生器入口温度により推定する。 推定は、主要パラメータの他グループを優先する。
	①1次冷却材低温側温度(広域-低温度) ②1次冷却材高温側温度(広域-高温度) ③【炉心出口温度】 ^②	①主要パラメータの他グループ ②原子炉圧力(SA) ③原子炉水位(広域域) ④原子炉水位(燃料棒) ⑤原子炉水位(SA(広域域)) ⑥原子炉水位(S(燃料棒)) ⑦原子炉圧力容器温度	①原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力(SA)により推定する。 ②原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態にあると想定することによって、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他グループを優先する。

第6.4.4表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (1/18)

泊発電所3号炉

分類	主要パラメータ	代替パラメータ ^①	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器内部の温度	①1次冷却材高温側温度(広域-高温度) ②1次冷却材低温側温度(広域-低温度) ③【炉心出口温度】 ^②	①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材高温側温度(広域-低温度) ③【炉心出口温度】 ^②	①1次冷却材高温側温度(広域-高温度)の1グループが故障した場合は、他グループの1次冷却材高温側温度(広域-高温度)により推定する。 ②1次冷却材低温側温度(広域-低温度)の監視が不可能となった場合は、1次冷却材低温側温度(広域-低温度)により推定する。この推定方法では、重大事故等時において約10℃程度の温度差が生じる可能性があることと考慮する。 ③1次冷却材低温側温度(広域-低温度)の監視が不可能となった場合は、監視可能であれば炉心出口温度(自主対策設備)により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他グループを優先する。
	①1次冷却材低温側温度(広域-低温度) ②1次冷却材高温側温度(広域-高温度) ③【炉心出口温度】 ^②	①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材高温側温度(広域-高温度) ③1次冷却材低温側温度(広域-低温度)	①1次冷却材低温側温度(広域-低温度)の監視が不可能となった場合は、他グループの1次冷却材低温側温度(広域-低温度)により推定する。 ②1次冷却材高温側温度(広域-高温度)の監視が不可能となった場合は、1次冷却材高温側温度(広域-高温度)により推定する。この推定方法では、重大事故等時において約10℃程度の温度差が生じる可能性があることと考慮する。 ③1次冷却材高温側温度(広域-高温度)の監視が不可能となった場合は、監視可能であれば炉心出口温度(自主対策設備)により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他グループを優先する。

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。
 【女川】炉型の相違
 ・女川については、PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第 2.15-5 表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定 (2/16)

大飯発電所3/4号炉

分類	重要代替パラメータ (BWR固有監視パラメータ)		代替パラメータ推定方法	
	1 冷却材圧力 (広域)	2 冷却材温度 (広域)	1 冷却材圧力 (広域)	2 冷却材温度 (広域)
原子炉水位 (広域)	① 原子炉水位 (広域)	① 原子炉水位 (広域)	① 原子炉水位 (広域)	① 原子炉水位 (広域)
	② 原子炉水位 (広域)	② 原子炉水位 (広域)	② 原子炉水位 (広域)	② 原子炉水位 (広域)
原子炉圧力 (広域)	① 原子炉圧力 (広域)	① 原子炉圧力 (広域)	① 原子炉圧力 (広域)	① 原子炉圧力 (広域)
	② 原子炉圧力 (広域)	② 原子炉圧力 (広域)	② 原子炉圧力 (広域)	② 原子炉圧力 (広域)
原子炉温度 (広域)	① 原子炉温度 (広域)	① 原子炉温度 (広域)	① 原子炉温度 (広域)	① 原子炉温度 (広域)
	② 原子炉温度 (広域)	② 原子炉温度 (広域)	② 原子炉温度 (広域)	② 原子炉温度 (広域)

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

(つづき)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	代替パラメータ推定方法
原子炉水位 (広域)	① 原子炉水位 (広域)	① 原子炉水位 (広域)	① 原子炉水位 (広域)
	② 原子炉水位 (広域)	② 原子炉水位 (広域)	② 原子炉水位 (広域)
原子炉圧力 (広域)	① 原子炉圧力 (広域)	① 原子炉圧力 (広域)	① 原子炉圧力 (広域)
	② 原子炉圧力 (広域)	② 原子炉圧力 (広域)	② 原子炉圧力 (広域)
原子炉温度 (広域)	① 原子炉温度 (広域)	① 原子炉温度 (広域)	① 原子炉温度 (広域)
	② 原子炉温度 (広域)	② 原子炉温度 (広域)	② 原子炉温度 (広域)

原子炉水位 (広域)
 原子炉圧力 (広域)
 原子炉温度 (広域)

① 原子炉水位 (広域)
 ② 原子炉水位 (広域)
 ③ 原子炉圧力 (広域)
 ④ 原子炉温度 (広域)
 ⑤ 原子炉圧力 (広域)
 ⑥ 原子炉温度 (広域)
 ⑦ 原子炉圧力 (広域)
 ⑧ 原子炉温度 (広域)
 ⑨ 原子炉圧力 (広域)
 ⑩ 原子炉温度 (広域)

① 原子炉水位 (広域)
 ② 原子炉水位 (広域)
 ③ 原子炉圧力 (広域)
 ④ 原子炉温度 (広域)
 ⑤ 原子炉圧力 (広域)
 ⑥ 原子炉温度 (広域)
 ⑦ 原子炉圧力 (広域)
 ⑧ 原子炉温度 (広域)
 ⑨ 原子炉圧力 (広域)
 ⑩ 原子炉温度 (広域)

① 原子炉水位 (広域)
 ② 原子炉水位 (広域)
 ③ 原子炉圧力 (広域)
 ④ 原子炉温度 (広域)
 ⑤ 原子炉圧力 (広域)
 ⑥ 原子炉温度 (広域)
 ⑦ 原子炉圧力 (広域)
 ⑧ 原子炉温度 (広域)
 ⑨ 原子炉圧力 (広域)
 ⑩ 原子炉温度 (広域)

① 原子炉水位 (広域)
 ② 原子炉水位 (広域)
 ③ 原子炉圧力 (広域)
 ④ 原子炉温度 (広域)
 ⑤ 原子炉圧力 (広域)
 ⑥ 原子炉温度 (広域)
 ⑦ 原子炉圧力 (広域)
 ⑧ 原子炉温度 (広域)
 ⑨ 原子炉圧力 (広域)
 ⑩ 原子炉温度 (広域)

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第 6.4.4 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (2/18)

分類	主要パラメータ		代替パラメータ推定方法	
	1 冷却材圧力 (広域)	2 冷却材温度 (広域)	1 冷却材圧力 (広域)	2 冷却材温度 (広域)
原子炉水位 (広域)	① 原子炉水位 (広域)	① 原子炉水位 (広域)	① 原子炉水位 (広域)	① 原子炉水位 (広域)
	② 原子炉水位 (広域)	② 原子炉水位 (広域)	② 原子炉水位 (広域)	② 原子炉水位 (広域)
原子炉圧力 (広域)	① 原子炉圧力 (広域)	① 原子炉圧力 (広域)	① 原子炉圧力 (広域)	① 原子炉圧力 (広域)
	② 原子炉圧力 (広域)	② 原子炉圧力 (広域)	② 原子炉圧力 (広域)	② 原子炉圧力 (広域)
原子炉温度 (広域)	① 原子炉温度 (広域)	① 原子炉温度 (広域)	① 原子炉温度 (広域)	① 原子炉温度 (広域)
	② 原子炉温度 (広域)	② 原子炉温度 (広域)	② 原子炉温度 (広域)	② 原子炉温度 (広域)

【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定（3/16）

大飯発電所3/4号炉

分類	重要代替パラメータ 【有効な監視パラメータ】	重要代替パラメータ 【多様性別列設備】	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	①主要パラメータの他チャンネル ②燃料格納器排水ピット水位 ③加圧器水位 ④原子炉水位 ⑤格納容器再循環ポンプ水位(広域)	<ul style="list-style-type: none"> 高圧注入流量の計測が困難な場合は、他チャンネルの高圧注入流量により推定する。 高圧注入流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料格納器排水ピット水位及び加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。
	余熱除去流量	①主要パラメータの他チャンネル ②燃料格納器排水ピット水位 ③加圧器水位 ④原子炉水位 ⑤格納容器再循環ポンプ水位(広域)	<ul style="list-style-type: none"> 余熱除去流量の計測が困難な場合は、他チャンネルの余熱除去流量により推定する。 余熱除去流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料格納器排水ピット水位及び加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。
	相設代替低圧注水量積算流量	①燃料格納器排水ピット水位 ①復水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域)	<ul style="list-style-type: none"> 相設代替低圧注水量積算流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料格納器排水ピット水位、復水ピット水位及び加圧器水位または、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 可搬型の仮設独立本構を水源とする場合及び復水ピットに淡水や海水を補給している場合は、ポンプの性能並びに運転時間により注水量により推定する。 LOCAが発生した場合においては、格納容器再循環ポンプ水位(広域)の傾向監視により注水量を推定する。

女川原子力発電所2号炉

分類	重要代替パラメータ	重要代替パラメータ 【多様性別列設備】	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	①主要パラメータの他チャンネル ②燃料格納器排水ピット水位 ③加圧器水位 ④原子炉水位 ⑤格納容器再循環ポンプ水位(広域)	<ul style="list-style-type: none"> 高圧注入流量の計測が困難な場合は、他チャンネルの高圧注入流量により推定する。 高圧注入流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料格納器排水ピット水位及び加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。
	余熱除去流量	①主要パラメータの他チャンネル ②燃料格納器排水ピット水位 ③加圧器水位 ④原子炉水位 ⑤格納容器再循環ポンプ水位(広域)	<ul style="list-style-type: none"> 余熱除去流量の計測が困難な場合は、他チャンネルの余熱除去流量により推定する。 余熱除去流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料格納器排水ピット水位及び加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。
	相設代替低圧注水量積算流量	①燃料格納器排水ピット水位 ①復水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域)	<ul style="list-style-type: none"> 相設代替低圧注水量積算流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料格納器排水ピット水位、復水ピット水位及び加圧器水位または、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 可搬型の仮設独立本構を水源とする場合及び復水ピットに淡水や海水を補給している場合は、ポンプの性能並びに運転時間により注水量により推定する。 LOCAが発生した場合においては、格納容器再循環ポンプ水位(広域)の傾向監視により注水量を推定する。

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

泊発電所3号炉

分類	重要代替パラメータ	重要代替パラメータ 【多様性別列設備】	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器への注水量	高圧注入流量	①燃料格納器排水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域)	<ul style="list-style-type: none"> 高圧注入流量の計測が困難な場合は、他チャンネルの高圧注入流量により推定する。 高圧注入流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料格納器排水ピット水位及び加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。
	余熱除去流量	①燃料格納器排水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域)	<ul style="list-style-type: none"> 余熱除去流量の計測が困難な場合は、他チャンネルの余熱除去流量により推定する。 余熱除去流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料格納器排水ピット水位及び加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。
	相設代替低圧注水量積算流量	①燃料格納器排水ピット水位 ①復水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域)	<ul style="list-style-type: none"> 相設代替低圧注水量積算流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料格納器排水ピット水位、復水ピット水位及び加圧器水位または、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 可搬型の仮設独立本構を水源とする場合及び復水ピットに淡水や海水を補給している場合は、ポンプの性能並びに運転時間により注水量により推定する。 LOCAが発生した場合においては、格納容器再循環ポンプ水位(広域)の傾向監視により注水量を推定する。

第6.4.4表 代替パラメータによる主要パラメータの推定(3/18)

相違理由

【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15.5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定（4/16）

分類	重要な監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕	重要代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器への注水量	〔充てん水流量〕 ①燃料取扱用温水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位	①燃料取扱用温水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位	・充てん水流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、燃料取扱用温水ピペット水位又は加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、本所である燃料取扱用温水ピペット水位、注水量の加圧器水位の順で優先し使用する。また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。
	〔蓄圧タンク圧力〕 ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域）	①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域）	・蓄圧タンク圧力（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力及び1次冷却材低流量温度（広域）の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。
LAM用消火水積算流量	〔蓄圧タンク水位〕 ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域）	①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域）	・蓄圧タンク水位（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力及び1次冷却材低流量温度（広域）の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。
	①余熱除去流量 ②加圧器水位 ③原子炉水位	①余熱除去流量 ②加圧器水位 ③原子炉水位	・AM用消火水積算流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、余熱除去流量又は、加圧器水位、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、原子炉圧力容器への注水量を直接計測できる余熱除去流量を優先する。

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

(つづき)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器への注水量	①燃料取扱用温水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位	①燃料取扱用温水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位	①燃料取扱用温水ピペット水位の監視が不可能となった場合は、本所である燃料取扱用温水ピペット水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、本所である燃料取扱用温水ピペット水位、注水量の加圧器水位の順で優先し使用する。また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。
	①余熱除去流量 ②加圧器水位 ③原子炉水位	①余熱除去流量 ②加圧器水位 ③原子炉水位	①余熱除去流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、余熱除去流量又は、加圧器水位、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、原子炉圧力容器への注水量を直接計測できる余熱除去流量を優先する。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第6.4.4表 代替パラメータによる主要パラメータの推定（4/18）

分類	主要パラメータ	代替パラメータ	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器への注水量	①燃料取扱用温水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位	①燃料取扱用温水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位	①燃料取扱用温水ピペット水位の監視が不可能となった場合は、本所である燃料取扱用温水ピペット水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、本所である燃料取扱用温水ピペット水位、注水量の加圧器水位の順で優先し使用する。また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。
	①余熱除去流量 ②加圧器水位 ③原子炉水位	①余熱除去流量 ②加圧器水位 ③原子炉水位	①余熱除去流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、余熱除去流量又は、加圧器水位、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、原子炉圧力容器への注水量を直接計測できる余熱除去流量を優先する。

【大版】記載方針の相違（女川実績の反映）
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定 (6/16)

分類	重要な監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕	重要な代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕	代替パラメータ推定方法
	原子炉格納容器内の温度	①主要パラメータの他、他チャンネル ②格納容器圧力 (広域) ③AM用格納容器圧力	・格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの格納容器内温度により推定する。 ・格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力 (広域) 又はAM用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、詳細な値を把握できる格納容器圧力 (広域) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、圧力値を優先する。
原子炉格納容器内の圧力	格納容器圧力 (広域)	①主要パラメータの他、他チャンネル ②AM用格納容器圧力 ② [格納容器圧力 (狭域)] ③格納容器内温度	・格納容器圧力 (広域) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの格納容器圧力 (広域) により推定する。 ・格納容器圧力 (広域) の計測が困難となった場合は、AM用格納容器圧力、格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、AM用格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、圧力値を優先する。
	AM用格納容器圧力	①格納容器圧力 (広域) ① [格納容器圧力 (狭域)] ②格納容器内温度	・AM用格納容器圧力の計測が困難となった場合は、計測範囲内であれば格納容器圧力 (広域)、格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、格納容器圧力 (広域) 又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、圧力値を優先する。

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

(つづき)

分類	重要な監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕	重要な代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕	代替パラメータ推定方法
原子炉格納容器内の温度	①主要パラメータの他、他チャンネル ②格納容器圧力 (広域) ③AM用格納容器圧力	・格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの格納容器内温度により推定する。 ・格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力 (広域) 又はAM用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、詳細な値を把握できる格納容器圧力 (広域) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、圧力値を優先する。	
原子炉格納容器内の圧力	格納容器圧力 (広域)	①主要パラメータの他、他チャンネル ②AM用格納容器圧力 ② [格納容器圧力 (狭域)] ③格納容器内温度	・格納容器圧力 (広域) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの格納容器圧力 (広域) により推定する。 ・格納容器圧力 (広域) の計測が困難となった場合は、AM用格納容器圧力、格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、AM用格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、圧力値を優先する。
	AM用格納容器圧力	①格納容器圧力 (広域) ① [格納容器圧力 (狭域)] ②格納容器内温度	・AM用格納容器圧力の計測が困難となった場合は、計測範囲内であれば格納容器圧力 (広域)、格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、格納容器圧力 (広域) 又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内が飽和状態でない場合は、圧力値を優先する。

第6.4.4表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (6/18)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ①	代替パラメータ推定方法
原子炉格納容器内の温度	①主要パラメータの他、他チャンネル ②原子炉格納容器圧力 ③格納容器圧力 (AM用)	①格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。 ③格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。	
	原子炉格納容器圧力	①原子炉格納容器圧力の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの原子炉格納容器圧力により推定する。 ②原子炉格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。 ③原子炉格納容器圧力の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内温度により圧力を推定する。	
原子炉格納容器内の圧力	格納容器圧力 (AM用)	①格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。 ②格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、格納容器内温度により圧力を推定する。	
	格納容器内温度	①格納容器内温度の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。 ③格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内が飽和状態であれば、格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。	

相違理由

【大版】記載方針の相違 (女川実績の反映)
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

第 2.1.5-5 表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定 (7/16)

分類	重要監視パラメータ 〔有効監視パラメータ〕	重要代替パラメータ 〔多様性監視設備〕	代替パラメータ推定方法
格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	① 主要パラメータの他チェーンネル ② 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ③ 原子炉下部キャビティ水位 ④ 原子炉格納容器水位 ⑤ 燃料取扱用ボット水位 ⑥ 原水レベル水位 ⑦ 格納容器スプレイ積算流量 ⑧ 追加代替圧注水積算流量	① 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ② 燃料取扱用ボット水位 ③ 格納容器スプレイ積算流量 ④ 追加代替圧注水積算流量	・格納容器再循環ポンプ水位 (広域) のチェーンネルが故障した場合は、他チェーンネルの格納容器再循環ポンプ水位 (広域) により推定する。 ・燃料取扱用ボット水位 (広域) の計測は困難となった場合は、測定範囲内であれば格納容器再循環ポンプ水位 (広域)、原子炉下部キャビティ水位、原子炉格納容器水位及び原水レベル水位である燃料取扱用ボット水位、原水レベル水位、日本積算流量である格納容器スプレイ積算流量、追加代替圧注水積算流量により、原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、測定範囲内であれば、連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) を優先する。
原子炉格納容器水位	① 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ② 燃料取扱用ボット水位 ③ 格納容器スプレイ積算流量 ④ 追加代替圧注水積算流量	① 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ② 燃料取扱用ボット水位 ③ 格納容器スプレイ積算流量 ④ 追加代替圧注水積算流量	・格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の計測は困難となった場合は、格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 又は原水レベル水位、燃料取扱用ボット水位、原水レベル水位、格納容器スプレイ積算流量及び追加代替圧注水積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環ポンプ水位 (広域) を優先する。
原子炉格納容器内の水位	① 燃料取扱用ボット水位 ② 原水レベル水位 ③ 格納容器スプレイ積算流量 ④ 追加代替圧注水積算流量	① 燃料取扱用ボット水位 ② 原水レベル水位 ③ 格納容器スプレイ積算流量 ④ 追加代替圧注水積算流量	・原子炉格納容器水位の計測は困難となった場合は、注水量である燃料取扱用ボット水位、原水レベル水位、燃料取扱用ボット水位、格納容器スプレイ積算流量及び追加代替圧注水積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

(つづき)

分類	主要パラメータ	重要代替パラメータ	代替パラメータ推定方法
燃料取扱用ボット水位	① 燃料取扱用ボット水位 (広域) ② 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ③ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ④ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑤ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑥ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑦ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑧ 燃料取扱用ボット水位 (狭域)	① 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ② 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ③ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ④ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑤ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑥ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑦ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑧ 燃料取扱用ボット水位 (狭域)	燃料取扱用ボット水位 (狭域) の計測は困難となった場合は、燃料取扱用ボット水位 (狭域) により推定する。 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の計測は困難となった場合は、燃料取扱用ボット水位 (狭域) により推定する。 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の計測は困難となった場合は、燃料取扱用ボット水位 (狭域) により推定する。 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の計測は困難となった場合は、燃料取扱用ボット水位 (狭域) により推定する。 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の計測は困難となった場合は、燃料取扱用ボット水位 (狭域) により推定する。 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の計測は困難となった場合は、燃料取扱用ボット水位 (狭域) により推定する。 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の計測は困難となった場合は、燃料取扱用ボット水位 (狭域) により推定する。 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の計測は困難となった場合は、燃料取扱用ボット水位 (狭域) により推定する。
原子炉格納容器水位	① 燃料取扱用ボット水位 ② 原水レベル水位 ③ 格納容器スプレイ積算流量 ④ 追加代替圧注水積算流量	① 燃料取扱用ボット水位 ② 原水レベル水位 ③ 格納容器スプレイ積算流量 ④ 追加代替圧注水積算流量	・原子炉格納容器水位の計測は困難となった場合は、注水量である燃料取扱用ボット水位、原水レベル水位、燃料取扱用ボット水位、格納容器スプレイ積算流量及び追加代替圧注水積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。

灰色: 女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

分類	主要パラメータ	重要代替パラメータ	代替パラメータ推定方法	相違理由
格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	① 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ② 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ③ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ④ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑤ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑥ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑦ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑧ 燃料取扱用ボット水位 (狭域)	① 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ② 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ③ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ④ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑤ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑥ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑦ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑧ 燃料取扱用ボット水位 (狭域)	① 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) のチェーンネルが故障した場合は、他チェーンネルの格納容器再循環ポンプ水位 (広域) により推定する。 ② 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 ③ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 ④ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 ⑤ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 ⑥ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 ⑦ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 ⑧ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。	
原子炉格納容器再循環ポンプ水位 (広域)	① 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ② 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ③ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ④ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑤ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑥ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑦ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑧ 燃料取扱用ボット水位 (狭域)	① 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ② 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ③ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ④ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑤ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑥ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑦ 燃料取扱用ボット水位 (狭域) ⑧ 燃料取扱用ボット水位 (狭域)	① 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の計測は困難となった場合は、格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 又は原水レベル水位、燃料取扱用ボット水位、原水レベル水位、格納容器スプレイ積算流量及び追加代替圧注水積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環ポンプ水位 (広域) を優先する。	
原子炉格納容器内の水位	① 燃料取扱用ボット水位 ② 原水レベル水位 ③ 格納容器スプレイ積算流量 ④ 追加代替圧注水積算流量	① 燃料取扱用ボット水位 ② 原水レベル水位 ③ 格納容器スプレイ積算流量 ④ 追加代替圧注水積算流量	・原子炉格納容器水位の計測は困難となった場合は、注水量である燃料取扱用ボット水位、原水レベル水位、燃料取扱用ボット水位、格納容器スプレイ積算流量及び追加代替圧注水積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。	

【大版】記載方針の相違 (女川実績の反映)
・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

第 2.1.5-5 表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定 (8/16)

分類	重要な監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕	重要代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕	代替パラメータ推定方法
原子炉格納容器水素ガス濃度	①主要パラメータの予備 ②静的触媒式水素再結合装置温度 ③原子炉格納容器水素濃度装置温度 ④〔ガスタロマトグラフによる水素濃度〕	①主要パラメータの予備 ②可搬型格納容器水素ガス濃度 ③格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) ④〔排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ)〕	<ul style="list-style-type: none"> 可搬型格納容器水素ガス濃度が故障した場合は、予備の可搬型格納容器水素ガス濃度計により計測する。 可搬型格納容器水素ガス濃度による計測が困難となった場合は、静的触媒式水素再結合装置温度及び原子炉格納容器水素濃度装置温度において静的触媒式水素再結合装置温度及び原子炉格納容器水素濃度装置温度の動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素燃焼が生じない領域であることを確認する。 使用可能であればガスタロマトグラフ (多様性拡張設備) により水素濃度を確認し、ガスタロマトグラフの結果に基づき水素濃度を推定する。
アニュラス水素濃度	①主要パラメータの予備	①主要パラメータの予備	<ul style="list-style-type: none"> アニュラス水素濃度が故障した場合は、予備のアニュラス水素濃度計によりアニュラス内の水素濃度を計測する。 アニュラス水素濃度の計測が困難となった場合は、格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) 及び排気筒高レンジガスモニタ (多様性拡張設備) の放射線量率の比により、アニュラスへの漏えい率を求め、可搬型格納容器水素ガス濃度計により計測した格納容器水素濃度を基に、評価した格納容器水素濃度とアニュラスへの漏えい率の関係をもとにアニュラス水素濃度を推定する。

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

(つづき)

分類	主要パラメータ	重要代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕	代替パラメータ推定方法
原子炉格納容器水素ガス濃度	①主要パラメータの予備 ②原子炉格納容器内水素処理装置温度 ③格納容器水素イグナイト温度 ④〔ガス分析計による水素濃度〕 ^{※1}	①主要パラメータの予備 ②原子炉格納容器内水素処理装置温度 ③格納容器水素イグナイト温度 ④〔ガス分析計による水素濃度〕 ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> ①アニュラス水素濃度が故障した場合は、予備の可搬型格納容器水素濃度計により計測する。 ②原子炉格納容器内水素処理装置温度は、原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置による格納容器水素イグナイト温度監視装置により監視可能である。 ③格納容器水素イグナイト温度は、原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置による格納容器水素イグナイト温度監視装置により監視可能である。 ④〔ガス分析計による水素濃度〕は、原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置による格納容器水素イグナイト温度監視装置により監視可能である。
アニュラス水素濃度	①主要パラメータの予備 ②〔アニュラス水素濃度〕 ^{※2}	①主要パラメータの予備 ②〔アニュラス水素濃度〕 ^{※1}	<ul style="list-style-type: none"> ①アニュラス水素濃度が故障した場合は、予備のアニュラス水素濃度計により計測する。 ②アニュラス水素濃度は、原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置による格納容器水素イグナイト温度監視装置により監視可能である。

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第 6.4.4 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (8/18)

分類	主要パラメータ	重要代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕	代替パラメータ推定方法	相違理由
原子炉格納容器水素濃度	①主要パラメータの予備 ②原子炉格納容器内水素処理装置温度 ③格納容器水素イグナイト温度 ④〔ガス分析計による水素濃度〕 ^{※1}	①主要パラメータの予備 ②原子炉格納容器内水素処理装置温度 ③格納容器水素イグナイト温度 ④〔ガス分析計による水素濃度〕 ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> ①可搬型格納容器水素濃度計は、予備の可搬型格納容器水素濃度計により計測する。 ②原子炉格納容器内水素処理装置温度は、原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置による格納容器水素イグナイト温度監視装置により監視可能である。 ③格納容器水素イグナイト温度は、原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置による格納容器水素イグナイト温度監視装置により監視可能である。 ④〔ガス分析計による水素濃度〕は、原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置による格納容器水素イグナイト温度監視装置により監視可能である。 	<p>【大版】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。 【大版】設備構成及び推定手段の相違 大版はアニュラス水素濃度の計測が困難となった場合は、格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) 及び排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ) (多様性拡張設備) の放射線量率の比により、アニュラスへの漏えい率を求め、計測した格納容器水素濃度とアニュラスへの漏えい率の相関関係からアニュラス水素濃度を推定する手段を整備している。泊はアニュラス水素濃度 (可搬型) の計測が困難となった場合は、直接的に計測が可能なアニュラス水素濃度 (自主対策設備) により、アニュラス水素濃度 (可搬型) を推定できる手段としている。(伊方と同様)
アニュラス水素濃度	①主要パラメータの予備 ②〔アニュラス水素濃度〕 ^{※1}	①主要パラメータの予備 ②〔アニュラス水素濃度〕 ^{※2}	<ul style="list-style-type: none"> ①可搬型アニュラス水素濃度計は、予備の可搬型アニュラス水素濃度計により計測する。 ②アニュラス水素濃度は、原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置による格納容器水素イグナイト温度監視装置により監視可能である。 	<p>【大版】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> <ul style="list-style-type: none"> 代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。 【大版】設備構成及び推定手段の相違 大版はアニュラス水素濃度の計測が困難となった場合は、格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) 及び排気筒高レンジガスモニタ (高レンジ) (多様性拡張設備) の放射線量率の比により、アニュラスへの漏えい率を求め、計測した格納容器水素濃度とアニュラスへの漏えい率の相関関係からアニュラス水素濃度を推定する手段を整備している。泊はアニュラス水素濃度 (可搬型) の計測が困難となった場合は、直接的に計測が可能なアニュラス水素濃度 (自主対策設備) により、アニュラス水素濃度 (可搬型) を推定できる手段としている。(伊方と同様)

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

Table with columns: 大飯発電所3/4号炉, 女川原子力発電所2号炉, 泊発電所3号炉, 相違理由. Includes sub-tables for equipment comparison and a legend at the bottom.

【伊方3号炉まとめ資料より転載】

Main comparison table with multiple rows and columns for equipment details, including notes on differences and specific equipment names like 'デジタルカメラ'.

備考：デジタルカメラの表記は機名が省略された場合、型番、用途等の情報がない場合、型番、用途等の情報は記載しない。また、型番、用途等の情報は記載しない。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定（10/16）

分類	重要な監視パラメータ 〔右側の監視パラメータ〕	重要代替パラメータ 〔多様性監視設備〕	代替パラメータ推定方法
表 層 界 の 機 構 又 は 漏 洩	出力領域中性子束 ①中間領域中性子束	①主要パラメータの中性子束 ②1次冷卻材高気圧領域 (広域) ③1次冷卻材低気圧領域 (広域) ④ほう酸タンク水位	・出力領域中性子束の中性子束が故障した場合、中性子束の出力領域中性子束により推定する。 ・出力領域中性子束の計測が困難となった場合は、中間領域中性子束、1次冷卻材低気圧領域 (広域) と1次冷卻材高気圧領域 (広域) の値により推定する。劣化は出力領域中性子束の計測値をカバーしている中間領域中性子束を優先する。 ・ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中間領域中性子束の基礎状態を推定する。
	中間領域中性子束	①主要パラメータの中性子束 ②出力領域中性子束 ③ほう酸タンク水位	・中間領域中性子束の中性子束が故障した場合、中性子束の出力領域中性子束により推定する。 ・中間領域中性子束の計測が困難となった場合は、出力領域中性子束の測定範囲であれば、出力領域中性子束により推定を行い、中性子束領域中性子束の測定範囲であれば、中性子束領域中性子束の測定範囲と中間領域中性子束の測定範囲との間で劣化は、互いの測定範囲の値により推定する。 ・ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中間領域中性子束の基礎状態を推定する。
	中性子束領域中性子束	①主要パラメータの中性子束 ②中間領域中性子束	・中性子束領域中性子束の中性子束が故障した場合、中性子束の出力領域中性子束により推定する。 ・中性子束領域中性子束の計測が困難となった場合は、中間領域中性子束の測定範囲であれば、中間領域中性子束により推定を行う。なお、中間領域中性子束の測定範囲以下の場合、測定範囲下層より低い範囲である上層に推定する。 ・ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中間領域中性子束の基礎状態を推定する。
	〔中間領域起動〕	①中間領域中性子束 ②中性子束領域中性子束 ③ほう酸タンク水位	・中間領域中性子束の中性子束が故障した場合、中性子束領域中性子束により推定する。 ・中性子束領域中性子束の計測が困難となった場合は、ほう酸タンク水位により推定する。 ・ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中間領域中性子束の基礎状態を推定する。
	〔中性子束領域起動〕	①中性子束領域中性子束 ②中間領域中性子束 ③ほう酸タンク水位	・中性子束領域中性子束の中性子束が故障した場合、ほう酸タンク水位により推定する。 ・ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中性子束領域中性子束の基礎状態を推定する。

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

(つづき)

分類	主要パラメータ	重要代替パラメータ	代替パラメータ推定方法
表 層 界 の 機 構 又 は 漏 洩	出力領域中性子束	①主要パラメータの中性子束 ②1次冷卻材高気圧領域 (広域) ③1次冷卻材低気圧領域 (広域) ④ほう酸タンク水位	①出力領域中性子束の中性子束が故障した場合、中性子束の出力領域中性子束により推定する。 ②出力領域中性子束の計測が困難となった場合は、1次冷卻材高気圧領域 (広域) と1次冷卻材低気圧領域 (広域) の値により推定する。劣化は出力領域中性子束の計測値をカバーしている中間領域中性子束を優先する。 ③ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中間領域中性子束の基礎状態を推定する。
	中間領域中性子束	①主要パラメータの中性子束 ②出力領域中性子束 ③ほう酸タンク水位	①中間領域中性子束の中性子束が故障した場合、中性子束領域中性子束により推定する。 ②出力領域中性子束の計測が困難となった場合は、ほう酸タンク水位により推定する。 ③ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中間領域中性子束の基礎状態を推定する。
	中性子束領域中性子束	①主要パラメータの中性子束 ②中間領域中性子束 ③ほう酸タンク水位	①中性子束領域中性子束の中性子束が故障した場合、ほう酸タンク水位により推定する。 ②ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中性子束領域中性子束の基礎状態を推定する。
	〔中間領域起動〕	①中間領域中性子束 ②中性子束領域中性子束 ③ほう酸タンク水位	①中間領域中性子束の中性子束が故障した場合、中性子束領域中性子束により推定する。 ②中性子束領域中性子束の計測が困難となった場合は、ほう酸タンク水位により推定する。 ③ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中間領域中性子束の基礎状態を推定する。
	〔中性子束領域起動〕	①中性子束領域中性子束 ②中間領域中性子束 ③ほう酸タンク水位	①中性子束領域中性子束の中性子束が故障した場合、ほう酸タンク水位により推定する。 ②ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中性子束領域中性子束の基礎状態を推定する。

第6.4.4表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (10/18)

分類	主要パラメータ	重要代替パラメータ	代替パラメータ推定方法
表 層 界 の 機 構 又 は 漏 洩	出力領域中性子束	①主要パラメータの中性子束 ②1次冷卻材高気圧領域 (広域) ③1次冷卻材低気圧領域 (広域) ④ほう酸タンク水位	①出力領域中性子束の中性子束が故障した場合、中性子束の出力領域中性子束により推定する。 ②出力領域中性子束の計測が困難となった場合は、1次冷卻材高気圧領域 (広域) と1次冷卻材低気圧領域 (広域) の値により推定する。劣化は出力領域中性子束の計測値をカバーしている中間領域中性子束を優先する。 ③ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中間領域中性子束の基礎状態を推定する。
	中間領域中性子束	①主要パラメータの中性子束 ②出力領域中性子束 ③ほう酸タンク水位	①中間領域中性子束の中性子束が故障した場合、中性子束領域中性子束により推定する。 ②出力領域中性子束の計測が困難となった場合は、ほう酸タンク水位により推定する。 ③ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中間領域中性子束の基礎状態を推定する。
	中性子束領域中性子束	①主要パラメータの中性子束 ②中間領域中性子束 ③ほう酸タンク水位	①中性子束領域中性子束の中性子束が故障した場合、ほう酸タンク水位により推定する。 ②ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中性子束領域中性子束の基礎状態を推定する。
	〔中間領域起動〕	①中間領域中性子束 ②中性子束領域中性子束 ③ほう酸タンク水位	①中間領域中性子束の中性子束が故障した場合、中性子束領域中性子束により推定する。 ②中性子束領域中性子束の計測が困難となった場合は、ほう酸タンク水位により推定する。 ③ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中間領域中性子束の基礎状態を推定する。
	〔中性子束領域起動〕	①中性子束領域中性子束 ②中間領域中性子束 ③ほう酸タンク水位	①中性子束領域中性子束の中性子束が故障した場合、ほう酸タンク水位により推定する。 ②ほう酸タンク水位により原子炉の基礎状態に必要なほう酸水量を安心に入力することにより、中性子束領域中性子束の基礎状態を推定する。

相違理由

【大版】記載方針の相違 (女川実績の反映)
・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

第2.1.5-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定(11/16)

分類	重要な監視パラメータ (有効な監視パラメータ)	重要な代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕	代替パラメータ推定方法
最終ヒートシンクの監視	格納容器圧力 (広域)	①主要パラメータの他チヤンネル ②AM用格納容器圧力 ③格納容器内温度	・格納容器圧力(広域)の1チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルの格納容器圧力(広域)により推定する。 ・格納容器圧力(広域)の計測が困難となった場合は、AM用格納容器圧力により圧力を傾向監視し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。また、原子炉格納容器内の除熱の順で調べれば、格納容器内温度により格納容器圧力を推定し、傾向監視により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。推定は、AM用格納容器圧力を優先する。なお、原子炉格納容器内が適切に保たれている場合は予備からしきりを行うことを考慮する。
	原子炉補機冷却水サージタンク水位	①主要パラメータの他チヤンネル ②可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)(SA用) ③原子炉補機冷却水サージタンク加圧圧力 ④格納容器内温度	・原子炉補機冷却水サージタンク水位により推定する。 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位の計測が困難な場合は、可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)(SA用)の傾向監視により、原子炉格納容器内の除熱のため、AM用原子炉補機冷却水サージタンク加圧圧力(多様性拡張設備)の計測が困難となった場合は、原子炉補機冷却水サージタンク加圧圧力により原子炉格納容器内の除熱のための原子炉補機冷却水系統が健全かつ最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。 ・AM用原子炉補機冷却水サージタンク加圧圧力(広域)の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。
可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)用	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA用)	①格納容器圧力(広域)	・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度(SA)用、が故障した場合、予備の可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度を計測する。 ・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度/出口温度(SA)用の計測が困難となった場合は、格納容器内温度及び格納容器圧力(広域)の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。
	格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	①格納容器圧力(広域)	・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度(SA)用、が故障した場合、予備の可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度を計測する。 ・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度(SA)用の計測が困難となった場合は、格納容器内温度及び格納容器圧力(広域)の低下により、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

(つづき)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法
格納容器再循環ユニット監視カメラ	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)	①使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式) ②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(高線量、低線量) ③使用済燃料プール監視カメラ	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)の監視が不可能となった場合は、使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式)により水位・温度を推定する。 ②使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)の監視が不可能な場合は、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(高線量、低線量)により放射線/水位の傾向を利用し使用済燃料プール水位を推定するとともに使用済燃料プール監視カメラにて使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、計測対象が同一である使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式)を優先する。
	使用済燃料プール監視カメラ	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(高線量、低線量) ③使用済燃料プール監視カメラ	①使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式)の監視が不可能となった場合は、使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)により水位・温度を推定する。 ②使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式)の監視が不可能な場合は、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(高線量、低線量)により放射線/水位の傾向を利用し使用済燃料プール水位を推定するとともに使用済燃料プール監視カメラにて使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、計測対象が同一である使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)を優先する。
格納容器再循環ユニット監視カメラ	使用済燃料プール水位/温度 (高線量、低線量)	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(高線量、低線量) ③使用済燃料プール監視カメラ	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)の監視が不可能となった場合は、使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式)により水位・温度を推定する。 ②使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)の監視が不可能な場合は、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(高線量、低線量)により放射線/水位の傾向を利用し使用済燃料プール水位を推定するとともに使用済燃料プール監視カメラにて使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、計測対象が同一である使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)を優先する。
	使用済燃料プール監視カメラ	①使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式) ②使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(高線量、低線量) ③使用済燃料プール監視カメラ	①使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式)の監視が不可能となった場合は、使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)により水位・温度を推定する。 ②使用済燃料プール水位/温度(ガイドバルブ式)の監視が不可能な場合は、使用済燃料プール上部空間放射線モニタ(高線量、低線量)により放射線/水位の傾向を利用し使用済燃料プール水位を推定するとともに使用済燃料プール監視カメラにて使用済燃料プールの状態を監視する。 推定は、計測対象が同一である使用済燃料プール水位/温度(ヒートサーモ式)を優先する。

*1:代替パラメータの番号は優先順位を示す。

*2:「」は重要な監視パラメータ又は重要な監視パラメータの適用計器(組計器又は組計器等)を示す。監視可能であれば発電用原子炉の監視の状態を把握することと可能な計器)を示す。

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

灰色:女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載

赤字:設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)
青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)
緑字:記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

第6.4.4表 代替パラメータによる主要パラメータの推定(11/18)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	相違理由
原子炉格納容器圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②格納容器圧力(AM用) ③格納容器内温度	①原子炉格納容器圧力(広域) ②AM用格納容器圧力 ③格納容器内温度	①原子炉格納容器圧力(広域)の1チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルの原子炉格納容器圧力により推定する。 ②原子炉格納容器圧力(広域)の計測が困難となった場合は、AM用により圧力を傾向監視し、最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。 ③原子炉格納容器圧力(広域)の計測が困難となった場合は、AM用格納容器圧力により原子炉格納容器圧力を推定し、傾向監視により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。	
	原子炉補機冷却水サージタンク水位	①主要パラメータの他チヤンネル ②格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度	①原子炉補機冷却水サージタンク水位 ②可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度	・原子炉補機冷却水サージタンク水位により推定する。 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位の計測が困難な場合は、可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度の傾向監視により、原子炉補機冷却水サージタンク水位が確保されていることを推定する。 ・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度の計測が困難となった場合は、原子炉補機冷却水サージタンク水位の傾向監視により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。
最終ヒートシンクの確保	①原子炉補機冷却水サージタンク水位 ②可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度	①原子炉補機冷却水サージタンク水位 ②可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度	①原子炉補機冷却水サージタンク水位により推定する。 ②可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度の傾向監視により、原子炉補機冷却水サージタンク水位が確保されていることを推定する。 ③可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度の計測が困難となった場合は、原子炉補機冷却水サージタンク水位の傾向監視により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。	
	①原子炉補機冷却水サージタンク水位 ②可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度	①原子炉補機冷却水サージタンク水位 ②可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度	①原子炉補機冷却水サージタンク水位により推定する。 ②可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度の傾向監視により、原子炉補機冷却水サージタンク水位が確保されていることを推定する。 ③可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット)入口温度/出口温度の計測が困難となった場合は、原子炉補機冷却水サージタンク水位の傾向監視により最終ヒートシンクが確保されていることを推定する。	

【大版】記載方針の相違(女川実績の反映)
・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第2.1.5-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定 (13/16)

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉	
分類	重要監視パラメータ 〔有効監視パラメータ〕	重要代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕	代替パラメータ推定方法
格納容器バイパスの監視	蒸気発生器水位 (狭域)	①主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域)	・蒸気発生器水位 (狭域) の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの蒸気発生器水位 (狭域) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ・蒸気発生器水位 (狭域) の計測が困難となった場合、蒸気発生器水位 (広域) の上昇により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。また、主蒸気圧力及び蒸気発生器補助給水流量に異常を発生させる。
	主蒸気圧力	①主要パラメータの他チャンネル ②蒸気発生器水位 (広域) ③蒸気発生器補助給水流量	・主蒸気圧力の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの主蒸気圧力により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ・主蒸気圧力の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び蒸気発生器補助給水流量の減少を傾向監視することによって蒸気発生器伝熱管破損を推定する。
	1次冷却材圧力	①主要パラメータの他チャンネル ②〔加圧器圧力 (CRT)〕 ③蒸気発生器水位 (狭域) ④主蒸気圧力 ⑤格納容器再循環サンプル水位 (広域) ⑥1次冷却材高温側温度 (広域) ⑦1次冷却材低温側温度 (広域)	・1次冷却材圧力の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの1次冷却材圧力により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ・1次冷却材圧力の計測が困難となった場合は、測定範囲内であれば、加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。また、蒸気発生器水位 (狭域) の上昇及び格納容器再循環サンプル水位 (広域) の上昇がないこととインダクターフェューエーションシステムLOCAを推定する。原子炉圧力容器内の傾向状態であれば、1次冷却材高温側温度 (広域) 又は1次冷却材低温側温度 (広域) により、1次冷却材圧力を推定する。推定は、測定範囲内であれば、1次冷却材圧力を直接測定している加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) を優先する。
重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。			

泊発電所3号炉		相違理由	
分類	重要パラメータ	代替パラメータ	代替パラメータ推定方法
格納容器バイパスの監視	蒸気発生器水位 (狭域)	①主要パラメータの他チャンネル ②蒸気発生器水位 (広域) ③主蒸気圧力 ④補助給水流量	①蒸気発生器水位 (狭域) の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの蒸気発生器水位 (狭域) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ②蒸気発生器水位 (狭域) の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ③主蒸気圧力 (CRT) の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び格納容器再循環サンプル水位 (広域) の上昇がないこととインダクターフェューエーションシステムLOCAを推定する。 ④1次冷却材圧力を推定する。推定は、測定範囲内であれば、1次冷却材圧力を直接測定している加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) を優先する。
	主蒸気圧力	①主要パラメータの他チャンネル ②蒸気発生器水位 (広域) ③補助給水流量	①主蒸気圧力の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ②主蒸気圧力の計測が困難となった場合は、測定範囲内であれば、加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。また、蒸気発生器水位 (狭域) の上昇及び格納容器再循環サンプル水位 (広域) の上昇がないこととインダクターフェューエーションシステムLOCAを推定する。原子炉圧力容器内の傾向状態であれば、1次冷却材高温側温度 (広域) 又は1次冷却材低温側温度 (広域) により、1次冷却材圧力を推定する。推定は、測定範囲内であれば、1次冷却材圧力を直接測定している加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) を優先する。
	1次冷却材圧力 (広域)	①主要パラメータの他チャンネル ②〔加圧器圧力〕 ③蒸気発生器水位 (狭域) ④主蒸気圧力 ⑤格納容器再循環サンプル水位 (広域) ⑥1次冷却材高温側温度 (広域-高蒸気側) ⑦1次冷却材低温側温度 (広域-低蒸気側)	①1次冷却材圧力の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの1次冷却材圧力 (広域) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ②1次冷却材圧力の計測が困難となった場合は、測定範囲内であれば、1次冷却材圧力を直接測定している加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ③1次冷却材圧力の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気圧力 (CRT) の傾向監視により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ④1次冷却材圧力の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (広域) の上昇がないこととインダクターフェューエーションシステムLOCAを推定する。 ⑤1次冷却材圧力を推定する。推定は、測定範囲内であれば、1次冷却材圧力を直接測定している加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) を優先する。
【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。			

第6.4.4表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (13/18)

泊発電所3号炉		相違理由	
分類	重要パラメータ	代替パラメータ	代替パラメータ推定方法
格納容器バイパスの監視	蒸気発生器水位 (狭域)	①主要パラメータの他チャンネル ②蒸気発生器水位 (広域) ③主蒸気圧力 ④補助給水流量	①蒸気発生器水位 (狭域) の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの蒸気発生器水位 (狭域) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ②蒸気発生器水位 (狭域) の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ③主蒸気圧力 (CRT) の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び格納容器再循環サンプル水位 (広域) の上昇がないこととインダクターフェューエーションシステムLOCAを推定する。 ④1次冷却材圧力を推定する。推定は、測定範囲内であれば、1次冷却材圧力を直接測定している加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) を優先する。
	主蒸気圧力	①主要パラメータの他チャンネル ②蒸気発生器水位 (広域) ③補助給水流量	①主蒸気圧力の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ②主蒸気圧力の計測が困難となった場合は、測定範囲内であれば、加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。また、蒸気発生器水位 (狭域) の上昇及び格納容器再循環サンプル水位 (広域) の上昇がないこととインダクターフェューエーションシステムLOCAを推定する。原子炉圧力容器内の傾向状態であれば、1次冷却材高温側温度 (広域) 又は1次冷却材低温側温度 (広域) により、1次冷却材圧力を推定する。推定は、測定範囲内であれば、1次冷却材圧力を直接測定している加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) を優先する。
	1次冷却材圧力 (広域)	①主要パラメータの他チャンネル ②〔加圧器圧力〕 ③蒸気発生器水位 (狭域) ④主蒸気圧力 ⑤格納容器再循環サンプル水位 (広域) ⑥1次冷却材高温側温度 (広域-高蒸気側) ⑦1次冷却材低温側温度 (広域-低蒸気側)	①1次冷却材圧力の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの1次冷却材圧力 (広域) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ②1次冷却材圧力の計測が困難となった場合は、測定範囲内であれば、1次冷却材圧力を直接測定している加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ③1次冷却材圧力の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気圧力 (CRT) の傾向監視により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ④1次冷却材圧力の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (広域) の上昇がないこととインダクターフェューエーションシステムLOCAを推定する。 ⑤1次冷却材圧力を推定する。推定は、測定範囲内であれば、1次冷却材圧力を直接測定している加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) を優先する。
【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映) ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。			

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

第2.15-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定 (14/16)

大飯発電所3/4号炉

分類	重要な監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕	重要な代替パラメータ 〔多様な計装設備〕	代替パラメータ推定方法
他の監視バスの監視	〔復水器空気抽出器ガスモニタ〕 ① 蒸気発生器水位 (緑) ② 主蒸気圧力	① 蒸気発生器水位 (緑) ② 主蒸気圧力	・復水器空気抽出器ガスモニタ (多様な計装設備) の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。
	〔蒸気発生器プロローダウングラムモニタ〕	① 蒸気発生器水位 (緑) ② 主蒸気圧力	・蒸気発生器プロローダウングラムモニタ (多様な計装設備) の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。
	〔高感度型主蒸気管モニタ〕	① 蒸気発生器水位 (緑) ② 主蒸気圧力	・高感度型主蒸気管モニタ (多様な計装設備) の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。
	〔排気筒ガスモニタ〕	① 1次冷却材圧力 ② 加圧器水位 ③ 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ④ 蒸気発生器水位 (緑) ⑤ 主蒸気圧力	① 排気筒ガスモニタ (多様な計装設備) の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力、加圧器水位、格納容器内積層サンプリング水位 (広)、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
	〔原子炉周辺建屋サブタンク水位〕	① 1次冷却材圧力 ② 加圧器水位 ③ 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ④ 蒸気発生器水位 (緑) ⑤ 主蒸気圧力	・原子炉周辺建屋サブタンク水位 (多様な計装設備) の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力、加圧器水位、格納容器内積層サンプリング水位 (広)、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
	〔余熱除去ポンプ吐出圧力〕	① 1次冷却材圧力 ② 加圧器水位 ③ 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ④ 蒸気発生器水位 (緑) ⑤ 主蒸気圧力	・余熱除去ポンプ吐出圧力 (多様な計装設備) の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力、加圧器水位、格納容器内積層サンプリング水位 (広)、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第6.4.4表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (14/18)

分類	主要パラメータ	代替パラメータ①	代替パラメータ推定方法
格納容器水位の監視	〔復水器排気ガスモニタ〕 ① 蒸気発生器水位 (緑) ② 主蒸気圧力	① 蒸気発生器水位 (緑) ② 主蒸気圧力	① 復水器排気ガスモニタ (自主計装設備) の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。
	〔蒸気発生器プロローダウングラムモニタ〕 ① 蒸気発生器水位 (緑) ② 主蒸気圧力	① 蒸気発生器水位 (緑) ② 主蒸気圧力	① 蒸気発生器プロローダウングラムモニタ (自主計装設備) の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。
	〔高感度型主蒸気管モニタ〕 ① 蒸気発生器水位 (緑) ② 主蒸気圧力	① 蒸気発生器水位 (緑) ② 主蒸気圧力	① 高感度型主蒸気管モニタ (自主計装設備) の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。
	〔排気筒ガスモニタ〕 ① 加圧器水位 ② 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気圧力	① 加圧器水位 ② 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気圧力	① 排気筒ガスモニタ (自主計装設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広)、格納容器内積層サンプリング水位 (広)、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
	〔排気筒高圧レンジガスモニタ (低レンジ)〕 ① 加圧器水位 ② 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気圧力	① 加圧器水位 ② 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気圧力	① 排気筒高圧レンジガスモニタ (低レンジ) (自主計装設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広)、加圧器水位、格納容器内積層サンプリング水位 (広)、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
	〔排気筒高圧レンジガスモニタ (高レンジ)〕 ① 加圧器水位 ② 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気圧力	① 加圧器水位 ② 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気圧力	① 排気筒高圧レンジガスモニタ (高レンジ) (自主計装設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広)、加圧器水位、格納容器内積層サンプリング水位 (広)、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
	〔補助建屋サブタンク水位〕 ① 1次冷却材圧力 (広) ② 加圧器水位 ③ 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ④ 蒸気発生器水位 (緑) ⑤ 主蒸気圧力	① 1次冷却材圧力 (広) ② 加圧器水位 ③ 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ④ 蒸気発生器水位 (緑) ⑤ 主蒸気圧力	① 補助建屋サブタンク水位 (自主計装設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広)、加圧器水位、格納容器内積層サンプリング水位 (広)、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。
	〔余熱除去ポンプ吐出圧力〕 ① 加圧器水位 ② 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気圧力	① 加圧器水位 ② 格納容器内積層サンプリング水位 (広) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気圧力	① 余熱除去ポンプ吐出圧力 (自主計装設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広)、加圧器水位、格納容器内積層サンプリング水位 (広)、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。

〔大飯〕記載方針の相違 (女川実績の反映)
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定（16/16）

大飯発電所3/4号炉

分類	重要な監視パラメータ 【有線な監視パラメータ】	重要代替パラメータ 【多様性拡張設備】		代替パラメータ推定方法
		①主要パラメータの他チャンネル	②格納容器内積算スラップ水位（広域） ③格納容器スプレイ積算流量 ④格納容器スプレイ流量 ⑤格納容器コブレイ流量 ⑥冷却水注入流量 ⑦冷却水排出流量 ⑧冷却水循環流量 ⑨冷却水循環流量	
燃料取扱用水ピペット水位	燃料取扱用水ピペット水位	①主要パラメータの他チャンネル	②格納容器内積算スラップ水位（広域） ③格納容器スプレイ積算流量 ④格納容器スプレイ流量 ⑤格納容器コブレイ流量 ⑥冷却水注入流量 ⑦冷却水排出流量 ⑧冷却水循環流量 ⑨冷却水循環流量	<ul style="list-style-type: none"> 燃料取扱用水ピペット水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの燃料取扱用水ピペット水位により推定する。 燃料取扱用水ピペット水位の計測が困難となった場合は、格納容器内積算スラップ水位（広域）又格納容器スプレイ積算流量等の燃料取扱用水ピペットを本測とする。本測の本水量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。推定は、格納容器内積算スラップ水位（広域）を優先するが、燃料取扱用水ピペット以外からの注水量がないことを前提とする。
		①主要パラメータの他チャンネル	②格納容器内積算スラップ水位（広域） ③格納容器スプレイ積算流量 ④格納容器スプレイ流量 ⑤格納容器コブレイ流量 ⑥冷却水注入流量 ⑦冷却水排出流量 ⑧冷却水循環流量 ⑨冷却水循環流量	<ul style="list-style-type: none"> 燃料取扱用水ピペット水位の計測が困難となった場合は、緊急ほうろく本測設備（多様性拡張設備）により注水量を推定し、水源の有無や使用量を推定する。また、炉心へのほうろく本測注入に伴う炉心の反応変化に起因していることを注出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により水源の有無を推定する。
ほうろくタンク水位	ほうろくタンク水位	①主要パラメータの他チャンネル	②緊急ほうろく本測設備	<ul style="list-style-type: none"> ほうろくタンク水位の計測が困難となった場合は、緊急ほうろく本測設備（多様性拡張設備）により注水量を推定する。 ほうろくタンク水位の計測が困難となった場合は、緊急ほうろく本測設備（多様性拡張設備）により注水量を推定し、水源の有無や使用量を推定する。また、炉心へのほうろく本測注入に伴う炉心の反応変化に起因していることを注出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により水源の有無を推定する。
		①主要パラメータの他チャンネル	②緊急ほうろく本測設備	<ul style="list-style-type: none"> ほうろくタンク水位の計測が困難となった場合は、緊急ほうろく本測設備（多様性拡張設備）により注水量を推定する。 ほうろくタンク水位の計測が困難となった場合は、緊急ほうろく本測設備（多様性拡張設備）により注水量を推定し、水源の有無や使用量を推定する。また、炉心へのほうろく本測注入に伴う炉心の反応変化に起因していることを注出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により水源の有無を推定する。

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第6.4.4表 代替パラメータによる主要パラメータの推定（16/16）

分類	主要パラメータ	代替パラメータ※1		代替パラメータ推定方法
		①主要パラメータの他チャンネル	②補助給水流量 ③冷却水流量 ④冷却水流量 ⑤冷却水流量 ⑥冷却水流量 ⑦冷却水流量 ⑧冷却水流量 ⑨冷却水流量	
燃料取扱用水ピペット水位	燃料取扱用水ピペット水位	①主要パラメータの他チャンネル	②格納容器内積算スラップ水位（広域） ③格納容器スプレイ積算流量 ④格納容器スプレイ流量 ⑤格納容器コブレイ流量 ⑥冷却水注入流量 ⑦冷却水排出流量 ⑧冷却水循環流量 ⑨冷却水循環流量	<ul style="list-style-type: none"> 燃料取扱用水ピペット水位の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの燃料取扱用水ピペット水位により推定する。 燃料取扱用水ピペット水位の計測が困難となった場合は、格納容器内積算スラップ水位（広域）により推定する。なお、燃料取扱用水ピペット以外からの注水量がないことを前提とする。 燃料取扱用水ピペット水位の監視が不可能となった場合は、格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用）等の燃料取扱用水ピペットを本測とする。本測の本水量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。
		①主要パラメータの他チャンネル	②格納容器内積算スラップ水位（広域） ③格納容器スプレイ積算流量 ④格納容器スプレイ流量 ⑤格納容器コブレイ流量 ⑥冷却水注入流量 ⑦冷却水排出流量 ⑧冷却水循環流量 ⑨冷却水循環流量	<ul style="list-style-type: none"> 燃料取扱用水ピペット水位の計測が困難となった場合は、緊急ほうろく本測設備（多様性拡張設備）により注水量を推定する。 燃料取扱用水ピペット水位の計測が困難となった場合は、緊急ほうろく本測設備（多様性拡張設備）により注水量を推定し、水源の有無や使用量を推定する。また、炉心へのほうろく本測注入に伴う炉心の反応変化に起因していることを注出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により水源の有無を推定する。
ほうろくタンク水位	ほうろくタンク水位	①主要パラメータの他チャンネル	②緊急ほうろく本測設備	<ul style="list-style-type: none"> ほうろくタンク水位の計測が困難となった場合は、緊急ほうろく本測設備（多様性拡張設備）により注水量を推定する。 ほうろくタンク水位の計測が困難となった場合は、緊急ほうろく本測設備（多様性拡張設備）により注水量を推定し、水源の有無や使用量を推定する。また、炉心へのほうろく本測注入に伴う炉心の反応変化に起因していることを注出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により水源の有無を推定する。
		①主要パラメータの他チャンネル	②緊急ほうろく本測設備	<ul style="list-style-type: none"> ほうろくタンク水位の計測が困難となった場合は、緊急ほうろく本測設備（多様性拡張設備）により注水量を推定する。 ほうろくタンク水位の計測が困難となった場合は、緊急ほうろく本測設備（多様性拡張設備）により注水量を推定し、水源の有無や使用量を推定する。また、炉心へのほうろく本測注入に伴う炉心の反応変化に起因していることを注出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により水源の有無を推定する。

【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																				
		<p style="text-align: center;">第6.4.4表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (18/18)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">分類</th> <th style="width: 25%;">主要パラメータ</th> <th style="width: 25%;">代替パラメータ※1</th> <th style="width: 35%;">代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="5" style="text-align: center; vertical-align: middle;">使用済燃料ピットの監視</td> <td>〔使用済燃料ピット水位〕※2</td> <td>①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>①使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピット温度〕※2</td> <td>①使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>①使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピットエアモニタ〕※2</td> <td>①使用済燃料ピット可搬型エアモニタ</td> <td>①使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの放射線量を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔標準型水温計〕※2</td> <td>①標準型水温計 (AM用)</td> <td>①標準型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔標準型水位計〕※2</td> <td>①標準型水位計 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>①標準型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。 ※2：「 』は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器 (耐震性又は耐震等級性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器) を示す。</p>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ※1	代替パラメータ推定方法	使用済燃料ピットの監視	〔使用済燃料ピット水位〕※2	①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)	①使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。	〔使用済燃料ピット温度〕※2	①使用済燃料ピット温度 (AM用)	①使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。	〔使用済燃料ピットエアモニタ〕※2	①使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	①使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの放射線量を推定する。	〔標準型水温計〕※2	①標準型水温計 (AM用)	①標準型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。	〔標準型水位計〕※2	①標準型水位計 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)	①標準型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。	<p>【大飯】記載方針の相違 (相違理由①)</p>
分類	主要パラメータ	代替パラメータ※1	代替パラメータ推定方法																				
使用済燃料ピットの監視	〔使用済燃料ピット水位〕※2	①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)	①使用済燃料ピット水位 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。																				
	〔使用済燃料ピット温度〕※2	①使用済燃料ピット温度 (AM用)	①使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。																				
	〔使用済燃料ピットエアモニタ〕※2	①使用済燃料ピット可搬型エアモニタ	①使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの放射線量を推定する。																				
	〔標準型水温計〕※2	①標準型水温計 (AM用)	①標準型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。																				
	〔標準型水位計〕※2	①標準型水位計 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)	①標準型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。																				

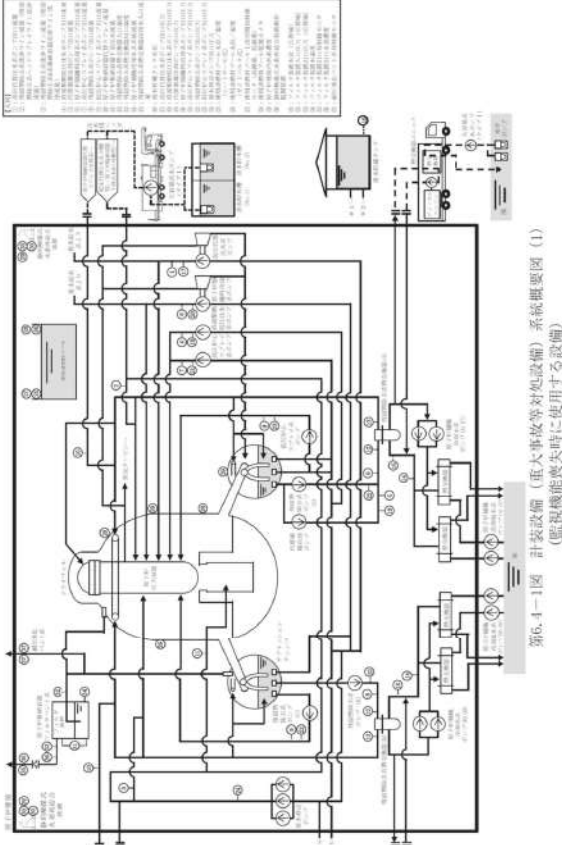
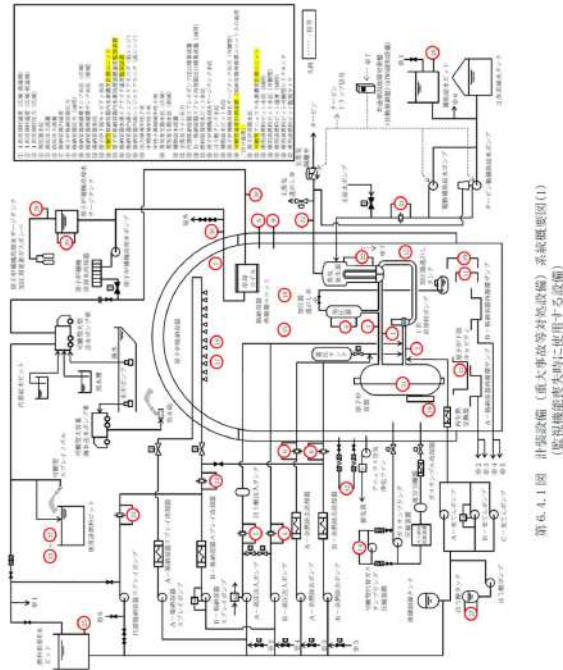
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																														
	<p>第6.4-4表 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ</p> <table border="1" data-bbox="667 264 1223 676"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">電源</td><td>6-2F-1 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2F-2 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2C 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2D 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2H 母線電圧</td></tr> <tr><td>4-2C 母線電圧</td></tr> <tr><td>4-2D 母線電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2A 電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2B 電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td></tr> <tr><td>250V 直流主母線電圧</td></tr> <tr><td>HPCS125V 直流主母線電圧</td></tr> <tr><td rowspan="2">その他</td><td>高圧窒素ガス供給系 ADS 入口圧力</td></tr> <tr><td>代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力</td></tr> </tbody> </table>	分類	補助パラメータ	電源	6-2F-1 母線電圧	6-2F-2 母線電圧	6-2C 母線電圧	6-2D 母線電圧	6-2H 母線電圧	4-2C 母線電圧	4-2D 母線電圧	125V 直流主母線 2A 電圧	125V 直流主母線 2B 電圧	125V 直流主母線 2A-1 電圧	125V 直流主母線 2B-1 電圧	250V 直流主母線電圧	HPCS125V 直流主母線電圧	その他	高圧窒素ガス供給系 ADS 入口圧力	代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力	<p>第6.4.5表 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ</p> <table border="1" data-bbox="1254 264 1814 523"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">電源</td><td>6-A, B 母線電圧</td></tr> <tr><td>A, B-直流コントロールセンタ母線電圧</td></tr> <tr><td rowspan="2">補機</td><td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td></tr> <tr><td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td></tr> <tr><td rowspan="2">その他</td><td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td></tr> </tbody> </table>	分類	補助パラメータ	電源	6-A, B 母線電圧	A, B-直流コントロールセンタ母線電圧	補機	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	その他	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)	<p>【大飯】設備の相違（女川実績の反映） (相違理由①)</p> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。
分類	補助パラメータ																																
電源	6-2F-1 母線電圧																																
	6-2F-2 母線電圧																																
	6-2C 母線電圧																																
	6-2D 母線電圧																																
	6-2H 母線電圧																																
	4-2C 母線電圧																																
	4-2D 母線電圧																																
	125V 直流主母線 2A 電圧																																
	125V 直流主母線 2B 電圧																																
	125V 直流主母線 2A-1 電圧																																
	125V 直流主母線 2B-1 電圧																																
	250V 直流主母線電圧																																
	HPCS125V 直流主母線電圧																																
その他	高圧窒素ガス供給系 ADS 入口圧力																																
	代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力																																
分類	補助パラメータ																																
電源	6-A, B 母線電圧																																
	A, B-直流コントロールセンタ母線電圧																																
補機	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																
	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)																																
その他	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)																																
	原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)																																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第6.4-11図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図（1） （監視機能喪失時に使用する設備）</p>	 <p>第6.4.1図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図（1） （監視機能喪失時に使用する設備）</p>	<p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、女川と同様に設備の概略系統図を記載している。 <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。

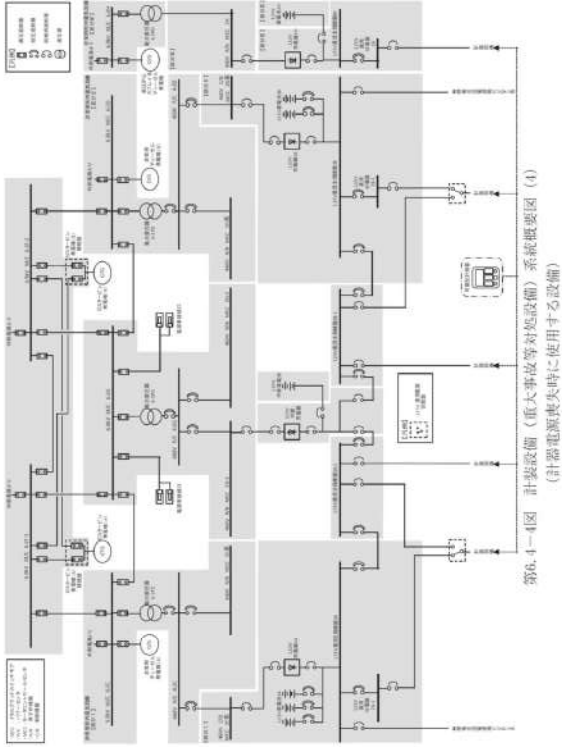
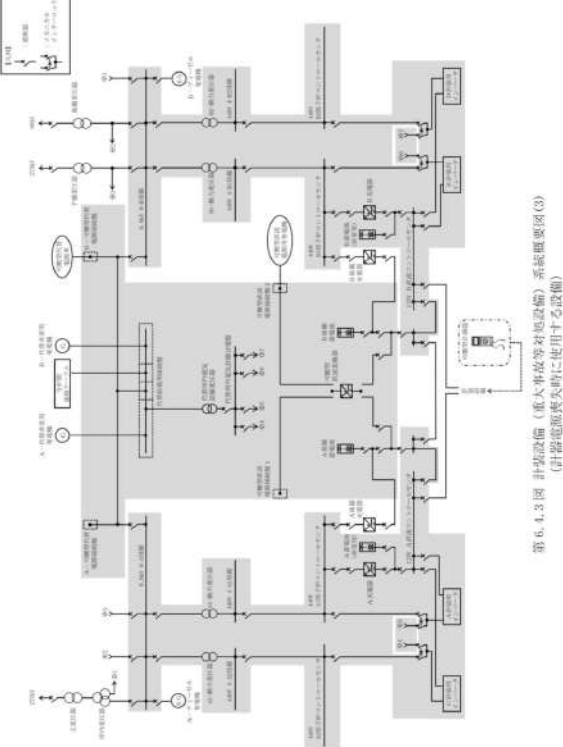
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>第58-1図 計測機器の電源構成図</p>	<p>第58-2図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図（3） （計器電源喪失時に使用する設備）</p>	<p>第6.4.2図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図（2） （計器電源喪失時に使用する設備）</p>	<p>【大飯】【女川】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源構成の相違 <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の記載表現を反映し、交流と直流で図を分けた（左記の図は交流）。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>第6.4-4図 計装設備（重大事故等対応設備）系統概要図(1) (計器電源喪失時に使用する設備)</p>	 <p>第6.4.3図 計装設備（重大事故等対応設備）系統概要図(3) (計器電源喪失時に使用する設備)</p>	<p>【女川】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源構成の相違 <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の記載表現を反映し、交流と直流で図を分けた（左記の図は直流）。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

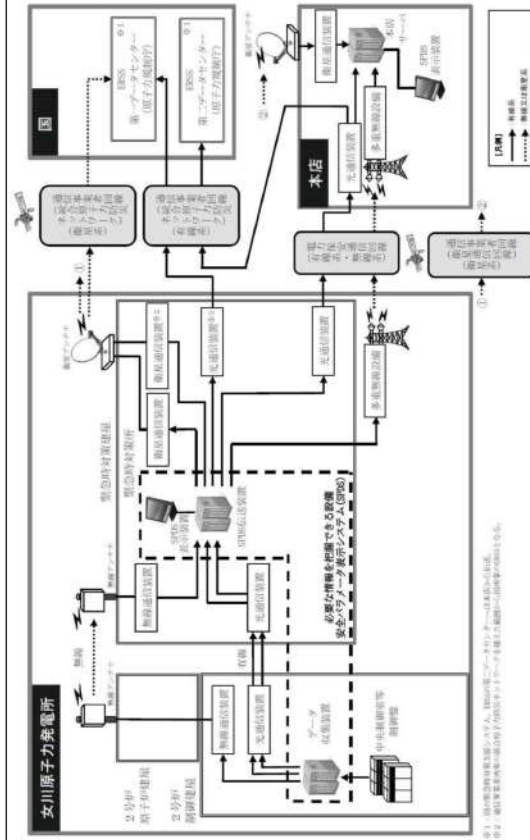
赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

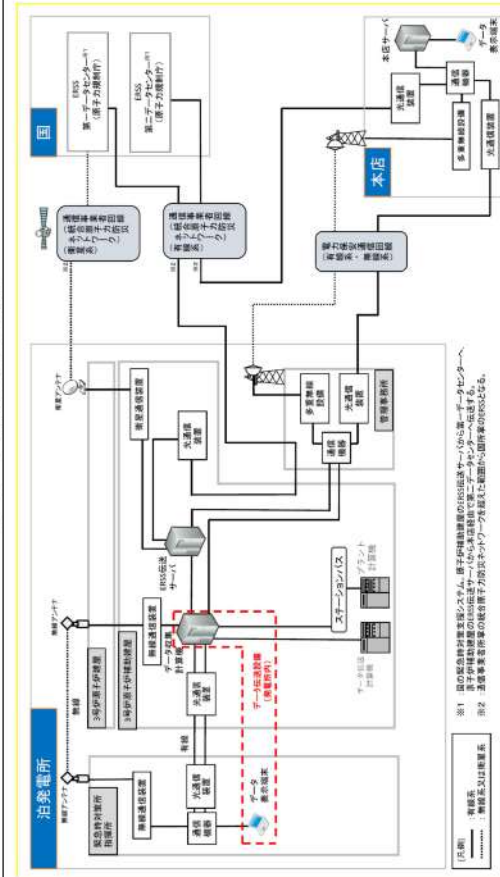
女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由



第6.4-5図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図(5)
 （パラメータ記録時に使用する設備）



第6.4-4図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図(4)
 （パラメータ記録時に使用する設備）

【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）
 ・泊は女川実績を反映し、パラメータ記録時に使用する設備の概略系統図を記載している。
 【女川】設備の相違（相違理由④）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>(大阪該当資料なし。以降同様)</p>	<p>3.15 計装設備【58条】</p> <p style="text-align: center;">< 添付資料 目次 ></p> <p>3.15 計装設備</p> <p>3.15.1 設置許可基準規則第58条への適合方針</p> <p>(1) 把握能力の整備（設置許可基準規則解釈の第1項 a）</p> <p>(2) 推定手段の整備（設置許可基準規則解釈の第1項 b）</p> <p>(3) パラメータ記録時に使用する設備（設置許可基準規則解釈の第1項 c）</p> <p>3.15.2 重大事故等対処設備</p> <p>3.15.2.1 計装設備</p> <p>3.15.2.1.1 設備概要</p> <p>3.15.2.1.2 主要設備の仕様</p> <p>3.15.2.1.3 設置許可基準規則第43条への適合方針</p> <p>3.15.2.1.3.1 設置許可基準規則第43条第1項への適合方針</p> <p>(1) 環境条件及び荷重条件（設置許可基準規則第43条第1項第一号）</p> <p>(2) 操作性（設置許可基準規則第43条第1項第二号）</p> <p>(3) 試験及び検査（設置許可基準規則第43条第1項第三号）</p> <p>(4) 切替えの容易性（設置許可基準規則第43条第1項第四号）</p> <p>(5) 悪影響の防止（設置許可基準規則第43条第1項第五号）</p> <p>(6) 設置場所（設置許可基準規則第43条第1項第六号）</p> <p>3.15.2.1.3.2 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針</p> <p>(1) 容量（設置許可基準規則第43条第2項第一号）</p> <p>(2) 共用の禁止（設置許可基準規則第43条第2項第二号）</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性（設置許可基準規則第43条第2項第三号）</p> <p>3.15.2.1.3.3 設置許可基準規則第43条第3項への適合方針</p> <p>(1) 容量（設置許可基準規則第43条第3項第一号）</p> <p>(2) 確実な接続（設置許可基準規則第43条第3項第二号）</p> <p>(3) 複数の接続口（設置許可基準規則第43条第3項第三号）</p> <p>(4) 設置場所（設置許可基準規則第43条第3項第四号）</p> <p>(5) 保管場所（設置許可基準規則第43条第3項第五号）</p> <p>(6) アクセスルートの確保（設置許可基準規則第43条第3項第六号）</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性（設置許可基準規則第43条第3項第七号）</p>	<p>2.15 計装設備【58条】</p> <p style="text-align: center;">< 添付資料 目次 ></p> <p>2.15 計装設備</p> <p>2.15.1 設置許可基準規則第58条への適合方針</p> <p>(1) 把握能力の整備（設置許可基準規則解釈の第1項 a）</p> <p>(2) 推定手段の整備（設置許可基準規則解釈の第1項 b）</p> <p>(3) パラメータ記録時に使用する設備（設置許可基準規則解釈の第1項 c）</p> <p>2.15.2 重大事故等対処設備</p> <p>2.15.2.1 計装設備</p> <p>2.15.2.1.1 設備概要</p> <p>2.15.2.1.2 主要設備の仕様</p> <p>2.15.2.1.3 設置許可基準規則第43条への適合方針</p> <p>2.15.2.1.3.1 設置許可基準規則第43条第1項への適合方針</p> <p>(1) 環境条件及び荷重条件（設置許可基準規則第43条第1項第一号）</p> <p>(2) 操作性（設置許可基準規則第43条第1項第二号）</p> <p>(3) 試験及び検査（設置許可基準規則第43条第1項第三号）</p> <p>(4) 切替えの容易性（設置許可基準規則第43条第1項第四号）</p> <p>(5) 悪影響の防止（設置許可基準規則第43条第1項第五号）</p> <p>(6) 設置場所（設置許可基準規則第43条第1項第六号）</p> <p>2.15.2.1.3.2 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針</p> <p>(1) 容量（設置許可基準規則第43条第2項第一号）</p> <p>(2) 共用の禁止（設置許可基準規則第43条第2項第二号）</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性（設置許可基準規則第43条第2項第三号）</p> <p>2.15.2.1.3.3 設置許可基準規則第43条第3項への適合方針</p> <p>(1) 容量（設置許可基準規則第43条第3項第一号）</p> <p>(2) 確実な接続（設置許可基準規則第43条第3項第二号）</p> <p>(3) 複数の接続口（設置許可基準規則第43条第3項第三号）</p> <p>(4) 設置場所（設置許可基準規則第43条第3項第四号）</p> <p>(5) 保管場所（設置許可基準規則第43条第3項第五号）</p> <p>(6) アクセスルートの確保（設置許可基準規則第43条第3項第六号）</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性（設置許可基準規則第43条第3項第七号）</p>	<p>■章番号の相違</p> <p>・以下、同様の相違は、相違理由の記載を省略する。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3.15 計装設備【58条】</p> <p>【設置許可基準規則】 （計装設備）</p> <p>第五十八条 発電用原子炉施設には、重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備を設けなければならない。</p> <p>（解釈）</p> <p>1 第58条に規定する「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。なお、「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ」とは、事業者が検討すべき炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を意味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態の把握能力を明確にすること。（最高計測可能温度等） b) 発電用原子炉施設の状態の把握能力（最高計測可能温度等）を超えた場合の発電用原子炉施設の状態の推定手段を整備すること。 <ul style="list-style-type: none"> i) 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位が推定できる手段を整備すること。 ii) 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量が推定できる手段を整備すること。 iii) 推定するために必要なパラメータは、複数のパラメータの中から確からしさを考慮し、優先順位を定めておくこと。 c) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータが計測又は監視及び記録ができること。 <p>3.15 計装設備</p> <p>3.15.1 設置許可基準規則第58条への適合方針</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ（炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な発電用原子炉施設の状態を把握</p>	<p>2.15 計装設備【58条】</p> <p>【設置許可基準規則】 （計装設備）</p> <p>第五十八条 発電用原子炉施設には、重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備を設けなければならない。</p> <p>（解釈）</p> <p>1 第58条に規定する「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。なお、「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ」とは、事業者が検討すべき炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を意味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態の把握能力を明確にすること。（最高計測可能温度等） b) 発電用原子炉施設の状態の把握能力（最高計測可能温度等）を超えた場合の発電用原子炉施設の状態の推定手段を整備すること。 <ul style="list-style-type: none"> i) 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位が推定できる手段を整備すること。 ii) 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量が推定できる手段を整備すること。 iii) 推定するために必要なパラメータは、複数のパラメータの中から確からしさを考慮し、優先順位を定めておくこと。 c) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータが計測又は監視及び記録ができること。 <p>2.15 計装設備</p> <p>2.15.1 設置許可基準規則第58条への適合方針</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ（炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な発電用原子炉施設の状態を把握</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>するためのパラメータ)は、「表 3.15-9 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された主要パラメータ (重要監視パラメータ)とする。</p> <p>当該パラメータを推定するために必要なパラメータは、「表 3.15-9 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された代替パラメータ (重要代替監視パラメータ)とする。</p> <p>主要パラメータ及び代替パラメータのうち自主対策設備の計器のみで計測される場合は、有効監視パラメータ (自主対策設備)とする (図 3.15-3 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー参照)。</p> <p>また、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとし、補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。</p> <p>なお、重大事故等対処設備の運転及び動作状態を表示する設備 (ランプ表示灯)については、各条文の設置許可基準規則第43条への適合方針のうち、(2)操作性 (設置許可基準規則第43条第1項第二号)にて適合性を整理する (図 3.15-3 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー参照)。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【島根2号炉まとめ資料 (添付) より転載】</p> <p>なお、重大事故等対処設備の運転及び動作状態を表示する設備 (ランプ表示灯等)については、各条文の設置許可基準規則第43条への適合状況のうち、(2)操作性 (設置許可基準規則第43条第1項二)にて、適合性を整理する (第3.15-2 図 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー参照)。</p> </div> <p>(1) 把握能力の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 a)) 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備 (重大事故等対処設備)について、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握するための能力 (最高計測可能温度等 (設計基準最大値等))を明確にする。計測範囲を表 3.15-10 に示す。</p> <p>(2) 推定手段の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 b)) a. 監視機能喪失時に使用する設備 発電用原子炉施設の状態の把握能力を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定する手段を有する設計とする。 重要監視パラメータ又は有効監視パラメータ (原子炉圧力</p>	<p>するためのパラメータ)は、「表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された主要パラメータ (重要監視パラメータ)とする。</p> <p>当該パラメータを推定するために必要なパラメータは、「表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された代替パラメータ (重要代替監視パラメータ)とする。</p> <p>主要パラメータ及び代替パラメータのうち自主対策設備の計器のみで計測される場合は、有効監視パラメータ (自主対策設備)とする (図 2.15.9 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー参照)。</p> <p>また、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとし、補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。</p> <p>なお、重大事故等対処設備の運転及び動作状態を表示する設備 (ランプ表示灯等)については、各条文の設置許可基準規則第43条への適合方針のうち、(2)操作性 (設置許可基準規則第43条第1項第二号)にて適合性を整理する (図 2.15.9 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー参照)。</p> <p>(1) 把握能力の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 a)) 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備 (重大事故等対処設備)について、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握するための能力 (最高計測可能温度等 (設計基準最大値等))を明確にする。計測範囲を表 2.15.9 に示す。</p> <p>(2) 推定手段の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 b)) a. 監視機能喪失時に使用する設備 発電用原子炉施設の状態の把握能力を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定する手段を有する設計とする。 重要監視パラメータ又は有効監視パラメータ (原子炉圧力</p>	<p>■図表番号の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下、同様の相違は、相違理由の記載を省略する。 <p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は重大事故等対処設備の操作をハードウェア又はソフトウェアのスイッチにより行うため、ランプ表示灯以外に画面表示がある (柏崎、東二、島根も同様)。女川はハードスイッチにより行うため、ランプ表示灯のみ。 	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>容器内の温度、圧力及び水位並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量等)の計測が困難となった場合又は計測範囲を超えた場合、「表 3.15-9 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の計器故障時の代替パラメータによる推定又は計器の計測範囲を超えた場合の代替パラメータによる推定の対応手段等により推定ができる設計とする。</p> <p>計器故障時に、当該パラメータの他チャンネルの計器がある場合、他チャンネルの計器により計測するとともに、重要代替監視パラメータが複数ある場合は、推定する重要監視パラメータとの関係性がより直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を踏まえた計測される値の確からしさを考慮し、優先順位を定める。推定手段及び優先順位を表 3.15-11 に示す。</p> <p>b. 計器電源喪失時に使用する設備</p> <p>非常用交流電源設備又は非常用直流電源設備の喪失等により計器電源が喪失した場合において、計装設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄電式直流電源設備、常設代替直流電源設備又は可搬型代替直流電源設備を使用する。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設代替交流電源設備 ・可搬型代替交流電源設備 ・所内常設蓄電式直流電源設備 ・常設代替直流電源設備 ・可搬型代替直流電源設備 ・代替所内電気設備 <p>【伊方3号炉 1.14 まとめ資料より転載】</p> <p>d. 代替電源 (直流) による給電対応手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合において、交流動力電源又は代替電源 (交流) による非常用直流母線への給電が復旧する見込みがない場合及び蓄電池 (非常用) からの給電ができない場合、代替電源 (直流) により非常用直流母線へ給電する手段がある。</p> <p>代替電源 (直流) による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池 (重大事故等対処用) ・可搬型直流電源装置 (75kVA 電源車及び可搬型整流器による構成) <p>1.14.2.4 代替電源 (直流) による給電手順等</p> <p>(1) 蓄電池 (重大事故等対処用) による代替電源 (直流) からの給電</p>	<p>容器内の温度、圧力及び水位並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量等)の計測が困難となった場合又は計測範囲を超えた場合、「表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の計器故障時の代替パラメータによる推定又は計器の計測範囲を超えた場合の代替パラメータによる推定の対応手段等により推定ができる設計とする。</p> <p>計器故障時に、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器がある場合、他チャンネルの計器による計測を優先し、次に他ループの計器により計測するとともに、重要代替監視パラメータが複数ある場合は、推定する重要監視パラメータとの関係性がより直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を踏まえた計測される値の確からしさを考慮し、優先順位を定める。推定手段及び優先順位を表 2.15.10 に示す。</p> <p>b. 計器電源喪失時に使用する設備</p> <p>非常用交流電源設備又は非常用直流電源設備の喪失等により計器電源が喪失した場合において、計装設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄電式直流電源設備又は可搬型代替直流電源設備を使用する。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設代替交流電源設備 ・可搬型代替交流電源設備 ・所内常設蓄電式直流電源設備 ・可搬型代替直流電源設備 ・代替所内電気設備 	<p>■設備構成の相違 (相違理由②)</p> <p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川では所内常設蓄電式直流電源設備による給電ができない場合の手段として常設代替直流電源設備による給電を整備しており、これら電源による給電により 24 時間にわたり直流母線への給電が可能。 ・泊では所内常設蓄電式直流電源設備 (蓄電池 (非常用) と後備蓄電池) による給電により 24 時間にわたり直流母線への給電が可能であり、後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合は、可搬型代替直流電源設備 (可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器) による給電により対応する (伊方と同様)。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>蓄電池 (非常用) は、全交流動力電源喪失時において、事象発生後、2時間以内に中央制御室に隣接する計装盤室において簡易な操作で不要な負荷を切離すことにより8時間、その後、事象発生から8時間以内に不要な負荷を切離し、蓄電池 (重大事故等対処用) へ切替えることで24時間にわたって給電を確保する。</p> <p>(2) 可搬型直流電源装置による代替電源 (直流) からの給電 全交流動力電源喪失時に、蓄電池 (重大事故等対処用) からの給電にて母線電圧が低下する前 (事象発生後約24時間) に、可搬型直流電源装置による代替電源 (直流) からの給電を行う。</p> <p>また、代替電源設備が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備として、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、乾電池等を電源とした可搬型計測器を整備する。</p> <p>なお、可搬型計測器による計測においては、計測対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視するものとする。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視するものとする。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 <p>(3) パラメータ記録時に使用する設備 (設置許可基準規則解釈の第1項c)) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは計測又は監視及び記録が可能な設計とする。</p> <p>重大事故等の対応に必要なパラメータは、電磁的に記録、保存し、電源喪失により保存した記録が失われないとともに、帳票が出力可能な設計とする。</p> <p>また、記録は必要な容量を保存可能な設計とする。</p> <p>具体的な設備については、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全パラメータ表示システム (SPDS) (データ収集装置、SPDS 伝送装置及び SPDS 表示装置) <p style="text-align: right;">(図 3.15-6)</p>	<p>また、代替電源設備が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備として、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、乾電池を電源とした可搬型計測器を整備する。</p> <p>なお、可搬型計測器による計測においては、計測対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視するものとする。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視するものとする。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 <p>(3) パラメータ記録時に使用する設備 (設置許可基準規則解釈の第1項c)) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは計測又は監視及び記録が可能な設計とする。</p> <p>重大事故等の対応に必要なパラメータは、電磁的に記録、保存し、電源喪失により保存した記録が失われないとともに、帳票が出力可能な設計とする。</p> <p>また、記録は必要な容量を保存可能な設計とする。</p> <p>具体的な設備については、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ伝送設備 (発電所内) (データ収集計算機及びデータ表示端末) ・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) <p style="text-align: right;">(図 2.15.4)</p>	<p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の可搬型計測器は、乾電池のほかACアダプタからも給電が可能であるのに対し、泊は乾電池のみである。万一、乾電池の電源が無くなったとしても、乾電池の予備を配備しており、すぐに交換可能である (大飯と同様)。 <p>■設備の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>3.15.2 重大事故等対処設備</p> <p>3.15.2.1 計装設備</p> <p>3.15.2.1.1 設備概要</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器 (非常用のものを含む。) の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>表 3.15-1 に計測設備に関する重大事故等対処設備一覧を示す。</p> <p>図 3.15-4 から図 3.15-6 に重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計装設備の概要図を示す。</p> <p>なお、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータについては、重大事故等時の有効な情報を把握するため、設計基準対象施設の計装設備も用いて監視している。このような計装設備は、設計基準対象施設としての要件に沿って設置しており、かつ、その使用目的を変えるものではないが、推定という手法も含めて設置許可基準規則第 58 条適合のために必要な設備であることから、他の重大事故等対処設備の計装設備と併せて設置許可基準規則第 43 条への適合方針を整理する。</p> <p>また、発電用原子炉施設の状態を補助的に監視する補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。</p>	<p>2.15.2 重大事故等対処設備</p> <p>2.15.2.1 計装設備</p> <p>2.15.2.1.1 設備概要</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器 (非常用のものを含む。) の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>表 2.15.1 に計測設備に関する重大事故等対処設備一覧を示す。</p> <p>図 2.15.3 及び図 2.15.4 に重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計装設備の概要図を示す。</p> <p>なお、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータについては、重大事故等時の有効な情報を把握するため、設計基準対象施設の計装設備も用いて監視している。このような計装設備は、設計基準対象施設としての要件に沿って設置しており、かつ、その使用目的を変えるものではないが、推定という手法も含めて設置許可基準規則第 58 条適合のために必要な設備であることから、他の重大事故等対処設備の計装設備と併せて設置許可基準規則第 43 条への適合方針を整理する。</p> <p>また、発電用原子炉施設の状態を補助的に監視する補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																												
	<p>表3.15-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (1/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>原子炉圧力容器温度【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉圧力 (SA)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉水位 (広帯域)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉水位 (燃料域)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉水位 (SA広帯域)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉水位 (SA燃料域)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧代替注水系ポンプ出口流量【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器代替スプレー流量【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器下部注水流量【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ドライウエル温度【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>圧力抑制室内空気温度【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>サブプレッションプール水温度【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器下部温度【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ドライウエル圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>圧力抑制室圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>圧力抑制室水位【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器下部水位【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ドライウエル水位【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内水素濃度 (D/W)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内水素濃度 (S/C)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内雰囲気気水素濃度【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/R)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>起動領域モニタ【常設】</td> </tr> </tbody> </table> <p>(次頁へ続く)</p>	設備区分	設備名	主要設備	原子炉圧力容器温度【常設】		原子炉圧力【常設】		原子炉圧力 (SA)【常設】		原子炉水位 (広帯域)【常設】		原子炉水位 (燃料域)【常設】		原子炉水位 (SA広帯域)【常設】		原子炉水位 (SA燃料域)【常設】		高圧代替注水系ポンプ出口流量【常設】		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)【常設】		残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)【常設】		直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量【常設】		代替循環冷却ポンプ出口流量【常設】		原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】		高圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】		残留熱除去系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】		低圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】		原子炉格納容器代替スプレー流量【常設】		原子炉格納容器下部注水流量【常設】		ドライウエル温度【常設】		圧力抑制室内空気温度【常設】		サブプレッションプール水温度【常設】		原子炉格納容器下部温度【常設】		ドライウエル圧力【常設】		圧力抑制室圧力【常設】		圧力抑制室水位【常設】		原子炉格納容器下部水位【常設】		ドライウエル水位【常設】		格納容器内水素濃度 (D/W)【常設】		格納容器内水素濃度 (S/C)【常設】		格納容器内雰囲気気水素濃度【常設】		格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/R)【常設】		格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C)【常設】		起動領域モニタ【常設】	<p>表2.15.1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (1/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>1次冷却材圧力 (広域)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>加圧器水位【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉容器水位【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>高圧注入流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低圧注入流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量 (AM用)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内温度【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器圧力 (AM用)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器再循環サンプ水位 (狭域)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器水位【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉下部キャビティ水位【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出力領域中性子束【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中間領域中性子束【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>中性子線領域中性子束【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器水位 (狭域) (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>蒸気発生器水位 (広域) (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助給水流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>主蒸気ライン圧力 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉補機冷却水サージタンク水位 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>燃料取替用水ピット水位【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ほう酸タンク水位【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>補助給水ピット水位 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>格納容器水素イグナイタ温度監視装置【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用済燃料ピット温度 (AM用)【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>使用済燃料ピット監視カメラ【常設】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>データ伝送設備 (発電所内)【常設】*</td> </tr> </tbody> </table> <p>(次頁へ続く)</p>	設備区分	設備名	主要設備	1次冷却材温度 (広域-高温側)【常設】		1次冷却材温度 (広域-低温側)【常設】		1次冷却材圧力 (広域)【常設】		加圧器水位【常設】		原子炉容器水位【常設】		高圧注入流量 (設計基準拡張)【常設】		低圧注入流量 (設計基準拡張)【常設】		代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量【常設】		B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量 (AM用)【常設】		格納容器内温度【常設】		原子炉格納容器圧力【常設】		格納容器圧力 (AM用)【常設】		格納容器再循環サンプ水位 (広域)【常設】		格納容器再循環サンプ水位 (狭域)【常設】		格納容器水位【常設】		原子炉下部キャビティ水位【常設】		格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)【常設】		格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)【常設】		出力領域中性子束【常設】		中間領域中性子束【常設】		中性子線領域中性子束【常設】		蒸気発生器水位 (狭域) (設計基準拡張)【常設】		蒸気発生器水位 (広域) (設計基準拡張)【常設】		補助給水流量 (設計基準拡張)【常設】		主蒸気ライン圧力 (設計基準拡張)【常設】		原子炉補機冷却水サージタンク水位 (設計基準拡張)【常設】		燃料取替用水ピット水位【常設】		ほう酸タンク水位【常設】		補助給水ピット水位 (設計基準拡張)【常設】		原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置【常設】		格納容器水素イグナイタ温度監視装置【常設】		使用済燃料ピット水位 (AM用)【常設】		使用済燃料ピット温度 (AM用)【常設】		使用済燃料ピット監視カメラ【常設】		データ伝送設備 (発電所内)【常設】*	<p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。
設備区分	設備名																																																																																																																																														
主要設備	原子炉圧力容器温度【常設】																																																																																																																																														
	原子炉圧力【常設】																																																																																																																																														
	原子炉圧力 (SA)【常設】																																																																																																																																														
	原子炉水位 (広帯域)【常設】																																																																																																																																														
	原子炉水位 (燃料域)【常設】																																																																																																																																														
	原子炉水位 (SA広帯域)【常設】																																																																																																																																														
	原子炉水位 (SA燃料域)【常設】																																																																																																																																														
	高圧代替注水系ポンプ出口流量【常設】																																																																																																																																														
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)【常設】																																																																																																																																														
	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)【常設】																																																																																																																																														
	直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量【常設】																																																																																																																																														
	代替循環冷却ポンプ出口流量【常設】																																																																																																																																														
	原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	高圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	残留熱除去系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	低圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	原子炉格納容器代替スプレー流量【常設】																																																																																																																																														
	原子炉格納容器下部注水流量【常設】																																																																																																																																														
	ドライウエル温度【常設】																																																																																																																																														
	圧力抑制室内空気温度【常設】																																																																																																																																														
	サブプレッションプール水温度【常設】																																																																																																																																														
	原子炉格納容器下部温度【常設】																																																																																																																																														
	ドライウエル圧力【常設】																																																																																																																																														
	圧力抑制室圧力【常設】																																																																																																																																														
	圧力抑制室水位【常設】																																																																																																																																														
	原子炉格納容器下部水位【常設】																																																																																																																																														
	ドライウエル水位【常設】																																																																																																																																														
	格納容器内水素濃度 (D/W)【常設】																																																																																																																																														
	格納容器内水素濃度 (S/C)【常設】																																																																																																																																														
	格納容器内雰囲気気水素濃度【常設】																																																																																																																																														
	格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/R)【常設】																																																																																																																																														
	格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C)【常設】																																																																																																																																														
	起動領域モニタ【常設】																																																																																																																																														
設備区分	設備名																																																																																																																																														
主要設備	1次冷却材温度 (広域-高温側)【常設】																																																																																																																																														
	1次冷却材温度 (広域-低温側)【常設】																																																																																																																																														
	1次冷却材圧力 (広域)【常設】																																																																																																																																														
	加圧器水位【常設】																																																																																																																																														
	原子炉容器水位【常設】																																																																																																																																														
	高圧注入流量 (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	低圧注入流量 (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	代替格納容器スプレーポンプ出口積算流量【常設】																																																																																																																																														
	B-格納容器スプレー冷却器出口積算流量 (AM用)【常設】																																																																																																																																														
	格納容器内温度【常設】																																																																																																																																														
	原子炉格納容器圧力【常設】																																																																																																																																														
	格納容器圧力 (AM用)【常設】																																																																																																																																														
	格納容器再循環サンプ水位 (広域)【常設】																																																																																																																																														
	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)【常設】																																																																																																																																														
	格納容器水位【常設】																																																																																																																																														
	原子炉下部キャビティ水位【常設】																																																																																																																																														
	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)【常設】																																																																																																																																														
	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)【常設】																																																																																																																																														
	出力領域中性子束【常設】																																																																																																																																														
	中間領域中性子束【常設】																																																																																																																																														
	中性子線領域中性子束【常設】																																																																																																																																														
	蒸気発生器水位 (狭域) (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	蒸気発生器水位 (広域) (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	補助給水流量 (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	主蒸気ライン圧力 (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	原子炉補機冷却水サージタンク水位 (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	燃料取替用水ピット水位【常設】																																																																																																																																														
	ほう酸タンク水位【常設】																																																																																																																																														
	補助給水ピット水位 (設計基準拡張)【常設】																																																																																																																																														
	原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置【常設】																																																																																																																																														
	格納容器水素イグナイタ温度監視装置【常設】																																																																																																																																														
	使用済燃料ピット水位 (AM用)【常設】																																																																																																																																														
	使用済燃料ピット温度 (AM用)【常設】																																																																																																																																														
	使用済燃料ピット監視カメラ【常設】																																																																																																																																														
	データ伝送設備 (発電所内)【常設】*																																																																																																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																												
	<p>表3.16-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (2/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="27">主要設備</td> <td>平均出力領域モニタ【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位 (広帯域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力 (広帯域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口圧力 (広帯域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水温度【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度【常設】</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系系統流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク水位【常設】</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系ポンプ出口圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>代替循環冷却ポンプ出口圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイスポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイスポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプ出口圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋内水素濃度【常設】</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合装置動作監視装置【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気酸素濃度【常設】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)【常設】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)【常設】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量, 低線量)【常設】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ【常設】</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ表示システム (SPDS)【常設】*</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(次頁へ続く)</p>	設備区分	設備名	主要設備	平均出力領域モニタ【常設】	フィルタ装置水位 (広帯域)【常設】	フィルタ装置入口圧力 (広帯域)【常設】	フィルタ装置出口圧力 (広帯域)【常設】	フィルタ装置水温度【常設】	フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】	フィルタ装置出口水素濃度【常設】	耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】	残留熱除去系熱交換器入口温度 (設計基準拡張)【常設】	残留熱除去系熱交換器出口温度 (設計基準拡張)【常設】	原子炉補機冷却水系系統流量 (設計基準拡張)【常設】	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (設計基準拡張)【常設】	復水貯蔵タンク水位【常設】	高圧代替注水系ポンプ出口圧力【常設】	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力【常設】	代替循環冷却ポンプ出口圧力【常設】	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】	高圧炉心スプレイスポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】	低圧炉心スプレイスポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】	復水移送ポンプ出口圧力【常設】	原子炉建屋内水素濃度【常設】	静的触媒式水素再結合装置動作監視装置【常設】	格納容器内雰囲気酸素濃度【常設】	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)【常設】	使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)【常設】	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量, 低線量)【常設】	使用済燃料プール監視カメラ【常設】	安全パラメータ表示システム (SPDS)【常設】*	可搬型計測器【可搬】	附属設備	-	水源	-	流路	-	注水先	-	<p>表2.15.1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">主要設備</td> <td>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット【可搬】</td> </tr> <tr> <td>可搬型アンモニア水素濃度計測ユニット【可搬】</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット可搬型エアモニタ【可搬】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置【可搬】</td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(次頁へ続く)</p>	設備区分	設備名	主要設備	可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット【可搬】	可搬型アンモニア水素濃度計測ユニット【可搬】	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)【可搬】	使用済燃料ピット水位 (可搬型)【可搬】	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ【可搬】	使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置【可搬】	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)【可搬】	可搬型計測器【可搬】	附属設備	-	水源	-	流路	-	注水先	-	
設備区分	設備名																																																														
主要設備	平均出力領域モニタ【常設】																																																														
	フィルタ装置水位 (広帯域)【常設】																																																														
	フィルタ装置入口圧力 (広帯域)【常設】																																																														
	フィルタ装置出口圧力 (広帯域)【常設】																																																														
	フィルタ装置水温度【常設】																																																														
	フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】																																																														
	フィルタ装置出口水素濃度【常設】																																																														
	耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】																																																														
	残留熱除去系熱交換器入口温度 (設計基準拡張)【常設】																																																														
	残留熱除去系熱交換器出口温度 (設計基準拡張)【常設】																																																														
	原子炉補機冷却水系系統流量 (設計基準拡張)【常設】																																																														
	残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (設計基準拡張)【常設】																																																														
	復水貯蔵タンク水位【常設】																																																														
	高圧代替注水系ポンプ出口圧力【常設】																																																														
	直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力【常設】																																																														
	代替循環冷却ポンプ出口圧力【常設】																																																														
	原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】																																																														
	高圧炉心スプレイスポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】																																																														
	残留熱除去系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】																																																														
	低圧炉心スプレイスポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】																																																														
	復水移送ポンプ出口圧力【常設】																																																														
	原子炉建屋内水素濃度【常設】																																																														
	静的触媒式水素再結合装置動作監視装置【常設】																																																														
	格納容器内雰囲気酸素濃度【常設】																																																														
	使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)【常設】																																																														
	使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)【常設】																																																														
	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量, 低線量)【常設】																																																														
使用済燃料プール監視カメラ【常設】																																																															
安全パラメータ表示システム (SPDS)【常設】*																																																															
可搬型計測器【可搬】																																																															
附属設備	-																																																														
水源	-																																																														
流路	-																																																														
注水先	-																																																														
設備区分	設備名																																																														
主要設備	可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット【可搬】																																																														
	可搬型アンモニア水素濃度計測ユニット【可搬】																																																														
	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)【可搬】																																																														
	使用済燃料ピット水位 (可搬型)【可搬】																																																														
	使用済燃料ピット可搬型エアモニタ【可搬】																																																														
	使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置【可搬】																																																														
	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)【可搬】																																																														
	可搬型計測器【可搬】																																																														
	附属設備	-																																																													
	水源	-																																																													
流路	-																																																														
注水先	-																																																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由								
	<p>表3.15-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (3/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電源設備²⁾</td> <td> 常設代替交流電源設備 ガスタービン発電機【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 ガスタービン発電機接続盤【常設】 緊急用高圧母線2F系【常設】 緊急用高圧母線2G系【常設】 緊急用動力変圧器2G系【常設】 緊急用低圧母線2G系【常設】 緊急用交流電断切器2G系【常設】 非常用高圧母線2C系【常設】 非常用高圧母線2D系【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 125V蓄電池2A【常設】 125V蓄電池2B【常設】 125V充電器2A【常設】 125V充電器2B【常設】 常設代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 電源車【可搬】 125V代替充電器【常設】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(次頁へ続く)</p>	設備区分	設備名	電源設備 ²⁾	常設代替交流電源設備 ガスタービン発電機【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 ガスタービン発電機接続盤【常設】 緊急用高圧母線2F系【常設】 緊急用高圧母線2G系【常設】 緊急用動力変圧器2G系【常設】 緊急用低圧母線2G系【常設】 緊急用交流電断切器2G系【常設】 非常用高圧母線2C系【常設】 非常用高圧母線2D系【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 125V蓄電池2A【常設】 125V蓄電池2B【常設】 125V充電器2A【常設】 125V充電器2B【常設】 常設代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 電源車【可搬】 125V代替充電器【常設】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】	<p>表2.15.1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電源設備²⁾</td> <td> 常設代替交流電源設備 代替非常用発電機【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 可搬型代替電源車【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 代替非常用発電機【常設】 可搬型代替電源車【可搬】 代替所内電気設備変圧器【常設】 代替所内電気設備分電盤【常設】 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 後備蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 可搬型直流電源用発電機【可搬】 可搬型直流変換器【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 非常用交流電源設備 ディーゼル発電機 (設計基準拡張)【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ (設計基準拡張)【常設】 非常用直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 非常用交流電源設備 </td> </tr> </tbody> </table>	設備区分	設備名	電源設備 ²⁾	常設代替交流電源設備 代替非常用発電機【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 可搬型代替電源車【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 代替非常用発電機【常設】 可搬型代替電源車【可搬】 代替所内電気設備変圧器【常設】 代替所内電気設備分電盤【常設】 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 後備蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 可搬型直流電源用発電機【可搬】 可搬型直流変換器【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 非常用交流電源設備 ディーゼル発電機 (設計基準拡張)【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ (設計基準拡張)【常設】 非常用直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 非常用交流電源設備	
設備区分	設備名										
電源設備 ²⁾	常設代替交流電源設備 ガスタービン発電機【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 ガスタービン発電機接続盤【常設】 緊急用高圧母線2F系【常設】 緊急用高圧母線2G系【常設】 緊急用動力変圧器2G系【常設】 緊急用低圧母線2G系【常設】 緊急用交流電断切器2G系【常設】 非常用高圧母線2C系【常設】 非常用高圧母線2D系【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 125V蓄電池2A【常設】 125V蓄電池2B【常設】 125V充電器2A【常設】 125V充電器2B【常設】 常設代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 電源車【可搬】 125V代替充電器【常設】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】										
設備区分	設備名										
電源設備 ²⁾	常設代替交流電源設備 代替非常用発電機【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 可搬型代替電源車【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 代替非常用発電機【常設】 可搬型代替電源車【可搬】 代替所内電気設備変圧器【常設】 代替所内電気設備分電盤【常設】 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 後備蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 可搬型直流電源用発電機【可搬】 可搬型直流変換器【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 非常用交流電源設備 ディーゼル発電機 (設計基準拡張)【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ (設計基準拡張)【常設】 非常用直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 非常用交流電源設備										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
	<p>表3.15-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (4/4)</p> <table border="1" data-bbox="672 167 1223 571"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">電源設備[※]</td> <td>非常用交流電源設備</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイスターターディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源設備</td> </tr> <tr> <td>125V蓄電池2A 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V蓄電池2B 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V蓄電池2H (設計基準拡張) 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V充電器2A 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V充電器2B 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V充電器2H (設計基準拡張) 【常設】</td> </tr> <tr> <td>上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> </tr> <tr> <td>上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：安全パラメータ表示システム (SPDS) については、「3.19 通信連絡を行うために必要な設備 (設置許可基準規則第32条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p> <p>*2：単線結線図を補足説明資料58-2に示す。</p> <p>電源設備については、「3.14 電源設備 (設置許可基準規則第57条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p>	設備区分	設備名	電源設備 [※]	非常用交流電源設備	非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】	高圧炉心スプレイスターターディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】	非常用直流電源設備	125V蓄電池2A 【常設】	125V蓄電池2B 【常設】	125V蓄電池2H (設計基準拡張) 【常設】	125V充電器2A 【常設】	125V充電器2B 【常設】	125V充電器2H (設計基準拡張) 【常設】	上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。	常設代替交流電源設備	可搬型代替交流電源設備	上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。	非常用交流電源設備	<p>*1：データ伝送設備 (発電所内) については、「2.19 通信連絡を行うために必要な設備 (設置許可基準規則第62条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p> <p>*2：単線結線図を補足説明資料58-6に示す。</p> <p>電源設備については、「2.14 電源設備 (設置許可基準規則第57条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p>	
設備区分	設備名																				
電源設備 [※]	非常用交流電源設備																				
	非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】																				
	高圧炉心スプレイスターターディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】																				
	非常用直流電源設備																				
	125V蓄電池2A 【常設】																				
	125V蓄電池2B 【常設】																				
	125V蓄電池2H (設計基準拡張) 【常設】																				
	125V充電器2A 【常設】																				
	125V充電器2B 【常設】																				
	125V充電器2H (設計基準拡張) 【常設】																				
	上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。																				
	常設代替交流電源設備																				
	可搬型代替交流電源設備																				
	上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。																				
	非常用交流電源設備																				

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																																
	<p>3.15.2.1.2 主要設備の仕様 主要設備の仕様を表3.15-2に示す。</p> <p>表3.15-2 主要設備の仕様(1/3)</p> <table border="1" data-bbox="667 245 1227 1005"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>許容範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~500℃</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>弾性圧力検出器¹⁾</td> <td>0~10MPa[gage]</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (GA)</td> <td>弾性圧力検出器¹⁾</td> <td>0~11MPa[gage]</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> <td>差圧式水位検出器²⁾</td> <td>-3,800mm~-1,300mm²⁾</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> <td>差圧式水位検出器²⁾</td> <td>-3,800mm~-1,300mm²⁾</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA広帯域)</td> <td>差圧式水位検出器²⁾</td> <td>-3,800mm~-1,300mm²⁾</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA燃料域)</td> <td>差圧式水位検出器²⁾</td> <td>-3,800mm~-1,300mm²⁾</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~120m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~220m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~220m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>式機駆動低圧注水ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~100m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~200m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~150m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイ系ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地-2階 (A及びB) (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>低圧中心スプレイ系ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器代替スプレイ流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~100m³/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~110m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>11</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室内空気温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>4</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>サブレンジョンズプール水温度</td> <td>測温抵抗体</td> <td>0~200℃</td> <td>16</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~700℃</td> <td>12</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル圧力</td> <td>弾性圧力検出器¹⁾</td> <td>0~10MPa[abs]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室圧力</td> <td>弾性圧力検出器¹⁾</td> <td>0~10MPa[abs]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室水位</td> <td>差圧式水位検出器²⁾</td> <td>0~5m, 0. P, -1300mm~-1100mm²⁾</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>0. 5m, 1. 0m, 1. 5m, 2. 0m, 2. 5m, 2. 8m²⁾ (0. P, -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)</td> <td>12</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	許容範囲	個数	取付箇所	原子炉圧力容器温度	熱電対	0~500℃	2	原子炉格納容器内	原子炉圧力	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~10MPa[gage]	2	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)	原子炉圧力 (GA)	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~11MPa[gage]	2	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)	原子炉水位 (広帯域)	差圧式水位検出器 ²⁾	-3,800mm~-1,300mm ²⁾	2	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)	原子炉水位 (燃料域)	差圧式水位検出器 ²⁾	-3,800mm~-1,300mm ²⁾	2	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)	原子炉水位 (SA広帯域)	差圧式水位検出器 ²⁾	-3,800mm~-1,300mm ²⁾	1	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)	原子炉水位 (SA燃料域)	差圧式水位検出器 ²⁾	-3,800mm~-1,300mm ²⁾	1	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)	高圧代替注水ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~120m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)	差圧式流量検出器 ³⁾	0~220m ³ /h	1	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)	残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量)	差圧式流量検出器 ³⁾	0~220m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)	式機駆動低圧注水ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~100m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)	代替循環冷却ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~200m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)	原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~150m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)	高圧中心スプレイ系ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~1,300m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)	残留熱除去系ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~1,300m ³ /h	3	原子炉建屋地-2階 (A及びB) (原子炉建屋原子炉棟内)	低圧中心スプレイ系ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~1,300m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)	原子炉格納容器代替スプレイ流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~100m ³ /h	2	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)	原子炉格納容器下部注水流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~110m ³ /h	1	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)	ドライウェル温度	熱電対	0~300℃	11	原子炉格納容器内	圧力制御室内空気温度	熱電対	0~300℃	4	原子炉格納容器内	サブレンジョンズプール水温度	測温抵抗体	0~200℃	16	原子炉格納容器内	原子炉格納容器下部温度	熱電対	0~700℃	12	原子炉格納容器内	ドライウェル圧力	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~10MPa[abs]	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)	圧力制御室圧力	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~10MPa[abs]	1	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)	圧力制御室水位	差圧式水位検出器 ²⁾	0~5m, 0. P, -1300mm~-1100mm ²⁾	2	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)	原子炉格納容器下部水位	電極式水位検出器	0. 5m, 1. 0m, 1. 5m, 2. 0m, 2. 5m, 2. 8m ²⁾ (0. P, -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)	12	原子炉格納容器内	<p>2.15.2.1.2 主要設備の仕様 主要設備の仕様を表2.15.2に示す。</p> <p>表2.15.2 主要設備の仕様(1/3)</p> <table border="1" data-bbox="1254 261 1814 1021"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>許容範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td>測温抵抗体</td> <td>0~400℃</td> <td>3</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>測温抵抗体</td> <td>0~400℃</td> <td>3</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>弾性圧力検出器¹⁾</td> <td>0~21.0MPa [gage]</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> <td>差圧式水位検出器²⁾</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器水位</td> <td>差圧式水位検出器²⁾</td> <td>0~100%</td> <td>1</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>高圧注入流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~350m³/h</td> <td>2</td> <td>原子炉補助建屋 Y, E, 3, 3b</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾</td> <td>0~1,100m³/h</td> <td>2</td> <td>原子炉補助建屋 Y, E, 3, 3b</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td>差圧式流量検出器³⁾ (積算; 0~10,000m³)</td> <td>0~200m³/h (積算; 0~10,000m³)</td> <td>1</td> <td>原子炉補助建屋 Y, E, 1b, 3b</td> </tr> <tr> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</td> <td>差圧式流量検出器³⁾ (積算; 0~10,000 m³)</td> <td>0~1,300m³/h (積算; 0~10,000 m³)</td> <td>1</td> <td>原子炉補助建屋 Y, E, 2, 3b</td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度</td> <td>測温抵抗体</td> <td>0~220℃</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>弾性圧力検出器¹⁾</td> <td>0~0.35MPa [gage]</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力 (AM用)</td> <td>弾性圧力検出器¹⁾</td> <td>0~1.0MPa [gage]</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>差圧式水位検出器²⁾</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</td> <td>差圧式水位検出器²⁾</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>0R-0F</td> <td>1</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>0R-0F</td> <td>1</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)</td> <td>電離箱</td> <td>10²~10⁷ Bq/h</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)</td> <td>電離箱</td> <td>10²~10⁷ Bq/h</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>出力領域中性子束</td> <td>γ線非補償型電離箱</td> <td>0~120²⁾ (0.3×10¹²~1.2×10¹⁶cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>4</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> <td>γ線補償型電離箱</td> <td>10²²~5×10²⁴ (0.3×10¹²~6.6×10¹⁶cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	許容範囲	個数	取付箇所	1次冷却材温度 (広域-高温側)	測温抵抗体	0~400℃	3	原子炉格納容器内	1次冷却材温度 (広域-低温側)	測温抵抗体	0~400℃	3	原子炉格納容器内	1次冷却材圧力 (広域)	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~21.0MPa [gage]	2	原子炉格納容器内	加圧器水位	差圧式水位検出器 ²⁾	0~100%	2	原子炉格納容器内	原子炉容器水位	差圧式水位検出器 ²⁾	0~100%	1	原子炉格納容器内	高圧注入流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~350m ³ /h	2	原子炉補助建屋 Y, E, 3, 3b	低圧注入流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~1,100m ³ /h	2	原子炉補助建屋 Y, E, 3, 3b	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	差圧式流量検出器 ³⁾ (積算; 0~10,000m ³)	0~200m ³ /h (積算; 0~10,000m ³)	1	原子炉補助建屋 Y, E, 1b, 3b	B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	差圧式流量検出器 ³⁾ (積算; 0~10,000 m ³)	0~1,300m ³ /h (積算; 0~10,000 m ³)	1	原子炉補助建屋 Y, E, 2, 3b	格納容器内温度	測温抵抗体	0~220℃	2	原子炉格納容器内	原子炉格納容器圧力	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~0.35MPa [gage]	2	原子炉格納容器内	格納容器圧力 (AM用)	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~1.0MPa [gage]	2	原子炉格納容器内	格納容器再循環サンプ水位 (広域)	差圧式水位検出器 ²⁾	0~100%	2	原子炉格納容器内	格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	差圧式水位検出器 ²⁾	0~100%	2	原子炉格納容器内	格納容器水位	電極式水位検出器	0R-0F	1	原子炉格納容器内	原子炉下部キャビティ水位	電極式水位検出器	0R-0F	1	原子炉格納容器内	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	電離箱	10 ² ~10 ⁷ Bq/h	2	原子炉格納容器内	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	電離箱	10 ² ~10 ⁷ Bq/h	2	原子炉格納容器内	出力領域中性子束	γ線非補償型電離箱	0~120 ²⁾ (0.3×10 ¹² ~1.2×10 ¹⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹)	4	原子炉格納容器内	中間領域中性子束	γ線補償型電離箱	10 ²² ~5×10 ²⁴ (0.3×10 ¹² ~6.6×10 ¹⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹)	2	原子炉格納容器内	<p>■炉型の相違 ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。</p>
名称	検出器の種類	許容範囲	個数	取付箇所																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉圧力容器温度	熱電対	0~500℃	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉圧力	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~10MPa[gage]	2	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉圧力 (GA)	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~11MPa[gage]	2	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉水位 (広帯域)	差圧式水位検出器 ²⁾	-3,800mm~-1,300mm ²⁾	2	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉水位 (燃料域)	差圧式水位検出器 ²⁾	-3,800mm~-1,300mm ²⁾	2	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉水位 (SA広帯域)	差圧式水位検出器 ²⁾	-3,800mm~-1,300mm ²⁾	1	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉水位 (SA燃料域)	差圧式水位検出器 ²⁾	-3,800mm~-1,300mm ²⁾	1	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
高圧代替注水ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~120m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)	差圧式流量検出器 ³⁾	0~220m ³ /h	1	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量)	差圧式流量検出器 ³⁾	0~220m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
式機駆動低圧注水ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~100m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
代替循環冷却ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~200m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~150m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
高圧中心スプレイ系ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~1,300m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
残留熱除去系ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~1,300m ³ /h	3	原子炉建屋地-2階 (A及びB) (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
低圧中心スプレイ系ポンプ出口流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~1,300m ³ /h	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉格納容器代替スプレイ流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~100m ³ /h	2	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉格納容器下部注水流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~110m ³ /h	1	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
ドライウェル温度	熱電対	0~300℃	11	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
圧力制御室内空気温度	熱電対	0~300℃	4	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
サブレンジョンズプール水温度	測温抵抗体	0~200℃	16	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉格納容器下部温度	熱電対	0~700℃	12	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
ドライウェル圧力	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~10MPa[abs]	1	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
圧力制御室圧力	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~10MPa[abs]	1	原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
圧力制御室水位	差圧式水位検出器 ²⁾	0~5m, 0. P, -1300mm~-1100mm ²⁾	2	原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉棟内)																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉格納容器下部水位	電極式水位検出器	0. 5m, 1. 0m, 1. 5m, 2. 0m, 2. 5m, 2. 8m ²⁾ (0. P, -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm)	12	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
名称	検出器の種類	許容範囲	個数	取付箇所																																																																																																																																																																																																																																															
1次冷却材温度 (広域-高温側)	測温抵抗体	0~400℃	3	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
1次冷却材温度 (広域-低温側)	測温抵抗体	0~400℃	3	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
1次冷却材圧力 (広域)	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~21.0MPa [gage]	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
加圧器水位	差圧式水位検出器 ²⁾	0~100%	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉容器水位	差圧式水位検出器 ²⁾	0~100%	1	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
高圧注入流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~350m ³ /h	2	原子炉補助建屋 Y, E, 3, 3b																																																																																																																																																																																																																																															
低圧注入流量	差圧式流量検出器 ³⁾	0~1,100m ³ /h	2	原子炉補助建屋 Y, E, 3, 3b																																																																																																																																																																																																																																															
代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	差圧式流量検出器 ³⁾ (積算; 0~10,000m ³)	0~200m ³ /h (積算; 0~10,000m ³)	1	原子炉補助建屋 Y, E, 1b, 3b																																																																																																																																																																																																																																															
B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)	差圧式流量検出器 ³⁾ (積算; 0~10,000 m ³)	0~1,300m ³ /h (積算; 0~10,000 m ³)	1	原子炉補助建屋 Y, E, 2, 3b																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器内温度	測温抵抗体	0~220℃	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉格納容器圧力	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~0.35MPa [gage]	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器圧力 (AM用)	弾性圧力検出器 ¹⁾	0~1.0MPa [gage]	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器再循環サンプ水位 (広域)	差圧式水位検出器 ²⁾	0~100%	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器再循環サンプ水位 (狭域)	差圧式水位検出器 ²⁾	0~100%	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器水位	電極式水位検出器	0R-0F	1	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
原子炉下部キャビティ水位	電極式水位検出器	0R-0F	1	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	電離箱	10 ² ~10 ⁷ Bq/h	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	電離箱	10 ² ~10 ⁷ Bq/h	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
出力領域中性子束	γ線非補償型電離箱	0~120 ²⁾ (0.3×10 ¹² ~1.2×10 ¹⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹)	4	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															
中間領域中性子束	γ線補償型電離箱	10 ²² ~5×10 ²⁴ (0.3×10 ¹² ~6.6×10 ¹⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹)	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																															

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																																																																																																											
	<p>表 3.15-2 主要設備の仕様 (2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドライウェル水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>0.02m, 0.23m, 0.34m¹⁾ (0. P. 1170mm, 1385mm, 1490mm)</td> <td>6</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (D/N)</td> <td>水素検測材料式水素検出器</td> <td>0~100vol%</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (S/C)</td> <td>水素検測材料式水素検出器</td> <td>0~100vol%</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気気水素濃度</td> <td>熱伝導率式水素検出器</td> <td>0~30vol%</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気気水素濃度</td> <td>熱伝導率式水素検出器</td> <td>0~100vol%</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気気放射線モニタ (h/N)</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻⁵sv/h~10⁵sv/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気気放射線モニタ (s/c)</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻⁵sv/h~10⁵sv/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気モニタ</td> <td>積分型電離箱</td> <td>中性子線検出 10⁴pps~10⁵pps (1×10⁶cm⁻²・s⁻¹~ 1×10⁷cm⁻²・s⁻¹) 中性子線検出 0~40%又は10~105% (1×10⁶cm⁻²・s⁻¹~ 2×10⁷cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>6</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>平均出力検定モニタ</td> <td>積分型電離箱</td> <td>0~125%²⁾ (1.2×10¹⁰cm⁻²・s⁻¹~ 2.5×10¹⁰cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>6³⁾</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位 (広帯域)</td> <td>差圧式水位検出器⁴⁾</td> <td>0~5,650mm</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力 (広帯域)</td> <td>弾性圧力検出器⁵⁾</td> <td>0~1MPa~1MPa[range]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口圧力 (広帯域)</td> <td>弾性圧力検出器⁵⁾</td> <td>0~1MPa~1MPa[range]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水素濃度</td> <td>熱電対</td> <td>0~200℃</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻⁵sv/h~10⁵sv/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度</td> <td>熱伝導率式水素検出器</td> <td>0~30vol%</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度</td> <td>熱伝導率式水素検出器</td> <td>0~100vol%</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化バント系放射線モニタ</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻⁵sv/h~10⁵sv/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素濃度</td> <td>差圧式水素検出器⁶⁾</td> <td>0~1,000vol%</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口温度</td> <td>差圧式流量検出器⁷⁾</td> <td>0~1,500ml/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>冷却水貯蔵タンク水位</td> <td>差圧式水位検出器⁸⁾</td> <td>0~3,200⁹⁾</td> <td>1</td> <td>屋外 (GST建屋トレンチパネル室)</td> </tr> <tr> <td>高圧放射線モニタポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器¹⁰⁾</td> <td>0~10MPa[range]</td> <td>1</td> <td>屋外 (GST建屋トレンチパネル室)</td> </tr> <tr> <td>表圧放射線モニタポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器¹⁰⁾</td> <td>0~2MPa[range]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>低圧放射線モニタポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器¹⁰⁾</td> <td>0~3MPa[range]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋貯蔵タンクポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器¹⁰⁾</td> <td>0~10MPa[range]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所	ドライウェル水位	電極式水位検出器	0.02m, 0.23m, 0.34m ¹⁾ (0. P. 1170mm, 1385mm, 1490mm)	6	原子炉格納容器内	格納容器内水素濃度 (D/N)	水素検測材料式水素検出器	0~100vol%	2	原子炉格納容器内	格納容器内水素濃度 (S/C)	水素検測材料式水素検出器	0~100vol%	2	原子炉格納容器内	格納容器内蒸気気水素濃度	熱伝導率式水素検出器	0~30vol%	2	原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)	格納容器内蒸気気水素濃度	熱伝導率式水素検出器	0~100vol%	2	原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)	格納容器内蒸気気放射線モニタ (h/N)	電離箱	10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h	2	原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)	格納容器内蒸気気放射線モニタ (s/c)	電離箱	10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h	2	原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内)	圧縮空気モニタ	積分型電離箱	中性子線検出 10 ⁴ pps~10 ⁵ pps (1×10 ⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 1×10 ⁷ cm ⁻² ・s ⁻¹) 中性子線検出 0~40%又は10~105% (1×10 ⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 2×10 ⁷ cm ⁻² ・s ⁻¹)	6	原子炉格納容器内	平均出力検定モニタ	積分型電離箱	0~125% ²⁾ (1.2×10 ¹⁰ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 2.5×10 ¹⁰ cm ⁻² ・s ⁻¹)	6 ³⁾	原子炉格納容器内	フィルタ装置水位 (広帯域)	差圧式水位検出器 ⁴⁾	0~5,650mm	2	原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)	フィルタ装置入口圧力 (広帯域)	弾性圧力検出器 ⁵⁾	0~1MPa~1MPa[range]	1	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	フィルタ装置出口圧力 (広帯域)	弾性圧力検出器 ⁵⁾	0~1MPa~1MPa[range]	1	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	フィルタ装置水素濃度	熱電対	0~200℃	2	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	フィルタ装置出口放射線モニタ	電離箱	10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h	2	原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)	フィルタ装置出口水素濃度	熱伝導率式水素検出器	0~30vol%	1	原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)	フィルタ装置出口水素濃度	熱伝導率式水素検出器	0~100vol%	1	原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)	耐圧強化バント系放射線モニタ	電離箱	10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h	2	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	残留熱除去系熱交換器入口温度	熱電対	0~300℃	2	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	残留熱除去系熱交換器出口温度	熱電対	0~300℃	2	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	原子炉格納容器内水素濃度	差圧式水素検出器 ⁶⁾	0~1,000vol%	2	原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内)	残留熱除去系熱交換器冷却水入口温度	差圧式流量検出器 ⁷⁾	0~1,500ml/h	2	原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)	冷却水貯蔵タンク水位	差圧式水位検出器 ⁸⁾	0~3,200 ⁹⁾	1	屋外 (GST建屋トレンチパネル室)	高圧放射線モニタポンプ出口圧力	弾性圧力検出器 ¹⁰⁾	0~10MPa[range]	1	屋外 (GST建屋トレンチパネル室)	表圧放射線モニタポンプ出口圧力	弾性圧力検出器 ¹⁰⁾	0~2MPa[range]	1	原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内)	低圧放射線モニタポンプ出口圧力	弾性圧力検出器 ¹⁰⁾	0~3MPa[range]	1	原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内)	原子炉建屋貯蔵タンクポンプ出口圧力	弾性圧力検出器 ¹⁰⁾	0~10MPa[range]	1	原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内)	<p>表 2.15.2 主要設備の仕様 (2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中性子線領域中性子束</td> <td>比例計数管</td> <td>1~10⁶cps (10³~10⁶cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (奥側)</td> <td>形圧式水位検出器¹⁾</td> <td>0~100%</td> <td>6</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>形圧式水位検出器¹⁾</td> <td>0~100%</td> <td>3</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> <td>形圧式流量検出器²⁾</td> <td>0~130m³/h</td> <td>3</td> <td>原辺補機棟 T.P. 30, 3a</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>弾性圧力検出器³⁾</td> <td>0~8.3MPa [range]</td> <td>6</td> <td>原辺補機棟 T.P. 33, 3a</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク水位</td> <td>形圧式水位検出器⁴⁾</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原辺補機棟 T.P. 43, 6a</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ビット水位</td> <td>差圧式水位検出器⁵⁾</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原辺補機棟 T.P. 24, 8a</td> </tr> <tr> <td>ぼう騰タンク水位</td> <td>差圧式水位検出器⁶⁾</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. 15, 8a</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット水位</td> <td>形圧式水位検出器⁷⁾</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原辺補機棟 T.P. 24, 8a</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>5</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器水素イグナイタ温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>13</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット水位 (AM用)</td> <td>電流式水位検出器</td> <td>T.P. 25, 24~32, 76m</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット温度 (AM用)</td> <td>温度抵抗体</td> <td>0~100℃</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット監視カメラ</td> <td>非赤外線カメラ</td> <td>-</td> <td>1</td> <td>燃料取扱棟</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. 33, 3a (原辺補機棟 T.P. 33, 3a 及び原子炉補助建屋 T.P. 33, 3a に保管)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</td> <td>熱伝導式検出器</td> <td>0~20vol%</td> <td>1</td> <td>原辺補機棟 T.P. 24, 8a (原辺補機棟 T.P. 24, 8a に保管)</td> </tr> <tr> <td>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット</td> <td>熱伝導式検出器</td> <td>0~20vol%</td> <td>1</td> <td>原辺補機棟 T.P. 24, 8a (原辺補機棟 T.P. 24, 8a に保管)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)</td> <td>ブルドン管型⁸⁾ (弾性変形)</td> <td>0~1,00Pa [range]</td> <td>1</td> <td>原辺補機棟 T.P. 43, 6a (原辺補機棟 T.P. 43, 6a 及び貯蔵タンク室内の補機棟 内に保管)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット水位 (可搬型)</td> <td>フロート式水位検出器</td> <td>T.P. 21, 30~32, 76m</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟 (燃料取扱棟及び原辺補機 棟 T.P. 33, 3a) に保管)</td> </tr> </tbody> </table>	名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所	中性子線領域中性子束	比例計数管	1~10 ⁶ cps (10 ³ ~10 ⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹)	2	原子炉格納容器内	蒸気発生器水位 (奥側)	形圧式水位検出器 ¹⁾	0~100%	6	原子炉格納容器内	蒸気発生器水位 (広域)	形圧式水位検出器 ¹⁾	0~100%	3	原子炉格納容器内	補助給水流量	形圧式流量検出器 ²⁾	0~130m ³ /h	3	原辺補機棟 T.P. 30, 3a	主蒸気ライン圧力	弾性圧力検出器 ³⁾	0~8.3MPa [range]	6	原辺補機棟 T.P. 33, 3a	原子炉補機冷却水サージタンク水位	形圧式水位検出器 ⁴⁾	0~100%	2	原辺補機棟 T.P. 43, 6a	燃料取扱用水ビット水位	差圧式水位検出器 ⁵⁾	0~100%	2	原辺補機棟 T.P. 24, 8a	ぼう騰タンク水位	差圧式水位検出器 ⁶⁾	0~100%	2	原子炉補助建屋 T.P. 15, 8a	補助給水ビット水位	形圧式水位検出器 ⁷⁾	0~100%	2	原辺補機棟 T.P. 24, 8a	原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内	格納容器水素イグナイタ温度監視装置	熱電対	0~800℃	13	原子炉格納容器内	使用済燃料ビット水位 (AM用)	電流式水位検出器	T.P. 25, 24~32, 76m	2	燃料取扱棟	使用済燃料ビット温度 (AM用)	温度抵抗体	0~100℃	2	燃料取扱棟	使用済燃料ビット監視カメラ	非赤外線カメラ	-	1	燃料取扱棟	使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置			1	原子炉補助建屋 T.P. 33, 3a (原辺補機棟 T.P. 33, 3a 及び原子炉補助建屋 T.P. 33, 3a に保管)	可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	原辺補機棟 T.P. 24, 8a (原辺補機棟 T.P. 24, 8a に保管)	可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	原辺補機棟 T.P. 24, 8a (原辺補機棟 T.P. 24, 8a に保管)	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	ブルドン管型 ⁸⁾ (弾性変形)	0~1,00Pa [range]	1	原辺補機棟 T.P. 43, 6a (原辺補機棟 T.P. 43, 6a 及び貯蔵タンク室内の補機棟 内に保管)	使用済燃料ビット水位 (可搬型)	フロート式水位検出器	T.P. 21, 30~32, 76m	2	燃料取扱棟 (燃料取扱棟及び原辺補機 棟 T.P. 33, 3a) に保管)	
名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所																																																																																																																																																																																																																																										
ドライウェル水位	電極式水位検出器	0.02m, 0.23m, 0.34m ¹⁾ (0. P. 1170mm, 1385mm, 1490mm)	6	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																										
格納容器内水素濃度 (D/N)	水素検測材料式水素検出器	0~100vol%	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																										
格納容器内水素濃度 (S/C)	水素検測材料式水素検出器	0~100vol%	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																										
格納容器内蒸気気水素濃度	熱伝導率式水素検出器	0~30vol%	2	原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
格納容器内蒸気気水素濃度	熱伝導率式水素検出器	0~100vol%	2	原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
格納容器内蒸気気放射線モニタ (h/N)	電離箱	10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h	2	原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
格納容器内蒸気気放射線モニタ (s/c)	電離箱	10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h	2	原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
圧縮空気モニタ	積分型電離箱	中性子線検出 10 ⁴ pps~10 ⁵ pps (1×10 ⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 1×10 ⁷ cm ⁻² ・s ⁻¹) 中性子線検出 0~40%又は10~105% (1×10 ⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 2×10 ⁷ cm ⁻² ・s ⁻¹)	6	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																										
平均出力検定モニタ	積分型電離箱	0~125% ²⁾ (1.2×10 ¹⁰ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 2.5×10 ¹⁰ cm ⁻² ・s ⁻¹)	6 ³⁾	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																										
フィルタ装置水位 (広帯域)	差圧式水位検出器 ⁴⁾	0~5,650mm	2	原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
フィルタ装置入口圧力 (広帯域)	弾性圧力検出器 ⁵⁾	0~1MPa~1MPa[range]	1	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
フィルタ装置出口圧力 (広帯域)	弾性圧力検出器 ⁵⁾	0~1MPa~1MPa[range]	1	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
フィルタ装置水素濃度	熱電対	0~200℃	2	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
フィルタ装置出口放射線モニタ	電離箱	10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h	2	原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
フィルタ装置出口水素濃度	熱伝導率式水素検出器	0~30vol%	1	原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
フィルタ装置出口水素濃度	熱伝導率式水素検出器	0~100vol%	1	原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
耐圧強化バント系放射線モニタ	電離箱	10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h	2	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
残留熱除去系熱交換器入口温度	熱電対	0~300℃	2	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
残留熱除去系熱交換器出口温度	熱電対	0~300℃	2	原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
原子炉格納容器内水素濃度	差圧式水素検出器 ⁶⁾	0~1,000vol%	2	原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
残留熱除去系熱交換器冷却水入口温度	差圧式流量検出器 ⁷⁾	0~1,500ml/h	2	原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
冷却水貯蔵タンク水位	差圧式水位検出器 ⁸⁾	0~3,200 ⁹⁾	1	屋外 (GST建屋トレンチパネル室)																																																																																																																																																																																																																																										
高圧放射線モニタポンプ出口圧力	弾性圧力検出器 ¹⁰⁾	0~10MPa[range]	1	屋外 (GST建屋トレンチパネル室)																																																																																																																																																																																																																																										
表圧放射線モニタポンプ出口圧力	弾性圧力検出器 ¹⁰⁾	0~2MPa[range]	1	原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
低圧放射線モニタポンプ出口圧力	弾性圧力検出器 ¹⁰⁾	0~3MPa[range]	1	原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
原子炉建屋貯蔵タンクポンプ出口圧力	弾性圧力検出器 ¹⁰⁾	0~10MPa[range]	1	原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内)																																																																																																																																																																																																																																										
名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所																																																																																																																																																																																																																																										
中性子線領域中性子束	比例計数管	1~10 ⁶ cps (10 ³ ~10 ⁶ cm ⁻² ・s ⁻¹)	2	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																										
蒸気発生器水位 (奥側)	形圧式水位検出器 ¹⁾	0~100%	6	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																										
蒸気発生器水位 (広域)	形圧式水位検出器 ¹⁾	0~100%	3	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																										
補助給水流量	形圧式流量検出器 ²⁾	0~130m ³ /h	3	原辺補機棟 T.P. 30, 3a																																																																																																																																																																																																																																										
主蒸気ライン圧力	弾性圧力検出器 ³⁾	0~8.3MPa [range]	6	原辺補機棟 T.P. 33, 3a																																																																																																																																																																																																																																										
原子炉補機冷却水サージタンク水位	形圧式水位検出器 ⁴⁾	0~100%	2	原辺補機棟 T.P. 43, 6a																																																																																																																																																																																																																																										
燃料取扱用水ビット水位	差圧式水位検出器 ⁵⁾	0~100%	2	原辺補機棟 T.P. 24, 8a																																																																																																																																																																																																																																										
ぼう騰タンク水位	差圧式水位検出器 ⁶⁾	0~100%	2	原子炉補助建屋 T.P. 15, 8a																																																																																																																																																																																																																																										
補助給水ビット水位	形圧式水位検出器 ⁷⁾	0~100%	2	原辺補機棟 T.P. 24, 8a																																																																																																																																																																																																																																										
原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置	熱電対	0~800℃	5	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																										
格納容器水素イグナイタ温度監視装置	熱電対	0~800℃	13	原子炉格納容器内																																																																																																																																																																																																																																										
使用済燃料ビット水位 (AM用)	電流式水位検出器	T.P. 25, 24~32, 76m	2	燃料取扱棟																																																																																																																																																																																																																																										
使用済燃料ビット温度 (AM用)	温度抵抗体	0~100℃	2	燃料取扱棟																																																																																																																																																																																																																																										
使用済燃料ビット監視カメラ	非赤外線カメラ	-	1	燃料取扱棟																																																																																																																																																																																																																																										
使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置			1	原子炉補助建屋 T.P. 33, 3a (原辺補機棟 T.P. 33, 3a 及び原子炉補助建屋 T.P. 33, 3a に保管)																																																																																																																																																																																																																																										
可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	原辺補機棟 T.P. 24, 8a (原辺補機棟 T.P. 24, 8a に保管)																																																																																																																																																																																																																																										
可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	熱伝導式検出器	0~20vol%	1	原辺補機棟 T.P. 24, 8a (原辺補機棟 T.P. 24, 8a に保管)																																																																																																																																																																																																																																										
原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	ブルドン管型 ⁸⁾ (弾性変形)	0~1,00Pa [range]	1	原辺補機棟 T.P. 43, 6a (原辺補機棟 T.P. 43, 6a 及び貯蔵タンク室内の補機棟 内に保管)																																																																																																																																																																																																																																										
使用済燃料ビット水位 (可搬型)	フロート式水位検出器	T.P. 21, 30~32, 76m	2	燃料取扱棟 (燃料取扱棟及び原辺補機 棟 T.P. 33, 3a) に保管)																																																																																																																																																																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																											
<p>大阪発電所3 / 4号炉</p>	<p>女川原子力発電所2号炉</p> <p>表3.15-2 主要設備の仕様(3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>主称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧中心スプレイズポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器*</td> <td>0~12MPa[gage]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td>残置脱酸素ポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器*</td> <td>0~0MPa[gage]</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地下2階 (A及びB種原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td>低圧中心スプレイズポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器*</td> <td>0~0MPa[gage]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td>廃水移送ポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器*</td> <td>0~1.5MPa[gage]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋内水事象検出</td> <td>熱感式水事象検出器</td> <td>0~10ra1k</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地上3階、地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>気体熱伝導式水事象検出器</td> <td>0~10ra1k</td> <td>4</td> <td>原子炉建屋地上3階、地下1階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td>静的熱感式水事象始動装置動作監視装置</td> <td>熱感器</td> <td>0~500℃</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気温度監視装置</td> <td>熱感気流式感測器</td> <td>0~30ra1k</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料プール水位/量度 (ロータリー式)</td> <td rowspan="2">静電計</td> <td>0~7.015mm² (O.P.20920mm~20720mm)</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td>0~130℃</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料プール水位/量度 (サイドバルブ式)</td> <td rowspan="2">ダイヤフラム式水位検出器</td> <td>1.200mm~7.310mm² (O.P.21020mm~20720mm)</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td>0~120℃</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)</td> <td rowspan="2">電離箱</td> <td>10¹⁰cts/h~10¹⁰cts/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td>10¹⁰cts/h~10¹⁰cts/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>可視光カメラ</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋原子炉格納容器内</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1. 凝縮ダイアフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む)、主大気圧の差を計測。 *2. 凝縮ダイアフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と原子炉圧力容器下部の差圧を計測。 *3. 凝縮ダイアフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 *4. 凝縮ダイアフラムにかかるダイヤフラム圧力、圧力制御能力の絶対圧力を計測。 *5. 凝縮ダイアフラムにかかる圧力制御能力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と圧力制御器下部の差圧を計測。 *6. 凝縮ダイアフラムにかかる圧力制御能力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と圧力制御器下部の差圧を計測。 *7. 凝縮ダイアフラムにかかるダイヤフラム圧力、ダイヤフラム圧力容器下部の差圧を計測。 *8. 凝縮ダイアフラムにかかるダイヤフラム圧力、ダイヤフラム圧力容器下部の差圧を計測。 *9. 凝縮ダイアフラムにかかる圧力制御能力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と圧力制御器下部の差圧を計測。 *10. 計測範囲の単位は、原子炉圧力監視システム上1.212mmとすることを (ダイヤフラム式監視器対応)。 *11. 計測範囲の単位は、原子炉圧力監視システム上1.900mmとすることを (ダイヤフラム式監視器対応)。 *12. 計測範囲の単位は、原子炉格納容器下部 (原子炉格納容器) の圧力を示す。 *13. 計測範囲の単位は、ダイヤフラム式監視器 (ダイヤフラム式監視器) の圧力を示す。 *14. 定常出力時の値に相当する範囲を示す。 *15. 凝縮圧力監視モニタの検出範囲は2級であり、平均出力領域モニタのチャンネルには、A群1級及びB群14級ずつの検出が入力される。 *16. 4級の時分検出式水事象検出装置に併せて、入口管及び出口管それぞれ1級検出。 *17. 静電計の単位は、線形検出器検出ユニット検出 (0.2020mm) の圧力と一致。 *18. 検出式は1級用。 *19. データの緊急発信し未済までの仕様時間を測定することで、未済までの感度を計測。 *20. 検出式は1級用。</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急時対策所 (通常運転時等) 緊急時対策所 (重大事故時等) 通信連絡設備 (通常運転時等) 通信連絡設備 (重大事故時等) <p>設備名 データ収集装置 使用回線 有線系回線及び無線系回線 個数 一式 取付箇所 制御建屋地上3階</p> <p>設備名 SPDS 伝送装置 使用回線 有線系回線及び無線系回線 個数 一式 取付箇所 緊急時対策建屋地下2階</p>	主称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所	高圧中心スプレイズポンプ出口圧力	弾性圧力検出器*	0~12MPa[gage]	1	原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	残置脱酸素ポンプ出口圧力	弾性圧力検出器*	0~0MPa[gage]	3	原子炉建屋地下2階 (A及びB種原子炉建屋原子炉格納容器内)	低圧中心スプレイズポンプ出口圧力	弾性圧力検出器*	0~0MPa[gage]	1	原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	廃水移送ポンプ出口圧力	弾性圧力検出器*	0~1.5MPa[gage]	1	原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	原子炉建屋内水事象検出	熱感式水事象検出器	0~10ra1k	3	原子炉建屋地上3階、地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)		気体熱伝導式水事象検出器	0~10ra1k	4	原子炉建屋地上3階、地下1階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	静的熱感式水事象始動装置動作監視装置	熱感器	0~500℃	2	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	格納容器内蒸気温度監視装置	熱感気流式感測器	0~30ra1k	2	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	使用済燃料プール水位/量度 (ロータリー式)	静電計	0~7.015mm ² (O.P.20920mm~20720mm)	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	0~130℃	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	使用済燃料プール水位/量度 (サイドバルブ式)	ダイヤフラム式水位検出器	1.200mm~7.310mm ² (O.P.21020mm~20720mm)	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	0~120℃	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	電離箱	10 ¹⁰ cts/h~10 ¹⁰ cts/h	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	10 ¹⁰ cts/h~10 ¹⁰ cts/h	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)	使用済燃料プール監視カメラ	可視光カメラ	—	1	原子炉建屋原子炉格納容器内	<p>泊発電所3号炉</p> <p>表2.15.2 主要設備の仕様 (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ</td> <td rowspan="2">非導体検出器 rad (C1) シンチレーション検出器</td> <td rowspan="2">10ncs/h~1,000ncs/h</td> <td rowspan="2">1</td> <td>原子炉補助建屋 T.P.33.16、原子炉補助建屋 T.P.33.16又は屋外 (原子炉補助建屋 T.P.33.16及び原子炉補助建屋 T.P.33.16に保管)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋 T.P.16.36 (中間区)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可搬型温度計測装置 (格納容器内格納ユニット入口温度/出口温度)</td> <td rowspan="2">温度抵抗体</td> <td rowspan="2">0~200℃</td> <td rowspan="2">1</td> <td>原子炉補助建屋 T.P.17.8a及び緊急時対策建屋格納容器内 (保管)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助建屋 T.P.17.8a及び緊急時対策建屋格納容器内 (保管)</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1: 凝縮ダイアフラムにかかる1次冷却材圧力を計測。 *2: 凝縮ダイアフラムにかかる加圧器圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 *3: 凝縮ダイアフラムにかかる原子炉圧力と原子炉圧力容器下部の差圧を計測。 *4: 凝縮ダイアフラムにかかる絞り機構前後の差圧を計測。 *5: 凝縮ダイアフラムにかかる原子炉格納容器圧力を計測。 *6: 凝縮ダイアフラムにかかる原子炉格納容器内の圧力と格納容器再循環ポンプ下部の差圧を計測。 *7: 凝縮ダイアフラムにかかる蒸気発生器圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と蒸気発生器下部の差圧を計測。 *8: 凝縮ダイアフラムにかかる主蒸気ライン圧力を計測。 *9: 凝縮ダイアフラムにかかるタンク内の圧力 (気相部) とタンク下部の差圧を計測。 *10: 凝縮ダイアフラムにかかるビットの水頭圧と大気圧の差圧を計測。 *11: プルドン管 (弾性変形) にかかる原子炉補助冷却水サージタンク圧力を計測。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急時対策所 (通常運転時等) 緊急時対策所 (重大事故時等) 通信連絡設備 (通常運転時等) 通信連絡設備 (重大事故時等) <p>設備名 データ収集計算機 使用回線 有線系回線及び無線系回線 個数 1式 取付箇所 原子炉補助建屋 T.P.17.8m</p>	名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	非導体検出器 rad (C1) シンチレーション検出器	10ncs/h~1,000ncs/h	1	原子炉補助建屋 T.P.33.16、原子炉補助建屋 T.P.33.16又は屋外 (原子炉補助建屋 T.P.33.16及び原子炉補助建屋 T.P.33.16に保管)	原子炉補助建屋 T.P.16.36 (中間区)	可搬型温度計測装置 (格納容器内格納ユニット入口温度/出口温度)	温度抵抗体	0~200℃	1	原子炉補助建屋 T.P.17.8a及び緊急時対策建屋格納容器内 (保管)	原子炉補助建屋 T.P.17.8a及び緊急時対策建屋格納容器内 (保管)	<p>相違理由</p> <p>■設備の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>■建屋名称及び設置箇所の相違</p> <p>■設備の相違 (相違理由④)</p>
主称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所																																																																																										
高圧中心スプレイズポンプ出口圧力	弾性圧力検出器*	0~12MPa[gage]	1	原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
残置脱酸素ポンプ出口圧力	弾性圧力検出器*	0~0MPa[gage]	3	原子炉建屋地下2階 (A及びB種原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
低圧中心スプレイズポンプ出口圧力	弾性圧力検出器*	0~0MPa[gage]	1	原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
廃水移送ポンプ出口圧力	弾性圧力検出器*	0~1.5MPa[gage]	1	原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
原子炉建屋内水事象検出	熱感式水事象検出器	0~10ra1k	3	原子炉建屋地上3階、地下2階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
	気体熱伝導式水事象検出器	0~10ra1k	4	原子炉建屋地上3階、地下1階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
静的熱感式水事象始動装置動作監視装置	熱感器	0~500℃	2	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
格納容器内蒸気温度監視装置	熱感気流式感測器	0~30ra1k	2	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
使用済燃料プール水位/量度 (ロータリー式)	静電計	0~7.015mm ² (O.P.20920mm~20720mm)	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
		0~130℃	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
使用済燃料プール水位/量度 (サイドバルブ式)	ダイヤフラム式水位検出器	1.200mm~7.310mm ² (O.P.21020mm~20720mm)	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
		0~120℃	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、低線量)	電離箱	10 ¹⁰ cts/h~10 ¹⁰ cts/h	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
		10 ¹⁰ cts/h~10 ¹⁰ cts/h	1	原子炉建屋地上3階 (原子炉建屋原子炉格納容器内)																																																																																										
使用済燃料プール監視カメラ	可視光カメラ	—	1	原子炉建屋原子炉格納容器内																																																																																										
名称	検出器の種類	計測範囲	個数	取付箇所																																																																																										
使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	非導体検出器 rad (C1) シンチレーション検出器	10ncs/h~1,000ncs/h	1	原子炉補助建屋 T.P.33.16、原子炉補助建屋 T.P.33.16又は屋外 (原子炉補助建屋 T.P.33.16及び原子炉補助建屋 T.P.33.16に保管)																																																																																										
				原子炉補助建屋 T.P.16.36 (中間区)																																																																																										
可搬型温度計測装置 (格納容器内格納ユニット入口温度/出口温度)	温度抵抗体	0~200℃	1	原子炉補助建屋 T.P.17.8a及び緊急時対策建屋格納容器内 (保管)																																																																																										
				原子炉補助建屋 T.P.17.8a及び緊急時対策建屋格納容器内 (保管)																																																																																										

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>設備名 SPDS表示装置</p> <p>個数 一式</p> <p>取付箇所 緊急時対策建屋地下2階</p> <p>可搬型計測器の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>個数 26 (予備 26)</p> <p>保管場所 制御建屋地上3階 緊急時対策建屋地下2階</p> <p>3.15.2.1.3 設置許可基準規則第43条への適合方針</p> <p>3.15.2.1.3.1 設置許可基準規則第43条第1項への適合方針</p> <p>(1) 環境条件及び荷重条件 (設置許可基準規則第43条第1項第一号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉格納容器内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉格納容器内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-3に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・ドライウェル温度 ・圧力抑制室内空気温度 ・サブプレッションプール水温度 ・原子炉格納容器下部温度 ・原子炉格納容器下部水位 ・ドライウェル水位 ・格納容器内水素濃度(D/W) ・格納容器内水素濃度(S/C) ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ 	<p>設備名 データ表示端末</p> <p>個数 1式</p> <p>取付箇所 緊急時対策所指揮所</p> <p>可搬型計測器の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>個数 38 (予備 38)</p> <p>保管場所 原子炉補助建屋 T.P.17.Sa 緊急時対策所待機所</p> <p>2.15.2.1.3 設置許可基準規則第43条への適合方針</p> <p>2.15.2.1.3.1 設置許可基準規則第43条第1項への適合方針</p> <p>(1) 環境条件及び荷重条件 (設置許可基準規則第43条第1項第一号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉格納容器内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉格納容器内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.3に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・1次冷却材圧力 (広域) ・加圧器水位 ・原子炉容器水位 ・格納容器内温度 ・格納容器再循環サンプル水位 (広域) ・格納容器再循環サンプル水位 (狭域) ・格納容器水位 ・原子炉下部キャビティ水位 ・原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・格納容器水素イグナイト温度 ・格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) ・格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) ・出力領域中性子束 	<p>■設備名称の相違</p> <p>■建屋名称及び設置箇所の相違</p> <p>■設備構成の相違</p> <p>・可搬型計測器で計測するパラメータ数の相違により保有数が異なる (表 2.15.9 に対象を記載)。</p> <p>■建屋名称及び設置箇所の相違</p> <p>・屋内のうち格納容器内の設備について記載</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>なお、起動領域モニタ及び平均出力領域モニタについては、重大事故等時初期における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉建屋原子炉棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉建屋原子炉棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 3.15-3 に示す設計とする。</p> <p>格納容器内雰囲気気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度の計測に必要な操作は、中央制御室の操作スイッチにて遠隔操作可能な設計とする。</p> <p>フィルタ装置出口水素濃度の計測に必要な弁の操作は、弁の設置場所と異なる原子炉建屋付属棟内から遠隔で手動操作にて操作可能な設計とするとともに、サンプリング装置については、中央制御室の操作スイッチにて遠隔操作可能な設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力 ・原子炉圧力 (SA) ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料域) ・原子炉水位 (SA 広帯域) ・原子炉水位 (SA 燃料域) ・高圧代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレイ流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 ・ドライウェル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・格納容器内雰囲気気水素濃度 ・格納容器内雰囲気気放射線モニタ (D/W) 	<p>なお、出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束については、重大事故等時初期における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、周辺補機棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、周辺補機棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM 用) ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用) ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用) <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉補助建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。また、インターフェイスシステム LOCA 時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉補助建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 	<ul style="list-style-type: none"> ・中間領域中性子束 ・中性子源領域中性子束 ・蒸気発生器水位 (狭域) ・蒸気発生器水位 (広域) 	<p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内のうち周辺補機棟内の設備について記載 ■建屋名称の相違 ・泊は、屋内である原子炉補助建屋に設置する設備のうち、左記の設備については、インターフェイスシステム LOCA 時に使用することから、その環境条件を考慮する設計方針を記載している。 ・屋内のうち原子炉補助建屋内の設備について記載

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は、周辺補機棟内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、周辺補機棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位 (可搬型) は、燃料取扱棟内及び周辺補機棟内に保管し、重大事故等時は燃料取扱棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、燃料取扱棟内及び周辺補機棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内、原子炉補助建屋内又は屋外に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラは、燃料取扱棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、燃料取扱棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管し、重大事故等時は原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、周辺補機棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境条件を考慮した設計とする。</p>	<p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
<p>大飯発電所3 / 4号炉</p>	<p>比較のため添58-19より再掲</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちデータ収集装置は、制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、制御建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-5に示す設計とする。</p> <p>比較のため添58-20より再掲</p> <p>可搬型計測器は、制御建屋内に保管し、重大事故等時は制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、制御建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-5に示す設計とする。</p> <p>表3.15-3 想定する環境条件及び荷重条件（屋内）</p> <table border="1" data-bbox="665 804 1232 1059"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属種内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属種内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通過する系統への影響</td> <td>海水を通過することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属種内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、屋外（CST 連絡トレンチ/バルブ室）に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-4に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属種内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属種内に設置するため、天候による影響は受けない。	海水を通過する系統への影響	海水を通過することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）	風（台風）・積雪	原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属種内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度）は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、周辺補機棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.3に示す設計とする。</p> <p>データ伝送設備（発電所内）のうちデータ収集計算機は、原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉補助建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.3に示す設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉補助建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.3に示す設計とする。</p> <p>表2.15.9 想定する環境条件及び荷重条件（屋内）</p> <table border="1" data-bbox="1256 804 1809 1059"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通過する系統への影響</td> <td>海水を通過することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>使用済燃料ビット可搬型エリアモニタは、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内、原子炉補助建屋内又は屋外に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮すること</p>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	原子炉格納容器内、 周辺補機棟 内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	原子炉格納容器内、 周辺補機棟 内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、天候による影響は受けない。	海水を通過する系統への影響	海水を通過することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）	風（台風）・積雪	原子炉格納容器内、 周辺補機棟 内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>■設備の相違（相違理由③）</p> <p>■設備の相違（相違理由④）</p> <p>■設備名称及び建屋名称の相違</p> <p>■建屋名称の相違</p> <p>■設備保管場所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型計測器を原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に分散して保管する。 <p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊の屋外に設置する設備は、使用済燃料ビット可搬型エリアモニタが該当する（使用済燃料ビットの放射線量率を可搬型設備で計測することとしており、周
環境条件等	対応																														
温度・圧力・湿度・放射線	原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属種内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																														
屋外の天候による影響	原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属種内に設置するため、天候による影響は受けない。																														
海水を通過する系統への影響	海水を通過することはない。																														
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）																														
風（台風）・積雪	原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属種内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。																														
電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																														
環境条件等	対応																														
温度・圧力・湿度・放射線	原子炉格納容器内、 周辺補機棟 内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																														
屋外の天候による影響	原子炉格納容器内、 周辺補機棟 内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、天候による影響は受けない。																														
海水を通過する系統への影響	海水を通過することはない。																														
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）																														
風（台風）・積雪	原子炉格納容器内、 周辺補機棟 内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。																														
電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p>表3.15-4 想定する環境条件及び荷重条件（屋外）</p> <table border="1" data-bbox="665 316 1229 563"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するが、地下へ設けるため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外に設置するが、地下へ設けるため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、制御建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 3.15-5 に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6-2F-1 母線電圧 ・6-2F-2 母線電圧 ・6-2C 母線電圧 ・6-2D 母線電圧 ・6-2H 母線電圧 ・4-2C 母線電圧 ・4-2D 母線電圧 ・125V 直流主母線 2A 電圧 ・125V 直流主母線 2B 電圧 ・125V 直流主母線 2A-1 電圧 ・125V 直流主母線 2B-1 電圧 ・250V 直流主母線電圧 ・HPCS125V 直流主母線電圧 <p style="text-align: right;">比較のため添 58-18 へ再掲</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちデータ収集装置は、制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、制御建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 3.15-5 に示す設計とする。</p>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するが、地下へ設けるため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）	風（台風）・積雪	屋外に設置するが、地下へ設けるため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>ができるよう、表 2.15.4 に示す設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>表2.15.4 想定する環境条件及び荷重条件（屋外）</p> <table border="1" data-bbox="1256 304 1809 536"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するが、天候によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外に設置するが、風（台風）及び積雪によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	屋外に設置するが、天候によりその機能が損なわれない設計とする。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）	風（台風）・積雪	屋外に設置するが、風（台風）及び積雪によりその機能が損なわれない設計とする。	電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>相違理由</p> <p>辺補機内又は原子炉補助建屋内に保管し、周辺補機内、原子炉補助建屋内又は屋外に設置する。</p>
環境条件等	対応																														
温度・圧力・湿度・放射線	屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																														
屋外の天候による影響	屋外に設置するが、地下へ設けるため、天候による影響は受けない。																														
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																														
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）																														
風（台風）・積雪	屋外に設置するが、地下へ設けるため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。																														
電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																														
環境条件等	対応																														
温度・圧力・湿度・放射線	屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																														
屋外の天候による影響	屋外に設置するが、天候によりその機能が損なわれない設計とする。																														
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																														
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）																														
風（台風）・積雪	屋外に設置するが、風（台風）及び積雪によりその機能が損なわれない設計とする。																														
電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由														
	<p style="text-align: right;">比較のため添58-18へ再掲</p> <p>可搬型計測器は、制御建屋内に保管し、重大事故等時は制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、制御建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-5に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.15-5 想定する環境条件及び荷重条件 (制御建屋内)</p> <table border="1" data-bbox="667 363 1229 596"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>制御建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>制御建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)</td> </tr> <tr> <td>風 (台風) ・積雪</td> <td>制御建屋内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) のうち SPDS 伝送装置及び SPDS 表示装置は、緊急時対策建屋緊急時対策所内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-6に示す設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、緊急時対策建屋緊急時対策所内に保管し、重大事故等時は制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-6に示す設計とする。</p>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	制御建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	制御建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。	海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)	風 (台風) ・積雪	制御建屋内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は、周辺補機棟内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策所待機所内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.5に示す設計とする。</p> <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策所待機所内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.5に示す設計とする。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) のうちデータ表示端末は、緊急時対策所指揮所内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策所指揮所内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.5に示す設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策所待機所内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.5に示す設計とする。</p>	<p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由④) ■設備名称及び建屋名称の相違</p> <p>■設備保管場所の相違 ・泊は、可搬型計測器を原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に分散して保管する。 ■建屋名称の相違</p>
環境条件等	対応																
温度・圧力・湿度・放射線	制御建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																
屋外の天候による影響	制御建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。																
海水を通水する系統への影響	海水を通水することはない。																
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)																
風 (台風) ・積雪	制御建屋内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けない。																
電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																												
	<p>表3.15-6 想定する環境条件及び荷重条件 (緊急時対策建屋内)</p> <table border="1" data-bbox="667 167 1227 395"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>緊急時対策建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>緊急時対策建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通過する系統への影響</td> <td>海水を通過することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)</td> </tr> <tr> <td>風(台風)・積雪</td> <td>緊急時対策建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(58-3)</p> <p>(2) 操作性 (設置許可基準規則第43条第1項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合において確実に操作できるものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>格納容器内雰囲気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度は、通常時からサンプリング方式による計測を実施し、中央制御室にて監視を行う。サンプリング装置は、中央制御室の操作スイッチにて遠隔操作が可能な設計とする。中央制御室の制御盤の操作器、表示器及び銘板は、操作者の操作性・監視性・識別性を考慮し、また、十分な操作空間を確保することで、確実に操作可能な設計とする。</p> <p>フィルタ装置出口水素濃度は、サンプリング方式による計測を実施し、サンプリングに必要な弁の操作は、弁の設置場所と異なる原子炉建屋付属棟内から遠隔で手動操作を可能とし、想定される重大事故等時の環境下においても確実に操作可能な設計とする。サンプリング装置については中央制御室の操作スイッチにて遠隔操作が可能な設計とする。中央制御室の制御盤の操作器、表示器及び銘板は、操作者の操作性・監視性・識別性を考慮し、また、十分な操作空間を確保することで、確実に操作可能な設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)のうち SPDS 表示装置は、電源、通信ケーブルは接続されており、各パラメータの監視は、緊急時対策建屋の操作スイッチにより監視が可能な設計とする。緊急時対策建屋の SPDS 表示装置は、操作者の操作性・監視性・識別性を考慮し、また、十分な操作空間を確保することで、確実に操作可能な設計とする。</p>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	緊急時対策建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	緊急時対策建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。	海水を通過する系統への影響	海水を通過することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)	風(台風)・積雪	緊急時対策建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>表2.15.5 想定する環境条件及び荷重条件 (緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所待機所内)</p> <table border="1" data-bbox="1254 167 1814 422"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所待機所内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所待機所内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通過する系統への影響</td> <td>海水を通過することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)</td> </tr> <tr> <td>風(台風)・積雪</td> <td>緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所待機所内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 操作性 (設置許可基準規則第43条第1項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合において確実に操作できるものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) のうちデータ表示端末は、電源、通信ケーブルは接続されており、各パラメータの監視は、緊急時対策所指揮所の操作スイッチにより監視が可能な設計とする。緊急時対策所指揮所のデータ表示端末は、操作者の操作性・監視性・識別性を考慮し、また、十分な操作空間を確保することで、確実に操作可能な設計とする。</p>	環境条件等	対応	温度・圧力・湿度・放射線	緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所待機所内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。	屋外の天候による影響	緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所待機所内に設置するため、天候による影響は受けない。	海水を通過する系統への影響	海水を通過することはない。	地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)	風(台風)・積雪	緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所待機所内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。	電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。	<p>相違理由</p> <p>■設備の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>■建屋名称の相違</p>
環境条件等	対応																														
温度・圧力・湿度・放射線	緊急時対策建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																														
屋外の天候による影響	緊急時対策建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。																														
海水を通過する系統への影響	海水を通過することはない。																														
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)																														
風(台風)・積雪	緊急時対策建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。																														
電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																														
環境条件等	対応																														
温度・圧力・湿度・放射線	緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所待機所内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。																														
屋外の天候による影響	緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所待機所内に設置するため、天候による影響は受けない。																														
海水を通過する系統への影響	海水を通過することはない。																														
地震	適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)																														
風(台風)・積雪	緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所待機所内に設置するため、風(台風)及び積雪の影響は受けない。																														
電磁的障害	重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。																														

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
		<p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットを使用した原子炉格納容器内の水素濃度の監視を行う系統及び可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットを使用したアニュラス内の水素濃度の測定を行う系統は、想定される重大事故等が発生した場合において、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。また、切替えに伴う配管の接続は、簡便な接続規格による接続とし、確実に接続可能な設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットに使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所で確実に接続可能な設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットの指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。また、台車により運搬、移動可能な設計とするとともに、設置場所にて固定可能な設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)の接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所で確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とするとともに、人が携行して移動可能な設計とする。</p> <p>可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)の検出器と温度計本体の計装ケーブルの接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所で確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用可能な設計とするとともに、人が携行して移動し、付属の操作スイッチにより設置場所で操作が可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位(可搬型)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位(可搬型)の吊込装置(フロート、シンカーを含む)、ワイヤー等、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、人力により運搬、移動が可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位(可搬型)の吊込装置等の取り付けは、取付金具を用いて確実に取付可能な設計とする。使用済燃料ピット水位(可搬型)の変換器及びワイヤーの接続は、確実に接続可能な設計とする。使用済燃料ピット水</p>	<p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>可搬型計測器の接続は、中央制御室にて操作可能であり、想定される重大事故等時の環境下においても、確実に操作が可能な設計とする。操作場所である中央制御室では、十分な操作空間を確保することで確実に操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、ボルト・ネジ接続とし、接続規格を統一することにより、一般的に使用される工具を用いて接続箇所確実に接続が可能な設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所で操作が可能な設計とする。</p> <p>表 3.15-7 に操作対象機器を示す。</p>	<p>位（可搬型）のケーブル接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、ケーブルを確実に接続可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、使用済燃料ピット監視カメラに確実に接続できるとともに、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、複数の場所の線量率と使用済燃料ピット区域の空間線量率の相関（減衰率）をあらかじめ評価している場所のうち設置場所としている箇所、車輪止めによる固定等により固定が可能な設計とする。使用済燃料ピット可搬型エリアモニタのケーブル接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、ケーブルを確実に接続可能な設計とする。使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、付属の操作スイッチにより設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器の接続は、中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室にて操作可能であり、想定される重大事故等時の環境下においても、確実に操作が可能な設計とする。操作場所である中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室では、十分な操作空間を確保することで確実に操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、プラグ接続とし、接続規格を統一することにより、接続箇所確実に接続が可能な設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>表 2.15.6 に操作対象機器を示す。</p>	<p>相違理由</p> <p>■接続場所の相違 ・泊は、原子炉補助建屋の中央制御室、中央制御室近傍（同一フロア）のA-安全系計装盤室、B-安全系計装盤室及び常用系計装盤室で可搬型計測器を盤に接続し計測することとしている。女川は、すべて中央制御室で接続する。</p> <p>■運用の相違（相違理由⑦）</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																		
	<p>表3.15-7 操作対象機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内蒸気気水素濃度計(サンプリング装置)</td> <td>停止→起動 測定点選択 (0/300S/C)</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>中央制御室</td> <td>スイッチ 操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気気酸濃度計(サンプリング装置)</td> <td>停止→起動 測定点選択 (0/300S/C)</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>中央制御室</td> <td>スイッチ 操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度計ドレン掛出弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物内)</td> <td>手動操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度計入口弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>地上1階 (原子炉建屋付属物内)</td> <td>手動操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度計出口弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>地上1階 (原子炉建屋付属物内)</td> <td>手動操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度計(サンプリング装置)</td> <td>停止→起動</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>中央制御室</td> <td>スイッチ 操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SPDS表示装置</td> <td>停止→起動 (パラメータ監視)</td> <td>緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所)</td> <td>緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所)</td> <td>スイッチ 操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器</td> <td>接続箇所端子リフト 可搬型計測器接続</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> <td>接続操作 スイッチ 操作</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、想定される重大事故等時において中央制御室で監視できる設計であり現場又は中央制御室による操作は発生しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力 ・原子炉圧力 (SA) ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料域) ・原子炉水位 (SA 広帯域) ・原子炉水位 (SA 燃料域) ・高圧代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量) ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 ・代替循環冷却ポンプ出口流量 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレイ流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 	機器名称	状態の変化	設置場所	操作場所	操作方法	備考	格納容器内蒸気気水素濃度計(サンプリング装置)	停止→起動 測定点選択 (0/300S/C)	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	中央制御室	スイッチ 操作		格納容器内蒸気気酸濃度計(サンプリング装置)	停止→起動 測定点選択 (0/300S/C)	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	中央制御室	スイッチ 操作		フィルタ装置出口水素濃度計ドレン掛出弁	全閉→全開	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物内)	手動操作		フィルタ装置出口水素濃度計入口弁	全閉→全開	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	地上1階 (原子炉建屋付属物内)	手動操作		フィルタ装置出口水素濃度計出口弁	全閉→全開	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	地上1階 (原子炉建屋付属物内)	手動操作		フィルタ装置出口水素濃度計(サンプリング装置)	停止→起動	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	中央制御室	スイッチ 操作		SPDS表示装置	停止→起動 (パラメータ監視)	緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所)	緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所)	スイッチ 操作		可搬型計測器	接続箇所端子リフト 可搬型計測器接続	中央制御室	中央制御室	接続操作 スイッチ 操作		<p>表2.15.6 操作対象機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</td> <td>検出器取付</td> <td>周辺補機棟 T.P.24.0a</td> <td>周辺補機棟 T.P.24.0a 及び 中央制御室</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット</td> <td>検出器取付</td> <td>周辺補機棟 T.P.24.0a</td> <td>周辺補機棟 T.P.24.0a 及び 中央制御室</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)</td> <td>検出器取付</td> <td>周辺補機棟 T.P.43.0a</td> <td>周辺補機棟 T.P.43.0a</td> <td>接続操作</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット水位 (可搬型)</td> <td>検出器取付</td> <td>燃料取扱棟</td> <td>燃料取扱棟</td> <td>接続操作</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ</td> <td>検出器取付</td> <td>周辺補機棟 T.P.33.1a, 原子炉補助建屋 T.P.33.1a 又は屋外</td> <td>周辺補機棟 T.P.33.1a, 原子炉補助建屋 T.P.33.1a 又は屋外</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置</td> <td>冷却装置取付</td> <td>原子炉補助建屋 T.P.33.1a</td> <td>原子炉補助建屋 T.P.33.1a</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>データ表示端末</td> <td>停止→起動 (パラメータ監視)</td> <td>緊急時対策所</td> <td>緊急時対策所</td> <td>スイッチ操作</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)</td> <td>検出器取付</td> <td>周辺補機棟 T.P.10.0a (中間域) 及び T.P.17.0a</td> <td>周辺補機棟 T.P.10.0a (中間域) 及び T.P.17.0a</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器 (プラグ接続)</td> <td>可搬型計測器接続</td> <td>原子炉補助建屋 T.P.17.0a (中央制御室、安全系計装室及び常用系計装室)</td> <td>原子炉補助建屋 T.P.17.0a (中央制御室、安全系計装室及び常用系計装室)</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、想定される重大事故等時において中央制御室又は設置場所で監視できる設計であり現場又は中央制御室による操作は発生しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・1次冷却材圧力 (広域) ・加圧器水位 ・原子炉容器水位 ・格納容器内温度 ・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器再循環サンプ水位 (狭域) ・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) ・出力領域中性子束 ・中間領域中性子束 ・中性子源領域中性子束 ・蒸気発生器水位 (狭域) ・蒸気発生器水位 (広域) ・高圧注入流量 ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・低圧注入流量 ・原子炉格納容器圧力 	機器名称	状態の変化	設置場所	操作場所	操作方法	備考	可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	検出器取付	周辺補機棟 T.P.24.0a	周辺補機棟 T.P.24.0a 及び 中央制御室	接続操作 スイッチ操作	-	可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	検出器取付	周辺補機棟 T.P.24.0a	周辺補機棟 T.P.24.0a 及び 中央制御室	接続操作 スイッチ操作	-	原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	検出器取付	周辺補機棟 T.P.43.0a	周辺補機棟 T.P.43.0a	接続操作	-	使用済燃料ビット水位 (可搬型)	検出器取付	燃料取扱棟	燃料取扱棟	接続操作	-	使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	検出器取付	周辺補機棟 T.P.33.1a, 原子炉補助建屋 T.P.33.1a 又は屋外	周辺補機棟 T.P.33.1a, 原子炉補助建屋 T.P.33.1a 又は屋外	接続操作 スイッチ操作	-	使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置	冷却装置取付	原子炉補助建屋 T.P.33.1a	原子炉補助建屋 T.P.33.1a	接続操作 スイッチ操作	-	データ表示端末	停止→起動 (パラメータ監視)	緊急時対策所	緊急時対策所	スイッチ操作	-	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	検出器取付	周辺補機棟 T.P.10.0a (中間域) 及び T.P.17.0a	周辺補機棟 T.P.10.0a (中間域) 及び T.P.17.0a	接続操作 スイッチ操作	-	可搬型計測器 (プラグ接続)	可搬型計測器接続	原子炉補助建屋 T.P.17.0a (中央制御室、安全系計装室及び常用系計装室)	原子炉補助建屋 T.P.17.0a (中央制御室、安全系計装室及び常用系計装室)	接続操作 スイッチ操作	-	<p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、設置場所である現場にて監視するパラメータがある。左記のうち以下が該当する (いずれも補助パラメータ (SA 設備))。 <ul style="list-style-type: none"> ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)
機器名称	状態の変化	設置場所	操作場所	操作方法	備考																																																																																																																
格納容器内蒸気気水素濃度計(サンプリング装置)	停止→起動 測定点選択 (0/300S/C)	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	中央制御室	スイッチ 操作																																																																																																																	
格納容器内蒸気気酸濃度計(サンプリング装置)	停止→起動 測定点選択 (0/300S/C)	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	中央制御室	スイッチ 操作																																																																																																																	
フィルタ装置出口水素濃度計ドレン掛出弁	全閉→全開	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物内)	手動操作																																																																																																																	
フィルタ装置出口水素濃度計入口弁	全閉→全開	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	地上1階 (原子炉建屋付属物内)	手動操作																																																																																																																	
フィルタ装置出口水素濃度計出口弁	全閉→全開	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	地上1階 (原子炉建屋付属物内)	手動操作																																																																																																																	
フィルタ装置出口水素濃度計(サンプリング装置)	停止→起動	原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)	中央制御室	スイッチ 操作																																																																																																																	
SPDS表示装置	停止→起動 (パラメータ監視)	緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所)	緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所)	スイッチ 操作																																																																																																																	
可搬型計測器	接続箇所端子リフト 可搬型計測器接続	中央制御室	中央制御室	接続操作 スイッチ 操作																																																																																																																	
機器名称	状態の変化	設置場所	操作場所	操作方法	備考																																																																																																																
可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット	検出器取付	周辺補機棟 T.P.24.0a	周辺補機棟 T.P.24.0a 及び 中央制御室	接続操作 スイッチ操作	-																																																																																																																
可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット	検出器取付	周辺補機棟 T.P.24.0a	周辺補機棟 T.P.24.0a 及び 中央制御室	接続操作 スイッチ操作	-																																																																																																																
原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)	検出器取付	周辺補機棟 T.P.43.0a	周辺補機棟 T.P.43.0a	接続操作	-																																																																																																																
使用済燃料ビット水位 (可搬型)	検出器取付	燃料取扱棟	燃料取扱棟	接続操作	-																																																																																																																
使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ	検出器取付	周辺補機棟 T.P.33.1a, 原子炉補助建屋 T.P.33.1a 又は屋外	周辺補機棟 T.P.33.1a, 原子炉補助建屋 T.P.33.1a 又は屋外	接続操作 スイッチ操作	-																																																																																																																
使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置	冷却装置取付	原子炉補助建屋 T.P.33.1a	原子炉補助建屋 T.P.33.1a	接続操作 スイッチ操作	-																																																																																																																
データ表示端末	停止→起動 (パラメータ監視)	緊急時対策所	緊急時対策所	スイッチ操作	-																																																																																																																
可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	検出器取付	周辺補機棟 T.P.10.0a (中間域) 及び T.P.17.0a	周辺補機棟 T.P.10.0a (中間域) 及び T.P.17.0a	接続操作 スイッチ操作	-																																																																																																																
可搬型計測器 (プラグ接続)	可搬型計測器接続	原子炉補助建屋 T.P.17.0a (中央制御室、安全系計装室及び常用系計装室)	原子炉補助建屋 T.P.17.0a (中央制御室、安全系計装室及び常用系計装室)	接続操作 スイッチ操作	-																																																																																																																

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライウェル温度 ・圧力抑制室内空気温度 ・サブプレッションプール水温度 ・原子炉格納容器下部温度 ・ドライウェル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・原子炉格納容器下部水位 ・ドライウェル水位 ・格納容器内水素濃度(D/W) ・格納容器内水素濃度(S/C) ・格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W) ・格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C) ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・フィルタ装置水位（広帯域） ・フィルタ装置入口圧力（広帯域） ・フィルタ装置出口圧力（広帯域） ・フィルタ装置水温度 ・フィルタ装置出口放射線モニタ ・耐圧強化ベント系放射線モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系統流量 ・残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 ・復水貯蔵タンク水位 ・高圧代替注水系ポンプ出口圧力 ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 ・代替循環冷却ポンプ出口圧力 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 ・残留熱除去系ポンプ出口圧力 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 ・復水移送ポンプ出口圧力 ・原子炉建屋内水素濃度 ・静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 ・使用済燃料プール水位/温度（ヒートサーモ式） ・使用済燃料プール水位/温度（ガイドバルブ式） ・使用済燃料プール上部空開放射線モニタ（高線量、低線量） ・使用済燃料プール監視カメラ ・6-2F-1 母線電圧 ・6-2F-2 母線電圧 ・6-2C 母線電圧 ・6-2D 母線電圧 ・6-2H 母線電圧 	<ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・ほう酸タンク水位 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・格納容器圧力（AM用） ・格納容器水位 ・原子炉下部キャビティ水位 ・原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・格納容器水素イグナイタ温度 ・6-A、B母線電圧 ・A、B-直流コントロールセンタ母線電圧 ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・使用済燃料ピット水位（AM用） ・使用済燃料ピット温度（AM用） ・使用済燃料ピット監視カメラ 	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>・4-2C 母線電圧 ・4-2D 母線電圧 ・125V 直流主母線2A 電圧 ・125V 直流主母線2B 電圧 ・125V 直流主母線2A-1 電圧 ・125V 直流主母線2B-1 電圧 ・250V 直流主母線電圧 ・HPCS125V 直流主母線電圧 ・高圧窒素ガス供給系ADS 入口圧力 ・代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちデータ収集装置及びSPDS 伝送装置は、通常は操作を行わずに常時伝送が可能であり、通常時及び重大事故等時に操作を行う必要がない設計とする。</p> <p>(3) 試験及び検査 (設置許可基準規則第43条第1項第三号) (i) 要求事項 健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に試験又は検査ができるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による機能・性能の確認 (特性の確認) 及び校正が可能な設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)は、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による性能の確認が可能な設計とする。</p> <p>計装設備の試験及び検査について表 3.15-8 へ示す。 (58-5)</p>	<p>データ伝送設備 (発電所内) のうちデータ収集計算機は、通常は操作を行わずに常時伝送が可能であり、通常時及び重大事故等時に操作を行う必要がない設計とする。</p> <p>(3) 試験及び検査 (設置許可基準規則第43条第1項第三号) (i) 要求事項 健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に試験又は検査ができるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による機能・性能の確認 (特性の確認) 及び校正ができる設計とする。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) は、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) 及び可搬型計測器は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による性能の確認が可能な設計とする。</p> <p>計装設備の試験及び検査について表 2.15.7 へ示す。 (58-3)</p>	<p>■設備の相違 (相違理由④) ■設備名称の相違</p> <p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																													
	<p>表3.15-8 計装設備の試験及び検査(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計器分類</th> <th>パラメータ</th> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">水位計</td> <td>原子炉水位 (広領域)</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (山形領域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広域領域)</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>プールの静置水位 (広領域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気圧縮タンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部水位</td> </tr> <tr> <td>下ろしバキューム水位</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位/漏洩(ガインバノス式)</td> <td>停止中又は運転中</td> <td>本尺確認 計器校正 設備抵抗測定</td> </tr> <tr> <td rowspan="17">圧力計</td> <td>原子炉圧力</td> <td rowspan="17">停止中</td> <td rowspan="17">特性試験</td> <td rowspan="17">計器校正</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> </tr> <tr> <td>下ろしバキューム圧力</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室圧力</td> </tr> <tr> <td>プールの静置圧力 (広領域)</td> </tr> <tr> <td>プールの静置出口圧力 (広領域)</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="17">流量計</td> <td>高圧冷却水ポンプ出口流量</td> <td rowspan="17">停止中</td> <td rowspan="17">特性試験</td> <td rowspan="17">計器校正</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">温度計</td> <td>原子炉格納容器出口温度</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器出口温度</td> </tr> </tbody> </table>	計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容	水位計	原子炉水位 (広領域)	停止中	特性試験	計器校正	原子炉水位 (燃料域)	原子炉水位 (山形領域)	原子炉水位 (広域領域)	圧力制御室水位	プールの静置水位 (広領域)	蒸気圧縮タンク水位	原子炉格納容器下部水位	下ろしバキューム水位	使用済燃料プール水位/漏洩(ガインバノス式)	停止中又は運転中	本尺確認 計器校正 設備抵抗測定	圧力計	原子炉圧力	停止中	特性試験	計器校正	原子炉圧力 (SA)	下ろしバキューム圧力	圧力制御室圧力	プールの静置圧力 (広領域)	プールの静置出口圧力 (広領域)	高圧冷却水ポンプ出口圧力	高圧冷却水ポンプ出口圧力	原子炉格納容器出口圧力	原子炉格納容器出口圧力	原子炉格納容器出口圧力	原子炉格納容器出口圧力	原子炉格納容器出口圧力	原子炉格納容器出口圧力	原子炉格納容器出口圧力	原子炉格納容器出口圧力	原子炉格納容器出口圧力	流量計	高圧冷却水ポンプ出口流量	停止中	特性試験	計器校正	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)	温度計	原子炉格納容器出口温度	停止中	特性試験	計器校正	原子炉格納容器出口温度	原子炉格納容器出口温度	原子炉格納容器出口温度	原子炉格納容器出口温度	原子炉格納容器出口温度	原子炉格納容器出口温度	原子炉格納容器出口温度	原子炉格納容器出口温度	原子炉格納容器出口温度	<p>表2.15.7 計装設備の試験及び検査(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計器分類</th> <th>パラメータ</th> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">水位計</td> <td>加圧器水位</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環タンク水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環タンク水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環タンク水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環タンク水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環タンク水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環タンク水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環タンク水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環タンク水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">圧力計</td> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> <td rowspan="10">停止中又は運転中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (表域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (表域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サーージタンク水位</td> </tr> <tr> <td>燃料貯蔵用ボット水位</td> </tr> <tr> <td>ほう動タンク水位</td> </tr> <tr> <td>補助給水ボット水位</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ボット水位 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ボット水位 (可搬型)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">流量計</td> <td>格納容器圧力 (AM用)</td> <td rowspan="3">停止中又は運転中</td> <td rowspan="3">特性試験</td> <td rowspan="3">計器校正</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">温度計</td> <td>原子炉補機冷却水サーージタンク圧力 (可搬型)</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>高圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td rowspan="6">温度計</td> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td rowspan="6">停止中又は運転中</td> <td rowspan="6">特性試験</td> <td rowspan="6">記録抵抗測定 温度確認 計器校正</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度 監視装置</td> </tr> <tr> <td>格納容器水素イグナイタ温度 監視装置</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ボット温度 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)</td> </tr> </tbody> </table>	計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容	水位計	加圧器水位	停止中	特性試験	計器校正	原子炉格納容器水位	格納容器再循環タンク水位 (広域)	格納容器再循環タンク水位 (広域)	格納容器再循環タンク水位 (広域)	格納容器再循環タンク水位 (広域)	格納容器再循環タンク水位 (広域)	格納容器再循環タンク水位 (広域)	格納容器再循環タンク水位 (広域)	格納容器再循環タンク水位 (広域)	圧力計	原子炉下部キャビティ水位	停止中又は運転中	特性試験	計器校正	蒸気発生器水位 (表域)	蒸気発生器水位 (表域)	原子炉補機冷却水サーージタンク水位	燃料貯蔵用ボット水位	ほう動タンク水位	補助給水ボット水位	使用済燃料ボット水位 (AM用)	使用済燃料ボット水位 (可搬型)	1次冷却材圧力 (広域)	流量計	格納容器圧力 (AM用)	停止中又は運転中	特性試験	計器校正	格納容器圧力 (AM用)	主蒸気ライン圧力	温度計	原子炉補機冷却水サーージタンク圧力 (可搬型)	停止中	特性試験	計器校正	高圧注入流量	低圧注入流量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (AM用)	補助給水流量	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)	原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)	温度計	1次冷却材温度 (広域-高温側)	停止中又は運転中	特性試験	記録抵抗測定 温度確認 計器校正	1次冷却材温度 (広域-低温側)	格納容器内温度	原子炉格納容器内水素処理装置温度 監視装置	格納容器水素イグナイタ温度 監視装置	使用済燃料ボット温度 (AM用)	可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)	
計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容																																																																																																																																												
水位計	原子炉水位 (広領域)	停止中	特性試験	計器校正																																																																																																																																												
	原子炉水位 (燃料域)																																																																																																																																															
	原子炉水位 (山形領域)																																																																																																																																															
	原子炉水位 (広域領域)																																																																																																																																															
	圧力制御室水位																																																																																																																																															
	プールの静置水位 (広領域)																																																																																																																																															
	蒸気圧縮タンク水位																																																																																																																																															
	原子炉格納容器下部水位																																																																																																																																															
	下ろしバキューム水位																																																																																																																																															
	使用済燃料プール水位/漏洩(ガインバノス式)				停止中又は運転中	本尺確認 計器校正 設備抵抗測定																																																																																																																																										
圧力計	原子炉圧力	停止中	特性試験	計器校正																																																																																																																																												
	原子炉圧力 (SA)																																																																																																																																															
	下ろしバキューム圧力																																																																																																																																															
	圧力制御室圧力																																																																																																																																															
	プールの静置圧力 (広領域)																																																																																																																																															
	プールの静置出口圧力 (広領域)																																																																																																																																															
	高圧冷却水ポンプ出口圧力																																																																																																																																															
	高圧冷却水ポンプ出口圧力																																																																																																																																															
	原子炉格納容器出口圧力																																																																																																																																															
	原子炉格納容器出口圧力																																																																																																																																															
	原子炉格納容器出口圧力																																																																																																																																															
	原子炉格納容器出口圧力																																																																																																																																															
	原子炉格納容器出口圧力																																																																																																																																															
	原子炉格納容器出口圧力																																																																																																																																															
	原子炉格納容器出口圧力																																																																																																																																															
	原子炉格納容器出口圧力																																																																																																																																															
	原子炉格納容器出口圧力																																																																																																																																															
流量計	高圧冷却水ポンプ出口流量	停止中	特性試験	計器校正																																																																																																																																												
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	使用済燃料プール出口流量 (格納容器スプレイポンプ出口積算流量)																																																																																																																																															
	温度計				原子炉格納容器出口温度	停止中	特性試験	計器校正																																																																																																																																								
原子炉格納容器出口温度																																																																																																																																																
原子炉格納容器出口温度																																																																																																																																																
原子炉格納容器出口温度																																																																																																																																																
原子炉格納容器出口温度																																																																																																																																																
原子炉格納容器出口温度																																																																																																																																																
原子炉格納容器出口温度																																																																																																																																																
原子炉格納容器出口温度																																																																																																																																																
原子炉格納容器出口温度																																																																																																																																																
原子炉格納容器出口温度																																																																																																																																																
計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容																																																																																																																																												
水位計	加圧器水位	停止中	特性試験	計器校正																																																																																																																																												
	原子炉格納容器水位																																																																																																																																															
	格納容器再循環タンク水位 (広域)																																																																																																																																															
	格納容器再循環タンク水位 (広域)																																																																																																																																															
	格納容器再循環タンク水位 (広域)																																																																																																																																															
	格納容器再循環タンク水位 (広域)																																																																																																																																															
	格納容器再循環タンク水位 (広域)																																																																																																																																															
	格納容器再循環タンク水位 (広域)																																																																																																																																															
	格納容器再循環タンク水位 (広域)																																																																																																																																															
	格納容器再循環タンク水位 (広域)																																																																																																																																															
圧力計	原子炉下部キャビティ水位	停止中又は運転中	特性試験	計器校正																																																																																																																																												
	蒸気発生器水位 (表域)																																																																																																																																															
	蒸気発生器水位 (表域)																																																																																																																																															
	原子炉補機冷却水サーージタンク水位																																																																																																																																															
	燃料貯蔵用ボット水位																																																																																																																																															
	ほう動タンク水位																																																																																																																																															
	補助給水ボット水位																																																																																																																																															
	使用済燃料ボット水位 (AM用)																																																																																																																																															
	使用済燃料ボット水位 (可搬型)																																																																																																																																															
	1次冷却材圧力 (広域)																																																																																																																																															
流量計	格納容器圧力 (AM用)	停止中又は運転中	特性試験	計器校正																																																																																																																																												
	格納容器圧力 (AM用)																																																																																																																																															
	主蒸気ライン圧力																																																																																																																																															
温度計	原子炉補機冷却水サーージタンク圧力 (可搬型)	停止中	特性試験	計器校正																																																																																																																																												
	高圧注入流量																																																																																																																																															
	低圧注入流量																																																																																																																																															
	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量																																																																																																																																															
	代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 (AM用)																																																																																																																																															
	補助給水流量																																																																																																																																															
	A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																																																																																																																															
	A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)																																																																																																																																															
	原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)																																																																																																																																															
	原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)																																																																																																																																															
温度計	1次冷却材温度 (広域-高温側)	停止中又は運転中	特性試験	記録抵抗測定 温度確認 計器校正																																																																																																																																												
	1次冷却材温度 (広域-低温側)																																																																																																																																															
	格納容器内温度																																																																																																																																															
	原子炉格納容器内水素処理装置温度 監視装置																																																																																																																																															
	格納容器水素イグナイタ温度 監視装置																																																																																																																																															
	使用済燃料ボット温度 (AM用)																																																																																																																																															
可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)																																																																																																																																																


灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																																																																																																																																
<p>大阪発電所3 / 4号炉</p>	<p>表3.15.8 計装設備の試験及び検査(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計器分類</th> <th>パラメータ</th> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">温度計</td> <td>原子炉圧力容器直成</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">最終吐出測定 温度確認 計器校正</td> </tr> <tr> <td>上ライオン直成</td> </tr> <tr> <td>圧力容器直成</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションタンク直成</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部直成</td> </tr> <tr> <td>冷却熱源から熱交換器入口直成</td> </tr> <tr> <td>冷却熱源から熱交換器出口直成</td> </tr> <tr> <td>冷却水戻り直成</td> </tr> <tr> <td>格納容器内直成</td> </tr> <tr> <td>格納容器内直成</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">水素及び酸素濃度計</td> <td>格納容器内水素濃度 (0%)</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">基準ガス校正 計器校正</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (1%)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋内水素濃度</td> </tr> <tr> <td>格納容器内空気中水素濃度</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">放射線量率計</td> <td>格納容器内空気放射線モニタ (直成)</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>格納容器内空気放射線モニタ (50cm)</td> </tr> <tr> <td>コア炉室空気放射線モニタ</td> </tr> <tr> <td>燃料建屋空気放射線モニタ</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (直成直)</td> </tr> <tr> <td>停止中又は運転中</td> </tr> <tr> <td>運転中</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">原子炉出力</td> <td>起動領域モニタ</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">アラート特性 アラート特性 計器校正</td> </tr> <tr> <td>平均出力領域モニタ</td> </tr> <tr> <td>運転中</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">電圧計</td> <td>B-01母線電圧</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">機能・性能試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>B-02母線電圧</td> </tr> <tr> <td>B-3母線電圧</td> </tr> <tr> <td>B-20母線電圧</td> </tr> <tr> <td>B-21母線電圧</td> </tr> <tr> <td>B-22母線電圧</td> </tr> <tr> <td>B-23母線電圧</td> </tr> <tr> <td>B-24母線電圧</td> </tr> <tr> <td>B-25母線電圧</td> </tr> <tr> <td>B-26母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V直成主母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V直成主母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V直成主母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V直成主母線電圧</td> </tr> <tr> <td>125V直成主母線電圧</td> </tr> <tr> <td>250V直成主母線電圧</td> </tr> <tr> <td>400V直成主母線電圧</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>停止中又は運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>映像確認 外線確認</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ表示システム (SIPS)</td> <td>停止中又は運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>映像確認 機建 (データの表示及び伝送) 確認</td> </tr> <tr> <td>可燃型計測器</td> <td>停止中又は運転中</td> <td>特性試験</td> <td>計器校正</td> </tr> </tbody> </table>	計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容	温度計	原子炉圧力容器直成	停止中	特性試験	最終吐出測定 温度確認 計器校正	上ライオン直成	圧力容器直成	サブプレッションタンク直成	原子炉格納容器下部直成	冷却熱源から熱交換器入口直成	冷却熱源から熱交換器出口直成	冷却水戻り直成	格納容器内直成	格納容器内直成	水素及び酸素濃度計	格納容器内水素濃度 (0%)	停止中	特性試験	基準ガス校正 計器校正	格納容器内水素濃度 (1%)	フィルタ装置出口水素濃度	原子炉建屋内水素濃度	格納容器内空気中水素濃度	停止中	停止中	停止中	停止中	停止中	放射線量率計	格納容器内空気放射線モニタ (直成)	停止中	特性試験	計器校正	格納容器内空気放射線モニタ (50cm)	コア炉室空気放射線モニタ	燃料建屋空気放射線モニタ	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (直成直)	停止中又は運転中	運転中	停止中	停止中	停止中	原子炉出力	起動領域モニタ	停止中	特性試験	アラート特性 アラート特性 計器校正	平均出力領域モニタ	運転中	停止中	停止中	電圧計	B-01母線電圧	停止中	機能・性能試験	計器校正	B-02母線電圧	B-3母線電圧	B-20母線電圧	B-21母線電圧	B-22母線電圧	B-23母線電圧	B-24母線電圧	B-25母線電圧	B-26母線電圧	125V直成主母線電圧	125V直成主母線電圧	125V直成主母線電圧	125V直成主母線電圧	125V直成主母線電圧	250V直成主母線電圧	400V直成主母線電圧	使用済燃料プール監視カメラ	停止中又は運転中	機能・性能試験	映像確認 外線確認	安全パラメータ表示システム (SIPS)	停止中又は運転中	機能・性能試験	映像確認 機建 (データの表示及び伝送) 確認	可燃型計測器	停止中又は運転中	特性試験	計器校正	<p>表2.15.7 計装設備の試験及び検査(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計器分類</th> <th>パラメータ</th> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水素濃度計</td> <td>可燃型格納容器水素濃度計機ユニット</td> <td>運転中</td> <td rowspan="2">特性試験</td> <td rowspan="2">基準ガス校正 計器校正</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可燃型アンモニア水素濃度計機ユニット</td> <td>運転中</td> <td rowspan="2">停止中</td> <td rowspan="2">特性試験</td> <td rowspan="2">基準ガス校正 計器校正</td> </tr> <tr> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">放射線量率計</td> <td>格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)</td> <td rowspan="2">停止中</td> <td rowspan="2">特性試験</td> <td rowspan="2">計器校正</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉出力</td> <td>使用済燃料ピット可燃型エアモニタ</td> <td>停止中又は運転中</td> <td rowspan="3">特性試験</td> <td rowspan="3">計器校正</td> </tr> <tr> <td>四方領域中性子束</td> <td>停止中又は運転中</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電圧計</td> <td>中性子検出域中性子束</td> <td>停止中</td> <td rowspan="2">特性試験</td> <td rowspan="2">アラート特性</td> </tr> <tr> <td>A, B 母線電圧</td> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>A, B 直成コントロールセンタ母線電圧</td> <td>停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>映像確認 外線確認</td> </tr> <tr> <td>停止中又は運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>映像確認 外線確認</td> </tr> <tr> <td>データ伝送設備 (発電所内)</td> <td>停止中又は運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>映像確認 外線確認</td> </tr> <tr> <td>可燃型計測器</td> <td>停止中又は運転中</td> <td>特性試験</td> <td>計器校正</td> </tr> </tbody> </table>	計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容	水素濃度計	可燃型格納容器水素濃度計機ユニット	運転中	特性試験	基準ガス校正 計器校正	停止中	可燃型アンモニア水素濃度計機ユニット	運転中	停止中	特性試験	基準ガス校正 計器校正	停止中	放射線量率計	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	停止中	特性試験	計器校正	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)	原子炉出力	使用済燃料ピット可燃型エアモニタ	停止中又は運転中	特性試験	計器校正	四方領域中性子束	停止中又は運転中	中間領域中性子束	停止中	電圧計	中性子検出域中性子束	停止中	特性試験	アラート特性	A, B 母線電圧	停止中	使用済燃料ピット監視カメラ	A, B 直成コントロールセンタ母線電圧	停止中	機能・性能試験	映像確認 外線確認	停止中又は運転中	機能・性能試験	映像確認 外線確認	データ伝送設備 (発電所内)	停止中又は運転中	機能・性能試験	映像確認 外線確認	可燃型計測器	停止中又は運転中	特性試験	計器校正	<p>(4) 切替えの容易性 (設置許可基準規則第43条第1項第四号)</p> <p>(i) 要求事項 本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあつては、通常時に使用する系統から速やかに切り替えられる機能を備えるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。</p> <p>なお、フィルタ装置出口水素濃度は、計測に必要な弁操</p>
	計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容																																																																																																																																														
温度計	原子炉圧力容器直成	停止中	特性試験	最終吐出測定 温度確認 計器校正																																																																																																																																															
	上ライオン直成																																																																																																																																																		
	圧力容器直成																																																																																																																																																		
	サブプレッションタンク直成																																																																																																																																																		
	原子炉格納容器下部直成																																																																																																																																																		
	冷却熱源から熱交換器入口直成																																																																																																																																																		
	冷却熱源から熱交換器出口直成																																																																																																																																																		
	冷却水戻り直成																																																																																																																																																		
	格納容器内直成																																																																																																																																																		
	格納容器内直成																																																																																																																																																		
水素及び酸素濃度計	格納容器内水素濃度 (0%)	停止中	特性試験	基準ガス校正 計器校正																																																																																																																																															
	格納容器内水素濃度 (1%)																																																																																																																																																		
	フィルタ装置出口水素濃度																																																																																																																																																		
	原子炉建屋内水素濃度																																																																																																																																																		
	格納容器内空気中水素濃度																																																																																																																																																		
	停止中																																																																																																																																																		
	停止中																																																																																																																																																		
	停止中																																																																																																																																																		
	停止中																																																																																																																																																		
	停止中																																																																																																																																																		
放射線量率計	格納容器内空気放射線モニタ (直成)	停止中	特性試験	計器校正																																																																																																																																															
	格納容器内空気放射線モニタ (50cm)																																																																																																																																																		
	コア炉室空気放射線モニタ																																																																																																																																																		
	燃料建屋空気放射線モニタ																																																																																																																																																		
	使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (直成直)																																																																																																																																																		
	停止中又は運転中																																																																																																																																																		
	運転中																																																																																																																																																		
	停止中																																																																																																																																																		
	停止中																																																																																																																																																		
	停止中																																																																																																																																																		
原子炉出力	起動領域モニタ	停止中	特性試験	アラート特性 アラート特性 計器校正																																																																																																																																															
	平均出力領域モニタ																																																																																																																																																		
	運転中																																																																																																																																																		
	停止中																																																																																																																																																		
	停止中																																																																																																																																																		
	電圧計				B-01母線電圧	停止中	機能・性能試験	計器校正																																																																																																																																											
					B-02母線電圧																																																																																																																																														
					B-3母線電圧																																																																																																																																														
					B-20母線電圧																																																																																																																																														
					B-21母線電圧																																																																																																																																														
B-22母線電圧																																																																																																																																																			
B-23母線電圧																																																																																																																																																			
B-24母線電圧																																																																																																																																																			
B-25母線電圧																																																																																																																																																			
B-26母線電圧																																																																																																																																																			
125V直成主母線電圧																																																																																																																																																			
125V直成主母線電圧																																																																																																																																																			
125V直成主母線電圧																																																																																																																																																			
125V直成主母線電圧																																																																																																																																																			
125V直成主母線電圧																																																																																																																																																			
250V直成主母線電圧																																																																																																																																																			
400V直成主母線電圧																																																																																																																																																			
使用済燃料プール監視カメラ	停止中又は運転中	機能・性能試験	映像確認 外線確認																																																																																																																																																
安全パラメータ表示システム (SIPS)	停止中又は運転中	機能・性能試験	映像確認 機建 (データの表示及び伝送) 確認																																																																																																																																																
可燃型計測器	停止中又は運転中	特性試験	計器校正																																																																																																																																																
計器分類	パラメータ	発電用原子炉の状態	項目	内容																																																																																																																																															
水素濃度計	可燃型格納容器水素濃度計機ユニット	運転中	特性試験	基準ガス校正 計器校正																																																																																																																																															
	停止中																																																																																																																																																		
可燃型アンモニア水素濃度計機ユニット	運転中	停止中	特性試験	基準ガス校正 計器校正																																																																																																																																															
	停止中																																																																																																																																																		
放射線量率計	格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ)	停止中	特性試験	計器校正																																																																																																																																															
	格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ)																																																																																																																																																		
原子炉出力	使用済燃料ピット可燃型エアモニタ	停止中又は運転中	特性試験	計器校正																																																																																																																																															
	四方領域中性子束	停止中又は運転中																																																																																																																																																	
	中間領域中性子束	停止中																																																																																																																																																	
電圧計	中性子検出域中性子束	停止中	特性試験	アラート特性																																																																																																																																															
	A, B 母線電圧	停止中																																																																																																																																																	
使用済燃料ピット監視カメラ	A, B 直成コントロールセンタ母線電圧	停止中	機能・性能試験	映像確認 外線確認																																																																																																																																															
	停止中又は運転中	機能・性能試験	映像確認 外線確認																																																																																																																																																
データ伝送設備 (発電所内)	停止中又は運転中	機能・性能試験	映像確認 外線確認																																																																																																																																																
可燃型計測器	停止中又は運転中	特性試験	計器校正																																																																																																																																																
		<p>(4) 切替えの容易性 (設置許可基準規則第43条第1項第四号)</p> <p>(i) 要求事項 本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあつては、通常時に使用する系統から速やかに切り替えられる機能を備えるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。</p>																																																																																																																																																	



灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>作については、速やかに実施可能な設計とする。</p> <p>図 3.15-1 にフィルタ装置出口水素濃度計測のタイムチャートを示す。</p>  <p>図3.15-1 フィルタ装置出口水素濃度計測のタイムチャート*</p> <p>*:「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての1.7で示すタイムチャート。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS)は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、本来の用途以外には使用しない設計とする。可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、接続規格を統一することにより、速やかに接続操作可能な設計とする。</p> <p>図 3.15-2 に中央制御室での可搬型計測器接続による監視パラメータ計測のタイムチャートを示す。</p>	<p>データ伝送設備 (発電所内) は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、本来の用途以外には使用しない設計とする。可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、接続規格を統一することにより、速やかに接続操作可能な設計とする。</p> <p>図 2.15.1 に中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室での可搬型計測器接続による監視パラメータ計測のタイムチャートを示す。</p>	<p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> <p>■接続場所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、原子炉補助建屋の中央制御室、中央制御室近傍 (同一フロア) のA-安全系計装盤室、B-安全系計装盤室及び常用系計装盤室で可搬型計測器を盤に接続し計測することとしている。女川は、すべて中央制御室で接続する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図3.15-2 可搬型計測器接続による監視パラメータ計測のタイムチャート*</p> <p>*：「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての1.15で示すタイムチャート</p> <p>(5) 悪影響の防止 (設置許可基準規則第43条第1項第五号)</p> <p>(i) 要求事項 工場等内の他の設備に対して悪影響を及ぼさないものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち多重性を有するパラメータの計測装置は、チャンネル相互を物理的、電気的に分離し、チャンネル間の独立を図る設計とする。また、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においてもパラメータ相互をヒューズにより電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>【島根2号炉58条まとめ資料本文より転載】</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち、多重性を有するパラメータの計測装置並びに重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においては、パラメータ相互をヒューズ、アイソレータ等により電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) は、通常時から他系統と隔離された系統構成となっており、通常時の系統構成を変えることなく重大事故等対処設備としての系統構成が可能な設計とすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	 <p>図2.15 可搬型計測器接続による監視パラメータ計測のタイムチャート*</p> <p>*：「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての1.15で示すタイムチャート</p> <p>(5) 悪影響の防止 (設置許可基準規則第43条第1項第五号)</p> <p>(i) 要求事項 工場等内の他の設備に対して悪影響を及ぼさないものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち多重性を有するパラメータの計測装置は、チャンネル相互を物理的、電気的に分離し、チャンネル間の独立を図る設計とする。また、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においてもパラメータ相互をヒューズ、アイソレータ等により電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p>	<p>■設備の相違 (相違理由⑥) (東二及び島根と同様)</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>可搬型計測器は、通常時に接続先の系統と分離された状態であること及び重大事故等時は重大事故等対処設備として系統構成をすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>(6) 設置場所（設置許可基準規則第43条第1項第六号）</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合において重大事故等対処設備の操作及び復旧作業を行うことができるよう、放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>計測のための操作に必要な機器の設置場所及び操作場所を表3.15-7に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、重大事故等時において中央制御室にて監視できる設計であり現場における操作は発生しない。</p> <p>格納容器内雰囲気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度は、すべて中央制御室にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>フィルタ装置出口水素濃度は、サンプリングに必要な弁の操作は原子炉建屋付属棟内にて操作を行い、サンプリング装置については中央制御室にて操作を行うため、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちSPDS表示装置は、緊急時対策建屋内に設置されており、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p>	<p>使用済燃料ピット水位（可搬型）、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット、原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）、可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）及び可搬型計測器は、通常時に接続先の系統と分離された状態であること及び重大事故等時は重大事故等対処設備として系統構成をすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>(6) 設置場所（設置許可基準規則第43条第1項第六号）</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合において重大事故等対処設備の操作及び復旧作業を行うことができるよう、放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>計測のための操作に必要な機器の設置場所及び操作場所を表2.15.6に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、重大事故等時において中央制御室又は設置場所にて監視できる設計であり現場における操作は発生しない。</p> <p>データ伝送設備（発電所内）のうちデータ表示端末は、緊急時対策所指揮所内に設置されており、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、サンプリン</p>	<p>■設備の相違（相違理由③）</p> <p>■設備の相違</p> <p>・泊は、設置場所である現場にて監視するパラメータがある（例えば、原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）等）。</p> <p>■設備構成の相違（相違理由④）</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>■建屋名称の相違</p> <p>■設備の相違（相違理由③）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、すべて中央制御室にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>(58-3) (58-9)</p> <p>3.15.2.1.3.2 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針</p> <p>(1) 容量 (設置許可基準規則第43条第2項第一号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量を有するものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、設計基準事故時の計測機能と兼用しており、設計基準事故時に使用する場合の計測範囲が、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できるため、設計基準対象施設と同仕様の設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力 ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料域) ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 	<p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、すべて中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>(58-2) (58-9)</p> <p>2.15.2.1.3.2 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針</p> <p>(1) 容量 (設置許可基準規則第43条第2項第一号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量を有するものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、設計基準事故時の計測機能と兼用しており、設計基準事故時に使用する場合の計測範囲が、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できるため、設計基準対象施設と同仕様の設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・1次冷却材圧力 (広域) ・加圧器水位 ・原子炉容器水位 ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 	<p>グに必要な弁の操作は周辺補機棟内で操作を行い、サンプリング装置については中央制御室にて操作を行うため、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットは、サンプリングに必要な弁の操作は周辺補機棟内にて操作を行い、サンプリング装置については中央制御室にて操作を行うため、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は、周辺補機棟内にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) は、周辺補機棟内にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、すべて中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>(58-2) (58-9)</p>	<p>■接続場所の相違</p> <p>・泊は、原子炉補助建屋の中央制御室、中央制御室近傍の近傍 (同一フロア) のA-安全系計装盤室、B-安全系計装盤室及び常用系計装盤室で可搬型計測器を盤に接続し計測することとしている。女川は、すべて中央制御室で接続する。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内雰囲気水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/W) ・格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 ・高圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力 ・残留熱除去系ポンプ出口圧力 ・低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力 ・格納容器内雰囲気酸素濃度 ・使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルス式) <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定可能な設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力 (SA) ・原子炉水位 (SA 広帯域) ・原子炉水位 (SA 燃料域) ・高圧代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン洗浄流量) ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 ・代替循環冷却ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレィ流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 ・ドライウェル温度 ・圧力抑制室内空気温度 ・サブプレッションプール水温度 ・原子炉格納容器下部温度 ・ドライウェル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・原子炉格納容器下部水位 ・ドライウェル水位 ・格納容器内水素濃度 (D/W) ・格納容器内水素濃度 (S/C) 	<ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内温度 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器再循環サンプ水位 (狭域) ・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) ・出力領域中性子束 ・中間領域中性子束 ・中性子源領域中性子束 ・蒸気発生器水位 (狭域) ・蒸気発生器水位 (広域) ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・補助給水ビット水位 ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定可能な設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量 ・B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用) ・格納容器圧力 (AM用) ・格納容器水位 ・原子炉下部キャビティ水位 ・原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・格納容器水素イグナイト温度 ・使用済燃料ビット水位 (AM用) ・使用済燃料ビット温度 (AM用) ・使用済燃料ビット監視カメラ 	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<ul style="list-style-type: none"> ・フィルタ装置水位 (広帯域) ・フィルタ装置入口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置出口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置水温度 ・フィルタ装置出口放射線モニタ ・フィルタ装置出口水素濃度 ・耐圧強化ベント系放射線モニタ ・復水貯蔵タンク水位 ・高圧代替注水系ポンプ出口圧力 ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 ・代替循環冷却ポンプ出口圧力 ・復水移送ポンプ出口圧力 ・原子炉建屋内水素濃度 ・静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 ・使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ・使用済燃料プール上部空開放射線モニタ (高線量, 低線量) ・使用済燃料プール監視カメラ <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断ができ、系統の目的に応じて必要となる計測範囲を有する設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) は、設計基準対象施設として必要となるデータ量の伝送及び表示が可能な設計とする。</p> <p>また、重大事故等時、発電所内の必要のある場所に必要データ量を伝送及び表示が可能な設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) のうち SPDS 表示装置は、緊急時対策建屋内に1式を設置し、保守点検又は故障時のバックアップ用として、自主的に1式を保管する設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(58-6)</p> <p>(2) 共用の禁止 (設置許可基準規則第43条第2項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>二以上の発電用原子炉施設において共用するものでないこと。ただし、二以上の発電用原子炉施設と共用することによって当該二以上の発電用原子炉施設の安全性が向上する場合であって、同一の工場等内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、この限りでない。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p>	<p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断ができ、系統の目的に応じて必要となる計測範囲を有する設計とする。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) は、設計基準対象施設として必要となるデータ量の伝送及び表示が可能な設計とする。</p> <p>また、重大事故等時、発電所内の必要のある場所に必要データ量を伝送及び表示が可能な設計とする。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) のうちデータ表示端末は、緊急時対策指揮所内に1式を設置し、保守点検又は故障時のバックアップ用として、自主的に1式を保管する設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(58-5)</p> <p>(2) 共用の禁止 (設置許可基準規則第43条第2項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>二以上の発電用原子炉施設において共用するものでないこと。ただし、二以上の発電用原子炉施設と共用することによって当該二以上の発電用原子炉施設の安全性が向上する場合であって、同一の工場等内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、この限りでない。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p>	<p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備名称及び建屋名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第2項第三号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要代替監視パラメータを計測する設備は、重要監視パラメータと異なる物理量 (水位、注水量等) の計測又は測定原理とすることで、重要監視パラメータを計測する設備に対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。</p> <p>重要代替監視パラメータは重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、代替する機能を有する設計基準事故対処設備と可能な限り多様性及び独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。なお、補助パラメータのうち、想定される重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する重大事故等対処設備は、「2.3 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) は、共通要因によって、その機能が損なわれることを防止するために、可能な限り多様性を確保し、頑健性を持たせた設計とする (詳細については、「3.19 通信連絡を行うために必要な設備」で示す)。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備の電源は、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、非常用交流電源設備に対して多様性を有する常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p>	<p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第2項第三号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要代替監視パラメータを計測する設備は、重要監視パラメータと異なる物理量 (水位、注水量等) の計測又は測定原理とすることで、重要監視パラメータを計測する設備に対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。</p> <p>重要代替監視パラメータは重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、代替する機能を有する設計基準事故対処設備と可能な限り多様性及び独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。なお、補助パラメータのうち、想定される重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する重大事故等対処設備は、「1.3 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) は、共通要因によって、その機能が損なわれることを防止するために、可能な限り多様性を確保し、頑健性を持たせた設計とする (詳細については、「2.19 通信連絡を行うために必要な設備」で示す)。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備の電源は、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、非常用交流電源設備に対して多様性を有する常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p>	<p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第2項第三号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要代替監視パラメータを計測する設備は、重要監視パラメータと異なる物理量 (水位、注水量等) の計測又は測定原理とすることで、重要監視パラメータを計測する設備に対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。</p> <p>重要代替監視パラメータは重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、代替する機能を有する設計基準事故対処設備と可能な限り多様性及び独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。なお、補助パラメータのうち、想定される重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する重大事故等対処設備は、「1.3 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) は、共通要因によって、その機能が損なわれることを防止するために、可能な限り多様性を確保し、頑健性を持たせた設計とする (詳細については、「2.19 通信連絡を行うために必要な設備」で示す)。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備の電源は、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、非常用交流電源設備に対して多様性を有する常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p>	<p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>電源設備の多様性、位置的分散については「3.14 電源設備」に記載する。 (58-2) (58-3)</p> <p>3.15.2.1.3.3 設置許可基準規則第43条第3項への適合方針 (1) 容量（設置許可基準規則第43条第3項第一号） (i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量に加え、十分に余裕のある容量を有するものであること。 (ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）の計測用として1セット26個（測定時の故障を想定した予備として1個含む）を使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として26個を含めて合計52個を分散して保管する設計とする。</p>	<p>電源設備の多様性、位置的分散については、「2.14 電源設備」に記載する。 (58-2) (58-6)</p> <p>2.15.2.1.3.3 設置許可基準規則第43条第3項への適合方針 (1) 容量（設置許可基準規則第43条第3項第一号） (i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量に加え、十分に余裕のある容量を有するものであること。 (ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> <p>可搬型の重大事故等対処設備は、設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲及び、十分に余裕のある個数を有する設計とする。 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。 可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。 原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）は1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。 使用済燃料ピット水位（可搬型）は1セット2個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計3個を分散して保管する設計とする。 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）の計測用として1セット38個（測定時の故障を想定した予備として1個含む）を使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として38個を含めて合計76個を分散して保管する設計とする。</p>	<p>■設備の相違（相違理由③）</p> <p>■設備構成の相違 ・可搬型計測器で計測するパラメータ数の相違により保有数が異なる（表 2.15.9 に対象を記載）。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>(58-3) (58-9)</p> <p>(2) 確実な接続 (設置許可基準規則第43条第3項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>常設設備 (発電用原子炉施設と接続されている設備又は短時間に発電用原子炉施設と接続することができる常設の設備をいう。以下同じ。) と接続するものにあつては、当該常設設備と容易かつ確実に接続することができ、かつ、二以上の系統又は発電用原子炉施設が相互に使用することができるよう、接続部の規格の統一その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p>	<p>(58-2) (58-9)</p> <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) は1セット3個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計4個を分散して保管する設計とする。</p> <p>(2) 確実な接続 (設置許可基準規則第43条第3項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>常設設備 (発電用原子炉施設と接続されている設備又は短時間に発電用原子炉施設と接続することができる常設の設備をいう。以下同じ。) と接続するものにあつては、当該常設設備と容易かつ確実に接続することができ、かつ、二以上の系統又は発電用原子炉施設が相互に使用することができるよう、接続部の規格の統一その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アナユラス水素濃度計測ユニットに使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所で確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) の接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所で確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位 (可搬型) の吊込装置等の取り付けは、取付金具を用いて確実に取付可能な設計とする。使用済燃料ピット水位 (可搬型) の変換器及びワイヤーの接続は、確実に接続操作可能な設計とする。使用済燃料ピット水位 (可搬型) のケーブル接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、ケーブルを確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、使用済燃料ピット監視カメラに確実に接続できるとともに、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、複数の場所の線量率と使用済燃料ピット区域の空間線量率の相関 (減衰率) をあらかじめ評価している場所のうち設置場所としている箇所、車輪止めによる固定等が可能な設計とする。使用済燃料ピット可搬型エリアモニタのケーブル接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、ケーブルを確実に接続操作可能な設計とする。</p>	<p>■設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、ボルト・ネジ接続とし、接続規格を統一することにより、一般的に使用される工具を用いて容易かつ確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>(3) 複数の接続口（設置許可基準規則第43条第3項第三号）</p> <p>(i) 要求事項 常設設備と接続するものにあつては、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、可搬型重大事故等対処設備（原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。）の接続口をそれぞれ互いに異なる複数の場所に設けるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉建屋の外から水又は電力を供給する設備ではなく、中央制御室から接続可能な設計とする。</p> <p>(58-9)</p> <p>(4) 設置場所（設置許可基準規則第43条第3項第四号）</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において可搬型重大事故等対処設備を設置場所に据え付け、及び常設設備と接続することができるよう、放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p>	<p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、プラグ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所で容易かつ確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>(3) 複数の接続口（設置許可基準規則第43条第3項第三号）</p> <p>(i) 要求事項 常設設備と接続するものにあつては、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、可搬型重大事故等対処設備（原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。）の接続口をそれぞれ互いに異なる複数の場所に設けるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット、可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット、原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）、使用済燃料ピット水位（可搬型）、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置、使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）及び可搬型計測器は、原子炉建屋の外から水又は電力を供給する設備ではなく、設置場所で接続可能な設計とする。</p> <p>(58-2) (58-9)</p> <p>(4) 設置場所（設置許可基準規則第43条第3項第四号）</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において可搬型重大事故等対処設備を設置場所に据え付け、及び常設設備と接続することができるよう、放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの操作は、周辺補機棟内で行うことから、周辺補機棟内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそ</p>	<p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の検出器と温度計本体の計装ケーブルの接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所で確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、プラグ接続とし、接続規格を統一することにより、設置場所で容易かつ確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>■運用の相違（相違理由㉔）</p> <p>■設備の相違（相違理由㉕）</p> <p>■設備の相違（相違理由㉖）</p>	

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、放射線量が高くなるおそれの少ない中央制御室で操作可能な設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(58-3) (58-9)</p> <p>(5) 保管場所（設置許可基準規則第43条第3項第五号） (i) 要求事項 地震、津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮</p>	<p>れの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットの操作は、周辺補機棟内で行うことから、周辺補機棟内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)の操作は、周辺補機棟内で行うことから、周辺補機棟内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位(可搬型)の操作は、燃料取扱棟内で行うことから、燃料取扱棟内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置の操作は、原子炉補助建屋内で行うことから、原子炉補助建屋内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの操作は、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内又は屋外で行うことから、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内又は屋外で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度)の操作は、周辺補機棟内で行うことから、周辺補機棟内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、放射線量が高くなるおそれの少ない中央制御室、安全系計装盤室及び非常用系計装盤室で操作可能な設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(58-2) (58-9)</p> <p>(5) 保管場所（設置許可基準規則第43条第3項第五号） (i) 要求事項 地震、津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮</p>	<p>■接続場所の相違</p> <p>・泊は、原子炉補助建屋の中央制御室、中央制御室近傍（同一フロア）のA-安全系計装盤室、B-安全系計装盤室及び非常用系計装盤室で可搬型計測器を盤に接続し計測することとしている。女川は、すべて中央制御室で接続する。</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管すること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型計測器は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所である制御建屋内及び緊急時対策建屋内に保管することで位置的分散を図る設計とする。 (58-3) (58-9)</p> <p>(6) アクセスルートの確保 (設置許可基準規則第43条第3項第六号) (i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において、可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p>	<p>した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管すること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット、可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置、使用済燃料ピット可搬型エアモニタ及び可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) は、各設備の重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所に保管することで位置的分散を図る設計とする。(58-13)</p> <p>可搬型計測器は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所である原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管することで位置的分散を図る設計とする。 (58-2) (58-9)</p> <p>(6) アクセスルートの確保 (設置許可基準規則第43条第3項第六号) (i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において、可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、周辺補機棟内に保管しており、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの計装ケーブル及び配管の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットは、周辺補機棟内に保管しており、可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットの計装ケーブル及び配管の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は、周辺</p>	<p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■建屋名称の相違</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>可搬型計測器は、制御建屋内及び緊急時対策建屋内に保管しており、可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である中央制御室であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p style="text-align: right;">(58-3) (58-9)</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第3項第七号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>重大事故防止設備のうち可搬型のものは、共通要因によって、設計基準事故対処設備の安全機能、使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故防止設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために</p>	<p>可搬型計測器は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管しており、可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p style="text-align: right;">(58-2) (58-7) (58-9)</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第3項第七号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>重大事故防止設備のうち可搬型のものは、共通要因によって、設計基準事故対処設備の安全機能、使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故防止設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために</p>	<p>補機棟内に保管しており、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>使用済燃料ピット水位 (可搬型) は、燃料取扱棟内及び周辺補機棟内に保管しており、使用済燃料ピット水位 (可搬型) の設置は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である燃料取扱棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管しており、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置の設置は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である原子炉補助建屋内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管しており、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの設置は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内、原子炉補助建屋内、又は屋外であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) は、原子炉補助建屋内と緊急時対策所待機所内に保管しており、可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p>	<p>■ 建屋名称の相違</p> <p>■ 接続場所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、原子炉補助建屋の中央制御室、中央制御室近傍 (同一フロア) のA-安全系計装盤室、B-安全系計装盤室及び常用系計装盤室で可搬型計測器を盤に接続し計測することとしている。女川は、すべて中央制御室で接続する。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	<p>必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型計測器は、設計基準事故対処設備の配置を考慮し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所である制御建屋内及び緊急時対策建屋内に保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>(58-3) (58-9)</p>	<p>必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)は、設計基準事故対処設備の配置を考慮し、原子炉補機冷却水サージタンク圧力(AM用)とは異なる場所である周辺補機棟内及び緊急時対策所待機所内に保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位(可搬型)は、設計基準事故対処設備の配置を考慮し、使用済燃料ピット水位とは異なる場所である燃料取扱棟内及び周辺補機棟内に保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、設計基準事故対処設備の配置を考慮し、使用済燃料ピットエリアモニタとは異なる場所である周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、設計基準事故対処設備の配置を考慮し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所である原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>(58-2) (58-9)</p>	<p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■建屋名称の相違</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（添付資料）

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由						
<p>【比較のため女川の技術的能力1.0第1表より転載】</p> <p>第1表 重大事故等対策における手順書の概要（15/19）</p> <p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <table border="1" data-bbox="73 231 654 997"> <tr> <td data-bbox="73 231 123 997">方針目的</td> <td data-bbox="123 231 654 997"> <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 </td> </tr> </table>	方針目的	<p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 	<p>表3.15-9 重大事故等対策における手順の概要（1/4）</p> <p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <table border="1" data-bbox="654 231 1240 997"> <tr> <td data-bbox="654 231 694 997">方針目的</td> <td data-bbox="694 231 1240 997"> <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 </td> </tr> </table>	方針目的	<p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 	<p>表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要（1/4）</p> <p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <table border="1" data-bbox="1240 231 1827 997"> <tr> <td data-bbox="1240 231 1281 997">方針目的</td> <td data-bbox="1281 231 1827 997"> <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 </td> </tr> </table>	方針目的	<p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 	<p>■記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の表 3.15-9 と同内容を示す技術的能力1.0第1表において、一部、記載表現の相違等があるが、技術的能力1.0第1表は設置許可本文に記載されることから、泊は技術的能力1.0第1表に合わせた。以降、同表において同じ。
方針目的	<p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 								
方針目的	<p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 								
方針目的	<p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 								

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（添付資料）

大阪発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>表1.15.7 重大事故等対策における手順の概要(2/4)</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合において、他チャンネルの重要計器により計測できる場合は、当該計器を用いて計測を行う。</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータにより主要パラメータを推定する。 推定に当たり、使用する計器が複数ある場合は、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件、計測される値の不確かさを考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。 代替パラメータによる主要パラメータの推定は、以下の方法で行う。 ・同一物理量（温度、圧力、水位、放射線量率、水素濃度及び中性子束）により推定。 ・水位を注水源若しくは注水先の水位変化、注水量又は出口圧力により推定。 ・流量を注水源又は注水先の水位変化を監視することにより推定。 ・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定。 ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定。 ・注水量を注水先の圧力及び温度の傾向監視により推定。 ・未臨界状態の維持を制御棒の挿入状態により推定。 ・酸素濃度をあらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定。 ・水素濃度を装置の作動状況により推定。 ・エリア放射線モニタの傾向監視により、格納容器バイパス事象が発生したことを推定。 ・原子炉格納容器への空気（酸素）の流入の有無を原子炉格納容器の圧力により推定。 ・使用済燃料プールの状態を同一物理量（水位及び温度）、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラによる監視により、使用済燃料プールの水位又は必要な水遮蔽が確保されていることを推定。 ・原子炉圧力容器内の圧力と原子炉格納容器内の圧力（圧力抑圧室圧力）の差圧により原子炉圧力容器の満水状態を推定。</p>		<p>表3.15-9 重大事故等対策における手順の概要(2/4)</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合において、他チャンネルの重要計器により計測できる場合は、当該計器を用いて計測を行う。</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータにより主要パラメータを推定する。 推定に当たり、使用する計器が複数ある場合は、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件及び計測される値の不確かさを考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。 代替パラメータによる主要パラメータの推定は、以下の方法で行う。 ・同一物理量（温度、圧力、水位、放射線量率、水素濃度及び中性子束）により推定。 ・水位を注水源若しくは注水先の水位変化、注水量又は出口圧力により推定。 ・流量を注水源又は注水先の水位変化を監視することにより推定。 ・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定。 ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定。 ・注水量を注水先の圧力及び温度の傾向監視により推定。 ・未臨界状態の維持を制御棒の挿入状態により推定。 ・酸素濃度をあらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定。 ・水素濃度を装置の作動状況により推定。 ・エリア放射線モニタの傾向監視により、格納容器バイパス事象が発生したことを推定。 ・原子炉格納容器への空気（酸素）の流入の有無を原子炉格納容器の圧力により推定。 ・使用済燃料プールの状態を同一物理量（水位及び温度）、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラによる監視により、使用済燃料プールの水位又は必要な水遮蔽が確保されていることを推定。 ・原子炉圧力容器内の圧力と原子炉格納容器内の圧力（圧力抑圧室圧力）の差圧により原子炉圧力容器の満水状態を推定。</p>		<p>表2.15.8 重大事故等対策における手順の概要(2/4)</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合において、他チャンネル又は他ループの重要計器により計測できる場合は、他チャンネルの重要計器を用いた計測を優先し、次に他ループの重要計器を用いて計測を行う。</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータにより主要パラメータを推定する。 推定に当たり、使用する計器が複数ある場合は、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件、計測される値の不確かさを考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。 代替パラメータによる主要パラメータの推定は、以下の方法で行う。 ・同一物理量（温度、圧力、水位、流量、放射線量率、水素濃度及び中性子束）により推定。 ・水位を注水源若しくは注水先の水位変化、注水量又は出口圧力により推定。 ・流量を注水源又は注水先の水位変化を監視することにより推定。 ・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定。 ・1次冷却系からの漏えいを水位、圧力等の傾向監視により推定。 ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定。 ・未臨界状態の維持を原子炉へのほう酸水注入量により推定。 ・あらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定。 ・水素濃度を装置の作動状況により推定。 ・使用済燃料ピットの状態を同一物理量（水位及び温度）、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラによる監視により、使用済燃料ピットの水位又は必要な水遮蔽が確保されていることを推定。</p>		<p>■設備構成の相違（相違理由②）</p> <p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、流量については異なる物理量での推定手段を整備している。泊は設備構成の相違により主蒸気流量の推定に他チャンネルの主蒸気流量を用いる。 <p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替パラメータによる推定のうちBWR固有の方法（例えば、「酸素濃度をあらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定。」等）は比較対象外とする。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>監視機能喪失時</p> <p>対応手段等</p>		<p>計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>監視機能喪失時</p> <p>対応手段等</p>		<p>計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合</p> <p>監視機能喪失時</p> <p>対応手段等</p>		<p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 計測範囲を超えた場合における代替パラメータによる推定は、PWRとBWRで異なることから比較対象外とする。
<p>代替パラメータによる推定</p> <p>可搬型計測器による計測</p>		<p>代替パラメータによる推定</p> <p>可搬型計測器による計測</p>		<p>代替パラメータによる推定</p> <p>可搬型計測器による計測</p>		
<p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは原子炉圧力容器内の温度と水位である。</p> <p>これらのパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定するための手順を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度のパラメータである原子炉圧力容器温度が計測範囲を超える（500℃以上）場合は、可搬型計測器により原子炉圧力容器温度を計測する。 原子炉圧力容器内の水位を監視するパラメータである原子炉水位が計測範囲を超えた場合は、高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量）、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量、代替格納冷却ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量のうち、機器動作状態にある流量計から前換熱除去に必要な水量の差を算出し、直前まで判明していた水位に変換率を考慮することにより原子炉圧力容器内の水位を推定する。 <p>なお、原子炉圧力容器内が満水状態であることは、原子炉圧力(Sa)と圧力抑制室圧力の差圧により、また原子炉圧力容器内の水位が有効燃料棒頂部以上であることは、原子炉圧力容器温度により推定可能である。</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合には、可搬型計測器により計測することも可能である。</p>		<p>表3.15-9 重大事故等対策における手順の概要 (3/4)</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは原子炉圧力容器内の温度及び水位である。</p> <p>これらのパラメータの値が計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定するための手順を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度のパラメータである原子炉圧力容器温度が計測範囲を超える（500℃以上）場合は、可搬型計測器により原子炉圧力容器温度を計測する。 原子炉圧力容器内の水位を監視するパラメータである原子炉水位が計測範囲を超えた場合は、高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量）、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量、代替格納冷却ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量、高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量のうち、機器動作状態にある流量計より前換熱除去に必要な水量の差を算出し、直前まで判明していた水位に変換率を考慮することにより原子炉圧力容器内の水位を推定する。 <p>また、原子炉圧力容器内が満水状態であることは、原子炉圧力(Sa)と圧力抑制室圧力の差圧により、また原子炉圧力容器内の水位が有効燃料棒頂部(TM)以上であることは、原子炉圧力容器温度により監視可能である。</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合には、可搬型計測器により計測することも可能である。</p>		<p>表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要 (3/4)</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉圧力容器内の温度及び水位である。</p> <p>これらのパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定するための手順を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度のパラメータである1次冷却材温度（広域一高温側）又は1次冷却材温度（広域一低温側）が計測範囲（0～400℃）を超えた場合、可搬型計測器を接続し、検出器の抵抗を計測し、換算表を用いて温度へ変換する。自主対策設備である炉心出口温度が健全である場合は、炉心出口温度による計測を優先する。 原子炉圧力容器内の水位のパラメータである加圧器水位は、原子炉容器より上に位置し、水位が低下して計測範囲を超えた場合は、原子炉容器水位で計測する。 <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合には、可搬型計測器により計測することも可能である。</p>		

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大阪発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
<p>表3.15-9 重大事故等対策における手順の概要 (4/4)</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合は、以下の手順により計器へ給電し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内常設蓄電池式直流電源設備から給電する。 ・常設代替交流電源設備から給電する。 ・可搬型代替交流電源設備等から給電する。 ・直流電源が枯渇するおそれがある場合は、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備等から給電する。 <p>代替電源（交流、直流）からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち、手順着手の判断基準及び操作に必要なパラメータを可搬型計測器により計測又は監視する。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、安全パラメータ表示システム(SIPS)により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む）の値及び可搬型計測器で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p>		<p>表3.15-9 重大事故等対策における手順の概要 (4/4)</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合は、以下の手順により計器へ給電し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内常設蓄電池式直流電源設備から給電する。 ・常設代替交流電源設備等から給電する。 ・可搬型代替交流電源設備等から給電する。 ・代替所内電気設備により給電する。 ・所内常設蓄電池式直流電源設備が枯渇するおそれがある場合は、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備等から給電する。 <p>代替電源（交流、直流）からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、可搬型計測器を接続し計測又は監視を行う。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、安全パラメータ表示システム(SIPS)により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む）の値及び可搬型計測器で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p>		<p>表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要 (4/4)</p> <p>全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等が発生した場合は、以下の手段により計器へ給電し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内常設蓄電池式直流電源設備から給電する。 ・常設代替交流電源設備から給電する。 ・可搬型代替交流電源設備等から給電する。 ・直流電源が枯渇するおそれがある場合は、可搬型代替直流電源設備から給電する。 <p>代替電源（交流、直流）からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち、手順着手の判断基準及び操作に必要なパラメータを可搬型計測器により計測又は監視する。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、データ伝送設備（発電所内）及び可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む）の値、可搬型計測器で計測されるパラメータの値及び現場操作時のみ監視する現場の指示値は、記録用紙に記録する。</p>		<p>■記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の等には 125V 代替充電器用電源車接続設備が含まれる。 <p>■設備構成の相違（相違理由④及び⑤）</p> <p>■設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は現場指示計で指示値を確認し記録用紙に記録する手段を整備している。
<p>計器電源の喪失時</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、安全パラメータ表示システム(SIPS)により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む）の値及び可搬型計測器で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測範囲、個数、耐震性及び非常用電源からの給電の有無を示し、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握する能力を明確化する。</p> <p>圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の間隔から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状態及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p> <p>可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p>		<p>計器電源の喪失時</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、安全パラメータ表示システム(SIPS)により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む）の値及び可搬型計測器で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p> <p>重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器の計測範囲、個数、耐震性及び非常用電源からの給電の有無を示し、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握する能力を明確化する。</p> <p>圧力のパラメータと温度のパラメータを水の飽和状態の間隔から推定する場合は、水が飽和状態でないと不確かさが生じるため、計器が故障するまでの発電用原子炉施設の状態及び事象進展状況を踏まえ、複数の関連パラメータを確認し、有効な情報を得た上で推定する。</p> <p>推定にあたっては、代替パラメータの誤差による影響を考慮する。</p> <p>可搬型計測器による計測対象の選定を行う際、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視する。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視する。</p>		<p>計器電源の喪失時</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、データ伝送設備（発電所内）及び可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ（使用した計測結果を含む）の値、可搬型計測器で計測されるパラメータの値及び現場操作時のみ監視する現場の指示値は、記録用紙に記録する。</p>		
<p>対応手段等</p> <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p>		<p>対応手段等</p> <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p>		<p>対応手段等</p> <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p>		

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表 3.15-10 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (1/10)

分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	監視能力 (計測範囲の考上方)	監視性 監視性	電源
① 原子力発電所内の 原子炉圧力	原子炉圧力監視装置	3	0~500℃	最大値: 約297℃*	重大事故等時における炉内温度を監視し、適切に対応するための計測範囲 (500℃) を持つ。計測精度: ±0.5℃	1	区分1: 直流電源 区分2: 交流電源
	原子炉圧力 (SA) *						
	原子炉水位 (広帯域) **						
	原子炉水位 (標準域) **						
	原子炉水位 (SA広帯域) **						
② 原子力発電所内の 原子炉圧力	原子炉圧力監視装置	2	0~100% (0~100%)	最大値: 約8.11MPa (0.10MPa)	重大事故等時における原子炉圧力監視装置 (0.20MPa (0.10MPa)) を含む。計測精度: ±0.01MPa	1	区分1: 直流電源 区分2: 交流電源
	原子炉圧力 (SA) *						
	原子炉水位 (広帯域) **						
	原子炉水位 (標準域) **						
	原子炉水位 (SA広帯域) **						

表 2.15.9 重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器 (重大事故等対処設備) (1/7)

分類	重要監視パラメータ (注1) 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	監視能力 (計測範囲の考上方)	監視性 監視性	電源
① 原子炉圧力 監視装置	1次冷却材温度 (広域-高温側) *	3	0~100℃	最大値: 約340℃	1次冷却材温度を監視し、適切に対応するための計測範囲 (350℃) を持つ。計測精度: ±0.5℃	3	区分1: 直流電源 区分2: 交流電源
	1次冷却材温度 (広域-低温側) *	3	0~100℃	最大値: 約330℃	1次冷却材温度を監視し、適切に対応するための計測範囲 (350℃) を持つ。計測精度: ±0.5℃	3	区分1: 直流電源 区分2: 交流電源
	1次冷却材圧力 (広域) *	2	0~21.00MPa	最大値: 約17.00MPa	1次冷却材圧力を監視し、適切に対応するための計測範囲 (21.00MPa) を持つ。計測精度: ±0.01MPa	1	区分1: 直流電源 区分2: 交流電源
② 原子炉圧力 監視装置	1次冷却材温度 (広域-高温側) *	2	0~100%	最大値: 約100%	1次冷却材温度を監視し、適切に対応するための計測範囲 (100%) を持つ。計測精度: ±0.5%	1	区分1: 直流電源 区分2: 交流電源
	1次冷却材温度 (広域-低温側) *	2	0~100%	最大値: 約100%	1次冷却材温度を監視し、適切に対応するための計測範囲 (100%) を持つ。計測精度: ±0.5%	1	区分1: 直流電源 区分2: 交流電源
	1次冷却材圧力 (広域) *	1	0~100%	最大値: 約100%	1次冷却材圧力を監視し、適切に対応するための計測範囲 (100%) を持つ。計測精度: ±0.5%	1	区分1: 直流電源 区分2: 交流電源

■炉型の相違
 ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。以降、同表において同じ。

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表3.15-10 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (2/10)

分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	種数	計測範囲	設計基準	監視能力 (計測範囲の考え方)	計測器 種数	電源
原子炉圧力	原子炉水位 (広域域) ^①	2	-3.40mm ~ 1.50mm ^②	有放射線監視範囲度 ~ -3.40mm ~ 1.50mm ^③ (7.822mm ~ 1.27mm) ^④	配管圧力 (計測範囲の考え方)	3	区分1.直流電源 125V代替直流電源 ^⑤
	原子炉水位 (燃料域) ^①	2	-3.40mm ~ 1.50mm ^②	有放射線監視範囲度 ~ -3.40mm ~ 1.50mm ^③ (7.822mm ~ 1.27mm) ^④		5	区分1.直流電源 125V代替直流電源 ^⑤
	原子炉水位 (SAC区域) ^①	1	-3.40mm ~ 1.50mm ^②	有放射線監視範囲度 ~ -3.40mm ~ 1.50mm ^③ (7.822mm ~ 1.27mm) ^④		1	区分2.直流電源 125V代替直流電源 ^⑤
	原子炉水位 (S燃料域) ^①	1	-3.40mm ~ 1.50mm ^②	有放射線監視範囲度 ~ -3.40mm ~ 1.50mm ^③ (7.822mm ~ 1.27mm) ^④		1	区分3.直流電源 125V代替直流電源 ^⑤
原子炉圧力	高圧注水系統ポンプ出口流量 ^①				中心の在り状態を確認する上で原子炉本体監視範囲 (レベル4.3~レベル6.1) 及び有放射線監視範囲まで監視可能。		
	低圧注水系統ポンプ出口流量 ^①						
	燃料供給ポンプ出口流量 ^①						
	燃料供給ポンプ出口流量 ^①						
	燃料供給ポンプ出口流量 ^①						
	燃料供給ポンプ出口流量 ^①						
	燃料供給ポンプ出口流量 ^①						
	燃料供給ポンプ出口流量 ^①						
	燃料供給ポンプ出口流量 ^①						
	燃料供給ポンプ出口流量 ^①						
燃料供給ポンプ出口流量 ^①							

表2.15.9 重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器 (重大事故等対処設備) (2/7)

分類	重要監視パラメータ (注1) 重要代替監視パラメータ	種数	計測範囲	設計基準	監視能力 (計測範囲の考え方)	計測器 種数	電源
原子炉圧力	高圧注水流量	2	0 ~ 350m ³ /h	280m ³ /h	高圧注水ポンプの流量 (280m ³ /h) を監視可能。重大事故等時においても監視可能。	2	A, B 計装用電源
	低圧注水流量	2	0 ~ 1,100m ³ /h	1,000m ³ /h	余熱除去ポンプの流量 (1,000m ³ /h) を監視可能。重大事故等時においても監視可能。	2	C, D 計装用電源
	B-格納容器スプレッド冷却器出口積算流量 (AM用)	1	0 ~ 1,200m ³ /h (0 ~ 10,000m ³ /h)	— (注3)	重大事故等時において、格納容器スプレッドポンプの流量 (b) を監視可能。	1	S ₁ 機能 維持
	代替格納容器スプレッドポンプ出口積算流量	1	0 ~ 200m ³ /h (0 ~ 10,000m ³ /h)	— (注3)	重大事故等時において、代替格納容器スプレッドポンプによる原子炉圧力容器への注水流量 (140m ³ /h) を監視可能。	1	S ₁ 機能 維持
原子炉圧力	燃料供給ポンプ出口流量 ^①				「貯水罐の確保」を監視するパラメータと同じ。		
	補助給水セット水位 ^②						
	加圧器水位 ^②						
	原子炉冷却器水位 ^②						
	格納容器内液面ポンプ水位 (広域) ^②						
原子炉圧力	1号冷却器圧力 (広域) ^②				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。		
	1号冷却器圧力 (広域-低濃度) ^②						

「貯水罐の確保」を監視するパラメータと同じ。
 「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。
 「③原子炉格納容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。
 「④原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。
 「⑤原子炉圧力容器内の流量」を監視するパラメータと同じ。

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表3.15-10 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対応設備) (5/10)

分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	単位	許容範囲	計測範囲	計測精度	監視装置 (計測範囲のよき方)	監視装置 (計測範囲のよき方)	監視装置 の種類	電源
監視装置 の電源	原子炉冷却炉出口温度	℃	0~100	0~100	±0.5	原子炉冷却炉出口温度計	原子炉冷却炉出口温度計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口圧力	MPa	0~10	0~10	±0.5	原子炉冷却炉出口圧力計	原子炉冷却炉出口圧力計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口流量	m ³ /h	0~1000	0~1000	±1	原子炉冷却炉出口流量計	原子炉冷却炉出口流量計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口圧力	MPa	0~10	0~10	±0.5	原子炉冷却炉出口圧力計	原子炉冷却炉出口圧力計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口流量	m ³ /h	0~1000	0~1000	±1	原子炉冷却炉出口流量計	原子炉冷却炉出口流量計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口圧力	MPa	0~10	0~10	±0.5	原子炉冷却炉出口圧力計	原子炉冷却炉出口圧力計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口流量	m ³ /h	0~1000	0~1000	±1	原子炉冷却炉出口流量計	原子炉冷却炉出口流量計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口圧力	MPa	0~10	0~10	±0.5	原子炉冷却炉出口圧力計	原子炉冷却炉出口圧力計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口流量	m ³ /h	0~1000	0~1000	±1	原子炉冷却炉出口流量計	原子炉冷却炉出口流量計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口圧力	MPa	0~10	0~10	±0.5	原子炉冷却炉出口圧力計	原子炉冷却炉出口圧力計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**

表2.15.9 重要監視パラメータを計測する重要計装及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器 (重大事故等対応設備) (5/7)

分類	重要監視パラメータ (注1) 重要代替監視パラメータ	単位	計測範囲	計測精度	監視装置 (計測範囲のよき方)	監視装置 (計測範囲のよき方)	監視装置 の種類	電源
監視装置 の電源	原子炉冷却炉出口圧力	MPa	0~10	±0.5	原子炉冷却炉出口圧力計	原子炉冷却炉出口圧力計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口流量	m ³ /h	0~1000	±1	原子炉冷却炉出口流量計	原子炉冷却炉出口流量計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口圧力	MPa	0~10	±0.5	原子炉冷却炉出口圧力計	原子炉冷却炉出口圧力計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口流量	m ³ /h	0~1000	±1	原子炉冷却炉出口流量計	原子炉冷却炉出口流量計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口圧力	MPa	0~10	±0.5	原子炉冷却炉出口圧力計	原子炉冷却炉出口圧力計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口流量	m ³ /h	0~1000	±1	原子炉冷却炉出口流量計	原子炉冷却炉出口流量計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口圧力	MPa	0~10	±0.5	原子炉冷却炉出口圧力計	原子炉冷却炉出口圧力計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口流量	m ³ /h	0~1000	±1	原子炉冷却炉出口流量計	原子炉冷却炉出口流量計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口圧力	MPa	0~10	±0.5	原子炉冷却炉出口圧力計	原子炉冷却炉出口圧力計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**
	原子炉冷却炉出口流量	m ³ /h	0~1000	±1	原子炉冷却炉出口流量計	原子炉冷却炉出口流量計	1	図3-1、電源用電源 120V三相交流電源**

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表3.15-10 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (7/10)

分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	単位	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型 計測器 取付	電源
炉内	炉内炉心出口温度 (炉心出口)	℃	40~340℃	-	炉心出口温度計は、炉心出口温度計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉心出口温度計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉内炉心入口温度 (炉心入口)	℃	40~100℃	-	炉心入口温度計は、炉心入口温度計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉心入口温度計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉内炉心出口流量 (炉心出口)	m ³ /h	0~10000	-	炉心出口流量計は、炉心出口流量計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉心出口流量計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉内炉心入口流量 (炉心入口)	m ³ /h	0~10000	-	炉心入口流量計は、炉心入口流量計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉心入口流量計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉内炉心出口圧力 (炉心出口)	MPa	0~20	-	炉心出口圧力計は、炉心出口圧力計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉心出口圧力計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉内炉心入口圧力 (炉心入口)	MPa	0~20	-	炉心入口圧力計は、炉心入口圧力計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉心入口圧力計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉内炉心出口流量 (炉心出口)	m ³ /h	0~10000	-	炉心出口流量計は、炉心出口流量計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉心出口流量計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉内炉心入口流量 (炉心入口)	m ³ /h	0~10000	-	炉心入口流量計は、炉心入口流量計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉心入口流量計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉内炉心出口圧力 (炉心出口)	MPa	0~20	-	炉心出口圧力計は、炉心出口圧力計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉心出口圧力計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉内炉心入口圧力 (炉心入口)	MPa	0~20	-	炉心入口圧力計は、炉心入口圧力計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉心入口圧力計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
炉外	炉外炉心出口温度 (炉心出口)	℃	40~340℃	-	炉外炉心出口温度計は、炉外炉心出口温度計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉外炉心出口温度計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉外炉心入口温度 (炉心入口)	℃	40~100℃	-	炉外炉心入口温度計は、炉外炉心入口温度計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉外炉心入口温度計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉外炉心出口流量 (炉心出口)	m ³ /h	0~10000	-	炉外炉心出口流量計は、炉外炉心出口流量計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉外炉心出口流量計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉外炉心入口流量 (炉心入口)	m ³ /h	0~10000	-	炉外炉心入口流量計は、炉外炉心入口流量計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉外炉心入口流量計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉外炉心出口圧力 (炉心出口)	MPa	0~20	-	炉外炉心出口圧力計は、炉外炉心出口圧力計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉外炉心出口圧力計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉外炉心入口圧力 (炉心入口)	MPa	0~20	-	炉外炉心入口圧力計は、炉外炉心入口圧力計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉外炉心入口圧力計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉外炉心出口流量 (炉心出口)	m ³ /h	0~10000	-	炉外炉心出口流量計は、炉外炉心出口流量計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉外炉心出口流量計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉外炉心入口流量 (炉心入口)	m ³ /h	0~10000	-	炉外炉心入口流量計は、炉外炉心入口流量計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉外炉心入口流量計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉外炉心出口圧力 (炉心出口)	MPa	0~20	-	炉外炉心出口圧力計は、炉外炉心出口圧力計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉外炉心出口圧力計の計測範囲を確保する。	1	交流電源
	炉外炉心入口圧力 (炉心入口)	MPa	0~20	-	炉外炉心入口圧力計は、炉外炉心入口圧力計の計測範囲を確保する。計測範囲は、炉外炉心入口圧力計の計測範囲を確保する。	1	交流電源

枠囲みの内容は商業秘密の観点から公開できません。

表 2.15.9 重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器 (重大事故等対処設備) (7/7)

分類	重要監視パラメータ (注1) 重要代替監視パラメータ	値域	計測範囲	設計基準	把握能力 (計測範囲の考え方)	可搬型 計測器 取付	電源
炉内	使用済燃料ピット水位 (AM用) 赤1	2	T.P. 25.24~ 32.76m	-(注3)	重大事故時においては、運転する可能性のある使用済燃料ピットの水位を監視可能。 遠隔所から燃料貯蔵ラック上流近位の範囲で使用済燃料ピットの水位を監視可能。	1	A 直流電源
	使用済燃料ピット水位 (可搬型) 青1	2	T.P. 21.20~ 32.76m	-(注3)	重大事故時においては、運転する可能性のある範囲での水位を監視可能。 最近傍から底面位置の範囲で使用済燃料ピットの水位を監視可能。	1	A 直流電源
	使用済燃料ピット温度 (AM用) 赤1	2	0~100℃	-(注3)	燃料ピットの温度を監視可能。	1	A 直流電源
	使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ青1	1	10mSv/h~ 1,000mSv/h	-(注3)	重大事故時においては、運転する可能性のある範囲 (注9) 1,000mSv/h) にわたり放射線量を監視可能。	-	B 交流電源
炉外	使用済燃料ピット監視カメラ赤1 (注10)	1	-	-(注3)	重大事故時においては、使用済燃料ピットの状況を監視可能。	-	A 計装用電源

赤1：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ、赤2：重要代替監視パラメータ、赤3：上部と下部の中圧子車平均値、赤4：入口用1割、出口用2割
 (注1) 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの値については、データ伝送設備 (線室内) のうちデータ収集計算機及びデータ表示端末又は可搬型温度計測装置 (燃料貯蔵器可搬型ユニット) 入口温度/出口温度) によりデータを取計する。なお、原子炉建屋内炉心出口圧力 (可搬型) は加圧操作時の一時的な監視であり、記録用紙へ記録する。
 (注2) 計測範囲を一時的に超えるが、このときには1次冷却材圧力 (広域) と1次冷却材流量 (広域) によって炉心の冷却状態を監視する。
 (注3) 重大事故等時に使用する設備のため、設計基準事故時では炉心損傷しないことから、この値を下回る。
 (注4) 炉心損傷事故時の値は100mSv/hであり、設計基準事故時では炉心損傷しないことから、この値を下回る。
 (注5) 120%定格出力を超えるのは期間であり、かつ出力上昇及び下降は急激であるため監視し得ない。
 (注6) 計測範囲を一時的に超えるが、10%以上であることにより、破断のない炉心の蒸気発生時に下回ることがある。
 (注7) 計測範囲を一時的に超えるが、破断のない炉心の蒸気発生時に下回ることがある。
 (注8) 蒸気発生時水位 (広域) 下流を一時的に下回る重大事故等時の現象があるが、下回っていることと蒸気発生器がドライアウトしている又はそれがあることを監視可能。
 (注9) 放射線量の1,000mSv/hは、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ設置箇所における空間線量率の最大値 (約1×10⁴mSv/h) を目安として算出された後の値。
 (注10) 使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置を含む。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉				泊発電所3号炉		相違理由
表3.15-10 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (8/10)								
分類	重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ	個数	計測範囲	設計基準	監視能力 (計測範囲の考え方)	可搬型 計測器 設置	監視性	電圧
原子炉内 の圧力 監視 系統 の 監視	原子炉水位 (広領域) *5							
	原子炉水位 (燃料域) *4							
	原子炉水位 (SA広領域) *2				「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。			
	原子炉水位 (SA燃料域) *3							
	原子炉圧力*5				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			
	原子炉圧力 (SA) *2							
	原子炉圧力監視部*1				「①原子炉圧力容器内の異常」を監視するパラメータと同じ。			
	ドライウェル温度*2				「③原子炉格納容器内の異常」を監視するパラメータと同じ。			
	ドライウェル圧力*2							
	圧力制御圧力*1				「③原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			
原子炉内 の圧力 監視 系統 の 監視	低圧中心スプレッドポンプ出口圧力							
	低圧側排水ポンプ出口圧力				「排水側の異常」を監視するパラメータと同じ。			
	低圧中心スプレッドポンプ出口圧力							
	原子炉圧力 (SA) *1				「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。			

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3 / 4号炉		女川原子力発電所2号炉		泊発電所3号炉		相違理由
表 3.15-11 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (1/11)						
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	分類	主要パラメータ	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器内温度	① 主要パラメータの他検出器 ② 原子炉圧力 (SA) ③ 原子炉圧力 (広域) ④ 原子炉水位 (広域) ⑤ 原子炉水位 (燃料床) ⑥ 原子炉水位 (SA広域) ⑦ 原子炉水位 (SA燃料床) ⑧ 燃料床温度	① 原子炉圧力 (SA) ② 原子炉圧力 (広域) ③ 原子炉水位 (燃料床) ④ 原子炉水位 (SA広域) ⑤ 原子炉水位 (SA燃料床)	① 原子炉圧力容器内温度の監視が不可能となった場合は、他の検出器により推定する。 ② 原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態と想定すること、原子炉圧力より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の温度を推定する。 ③ 燃料床温度が燃料床温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他の検出器を優先する。	原子炉圧力	① 1次冷却材温度 (広域-高温側) ② 1次冷却材温度 (広域-低温側) ③ (炉心出口温度) **	① 1次冷却材温度 (広域-高温側) の監視が不可能となった場合は、他ループの1次冷却材温度 (広域-高温側) により推定する。 ② 1次冷却材温度 (広域-低温側) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材温度 (広域-低温側) により推定する。 この推定方法では、重大事故等時において約100℃程度の温度差が生じる可能性があることを考慮する。 ③ 1次冷却材温度 (広域-高温側) の監視が不可能となった場合は、監視可能であれば炉心出口温度 (自主対策設備) により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他のループを優先する。
原子炉圧力	① 主要パラメータの他ループ ② 原子炉圧力 (SA) ③ 原子炉圧力 (広域) ④ 原子炉水位 (燃料床) ⑤ 原子炉水位 (SA広域) ⑥ 原子炉水位 (SA燃料床)	① 主要パラメータの他ループ ② 原子炉圧力 (SA) ③ 原子炉水位 (燃料床) ④ 原子炉水位 (SA広域) ⑤ 原子炉水位 (SA燃料床)	① 原子炉圧力 (SA) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルにより推定する。 ② 原子炉圧力 (SA) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ③ 原子炉圧力 (広域) の監視が不可能となった場合は、原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態と想定すること、原子炉圧力より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他のチャンネルを優先する。	原子炉圧力(SA)	① 1次冷却材温度 (広域-高温側) ② 1次冷却材温度 (広域-低温側) ③ (炉心出口温度) **	① 1次冷却材温度 (広域-高温側) の監視が不可能となった場合は、他ループの1次冷却材温度 (広域-高温側) により推定する。 ② 1次冷却材温度 (広域-低温側) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材温度 (広域-低温側) により推定する。 この推定方法では、重大事故等時において約100℃程度の温度差が生じる可能性があることを考慮する。 ③ 1次冷却材温度 (広域-高温側) の監視が不可能となった場合は、監視可能であれば炉心出口温度 (自主対策設備) により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他のループを優先する。
表 2.15.10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (1/18)						
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*01	代替パラメータ推定方法	分類	主要パラメータ	代替パラメータ推定方法
原子炉圧力容器内の温度	① 1次冷却材温度 (広域-高温側) ② 1次冷却材温度 (広域-低温側) ③ (炉心出口温度) **	① 主要パラメータの他ループ ② 1次冷却材温度 (広域-高温側) ③ (炉心出口温度) **	① 1次冷却材温度 (広域-高温側) の1ループが故障した場合は、他ループの1次冷却材温度 (広域-高温側) により推定する。 ② 1次冷却材温度 (広域-低温側) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材温度 (広域-低温側) により推定する。 この推定方法では、重大事故等時において約100℃程度の温度差が生じる可能性があることを考慮する。 ③ 1次冷却材温度 (広域-高温側) の監視が不可能となった場合は、監視可能であれば炉心出口温度 (自主対策設備) により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他のループを優先する。	原子炉圧力容器内の温度	① 1次冷却材温度 (広域-高温側) ② 1次冷却材温度 (広域-低温側) ③ (炉心出口温度) **	① 1次冷却材温度 (広域-高温側) の監視が不可能となった場合は、他ループの1次冷却材温度 (広域-高温側) により推定する。 ② 1次冷却材温度 (広域-低温側) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材温度 (広域-低温側) により推定する。 この推定方法では、重大事故等時において約100℃程度の温度差が生じる可能性があることを考慮する。 ③ 1次冷却材温度 (広域-高温側) の監視が不可能となった場合は、監視可能であれば炉心出口温度 (自主対策設備) により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他のループを優先する。
<p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。以降、同表において同じ。 						

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
<p>表3.15-11 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (5/11)</p> <p>主要パラメータ 代替パラメータ 注: 代替パラメータは、本表の注記を参照して推定される。</p>	<p>表3.15-10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (5/10)</p> <p>主要パラメータ 代替パラメータ 注: 代替パラメータは、本表の注記を参照して推定される。</p>	<p>表3.15-10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (5/10)</p> <p>主要パラメータ 代替パラメータ 注: 代替パラメータは、本表の注記を参照して推定される。</p>	<p>相違理由</p>
<p>注: 代替パラメータは、本表の注記を参照して推定される。</p>	<p>注: 代替パラメータは、本表の注記を参照して推定される。</p>	<p>注: 代替パラメータは、本表の注記を参照して推定される。</p>	<p>相違理由</p>

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																																						
<p>表3.15-11 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (6/11)</p> <table border="1" data-bbox="698 146 1218 1058"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内温度</td> <td>①原子炉格納容器内温度</td> <td>①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉格納容器圧力 ③格納容器圧力 (AM用)</td> <td>①原子炉格納容器内温度は、他チヤンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により温度を推定する。 ③格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) により上記②と同様に温度を推定する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内圧力</td> <td>①主要パラメータの他チヤンネル ②格納容器圧力 (AM用) ③格納容器内温度</td> <td>①原子炉格納容器圧力の1チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルの原子炉格納容器圧力により推定する。 ②原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により圧力を推定する。 ③原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内圧力</td> <td>①原子炉格納容器内圧力 (AM用)</td> <td>①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度</td> <td>推定は、主要パラメータの他チヤンネルを優先する。 ①格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により推定する。 ②格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内温度</td> <td>①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度</td> <td>推定は、原子炉格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) を優先する。</td> </tr> </tbody> </table>			分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	原子炉格納容器内温度	①原子炉格納容器内温度	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉格納容器圧力 ③格納容器圧力 (AM用)	①原子炉格納容器内温度は、他チヤンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により温度を推定する。 ③格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) により上記②と同様に温度を推定する。	原子炉格納容器内圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②格納容器圧力 (AM用) ③格納容器内温度	①原子炉格納容器圧力の1チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルの原子炉格納容器圧力により推定する。 ②原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により圧力を推定する。 ③原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。	原子炉格納容器内圧力	①原子炉格納容器内圧力 (AM用)	①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度	推定は、主要パラメータの他チヤンネルを優先する。 ①格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により推定する。 ②格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。	原子炉格納容器内温度	①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度	推定は、原子炉格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) を優先する。	<p>注: ①主要パラメータの他チヤンネルとは、原子炉格納容器内温度を測定する。②格納容器圧力 (AM用) とは、原子炉格納容器内温度を測定する。③格納容器内温度とは、原子炉格納容器内温度を測定する。</p>	<p>表2.15.10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (6/18)</p> <table border="1" data-bbox="1308 146 1738 1396"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要パラメータ</th> <th>代替パラメータ*</th> <th>代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内温度</td> <td>①原子炉格納容器内温度</td> <td>①主要パラメータの他チヤンネル ②格納容器圧力 (AM用) ③格納容器内温度</td> <td>①格納容器内温度の1チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により温度を推定する。 ③格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) により上記②と同様に温度を推定する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内圧力</td> <td>①主要パラメータの他チヤンネル ②格納容器圧力 (AM用) ③格納容器内温度</td> <td>①原子炉格納容器圧力の1チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルの原子炉格納容器圧力により推定する。 ②原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により圧力を推定する。 ③原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">原子炉格納容器内圧力</td> <td>①原子炉格納容器内圧力 (AM用)</td> <td>①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度</td> <td>推定は、主要パラメータの他チヤンネルを優先する。 ①格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により推定する。 ②格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内温度</td> <td>①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度</td> <td>推定は、原子炉格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) を優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	原子炉格納容器内温度	①原子炉格納容器内温度	①主要パラメータの他チヤンネル ②格納容器圧力 (AM用) ③格納容器内温度	①格納容器内温度の1チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により温度を推定する。 ③格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) により上記②と同様に温度を推定する。	原子炉格納容器内圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②格納容器圧力 (AM用) ③格納容器内温度	①原子炉格納容器圧力の1チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルの原子炉格納容器圧力により推定する。 ②原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により圧力を推定する。 ③原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。	原子炉格納容器内圧力	①原子炉格納容器内圧力 (AM用)	①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度	推定は、主要パラメータの他チヤンネルを優先する。 ①格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により推定する。 ②格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。	原子炉格納容器内温度	①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度	推定は、原子炉格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) を優先する。	<p>注: ①主要パラメータの他チヤンネルとは、原子炉格納容器内温度を測定する。②格納容器圧力 (AM用) とは、原子炉格納容器内温度を測定する。③格納容器内温度とは、原子炉格納容器内温度を測定する。</p>
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																						
原子炉格納容器内温度	①原子炉格納容器内温度	①主要パラメータの他チヤンネル ②原子炉格納容器圧力 ③格納容器圧力 (AM用)	①原子炉格納容器内温度は、他チヤンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により温度を推定する。 ③格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) により上記②と同様に温度を推定する。																																						
	原子炉格納容器内圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②格納容器圧力 (AM用) ③格納容器内温度	①原子炉格納容器圧力の1チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルの原子炉格納容器圧力により推定する。 ②原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により圧力を推定する。 ③原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。																																						
原子炉格納容器内圧力	①原子炉格納容器内圧力 (AM用)	①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度	推定は、主要パラメータの他チヤンネルを優先する。 ①格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により推定する。 ②格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。																																						
	原子炉格納容器内温度	①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度	推定は、原子炉格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) を優先する。																																						
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法																																						
原子炉格納容器内温度	①原子炉格納容器内温度	①主要パラメータの他チヤンネル ②格納容器圧力 (AM用) ③格納容器内温度	①格納容器内温度の1チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉格納容器圧力により温度を推定する。 ③格納容器内温度の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) により上記②と同様に温度を推定する。																																						
	原子炉格納容器内圧力	①主要パラメータの他チヤンネル ②格納容器圧力 (AM用) ③格納容器内温度	①原子炉格納容器圧力の1チヤンネルが故障した場合は、他チヤンネルの原子炉格納容器圧力により推定する。 ②原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、格納容器圧力 (AM用) 又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により圧力を推定する。 ③原子炉格納容器圧力の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。																																						
原子炉格納容器内圧力	①原子炉格納容器内圧力 (AM用)	①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度	推定は、主要パラメータの他チヤンネルを優先する。 ①格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、計測範囲内であれば原子炉格納容器圧力又は格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) により推定する。 ②格納容器圧力 (AM用) の監視が不可能となった場合は、飽和温度/圧力の関係を利用して格納容器内温度により圧力を推定する。																																						
	原子炉格納容器内温度	①原子炉格納容器圧力 ① (格納容器圧力 (実績)) ** ②格納容器内温度	推定は、原子炉格納容器圧力 (実績) (自主対策設備) を優先する。																																						

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
表3.15-11 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (7/11)			
<p>分類</p> <p>主要パラメータ</p> <p>格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</p> <p>原子炉下部キャビティ水位</p> <p>燃料取替機水位</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p>	<p>代替パラメータ</p> <p>格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</p> <p>原子炉下部キャビティ水位</p> <p>燃料取替機水位</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p>	<p>代替パラメータ</p> <p>格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</p> <p>原子炉下部キャビティ水位</p> <p>燃料取替機水位</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p>	<p>相違理由</p>
表2.15.10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (7/18)			
<p>分類</p> <p>主要パラメータ</p> <p>格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</p> <p>原子炉下部キャビティ水位</p> <p>燃料取替機水位</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p>	<p>代替パラメータ</p> <p>格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</p> <p>原子炉下部キャビティ水位</p> <p>燃料取替機水位</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p>	<p>代替パラメータ</p> <p>格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</p> <p>原子炉下部キャビティ水位</p> <p>燃料取替機水位</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p> <p>燃料取替機スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)</p>	<p>相違理由</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
		<p style="text-align: center;">表2.15.10 代替プログラマーによる主要プログラマーの相違 (12/18)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>主要プログラマー</th> <th>代替プログラマー</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>炉内監視システム</td> <td> 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) </td> <td> 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) </td> </tr> <tr> <td>炉内監視システム</td> <td> 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) </td> <td> 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) </td> </tr> <tr> <td>炉内監視システム</td> <td> 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) </td> <td> 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) </td> </tr> <tr> <td>炉内監視システム</td> <td> 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) </td> <td> 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) </td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要プログラマー	代替プログラマー	炉内監視システム	炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム)	代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム)	炉内監視システム	炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム)	代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム)	炉内監視システム	炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム)	代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム)	炉内監視システム	炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム)	代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム)	
分類	主要プログラマー	代替プログラマー																
炉内監視システム	炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム)	代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム)																
炉内監視システム	炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム)	代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム)																
炉内監視システム	炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム)	代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム)																
炉内監視システム	炉内監視システム (炉内監視システム) 炉内監視システム (炉内監視システム)	代替プログラマー (炉内監視システム) 代替プログラマー (炉内監視システム)																

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
表 2.15.10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (13/18)			
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>主蒸気ライン圧力</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 補助給水流量</p>	<p>① 1次冷却圧力 (広域) ② 1次冷却材圧力 (広域) ③ 1次冷却材圧力 (広域) ④ 1次冷却材圧力 (広域) ⑤ 1次冷却材圧力 (広域) ⑥ 1次冷却材圧力 (広域) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>格納容器再循環ポンプ水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 補助給水流量</p>	<p>① 1次冷却圧力 (広域) ② 1次冷却材圧力 (広域) ③ 1次冷却材圧力 (広域) ④ 1次冷却材圧力 (広域) ⑤ 1次冷却材圧力 (広域) ⑥ 1次冷却材圧力 (広域) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>
<p>蒸気発生器水位 (広域)</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③ 主蒸気ライン圧力 ④ 補助給水流量</p>	<p>① 主要パラメータの他チャンネル ② 1次冷却圧力 (広域) ③ 蒸気発生器水位 (広域) ④ 主蒸気ライン圧力 (広域) ⑤ 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥ 1次冷却材温度 (広域-低温側) ⑦ 1次冷却材圧力 (広域)</p>	<p>相違理由</p>

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
表 2.15.10 代替ハラメータによる主要ハラメータの相違 (14/18)			
<p>分節</p> <p>主要ハラメータ</p> <p>① 圧水炉内圧力</p> <p>② 圧水炉内圧力</p> <p>③ 圧水炉内圧力</p> <p>④ 圧水炉内圧力</p> <p>⑤ 圧水炉内圧力</p> <p>⑥ 圧水炉内圧力</p> <p>⑦ 圧水炉内圧力</p> <p>⑧ 圧水炉内圧力</p> <p>⑨ 圧水炉内圧力</p> <p>⑩ 圧水炉内圧力</p> <p>⑪ 圧水炉内圧力</p> <p>⑫ 圧水炉内圧力</p> <p>⑬ 圧水炉内圧力</p> <p>⑭ 圧水炉内圧力</p> <p>⑮ 圧水炉内圧力</p> <p>⑯ 圧水炉内圧力</p> <p>⑰ 圧水炉内圧力</p> <p>⑱ 圧水炉内圧力</p> <p>⑲ 圧水炉内圧力</p> <p>⑳ 圧水炉内圧力</p> <p>㉑ 圧水炉内圧力</p> <p>㉒ 圧水炉内圧力</p> <p>㉓ 圧水炉内圧力</p> <p>㉔ 圧水炉内圧力</p> <p>㉕ 圧水炉内圧力</p> <p>㉖ 圧水炉内圧力</p> <p>㉗ 圧水炉内圧力</p> <p>㉘ 圧水炉内圧力</p> <p>㉙ 圧水炉内圧力</p> <p>㉚ 圧水炉内圧力</p> <p>㉛ 圧水炉内圧力</p> <p>㉜ 圧水炉内圧力</p> <p>㉝ 圧水炉内圧力</p> <p>㉞ 圧水炉内圧力</p> <p>㉟ 圧水炉内圧力</p> <p>㊱ 圧水炉内圧力</p> <p>㊲ 圧水炉内圧力</p> <p>㊳ 圧水炉内圧力</p> <p>㊴ 圧水炉内圧力</p> <p>㊵ 圧水炉内圧力</p> <p>㊶ 圧水炉内圧力</p> <p>㊷ 圧水炉内圧力</p> <p>㊸ 圧水炉内圧力</p> <p>㊹ 圧水炉内圧力</p> <p>㊺ 圧水炉内圧力</p> <p>㊻ 圧水炉内圧力</p> <p>㊼ 圧水炉内圧力</p> <p>㊽ 圧水炉内圧力</p> <p>㊾ 圧水炉内圧力</p> <p>㊿ 圧水炉内圧力</p>	<p>代替ハラメータ</p> <p>① 圧水炉内圧力</p> <p>② 圧水炉内圧力</p> <p>③ 圧水炉内圧力</p> <p>④ 圧水炉内圧力</p> <p>⑤ 圧水炉内圧力</p> <p>⑥ 圧水炉内圧力</p> <p>⑦ 圧水炉内圧力</p> <p>⑧ 圧水炉内圧力</p> <p>⑨ 圧水炉内圧力</p> <p>⑩ 圧水炉内圧力</p> <p>⑪ 圧水炉内圧力</p> <p>⑫ 圧水炉内圧力</p> <p>⑬ 圧水炉内圧力</p> <p>⑭ 圧水炉内圧力</p> <p>⑮ 圧水炉内圧力</p> <p>⑯ 圧水炉内圧力</p> <p>⑰ 圧水炉内圧力</p> <p>⑱ 圧水炉内圧力</p> <p>⑲ 圧水炉内圧力</p> <p>⑳ 圧水炉内圧力</p> <p>㉑ 圧水炉内圧力</p> <p>㉒ 圧水炉内圧力</p> <p>㉓ 圧水炉内圧力</p> <p>㉔ 圧水炉内圧力</p> <p>㉕ 圧水炉内圧力</p> <p>㉖ 圧水炉内圧力</p> <p>㉗ 圧水炉内圧力</p> <p>㉘ 圧水炉内圧力</p> <p>㉙ 圧水炉内圧力</p> <p>㉚ 圧水炉内圧力</p> <p>㉛ 圧水炉内圧力</p> <p>㉜ 圧水炉内圧力</p> <p>㉝ 圧水炉内圧力</p> <p>㉞ 圧水炉内圧力</p> <p>㉟ 圧水炉内圧力</p> <p>㊱ 圧水炉内圧力</p> <p>㊲ 圧水炉内圧力</p> <p>㊳ 圧水炉内圧力</p> <p>㊴ 圧水炉内圧力</p> <p>㊵ 圧水炉内圧力</p> <p>㊶ 圧水炉内圧力</p> <p>㊷ 圧水炉内圧力</p> <p>㊸ 圧水炉内圧力</p> <p>㊹ 圧水炉内圧力</p> <p>㊺ 圧水炉内圧力</p> <p>㊻ 圧水炉内圧力</p> <p>㊼ 圧水炉内圧力</p> <p>㊽ 圧水炉内圧力</p> <p>㊾ 圧水炉内圧力</p> <p>㊿ 圧水炉内圧力</p>	<p>代替ハラメータ</p> <p>① 圧水炉内圧力</p> <p>② 圧水炉内圧力</p> <p>③ 圧水炉内圧力</p> <p>④ 圧水炉内圧力</p> <p>⑤ 圧水炉内圧力</p> <p>⑥ 圧水炉内圧力</p> <p>⑦ 圧水炉内圧力</p> <p>⑧ 圧水炉内圧力</p> <p>⑨ 圧水炉内圧力</p> <p>⑩ 圧水炉内圧力</p> <p>⑪ 圧水炉内圧力</p> <p>⑫ 圧水炉内圧力</p> <p>⑬ 圧水炉内圧力</p> <p>⑭ 圧水炉内圧力</p> <p>⑮ 圧水炉内圧力</p> <p>⑯ 圧水炉内圧力</p> <p>⑰ 圧水炉内圧力</p> <p>⑱ 圧水炉内圧力</p> <p>⑲ 圧水炉内圧力</p> <p>⑳ 圧水炉内圧力</p> <p>㉑ 圧水炉内圧力</p> <p>㉒ 圧水炉内圧力</p> <p>㉓ 圧水炉内圧力</p> <p>㉔ 圧水炉内圧力</p> <p>㉕ 圧水炉内圧力</p> <p>㉖ 圧水炉内圧力</p> <p>㉗ 圧水炉内圧力</p> <p>㉘ 圧水炉内圧力</p> <p>㉙ 圧水炉内圧力</p> <p>㉚ 圧水炉内圧力</p> <p>㉛ 圧水炉内圧力</p> <p>㉜ 圧水炉内圧力</p> <p>㉝ 圧水炉内圧力</p> <p>㉞ 圧水炉内圧力</p> <p>㉟ 圧水炉内圧力</p> <p>㊱ 圧水炉内圧力</p> <p>㊲ 圧水炉内圧力</p> <p>㊳ 圧水炉内圧力</p> <p>㊴ 圧水炉内圧力</p> <p>㊵ 圧水炉内圧力</p> <p>㊶ 圧水炉内圧力</p> <p>㊷ 圧水炉内圧力</p> <p>㊸ 圧水炉内圧力</p> <p>㊹ 圧水炉内圧力</p> <p>㊺ 圧水炉内圧力</p> <p>㊻ 圧水炉内圧力</p> <p>㊼ 圧水炉内圧力</p> <p>㊽ 圧水炉内圧力</p> <p>㊾ 圧水炉内圧力</p> <p>㊿ 圧水炉内圧力</p>	<p>相違理由</p> <p>① 圧水炉内圧力</p> <p>② 圧水炉内圧力</p> <p>③ 圧水炉内圧力</p> <p>④ 圧水炉内圧力</p> <p>⑤ 圧水炉内圧力</p> <p>⑥ 圧水炉内圧力</p> <p>⑦ 圧水炉内圧力</p> <p>⑧ 圧水炉内圧力</p> <p>⑨ 圧水炉内圧力</p> <p>⑩ 圧水炉内圧力</p> <p>⑪ 圧水炉内圧力</p> <p>⑫ 圧水炉内圧力</p> <p>⑬ 圧水炉内圧力</p> <p>⑭ 圧水炉内圧力</p> <p>⑮ 圧水炉内圧力</p> <p>⑯ 圧水炉内圧力</p> <p>⑰ 圧水炉内圧力</p> <p>⑱ 圧水炉内圧力</p> <p>⑲ 圧水炉内圧力</p> <p>⑳ 圧水炉内圧力</p> <p>㉑ 圧水炉内圧力</p> <p>㉒ 圧水炉内圧力</p> <p>㉓ 圧水炉内圧力</p> <p>㉔ 圧水炉内圧力</p> <p>㉕ 圧水炉内圧力</p> <p>㉖ 圧水炉内圧力</p> <p>㉗ 圧水炉内圧力</p> <p>㉘ 圧水炉内圧力</p> <p>㉙ 圧水炉内圧力</p> <p>㉚ 圧水炉内圧力</p> <p>㉛ 圧水炉内圧力</p> <p>㉜ 圧水炉内圧力</p> <p>㉝ 圧水炉内圧力</p> <p>㉞ 圧水炉内圧力</p> <p>㉟ 圧水炉内圧力</p> <p>㊱ 圧水炉内圧力</p> <p>㊲ 圧水炉内圧力</p> <p>㊳ 圧水炉内圧力</p> <p>㊴ 圧水炉内圧力</p> <p>㊵ 圧水炉内圧力</p> <p>㊶ 圧水炉内圧力</p> <p>㊷ 圧水炉内圧力</p> <p>㊸ 圧水炉内圧力</p> <p>㊹ 圧水炉内圧力</p> <p>㊺ 圧水炉内圧力</p> <p>㊻ 圧水炉内圧力</p> <p>㊼ 圧水炉内圧力</p> <p>㊽ 圧水炉内圧力</p> <p>㊾ 圧水炉内圧力</p> <p>㊿ 圧水炉内圧力</p>

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																		
表2.1b.10 代替バフメータによる主要バフメータの推定 (1b/18)																					
		<table border="1"> <thead> <tr> <th>主要バフメータ</th> <th>代替バフメータ^{*)}</th> <th>代替バフメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 加圧器逃がしタンク圧力 ② 加圧器水位</td> <td>① 1次冷却材圧力 (広域) ② (除熱器サブ冷却) ^{*)1}</td> <td>① 加圧器逃がしタンク圧力 (広域)が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (除熱器サブ冷却) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。</td> </tr> <tr> <td>① 加圧器逃がしタンク水位 ② 加圧器水位</td> <td>① 1次冷却材圧力 (広域) ② (除熱器サブ冷却) ^{*)2}</td> <td>推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 加圧器逃がしタンク水位 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (除熱器サブ冷却) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。</td> </tr> <tr> <td>① 加圧器逃がしタンク流量 ② 加圧器水位</td> <td>① 1次冷却材圧力 (広域) ② (除熱器サブ冷却) ^{*)3}</td> <td>推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 加圧器逃がしタンク流量 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (除熱器サブ冷却) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。</td> </tr> <tr> <td>① 加圧器逃がしタンク圧力 ② (余熱除去冷却器入口流量) ③ 加圧器水位</td> <td>① 1次冷却材圧力 (広域) ② (余熱除去ポンプ出口圧力) ^{*)1} ③ 加圧器水位</td> <td>推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 余熱除去冷却器入口流量 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。</td> </tr> <tr> <td>① 加圧器逃がしタンク出口流量 ② (余熱除去冷却器出口流量) ③ 加圧器水位</td> <td>① 1次冷却材圧力 (広域) ② (余熱除去ポンプ出口圧力) ^{*)1} ③ 加圧器水位</td> <td>推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 余熱除去冷却器出口流量 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。</td> </tr> </tbody> </table>	主要バフメータ	代替バフメータ ^{*)}	代替バフメータ推定方法	① 加圧器逃がしタンク圧力 ② 加圧器水位	① 1次冷却材圧力 (広域) ② (除熱器サブ冷却) ^{*)1}	① 加圧器逃がしタンク圧力 (広域)が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (除熱器サブ冷却) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。	① 加圧器逃がしタンク水位 ② 加圧器水位	① 1次冷却材圧力 (広域) ② (除熱器サブ冷却) ^{*)2}	推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 加圧器逃がしタンク水位 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (除熱器サブ冷却) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。	① 加圧器逃がしタンク流量 ② 加圧器水位	① 1次冷却材圧力 (広域) ② (除熱器サブ冷却) ^{*)3}	推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 加圧器逃がしタンク流量 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (除熱器サブ冷却) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。	① 加圧器逃がしタンク圧力 ② (余熱除去冷却器入口流量) ③ 加圧器水位	① 1次冷却材圧力 (広域) ② (余熱除去ポンプ出口圧力) ^{*)1} ③ 加圧器水位	推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 余熱除去冷却器入口流量 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。	① 加圧器逃がしタンク出口流量 ② (余熱除去冷却器出口流量) ③ 加圧器水位	① 1次冷却材圧力 (広域) ② (余熱除去ポンプ出口圧力) ^{*)1} ③ 加圧器水位	推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 余熱除去冷却器出口流量 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。	
主要バフメータ	代替バフメータ ^{*)}	代替バフメータ推定方法																			
① 加圧器逃がしタンク圧力 ② 加圧器水位	① 1次冷却材圧力 (広域) ② (除熱器サブ冷却) ^{*)1}	① 加圧器逃がしタンク圧力 (広域)が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (除熱器サブ冷却) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。																			
① 加圧器逃がしタンク水位 ② 加圧器水位	① 1次冷却材圧力 (広域) ② (除熱器サブ冷却) ^{*)2}	推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 加圧器逃がしタンク水位 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (除熱器サブ冷却) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。																			
① 加圧器逃がしタンク流量 ② 加圧器水位	① 1次冷却材圧力 (広域) ② (除熱器サブ冷却) ^{*)3}	推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 加圧器逃がしタンク流量 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (除熱器サブ冷却) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。																			
① 加圧器逃がしタンク圧力 ② (余熱除去冷却器入口流量) ③ 加圧器水位	① 1次冷却材圧力 (広域) ② (余熱除去ポンプ出口圧力) ^{*)1} ③ 加圧器水位	推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 余熱除去冷却器入口流量 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。																			
① 加圧器逃がしタンク出口流量 ② (余熱除去冷却器出口流量) ③ 加圧器水位	① 1次冷却材圧力 (広域) ② (余熱除去ポンプ出口圧力) ^{*)1} ③ 加圧器水位	推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位を優先する。 ① 余熱除去冷却器出口流量 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器水位の低下によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器水位 (自主対策設備) の監視が不可視となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。																			
④ 除熱器サブ冷却器入口流量																					

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由															
		<p style="text-align: center;">表2.15.10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (16/18)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">分類</th> <th style="width: 20%;">主要パラメータ</th> <th style="width: 25%;">代替パラメータ*</th> <th style="width: 40%;">代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水源の確保</td> <td>燃料取扱替用水ピット水位</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ③B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用) ④格納容器スプレィ流量** ⑤源注注入流量 ⑥源注注入流量 ⑦(充てん流量)** ⑧代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量</td> <td>①燃料取扱替用水ピット水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの燃料取扱替用水ピット水位により推定する。 ②燃料取扱替用水ピット水位の監視が不可能となった場合は、注水先である格納容器再循環ポンプ水位 (広域) により推定する。なお、燃料取扱替用水ピット以外からの注水がないことを前提とする。 ③燃料取扱替用水ピット水位の監視が不可能となった場合は、B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用) 等の燃料取扱替用水ピットを水源とするポンプの注水流量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット水位</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②補助給水流量 ③代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量</td> <td>①補助給水ピット水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの補助給水ピット水位により推定する。 ②補助給水ピット水位の監視が不可能となった場合は、補助給水流量及び代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量である補助給水ピットを水源とするポンプの注水流量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。この推定方法では、淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転並びにより算出した注水量を考慮する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②緊急ほう酸注入ライン流量** ③出力領域中性子束 ④中間領域中性子束 ⑤中性子源領域中性子束</td> <td>①ほう酸タンク水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルのほう酸タンク水位により推定する。 ②ほう酸タンク水位の監視が不可能となった場合は、緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) によりほう酸タンク水位を推定し、水源の有無や使用量を推定する。 ③ほう酸タンク水位の監視が不可能となった場合は、炉心へのほう酸水注入に伴う負の反応度が追加されていることを出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により水源の有無を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> </tbody> </table>	分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法	水源の確保	燃料取扱替用水ピット水位	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ③B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用) ④格納容器スプレィ流量** ⑤源注注入流量 ⑥源注注入流量 ⑦(充てん流量)** ⑧代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	①燃料取扱替用水ピット水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの燃料取扱替用水ピット水位により推定する。 ②燃料取扱替用水ピット水位の監視が不可能となった場合は、注水先である格納容器再循環ポンプ水位 (広域) により推定する。なお、燃料取扱替用水ピット以外からの注水がないことを前提とする。 ③燃料取扱替用水ピット水位の監視が不可能となった場合は、B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用) 等の燃料取扱替用水ピットを水源とするポンプの注水流量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	補助給水ピット水位	①主要パラメータの他チャンネル ②補助給水流量 ③代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	①補助給水ピット水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの補助給水ピット水位により推定する。 ②補助給水ピット水位の監視が不可能となった場合は、補助給水流量及び代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量である補助給水ピットを水源とするポンプの注水流量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。この推定方法では、淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転並びにより算出した注水量を考慮する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。		ほう酸タンク水位	①主要パラメータの他チャンネル ②緊急ほう酸注入ライン流量** ③出力領域中性子束 ④中間領域中性子束 ⑤中性子源領域中性子束	①ほう酸タンク水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルのほう酸タンク水位により推定する。 ②ほう酸タンク水位の監視が不可能となった場合は、緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) によりほう酸タンク水位を推定し、水源の有無や使用量を推定する。 ③ほう酸タンク水位の監視が不可能となった場合は、炉心へのほう酸水注入に伴う負の反応度が追加されていることを出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により水源の有無を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。	
分類	主要パラメータ	代替パラメータ*	代替パラメータ推定方法															
水源の確保	燃料取扱替用水ピット水位	①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器再循環ポンプ水位 (広域) ③B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用) ④格納容器スプレィ流量** ⑤源注注入流量 ⑥源注注入流量 ⑦(充てん流量)** ⑧代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	①燃料取扱替用水ピット水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの燃料取扱替用水ピット水位により推定する。 ②燃料取扱替用水ピット水位の監視が不可能となった場合は、注水先である格納容器再循環ポンプ水位 (広域) により推定する。なお、燃料取扱替用水ピット以外からの注水がないことを前提とする。 ③燃料取扱替用水ピット水位の監視が不可能となった場合は、B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用) 等の燃料取扱替用水ピットを水源とするポンプの注水流量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。															
	補助給水ピット水位	①主要パラメータの他チャンネル ②補助給水流量 ③代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量	①補助給水ピット水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの補助給水ピット水位により推定する。 ②補助給水ピット水位の監視が不可能となった場合は、補助給水流量及び代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量である補助給水ピットを水源とするポンプの注水流量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。この推定方法では、淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転並びにより算出した注水量を考慮する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。															
	ほう酸タンク水位	①主要パラメータの他チャンネル ②緊急ほう酸注入ライン流量** ③出力領域中性子束 ④中間領域中性子束 ⑤中性子源領域中性子束	①ほう酸タンク水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルのほう酸タンク水位により推定する。 ②ほう酸タンク水位の監視が不可能となった場合は、緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) によりほう酸タンク水位を推定し、水源の有無や使用量を推定する。 ③ほう酸タンク水位の監視が不可能となった場合は、炉心へのほう酸水注入に伴う負の反応度が追加されていることを出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により水源の有無を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。															

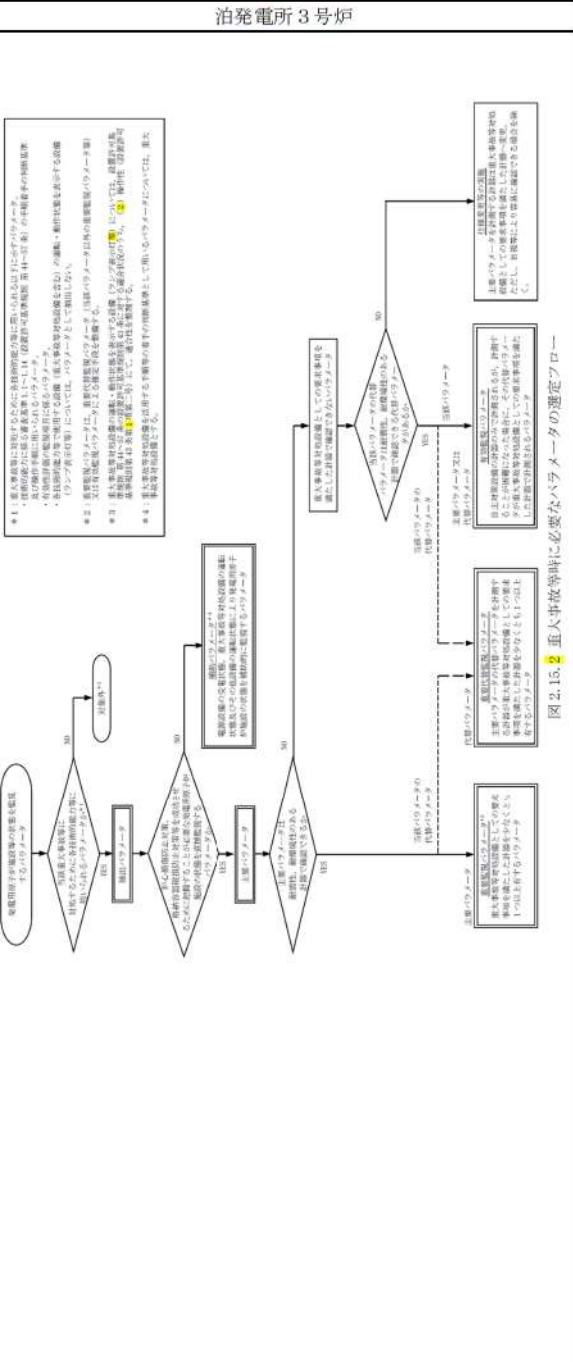
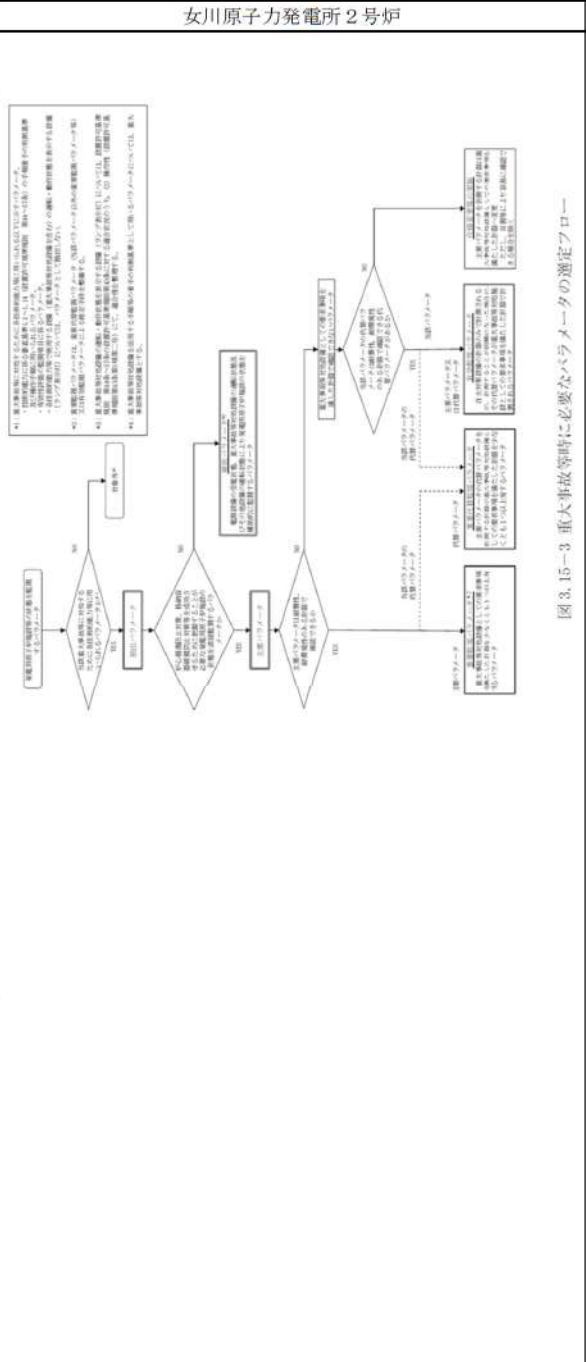
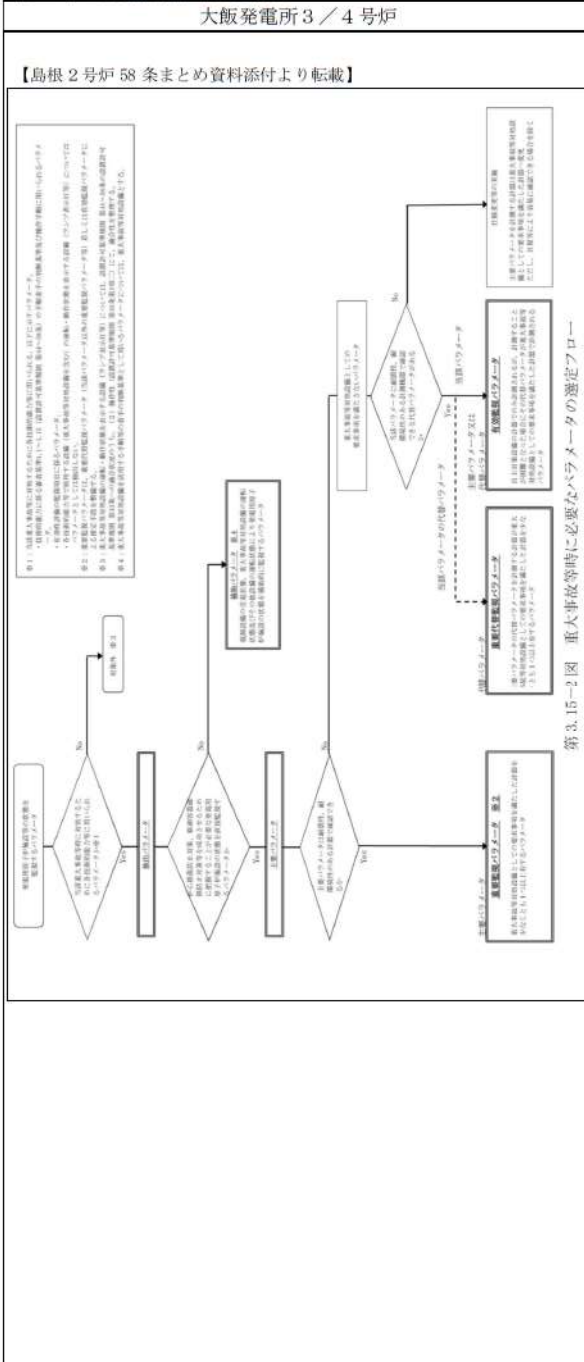
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由																								
		<p>表 2.15.10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (18/18)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">分類</th> <th style="width: 20%;">主要パラメータ</th> <th style="width: 20%;">代替パラメータ※1</th> <th style="width: 45%;">代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6" style="text-align: center; vertical-align: middle;">使用済燃料ピット温度の監視</td> <td>(使用済燃料ピット水位) ※2</td> <td>①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>①使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</td> </tr> <tr> <td>(使用済燃料ピット温度) ※2</td> <td>①使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>①使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。</td> </tr> <tr> <td>(使用済燃料ピットエリアモニタ) ※2</td> <td>①使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ ②標準型水温計 ※2</td> <td>①監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピット温度を推定する。 ②標準型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。</td> </tr> <tr> <td>(標準型水位計) ※2</td> <td>①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>①標準型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</td> </tr> <tr> <td>(標準型水位・水温計) ※2</td> <td>①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>①標準型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		分類	主要パラメータ	代替パラメータ※1	代替パラメータ推定方法	使用済燃料ピット温度の監視	(使用済燃料ピット水位) ※2	①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)	①使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。	(使用済燃料ピット温度) ※2	①使用済燃料ピット温度 (AM用)	①使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。	(使用済燃料ピットエリアモニタ) ※2	①使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ ②標準型水温計 ※2	①監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピット温度を推定する。 ②標準型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。	(標準型水位計) ※2	①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)	①標準型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。	(標準型水位・水温計) ※2	①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)	①標準型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。				
分類	主要パラメータ	代替パラメータ※1	代替パラメータ推定方法																								
使用済燃料ピット温度の監視	(使用済燃料ピット水位) ※2	①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)	①使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。																								
	(使用済燃料ピット温度) ※2	①使用済燃料ピット温度 (AM用)	①使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。																								
	(使用済燃料ピットエリアモニタ) ※2	①使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ ②標準型水温計 ※2	①監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタにより使用済燃料ピット温度を推定する。 ②標準型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。																								
	(標準型水位計) ※2	①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)	①標準型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。																								
	(標準型水位・水温計) ※2	①使用済燃料ピット水位 (AM用) ②使用済燃料ピット水位 (可搬型)	①標準型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。																								
		<p>※1：代替パラメータの事例は優先順位を示す。 ※2：「」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器 (信頼性又は信頼監視パラメータの常用計器 (信頼性又は信頼監視パラメータ) を把握することが可能な計器) を示す。</p>																									

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)



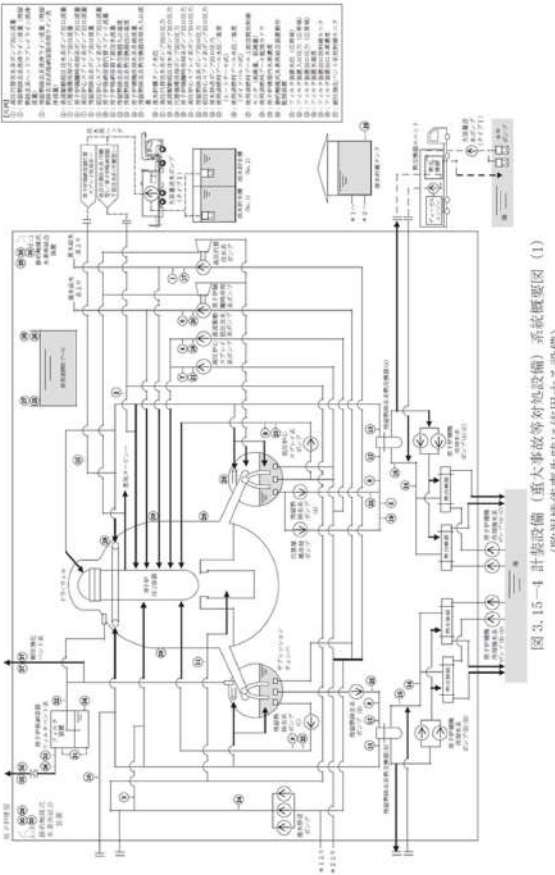
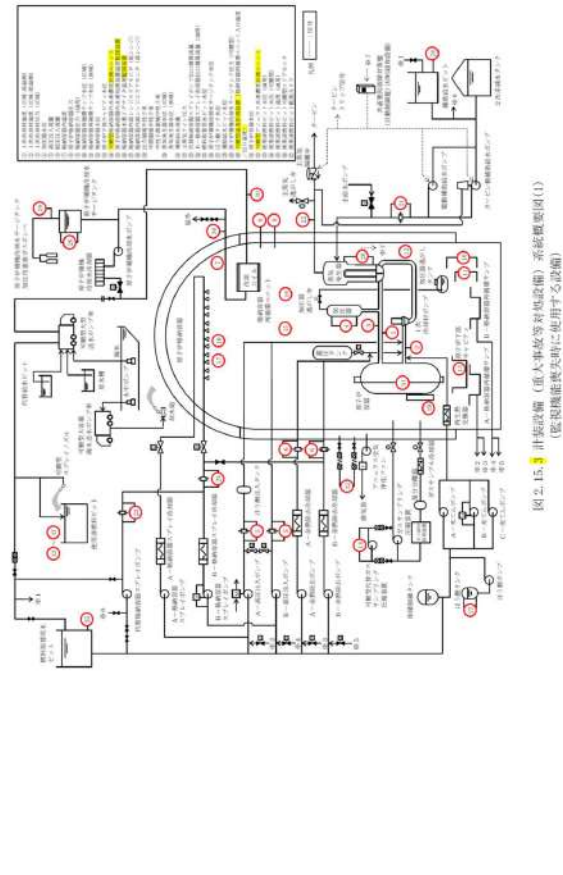
相違理由

■設備の相違

- 泊は重大事故等対処設備の操作はハードウェア又はソフトウェアのスイッチにより行うため、ランプ表示灯以外に画面表示があるため、**斜**及び***3**を「ランプ表示灯等」としている(相崎、東二、島根も同様)。女川はハードウェアのスイッチにより行うため、ランプ表示灯のみ。

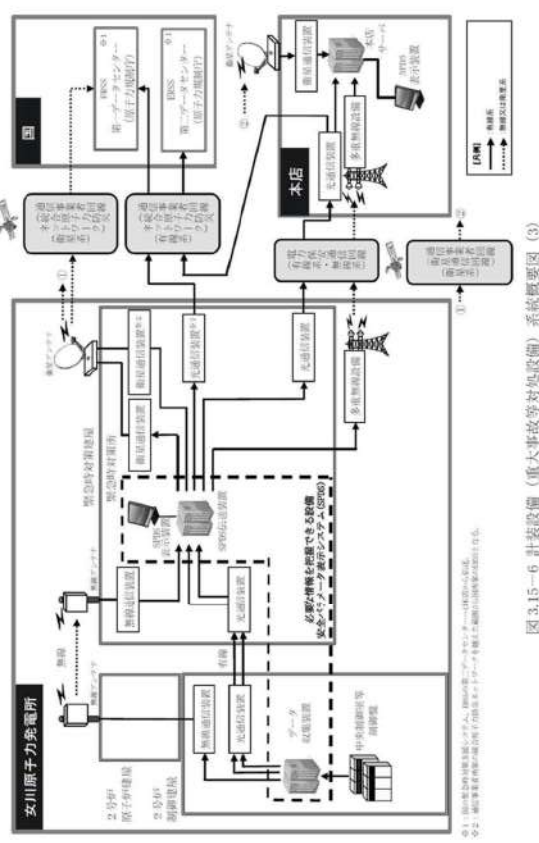
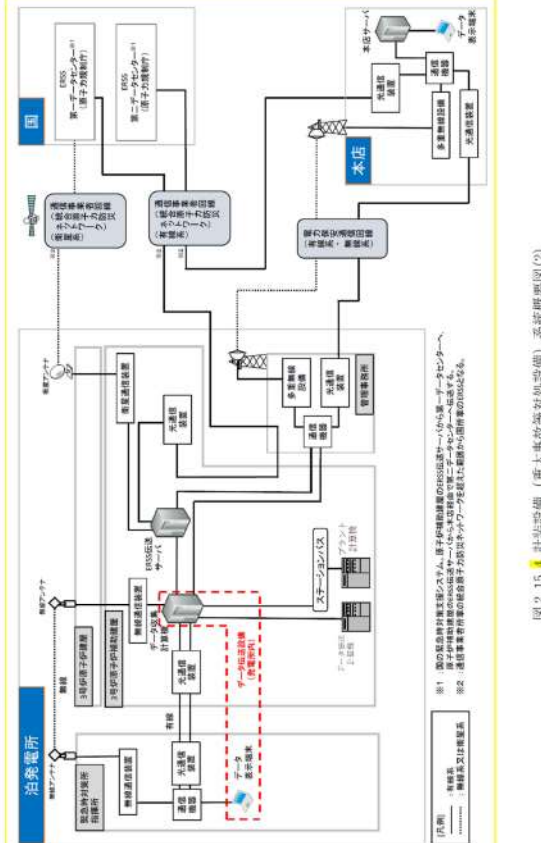
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3 / 4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図 3.15-4 計装設備 (重大事故等対応設備) 系統概要図 (1) (監視機能喪失時に使用する設備)</p>	 <p>図 2.15.15.1 計装設備 (重大事故等対応設備) 系統概要図 (1) (監視機能喪失時に使用する設備)</p>	<p>■ 炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉	女川原子力発電所2号炉	泊発電所3号炉	相違理由
	 <p>図 3.15-6 計装設備 (重大事故等対処設備) 系統概要図 (3) (監視機能喪失時に使用する設備)</p>	 <p>図 2.15.1 計装設備 (重大事故等対処設備) 系統概要図 (2) (監視機能喪失時に使用する設備)</p>	<p>■設備の相違 (相違理由④)</p>

【凡例】 ○：記載あり
 ×：記載なし
 (○)：本文の資料の他箇所に記載
 △：他条文の資料などに記載

58条 計装設備

プラント		泊3号炉 作成状況		まとめ資料の作成を不要とした理由	まとめ資料または比較表を新たに作成することとした理由 もしくは 記載の充実を図ることとした理由	比較表を作成していない理由
女川	泊	まとめ資料	比較表			
本文	本文	○	○			
添付資料	添付資料					
3.15 計装設備	2.15 計装設備	×→○	×→○		女川まとめ資料を構成する資料の比較にて抽出したものであり、基準適合に関する説明の容易性の観点から資料を追加作成する。	
3.15.1 設置許可基準規則第58条への適合方針	2.15.1 設置許可基準規則第58条への適合方針	×→○	×→○		女川まとめ資料を構成する資料の比較にて抽出したものであり、基準適合に関する説明の容易性の観点から資料を追加作成する。	
3.15.2 重大事故等対処設備	2.15.2 重大事故等対処設備	×→○	×→○		女川まとめ資料を構成する資料の比較にて抽出したものであり、基準適合に関する説明の容易性の観点から資料を追加作成する。	
補足説明資料	補足説明資料					
58-1 SA設備基準適合性一覧表	58-1 SA 設備基準適合性一覧表	△→○	×→○		他条文の読み込み→当該条文で書き下し 最新審査知見の反映の観点から比較表を追加作成する。	
58-2 半線結線図	58-6 半線結線図	×→○	×→○		最新審査知見の反映の観点からまとめ資料及び比較表を追加作成する。	
58-3 配置図	58-2 配置図	△→○	×→○		他条文の読み込み→当該条文で書き下し 最新審査知見の反映の観点から比較表を追加作成する。	
58-4 系統図	58-4 系統図	△→○	×→○		他条文の読み込み→当該条文で書き下し 最新審査知見の反映の観点から比較表を追加作成する。	
58-5 試験及び検査	58-3 試験・検査説明資料	△→○	×→○		他条文の読み込み→当該条文で書き下し 最新審査知見の反映の観点から比較表を追加作成する。	
58-6 容量設定根拠	58-5 容量設定根拠	○	×→○		最新審査知見の反映の観点から比較表を追加作成する。	
58-7 アクセスルート図	58-7 アクセスルート図	△→○	×→○		まとめ資料：アクセスルートについては、技術的能力1.0の「添付資料1.0.2 可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」に記載しているが、同内容を本資料に移植し新たに作成する。	
58-8 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	58-8 主要パラメータの代替パラメータによる推定方法について	○	×→○		最新審査知見の反映の観点から比較表を追加作成する。	
58-9 可搬型計測器について	58-9 可搬型計測器及び可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）について	○	×→○		最新審査知見の反映の観点から比較表を追加作成する。	
58-10 主要パラメータの耐環境性について	58-10 主要パラメータの耐環境性について	○	×→○		最新審査知見の反映の観点から比較表を追加作成する。	
58-11 パラメータの抽出について	58-11 パラメータの抽出について	×→○	×→○		最新審査知見の反映の観点からまとめ資料及び比較表を追加作成する。	
58-12 別紙	58-12 別紙					
別紙1 サプレッション等水位上昇時の計装設備への影響について	別紙1 格納容器内水位上昇時の計装設備への影響について	×→○	×→○		最新審査知見の反映の観点からまとめ資料及び比較表を追加作成する。	
別紙2 原子炉格納容器下部水位及びドライウェル水位の計測設備について	別紙2 格納容器内水位の計測設備について	×→○	×→○		最新審査知見の反映の観点からまとめ資料及び比較表を追加作成する。	
別紙3 压力容器ベデスタル内のドライウェル温度検出器について		×	×	女川の有効性評価における「高圧溶融物放出/格納容器券間気直接加熱」では、格納容器下部水漏、原子炉圧力、ドライウェル圧力、压力容器ベデスタル内のドライウェル温度、格納容器内水素濃度の変化によって原子炉压力容器破損を判断することとしている。 泊の同事象である有効性評価における「格納容器過温破損事象」では、原子炉格納容器圧力、原子炉格納容器温度、格納容器内水素濃度、1次冷却材圧力急減により原子炉压力容器破損を判断することとしており、女川の压力容器ベデスタル内のドライウェル温度に相当する温度検出器は設置していないため、作成対象外とする。（炉型の相違）	まとめ資料を作成していない	
別紙4 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え方について	別紙3 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え方について	×→○	×→○		最新審査知見の反映の観点からまとめ資料及び比較表を追加作成する。	
	別紙4 原子炉下部キャビティへの流入経路について	○	×→○		最新審査知見の反映の観点から比較表を追加作成する。	
	別紙5 原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について	×→○	×→○		最新審査知見の反映の観点からまとめ資料及び比較表を追加作成する。	
	別紙6 原子炉压力容器の水位の推定手段について	×→○	×→○		最新審査知見の反映の観点からまとめ資料及び比較表を追加作成する。	
58-13 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ	58-13 重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ	×→○	×→○		最新審査知見の反映の観点からまとめ資料及び比較表を追加作成する。	
58-14 「実用発電用原子炉及びその附属設備の位置、構造及び設備の基準に関する規則」の第58条に基づく主要な重大事故等対処設備一覧表	58-14 「実用発電用原子炉及びその附属設備の位置、構造及び設備の基準に関する規則」の第58条に基づく主要な重大事故等対処設備一覧表	×→○	×→○		最新審査知見の反映の観点からまとめ資料及び比較表を追加作成する。	